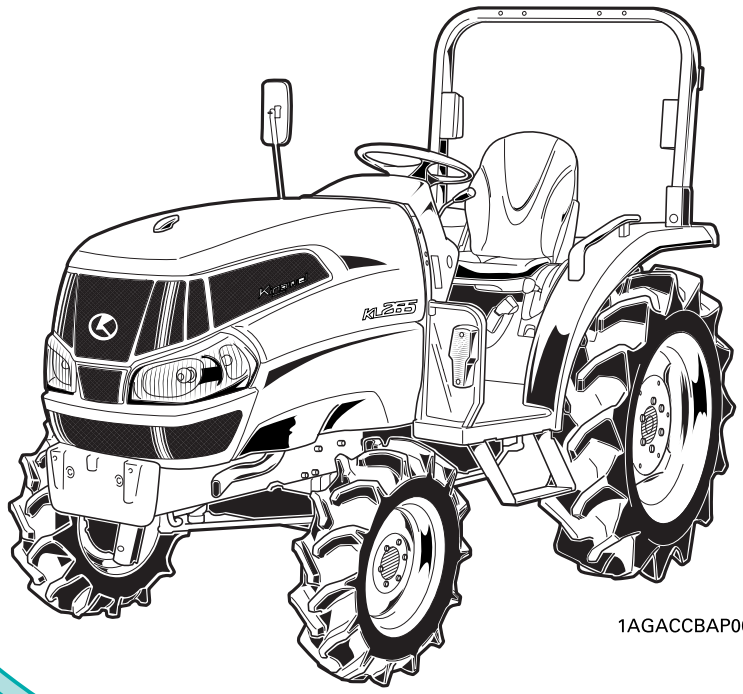
クボタトラクタ

取扱説明書

KL

225・245(H)・265(H)
285(H)・315(H)・345(H)
385(H)・415(H)・465H
505H・555H



1AGACCBAP0010

Operator's Manual

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

	注意マーク
	火気厳禁
	ディーゼル軽油
	燃料（残量）
	グロー
	バッテリ充電異常
	エンジン水温

	ホーン
	ハザードランプ
	方向指示器
	ヘッドライト（下向）
	ヘッドライト（上向）
	シャトル（前後進切換）
	アクセル高
	アクセル低
	３点リンク（上げ）
	３点リンク（下げ）
	作業灯（フロントサイド）
	作業灯（前）
	作業灯（後）
	ワイパ（前）
	ワイパ（後）

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確めのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は KL265 を基本とし，KL265 と取扱いが異なる場合はその都度追加説明してあります。

- エンジン出力(PS)によって…… KL225 仕様，KL245 仕様，KL265 仕様
  KL285 仕様，KL315 仕様，KL345 仕様
  KL385 仕様，KL415 仕様，KL465 仕様
  KL505 仕様，KL555 仕様
- 走行速度（ギヤ比）によって……ハイスピード［高速走行］(H) 仕様
- ミッション形式によって
  ノンクラッチトランスミッション…… U シフト（F）仕様
  マニュアルトランスミッション…… マニュアルシフト仕様
- PTO クラッチ付…… あんしん PTO（N）仕様
- 安全キャブ付き…… 安全キャブ仕様
  安全フレーム付き …… 安全フレーム仕様
- モンロ・オート付き…… MA 仕様
- モンロ・オート / ドラフト付…… MAD 仕様
- パワクロ仕様…… PC 仕様
  (PC1：片ハシゴ，PC2：ハイラグ，PC3：幅狭)

本書の見方

この取扱説明書には，次のようなトラクタを使ってわからないことがあった時や便利な機能が簡単に調べられる「困ったときには」のページを設けています。

1．困ったこと，やりたいことから関連する項目が調べられる目次
2．レバー・スイッチの名称がわからなくてもイラストから関連する項目が調べられるイラスト目次

わからないことがあった時には，本書を有効にご活用いただき，機械の性能を最大限に発揮させてください。

目　次

⚠ 安全に作業するために

安全キャブ，安全フレームについて..... 1
運転前に..... 3
始動時に..... 4
運転時に..... 4
作業機使用時に..... 7
道路走行時に..... 9
駐車，格納時に..... 11
点検・給油・整備時に..... 12
パワクロ仕様の場合..... 15
運転時に..... 15
あゆみ板使用時に..... 15
表示ラベルと貼付け位置..... 17
表示ラベルの手入れ..... 22

サービスと保証／小型特殊自動車としての取扱い

サービスと保証..... 1
小型特殊自動車としての取扱い..... 3

運転のしかた

運転前の点検..... 5
エンジンの始動と停止..... 6
始動のしかた..... 6
停止のしかた..... 10
キースイッチ..... 10
寒冷時の暖機運転..... 11
バッテリあがりの処置..... 12
ならし運転（最初の 50 時間）..... 12
運転席周りの調節..... 13
シート..... 13
シートベルトホルダ..... 13
安全キャブ・安全フレームとシートベルトについて..... 14
チルトステアリングハンドル..... 15
バックミラー..... 15
灯火類の操作..... 16
ヘッドライトスイッチ..... 16
ウインカスイッチ..... 16
ハザードスイッチ..... 17
ホーンボタン..... 17
フロントサイド作業灯..... 18
バックランプ..... 18
ブレーキランプ..... 18
車幅灯・尾灯..... 18
外部電源・信号取出端子..... 19
走行装置の取扱い..... 20
発進・走行..... 20
停車・駐車..... 21
ブレーキペダル..... 22
クラッチペダル..... 23
各変速レバーの取扱い..... 23
クリープレバー..... 24
マニュアルシフト仕様..... 25
U シフト (F) 仕様..... 26
走行モード切換スイッチ..... 30
アクセルレバーとアクセルペダル..... 31
駐車ブレーキの解除のしかた..... 32
満タンお知らせブザーの取扱い..... 32
電子メータパネルの取扱い..... 33
電子メータ..... 33
表示の切換え..... 34
燃料計..... 38
水温計..... 38
エンジン回転計..... 38
状況に応じた操作..... 39
デフロックの使い方..... 39
旋回のしかた..... 39
坂道での運転..... 39
ほ場への出入り時の注意..... 40
道路走行中の注意..... 41
トラックへの積み・降ろし..... 42
パワーステアリングの取扱い..... 43
パワクロ仕様の運転のしかた..... 43
ローダ作業..... 45

作業のしかた

作業機昇降装置..... 46
油圧（ポジションコントロール）レバー..... 46
三点リンク高さ規制ダイヤル..... 46
ポンパレバー..... 47
オートアップスイッチ..... 49
バックアップスイッチ..... 50
作業機落下速度の調整..... 51
三点リンク..... 52
ロアーリンク取付け穴の選択..... 53
モンロー外部操作スイッチ..... 54
トップリンク..... 54
リフトロッドの調整..... 55
チェックチェーン..... 56
作業機を取付けないときの注意..... 56
けん引ヒッチ（別売）..... 56
けん引フック..... 57
PTO..... 57
PTO 変速レバー..... 57
PTO 軸カバー，PTO 軸キャップ..... 58
あんしん PTO スイッチ［N 仕様］..... 58
モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］..... 61
各部の名称..... 61
ワンタッチ耕うんモードスイッチ..... 62
3P 切換スイッチ..... 64
モンロスイッチ..... 64
切換スイッチ..... 67

目　次

モンロ角度調節ダイヤル 68
オートスイッチ［MA 仕様］..... 68
オートスイッチ［MAD 仕様］..... 69
耕深調節ダイヤル 70
モンロ手動スイッチ 71
作業機の取扱い 71
オートドラフトの取扱い［MAD 仕様］.... 72
各部の名称 72
ドラフトストッパピン 73
オートスイッチ 73
モンロ手動スイッチ 73
耕深調節ダイヤル 74
3P 切換スイッチ..... 74
モンロスイッチ 74
モンロ角度調節ダイヤル 75
切換スイッチ 75
ワンタッチ耕うんモードスイッチ 75
タイヤ・ウエイト..... 76
タイヤの空気圧 76
輪距の調整 76
ウエイト（オプション）..... 79
一般的な耕うん要領..... 80
隣接耕うんのしかた 80
一うねおき耕うんのしかた 80
トラクタの方向転換のしかた 80

安全キャブ装備品の取扱い

ドア・窓の開閉とロック..... 81
ドア 81
リヤウインド 81
クォータウインド 81
ルームランプ..... 82
ワイパ..... 82
フロントワイパ・ウォッシャスイッチ 82
リヤワイパ・ウォッシャスイッチ 82
寒冷時のワイパの使用 82
作業灯..... 83
作業灯スイッチ 83
サンバイザ..... 84
ルームミラー..... 84
エアコン..... 85
空気の流れ 85
風向調整 85
コントロールパネル 86
取扱い操作方法 86
ヒータ使用上の注意 87
AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの取扱い 88
共通部の操作のしかた 88
ラジオを聴くには 92
CD を聴くには..... 94
取扱い上の注意 96
お問合わせ 96
アンテナ 96
インプルメントの装着..... 97
インプルメント用操作ボックスの取付.... 97

トラクタの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について 98
洗車時の注意 98
定期点検箇所一覧表 100
給油（水）一覧表 102
トラクタの給油（水)..... 102
推奨オイル・グリース一覧表 103
エンジンオイル・ミッションオイル..... 103
グリース..... 103
ボンネットの開閉及びサイドカバーの外し方 104
ボンネットの開閉..... 104
サイドカバーの取り外し..... 105
フロントカバーの取り外し..... 105
日常点検 105
前日の異常箇所..... 105
トラクタの周りを歩いて..... 105
エンジンオイルの量及び汚れ..... 106
ミッションオイルの量及び汚れ..... 106
冷却水の量..... 107
バキュエータバルブの清掃..... 107
ワイヤハーネス，バッテリ（+）コードの点検・交換..... 108
燃料フィルタの水，沈殿物の点検..... 108
タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷..... 109
防虫網の清掃..... 109
ブレーキペダルの遊び・点検..... 110
駐車ブレーキの作動点検..... 110
クラッチペダルの遊び・点検..... 110
メータ・ランプ類の作動..... 111
燃料の補給..... 113
コンデンサ用防虫網の清掃..... 113
エンジンの始動確認..... 113
日常点検（パワクロ仕様のみ）..... 114
日常点検箇所一覧..... 114
ゴムクローラの張り調整..... 114
スプロケットの交換手順..... 115
ゴムクローラの交換手順..... 115
50 時間ごとの点検・整備..... 116
グリースの注入..... 116
エンジン始動システムの点検..... 118
タイヤ取付けボルトの点検..... 118
クラッチハウジングの水抜き..... 118
パワーステアリングホースの点検..... 119
燃料ホースの点検..... 120
100 時間ごとの点検・整備..... 121
エンジンオイルの交換..... 121
電子メータメッセージのリセット法..... 122
バッテリ電解液の点検..... 122
エアクリーナエレメントの清掃..... 124
ファンベルトの点検・調整..... 124
クラッチペダルの点検・調整..... 125

ブレーキペダルの点検・調整 125
200 時間ごとの点検・整備 126
エンジンオイルフィルタカートリッジの交換 126
ラジエータホースの点検 126
油圧オイルフィルタカートリッジの交換 . 127
ステアリングジョイント部の点検 127
トーイン調整・タイロッドの点検 128
室内エアフィルタの清掃 128
外気フィルタの清掃 129
エアコンコンデンサの詰まり 129
エアコンベルトの張り 130
300 時間ごとの点検・整備 130
前車軸ケースオイルの交換 130
400 時間ごとの点検・整備 131
ミッションオイルの交換 131
燃料フィルタエレメントの清掃・交換 ... 132
転輪・遊輪のオイルシール点検 132
600 時間ごとの点検・整備 133
前部デフケース前後遊びの調整 133
800 時間ごとの点検・整備 133
エンジンバルブクリアランスの点検 133
1 年ごとの点検・整備 133
エアクリーナエレメントの交換 133
ヒータ配管，ウォータホースの点検 133
エアコン配管，ホースの点検 133
2 年ごとの点検・整備 134
冷却水の交換 134
ラジエータの洗浄 135
ラジエータホースの交換 135
パワーステアリングホースの交換 135
燃料ホースの交換 135
メインシリンダホースの交換 135
モンローシリンダホースの交換［MA・MAD 仕様］..... 135
必要に応じた点検・整備 136
燃料の空気抜きのしかた 136
ヒューズの交換 136
スローブローヒューズの交換 137
ランプ類の交換 137
ホーン接点のグリース塗布 137
注油 137
ウォッシャ液の補充 137
冷媒（ガス）量の点検 138
格納 138
長期格納時の手入れ 138
不調と処置 140
エンジンの不調と処置 140
モンローオート（ドラフト）・AD 倍速・U シフト (F) 仕様の故障と処置..... 141
AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの不調と処置 147

付表

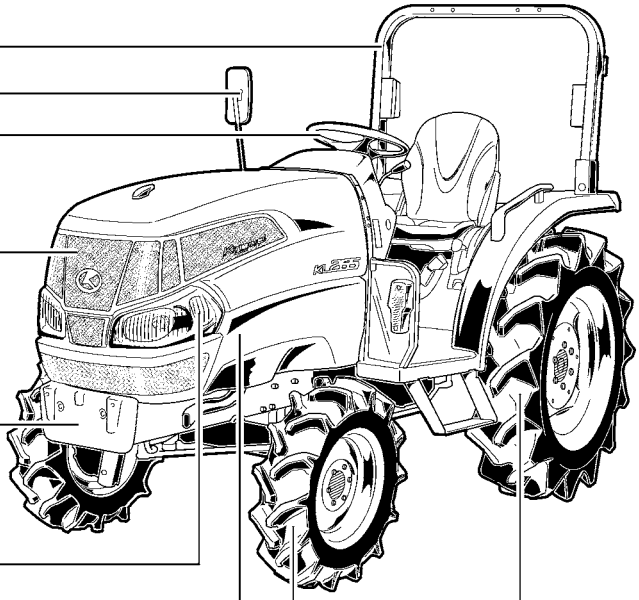
主要諸元 148
トラクタの主要諸元..... 148
走行速度表..... 153
標準付属品..... 158
主な消耗部品一覧表 159
パワクロ仕様足回り交換部品一覧表 ... 161
アタッチメント一覧表 162
インプルメント一覧表 165
センサリンク取付要領 169
作業ごとの一般的な調整要領 170
オートドラフトコントロールによる作業要領［MAD 仕様］..... 172

困ったときには

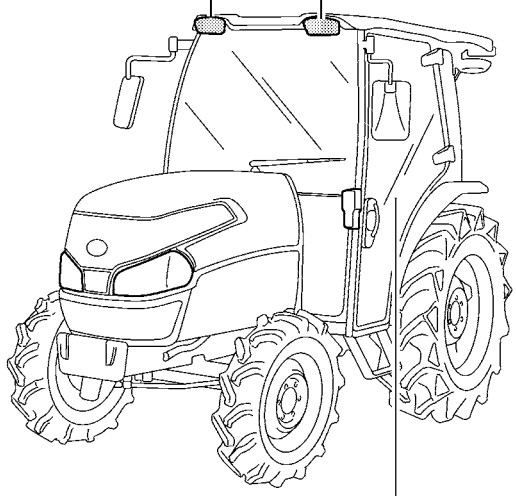
こんな時には…

	目的	項目	参照ページ
エンジン始動時に	電子メータにメッセージが表示された時には	表示の切換え	34
	スタータモータが回らない	エンジンの始動と停止	6
	エンジンの調子が悪い	エンジンの不調と処置	140
道路走行時に	高速走行するには	クリープレバー	24
	2WD，4WD，倍速を切換えたい	走行モード切換スイッチ	30
作業時に	作業に適切な速度は	各変速レバーの取扱い	23
	一般的な耕うん要領は	一般的な耕うん要領	80
	ほ場作業時の設定を簡単に行なうには	ワンタッチ耕うんモードスイッチ	62
	ほ場作業時の設定を変更したい	ワンタッチ耕うんモードスイッチ	62
	モンローオートの一般的な調整要領が知りたい	作業ごとの一般的な調整要領	170
	傾斜地でモンローマチックを使用したい	モンロスイッチ	64
	ロータリカバーを上げた状態でオートを使いたい	オートスイッチ	68
	オートからドラフトに切換えるには	ドラフトストッパピン	73
	スリップした時には	デフロックの使い方	39
	電子メータにメッセージが表示された時には	電子メータ，不調と処置	33，141
	ロータリを上げた時，ロータリを止めるには	あんしん PTO スイッチ	58
	インプルメントを取付けるには	ロアーリンク取付け穴の選択	53
	前輪の前を照らしたい	フロントサイド作業灯	18
	作業灯を点灯させるには	作業灯スイッチ	83
	作業機の上げ高さを規制したい	三点リンク高さ規制ダイヤル	46
	旋回時，自動的にロータリを上げたい	オートアップスイッチ	49
	後進時，自動的にロータリを上げたい	バックアップスイッチ	50
	走行速度が知りたい	表示の切換え	34
	PTO 軸回転数が知りたい	表示の切換え	34
メンテナンス時に	燃料補給時に便利な機能は	満タンお知らせブザーの取扱い	32
	パワクロメンテナンス項目は	パワクロの日常点検	100，114
	日常点検ですべきことは	日常点検	105
	オイル量を知りたい	給油（水）一覧表	102
	電球が切れた時には	主な消耗部品一覧表	159
その他	ラジオを聴くには	ラジオを聴くには	92
	CD を聴くには	CD を聴くには	94
	フロントガラスの曇りをとりたい	デフロスト	86
	内気循環／外気導入を切換えたい	コントロールパネル	86

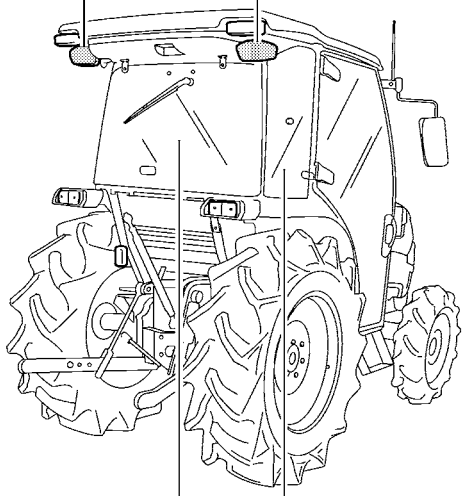
■外観



安全フレーム……14頁
バックミラー……15頁
ハンドル……15頁
フロントカバー……105頁
ウエイト（オプション）……79頁
フロントサイド作業灯……18頁
サイドカバー……105頁
前輪タイヤ……76頁
後輪タイヤ……76頁

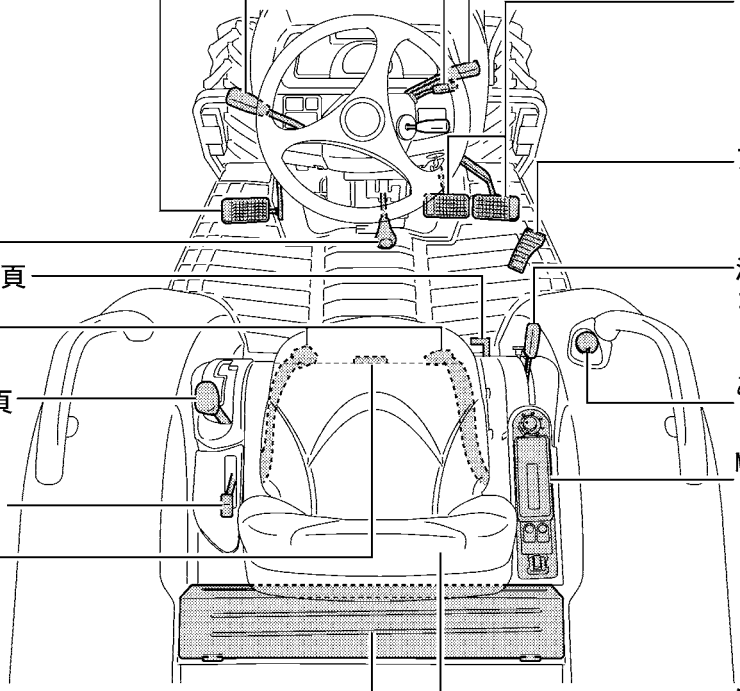


作業灯（前）…83頁
ドア…81頁

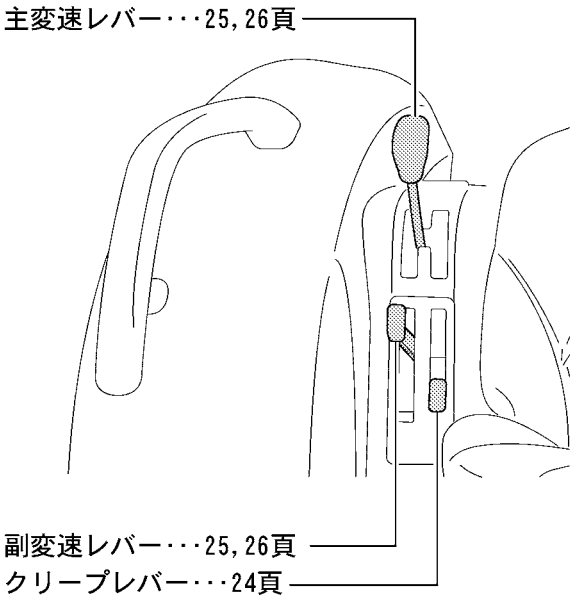


作業灯（後）…83頁
リヤウインド……81頁
クォータウインド…81頁

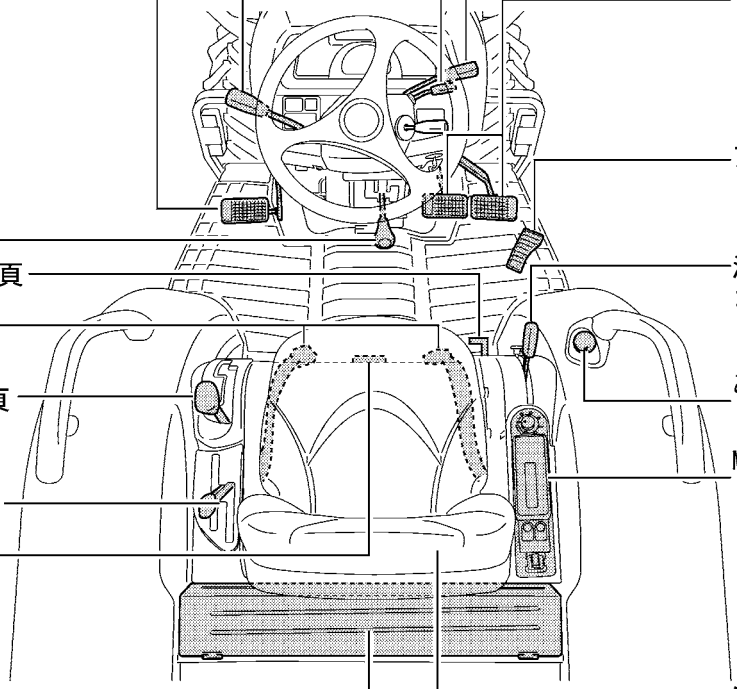
■操作レバー・ペダル［KL225・245・265・285・315・345・385・415］

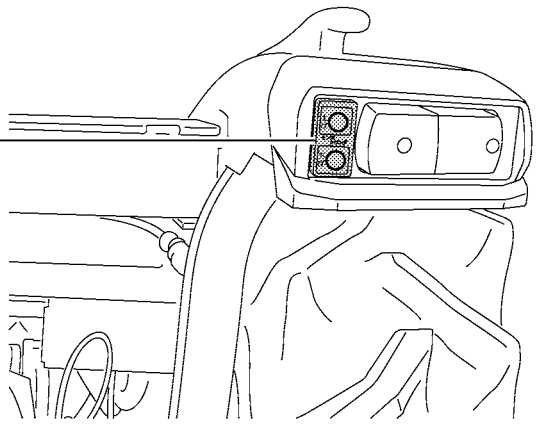


［マニュアルシフト仕様］

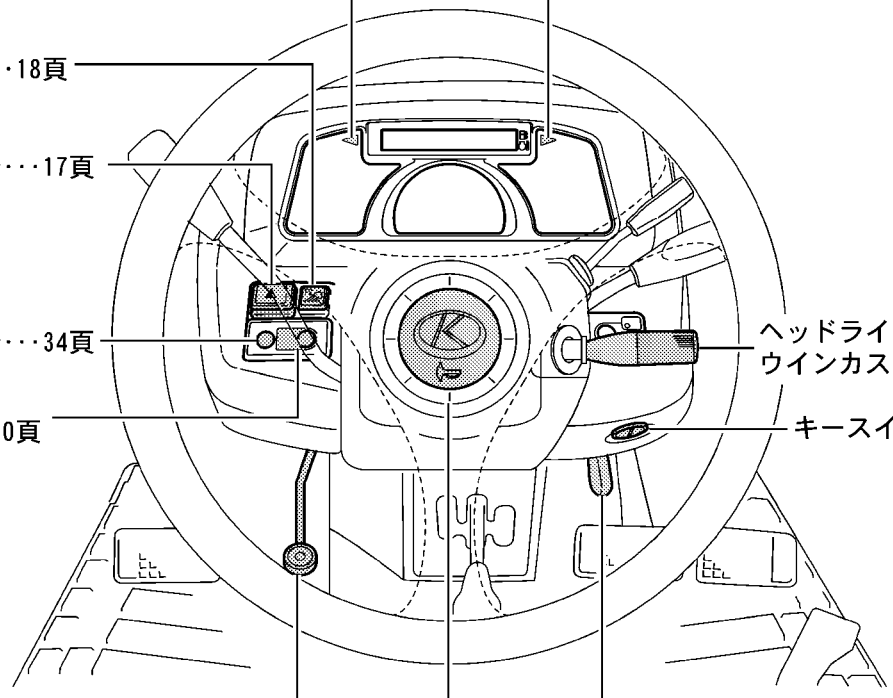


■操作レバー・ペダル［KL245H・265H・285H・315H・345H・385H・415H・465H・505H・555H］



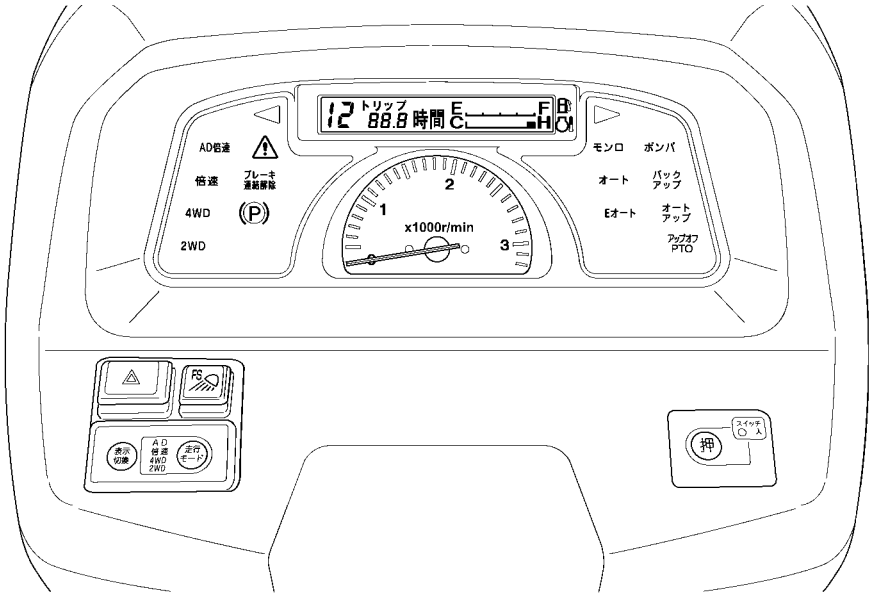


■スイッチ



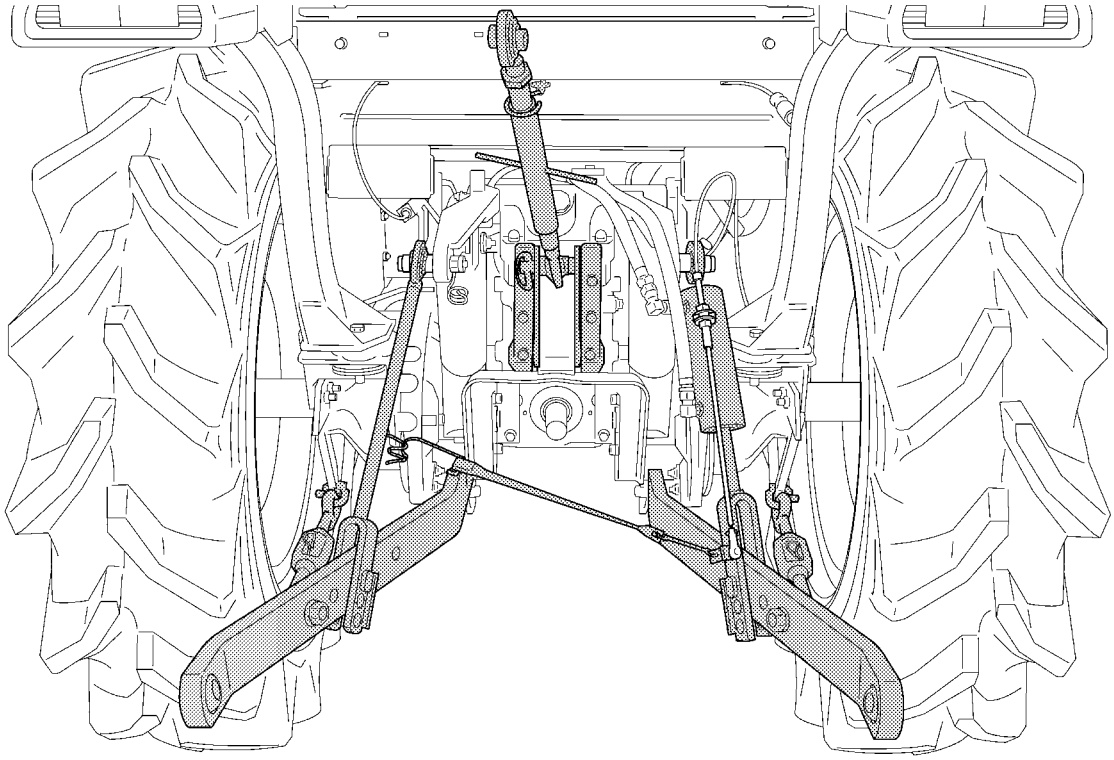
■電子メータ

詳細は電子メータの項33頁参照



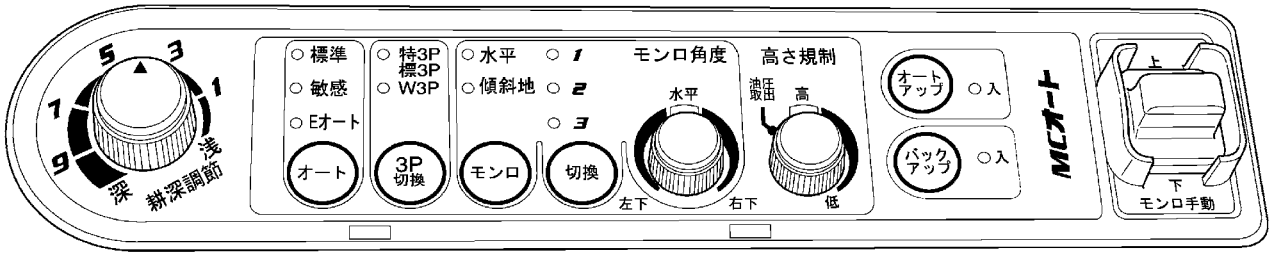
■三点リンク

詳細は三点リンクの項52頁参照



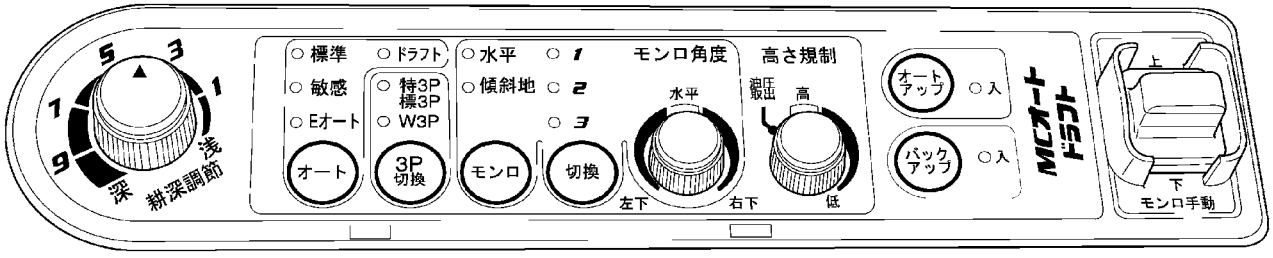
■モンロー操作パネル

詳細はモンローマチックオートの取扱いの項61頁参照

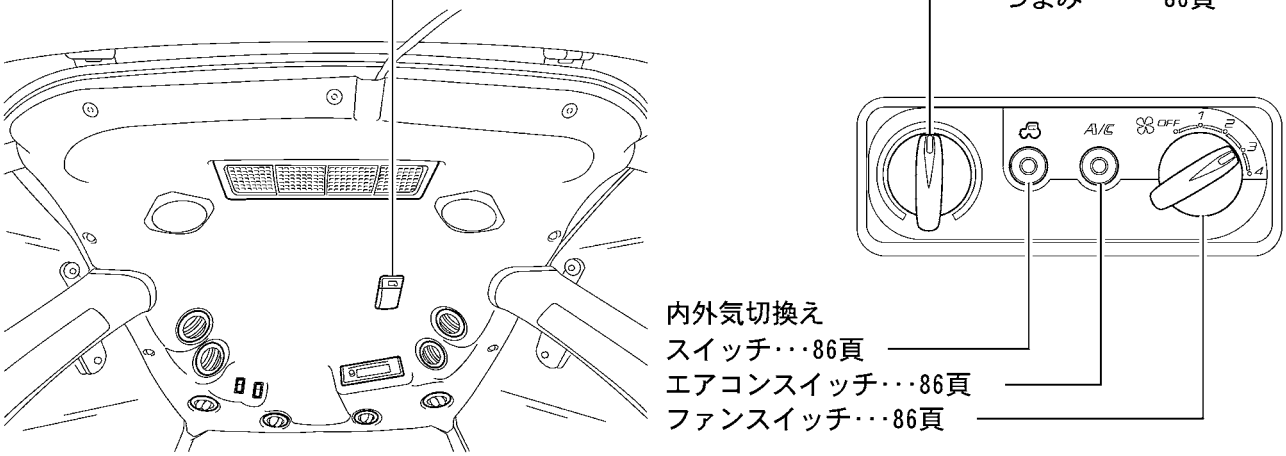


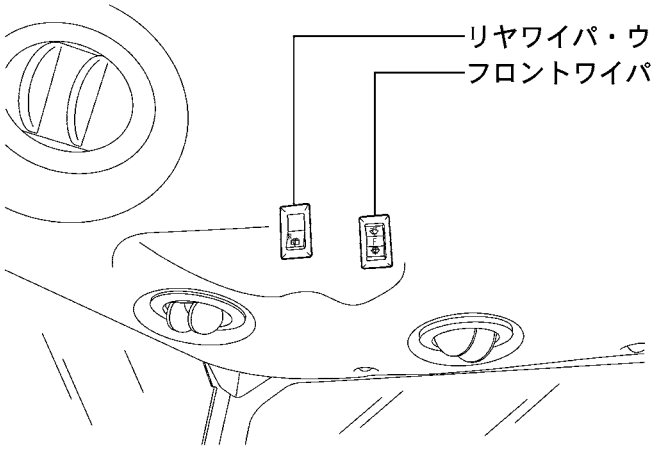
[MAD仕様]

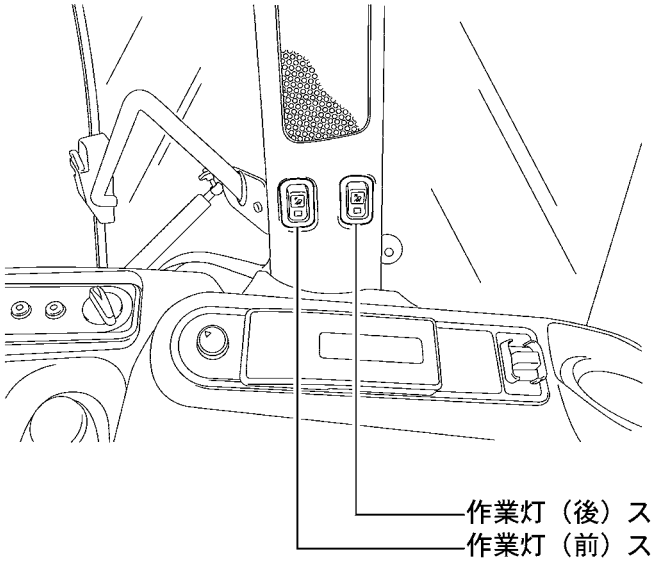
詳細はオートドラフトの取扱い［MAD仕様］の項72頁参照



■安全キャブ操作スイッチ





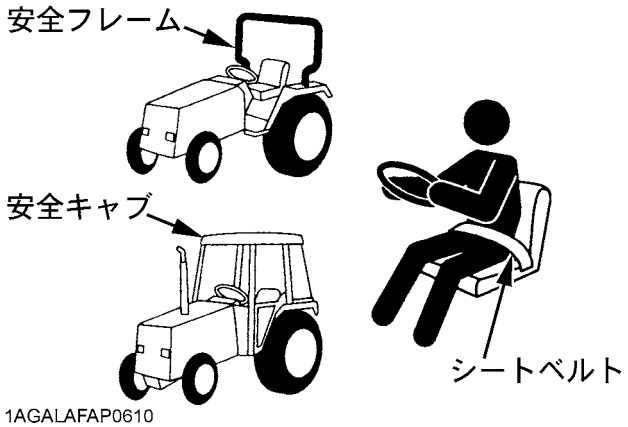


⚠ 安全に作業するために　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

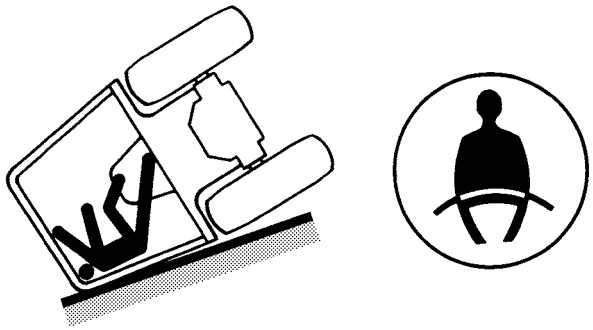
安全キャブ，安全フレームについて

安全キャブ，安全フレームは，万一トラクタが転倒したとき事故の被害を軽減するものであって，転倒事故を防止するものではありません。注意事項を守って，安全運転を心がけてください。

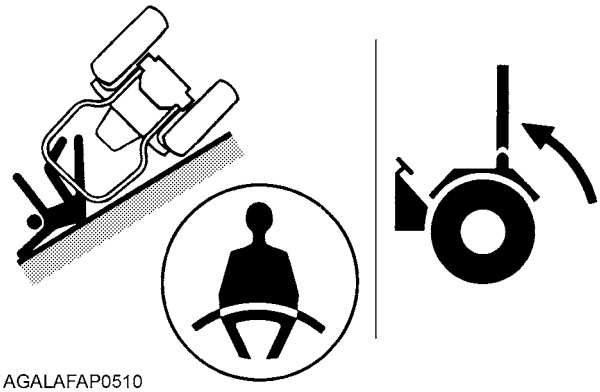


1AGALAFAP0610

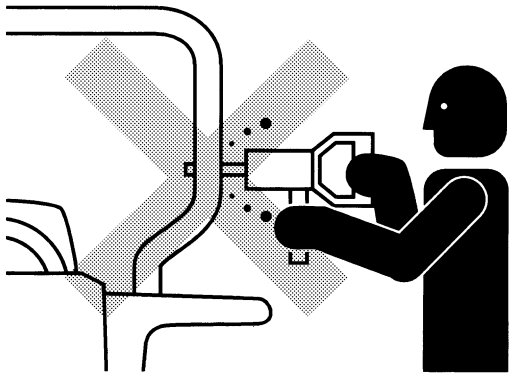
1. 運転時は安全キャブ又は安全フレームとシートベルトを常に使用するようにしてください。


1AGALAFAP0500

2. 安全フレームを取外して運転しないでください。
3. 納屋への出入り等，安全フレームが当たる場合を除き，運転時はいつも安全フレームを立て，確実にロックして使ってください。
   安全フレームを折りたたんだ状態では，万一トラクタが転倒したとき，安全フレームの役目をしません。
4. 安全フレームを立てたときは，運転時シートベルトを常に使用してください。折りたたんだ状態では，シートベルトを使用しないでください。
5. 安全フレームを折りたたんだり，立てたりするときは，平坦な場所で，必ず作業機を地面に降ろし，エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけてから行なってください。


1AGALAFAP0510

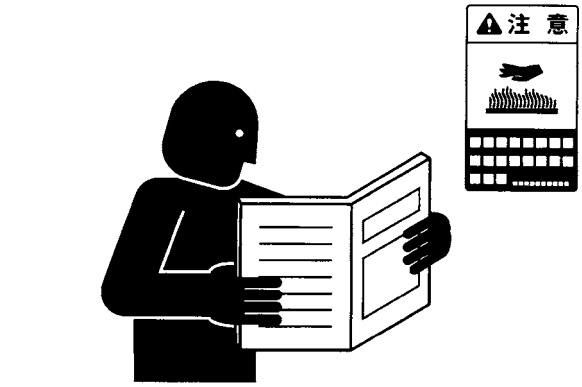
6. 安全キャブ又は安全フレームを改造しないでください。又，強度に影響する破損，曲がりなどが発生した場合，交換してください。



1AGALAFAP0340

運転前に

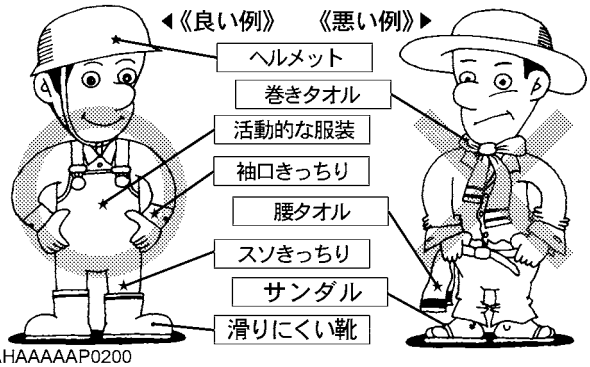
1. トラクタを動かす前に，トラクタ及び装着している作業機の取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
2. トラクタ，作業機を他人に貸すとき，又，運転させるときは，事前に運転のしかたを教え，本書を読ませてください。
3. 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。
4. 飲酒時や体調が悪いとき，病気や妊娠しているときは，トラクタを運転しないでください。



1AGALAFAP0350

5. ダブダブの衣服やかさばった衣服を着用しないでください。
   回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になります。
   安全のため，ヘルメット，安全靴，保護めがねや手袋などを必要に応じ使ってください。
6. トラクタを改造しないでください。改造すると，トラクタの機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。
7. 安全カバー類を外した状態でトラクタ，作業機を使用しないでください。
   紛失したり損傷した部品は交換してください。
   ブレーキ，クラッチ，ステアリングや安全装置などの日常点検を行ない摩耗や損傷している部品があれば，交換してください。
   又，定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。（詳細は**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章参照）
8. トラクタは常に清掃しておいてください。
   バッテリ，配線，マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると火災の原因になります。

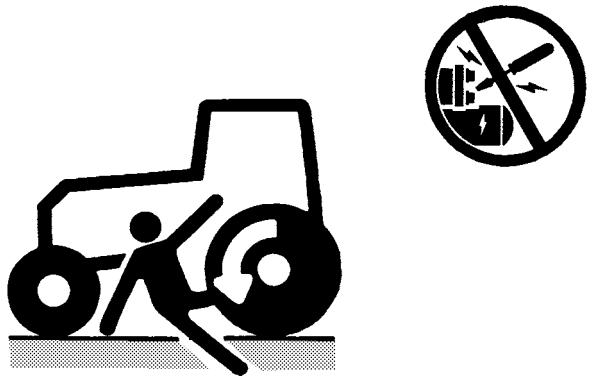
作業時の服装



1AHAAAAAP0200

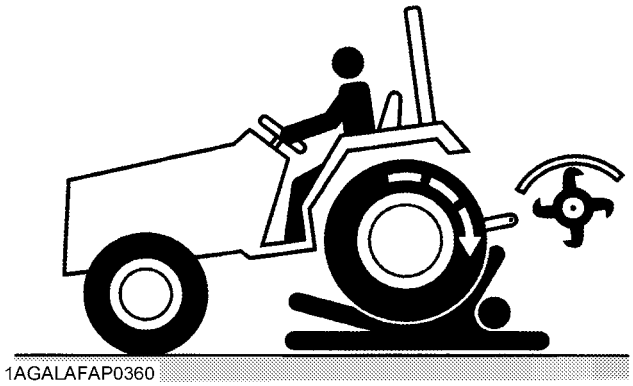
始動時に

1. エンジンを始動する前に，必ずシートに座り，シャトルレバー・PTO 変速レバーが**[中立]**かどうか，あんしん PTO スイッチが**[切]**かどうか**[N 仕様]**，また駐車ブレーキが掛かっているかを確認してください。
2. 地上に立ってエンジンを始動したり，スタータ端子や安全スイッチを直結してエンジンを始動しないでください。
   トラクタが突然動き出す恐れがあります。



1AGALAFAP0580

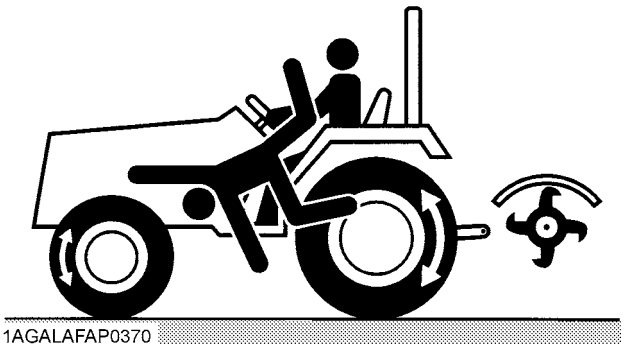
3. トラクタを始動，運転するときは前後左右をよく確認し，付近に人（特に子供）を近づけないでください。もし変速ギヤーが入っていると車体が動いたりロータリが回転したりして事故になる恐れがあります。又，安全キャブや安全フレームに当たる障害物がないかも確認してください。



1AGALAFAP0360

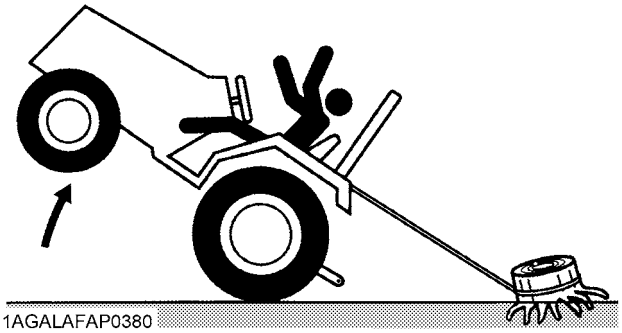
運転時に

1. 子供はもちろん運転者以外の人を乗せてトラクタを運転しないでください。
   又，必ずシートに座って運転してください。



1AGALAFAP0370

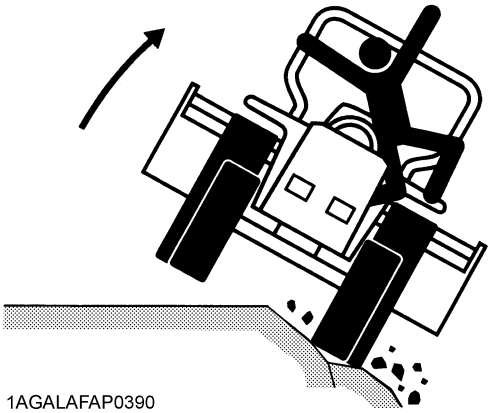
2. けん引作業には，けん引ヒッチ（別売）を用い，絶対に車軸やトップリンクブラケットなどで引張らないでください。
トラクタの破損や転覆の原因となります。


1AGALAFAP0380

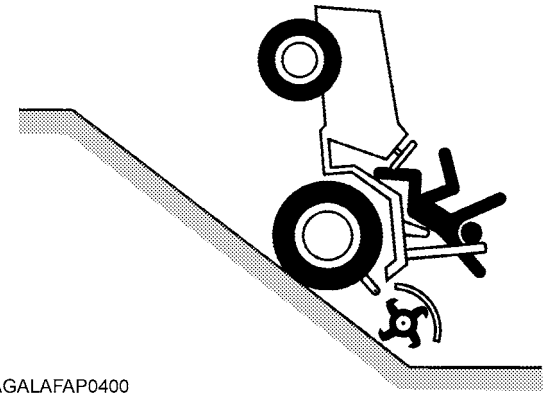
3. 換気が不十分な所では，暖機運転や作業はしないでください。
排気ガスにより一酸化炭素中毒の恐れがあります。

1AGALAFAP0520

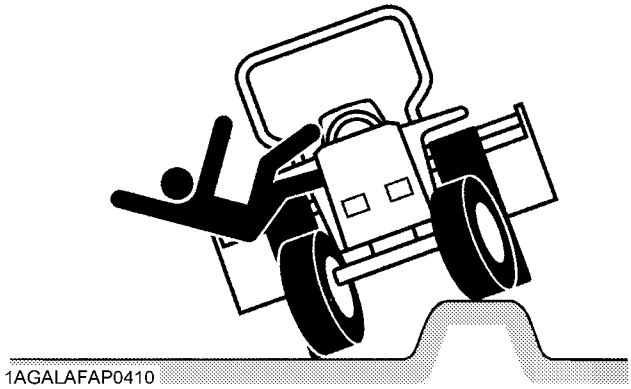
4. 溝や穴の近く，路肩などトラクタの重みでくずれやすい所では運転しないでください。
また，草の繁ったところや水たまりなどには，隠れて見えない窪地がある場合があり，トラクタが落ち込むと転倒することがあります。そういう所は必ずトラクタから降りて確認してください。


1AGALAFAP0390

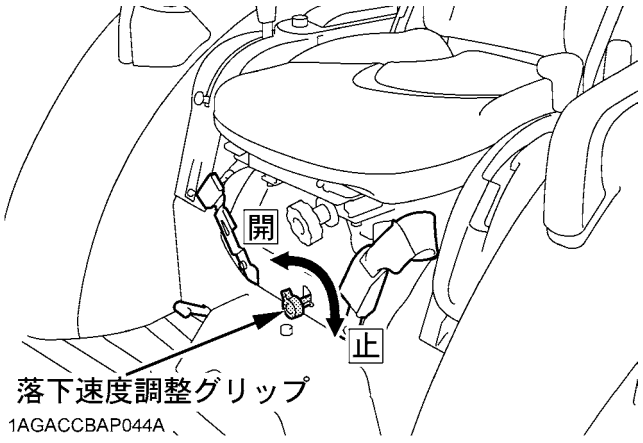
5. 溝やぬかるんだ所から前進で脱出したり，急な坂を前進で登るとトラクタが後方に転覆する危険があります。このような所では，バックで運転してください。
6. 共同で作業をするときは，声をかけあって，お互いにしようとしていることを知らせてください。


1AGALAFAP0400

7. ほ場の出入りなどで，急傾斜の上り降りや溝越えは，低速にして直角に進行してください。その際，必ず左右のブレーキペダルを連結し，デフロックの解除を確認してください。

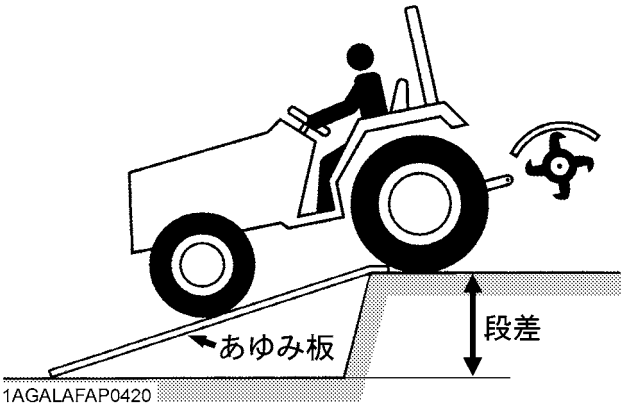

1AGALAFAP0410

8. ほ場外では，落下速度調整グリップで油圧ロック（停止）をして作業機の落下を防止してください。
遅い方向に締めきるとロック（停止）します。



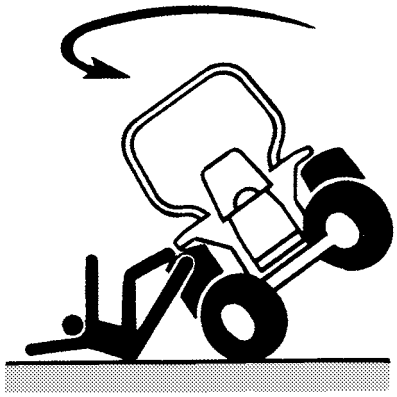
1AGACCBAP044A

9. ほ場の出入りなどで，高低差の大きい急傾斜の登り降りや，溝越えが必要な場合，あゆみ板を使用し，確実に固定してから低速で行なってください。
あゆみ板は段差の４倍以上の長さのものを使用してください。
10. 急な坂道・車両への積込み積降ろし・ほ場への出入り・畦の乗越えなどでは途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて運転してください。



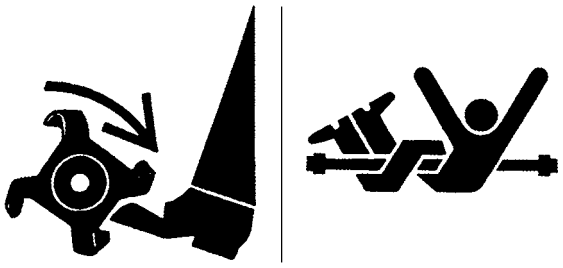
1AGALAFAP0420

11. ほ場以外や高速走行時，倍速ターン及び AD 倍速ターンを使用すると，旋回時急に回り事故を引起こす恐れがあります。
必ず走行モード切換スイッチを【2WD】又は【4WD】に切換えてください。

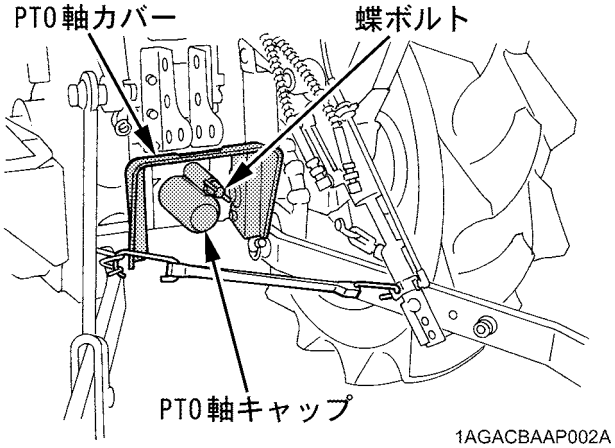

1AGALAFAP0590

作業機使用時に

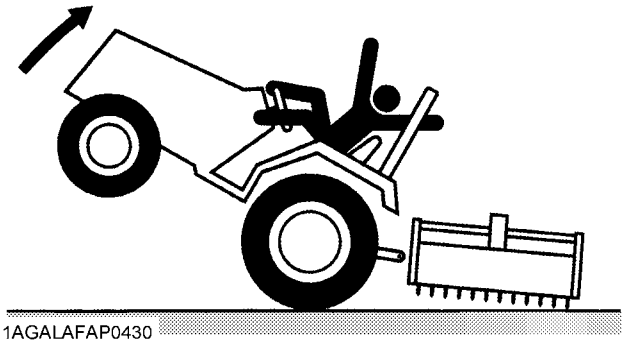
1. 作業機の着脱は，平坦で安全な場所で行なってください。
2. トラクタから降りるときや，ロータリなど PTO 作業機の装着・取外し・調整・掃除又は修理をするときは，作業機が完全に止まるまで待ってください。


1AGALAFAP0540

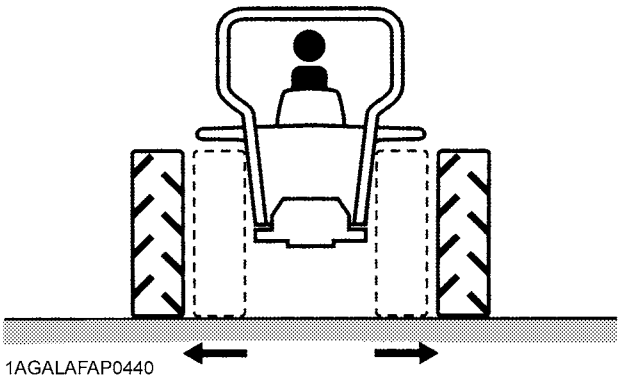
3. PTO を使用しないときは，PTO 軸キャップを装着しておいてください。
4. PTO 軸カバーは常に取付けておいてください。
5. PTO 作業機は，その作業機で定められた PTO 回転以上で使用しないでください。
機械の破損や人身事故の恐れがあります。



6. トラクタ後部用作業機を装着したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上になるようにバランスウエイトを装備し，使用してください。
前部が軽くなりすぎると，操縦が難しくなり転倒事故の恐れもあります。
7. 作業機はトラクタに推奨されているものを使用してください。
大きすぎたり，小さすぎたりしてバランスの悪い作業機は機械の破損や人身事故にもつながります。
詳細は購入先にご相談ください。

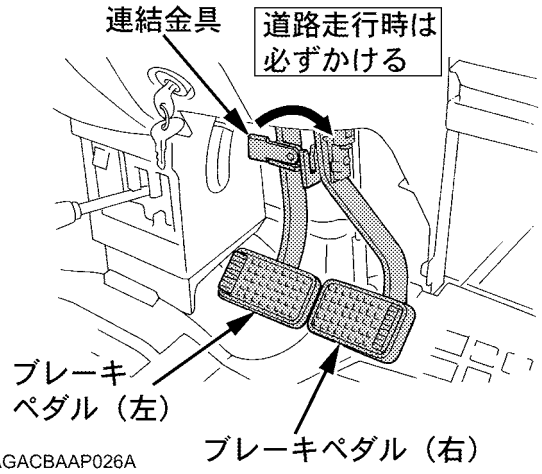


8. 傾斜地作業，フロントローダ作業などでは，安定を良くするために，支障のない範囲で輪距（タイヤ中心間の距離）を大きくしてください。

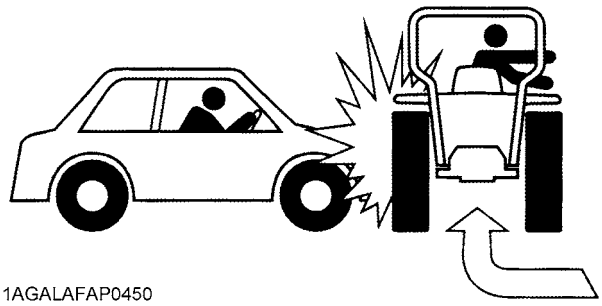


道路走行時に

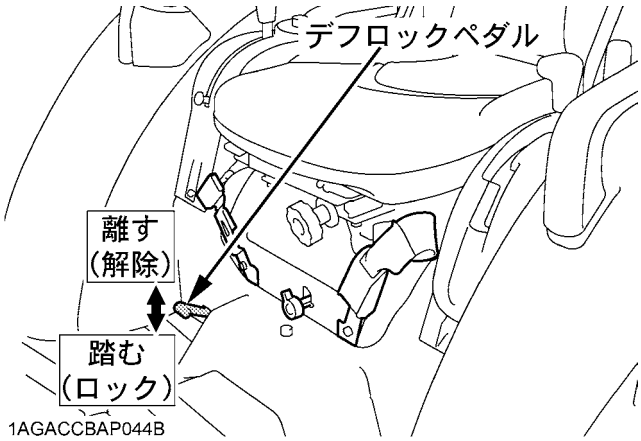
1. 道路走行時は，左右のブレーキペダルを連結してください。
   高速走行で誤って片ブレーキをかけるとトラクタが振られ，転倒や交通事故の恐れがあります。



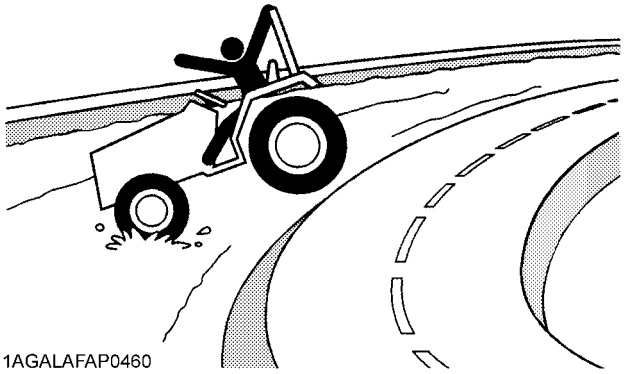
1AGACBAAP026A


1AGALAFAP0450

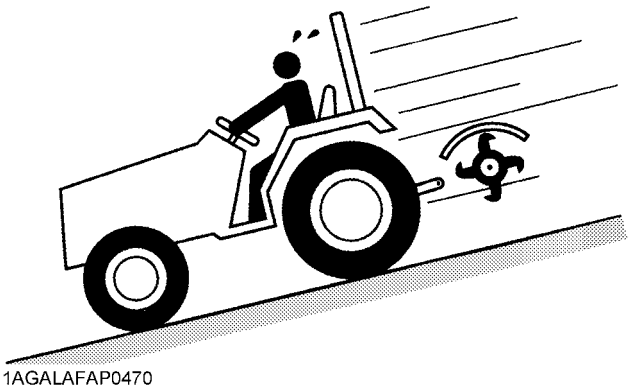
2. 道路走行時は絶対にデフロックを使用しないでください。
   ハンドル操作が出来なくなります。
3. 旋回する前にはトラクタの速度を落としてください。
   高速で旋回するとトラクタが転倒する恐れがあります。



1AGACCBAP044B

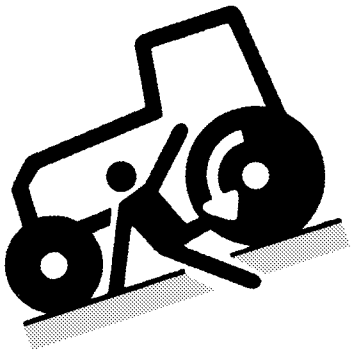

1AGALAFAP0460

4. 坂を降りるとき，クラッチを切ったり，変速を**［中立］**にして惰性で走行しないでください。
   操縦ができなくなる恐れがあります。
5. トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。(道路運送車両法の保安基準)
   作業機を装着して走行すると，他の車や電柱などに引っかけて事故の原因になります。
6. 交通や安全規則を守ってください。
   運転免許証は，必ず携行してください。


1AGALAFAP0470

駐車，格納時に

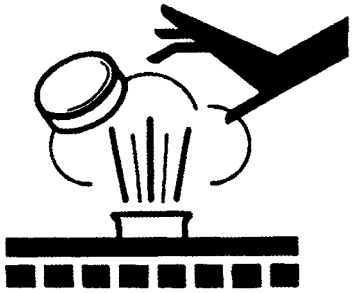
1. 駐車するときは，平坦でトラクタが安定する場所を選び，PTO を **[切]**，作業機を **[下げ]**，各変速レバーを **[中立]**，駐車ブレーキを **[掛け]**，エンジンを **[停止]** してキーを抜いてください。
   やむをえず坂道で駐車する場合は，タイヤに車止めをしてください。
2. 乾いた草やワラなど可燃物の堆積した場所には，駐車しないでください。
3. 格納などでトラクタにシートをかける場合は，マフラやエンジンが充分冷えてから行なってください。



1AGALAFAP0530

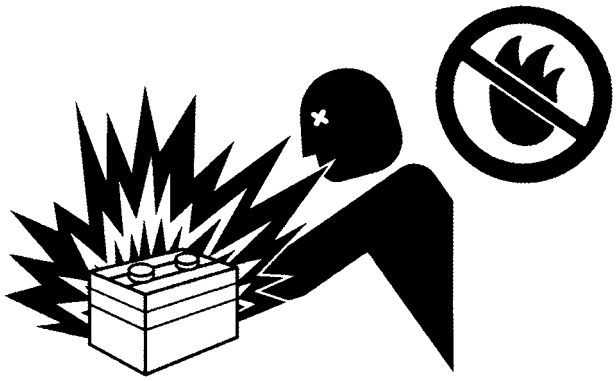
点検・給油・整備時に

1. 平たんな場所に駐車し，作業機を**［下げ］**，駐車ブレーキを**［掛け］**，各変速レバーを**［中立］**にし，そしてエンジンを**［停止］**してください。
2. エンジン・マフラ・ラジエータなどが充分冷えてから点検整備してください。ヤケドの恐れがあります。



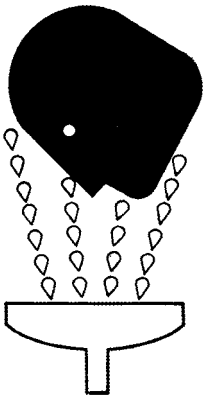
1AGALAFAP0550

3. 燃料を補給するときやバッテリを充電しているときは，タバコを吸ったり，火を近づけないでください。
   バッテリは充電中可燃性ガスが発生し，引火爆発の恐れがあります。
4. 放電したバッテリにブースタケーブルなどを接続して始動するときは，取扱方法をよく読みそれに従ってください。
   （**［運転のしかた］**の章の**［バッテリあがりの処置］**の項を参照）



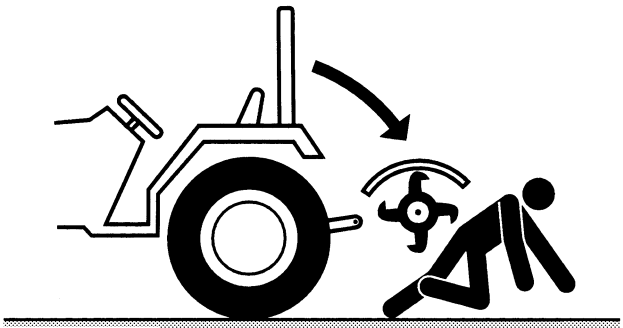
1AGALAFAP0480

5. バッテリは液面が LOWER（最低液面線）以下になったままで使用や充電をしないでください。
   LOWER 以下で使用を続けると電池内部の部位の劣化が促進され，バッテリの寿命を縮めるばかりでなく，爆発の原因となることがあります。
   すぐに UPPER LEVEL（上限）と LOWER LEVEL（下限）の間に補水してください。（補水可能なバッテリ）
6. バッテリを外すときは，短絡事故を防ぐため，最初にバッテリのマイナスコードを外し，接続するときは最後に接続してください。
7. バッテリ液は希硫酸なので扱いには注意し，体や衣服に付けないようにしてください。もし目や体に付着した場合はすぐ水で洗って，すみやかに医師の診療を受けてください。

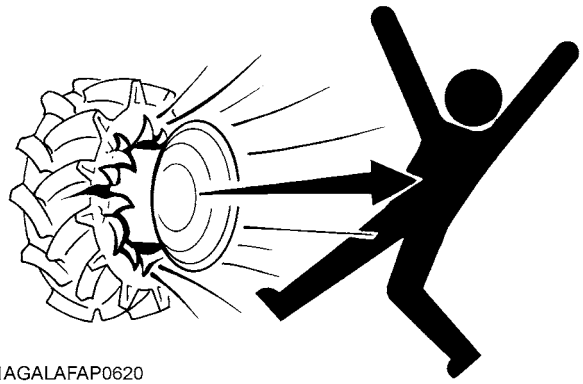


1ARAEABAP0140

8. ３点リンク作業機を上げた状態で点検整備を行なう場合，必ず落下速度調整グリップで作業機が落下しないようにロック（停止）してください。ロック（停止）するとともに適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし，落下防止を行なってください。


1AGALAFAP0570

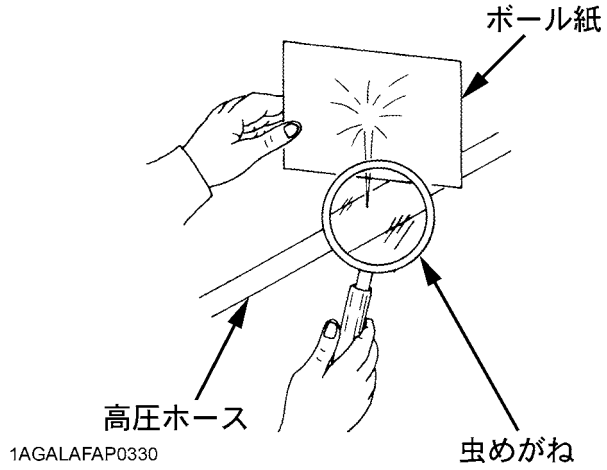
9. タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入過ぎは，タイヤ破裂の恐れがあり死傷事故を引起こす原因になります。
10. タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。
タイヤ破裂の恐れがあります。
11. タイヤ・チューブ・リムなどの交換・修理は，必ず購入先にご相談ください。
(特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。)


1AGALAFAP0620

12. 圧力がかかり噴出した油は，皮膚を貫通する程の力があり，傷害の原因になります。油圧部品を外すときは，必ず残圧を抜いてください。

1BAACAAAP0100

13. 見えない小さな穴からの油漏れを探すときは，保護めがねをかけ，ボール紙などを利用してください。
万一，油が皮膚を貫通したときは，強度のアレルギーを起こす恐れがあるので，すぐ医師の診療を受けてください。



1AGALAFAP0330

14. 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，燃料，冷却水（不凍液），冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

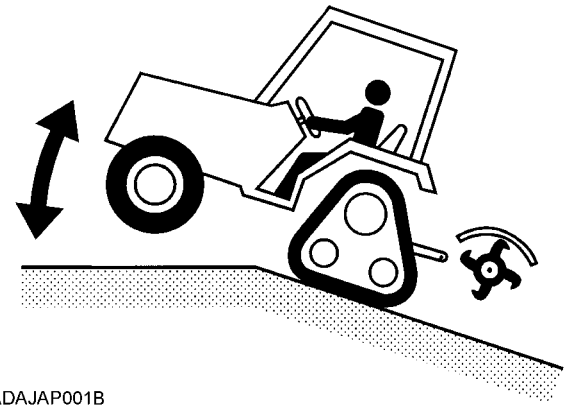
1BJABAAAP018B

パワクロ仕様の場合

以下の内容は**［パワクロ仕様］**の場合の特別な注意事項を記載しています。前述の注意事項と合わせてよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。

■運転時に

1. 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなる恐れがあります。
2. クローラ部が凸部を乗越えるときは，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。



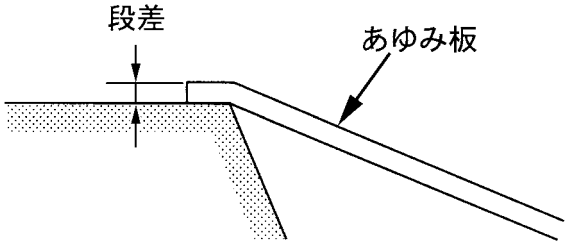
1AGADAJAP001B

■あゆみ板使用時に

1. あゆみ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。
2. あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。
3. 途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。
4. あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が15 度以下になる長さ：トラックの荷台高さ，あるいはほ場乗入れ部高さの 4 倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワクロの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。

◆ ほ場への出入り

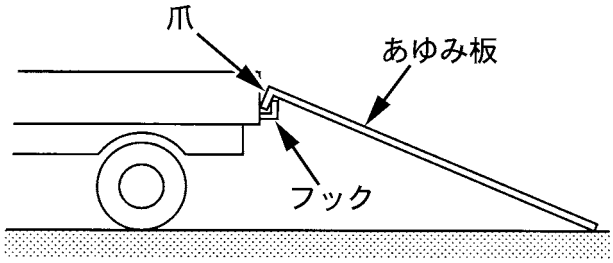
1. クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，あゆみ板をかけ直してはじめからやり直してください。



1AGACBUAP002A

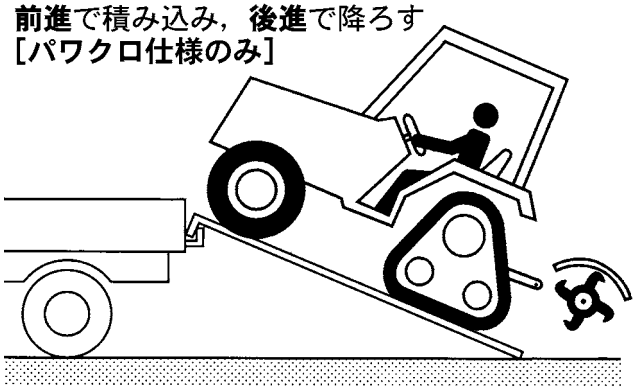
◆ トラックへの積み・降ろし

1. トラックは荷台後部にあゆみ板の爪をかけるフックが付いた物を使用してください。
2. トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを**［連結］**し，**前進で積み込み，後進で降ろして**ください。前進で降りると，クローラがあゆみ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながる恐れがあります。



1AGACBUAP003A

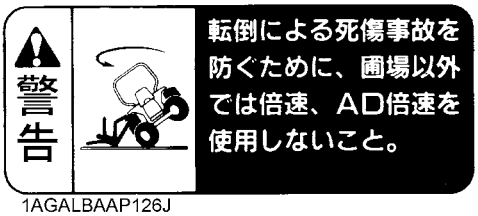
前進で積み込み，**後進**で降ろす
［パワクロ仕様のみ］



1AGACBUAP004A

表示ラベルと貼付け位置

(1)品番　T1060-4905-0

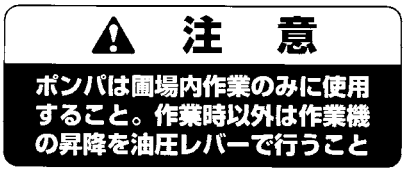


1AGALBAAP126J

(2)品番　T1850-4908-0

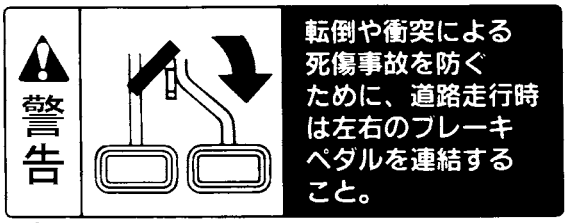
1AGACCBAP123J

(3)品番　T1060-4964-0 [MA･MAD仕様]



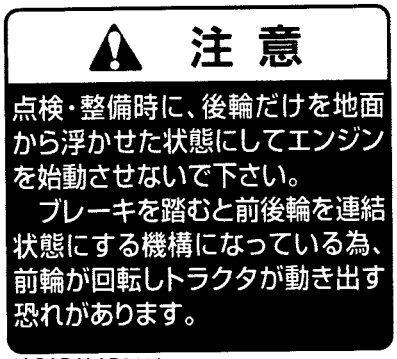
1AGALBAAP133J

(4)品番　T1060-4903-0

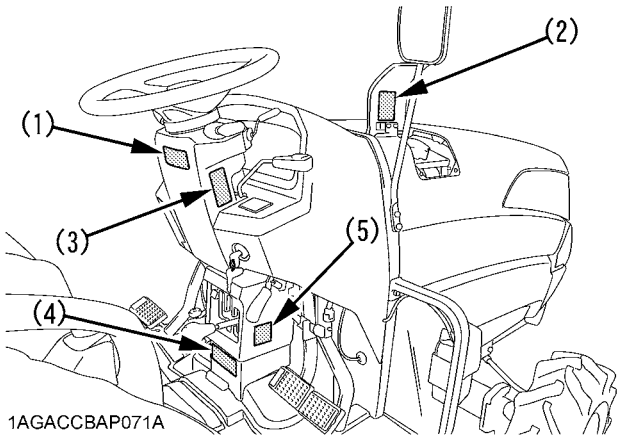


1AGADALAP238J

(5)品番　3M740-9821-0
[KL365H･415H･465H･505H･555H]

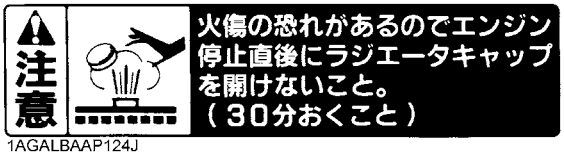


1AGADALAP241J



1AGACCBAP071A

(1)品番　T1060-4954-0



1AGALBAAP124J

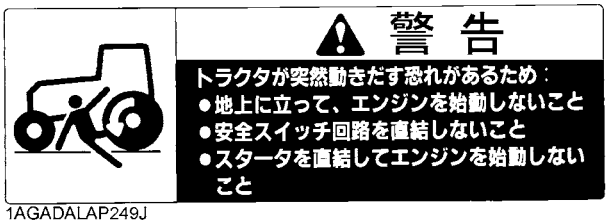
(2)品番　T1850-4958-0

1AGACCBAP124J

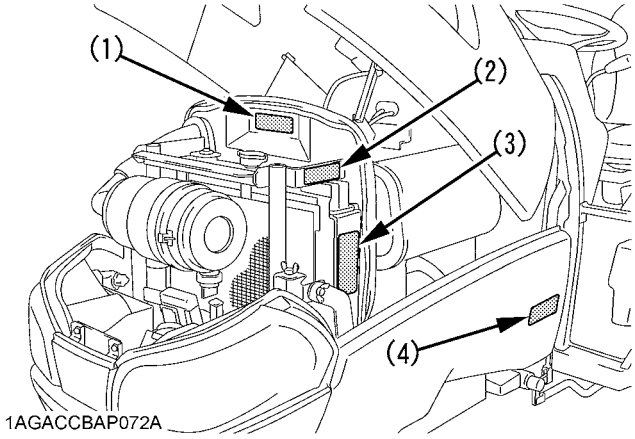
(3)品番　T1850-4955-0

1AGACCBAP125J

(4)品番　T0180-4965-0



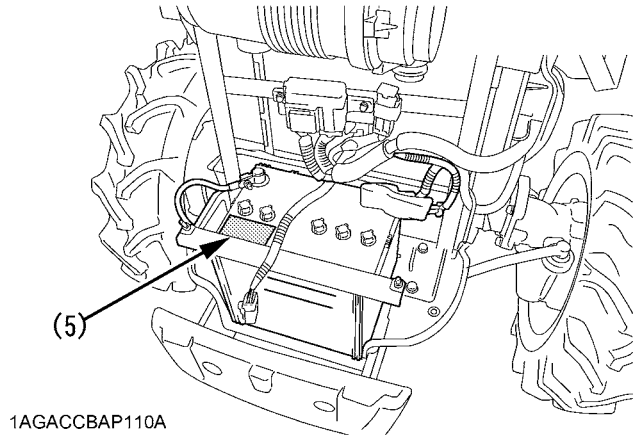
1AGADALAP249J



1AGACCBAP072A

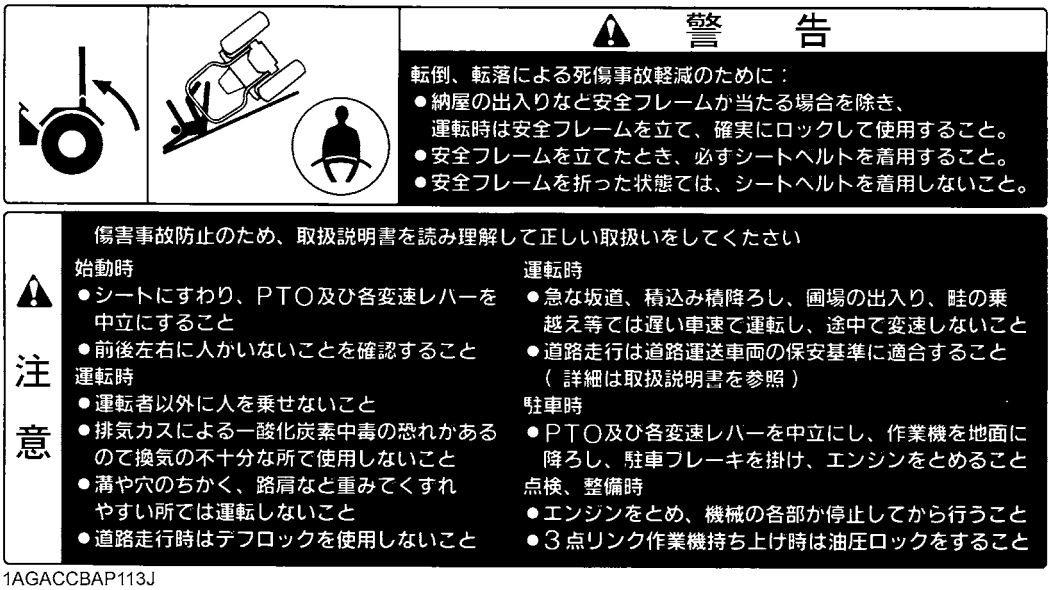
(5)品番　T1060-3009-0

1AGADALAP254J



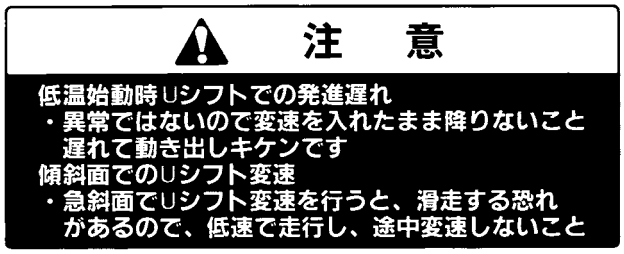
1AGACCBAP110A

(1)品番 T1060-4901-0 ［安全フレーム仕様］



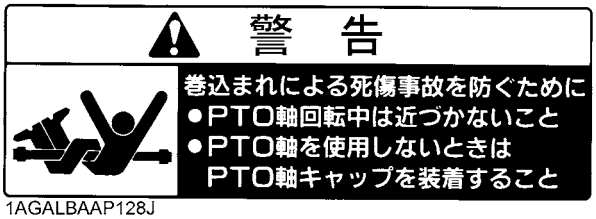
1AGACCBAP113J

(2)品番 T0273-6497-0
［安全フレーム付きUシフト仕様］



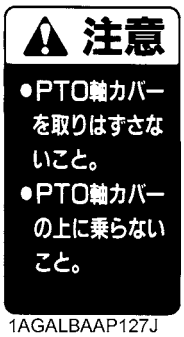
1AGACCBAP114J

(3)品番 T1060-4959-0



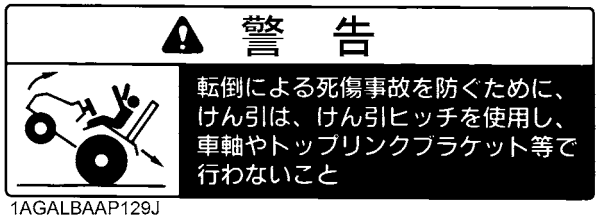
1AGALBAAP128J

(4)品番 T1060-4968-0

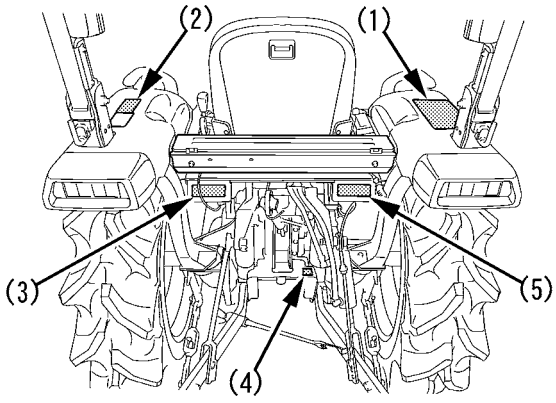


1AGALBAAP127J

(5)品番 T1060-4904-0

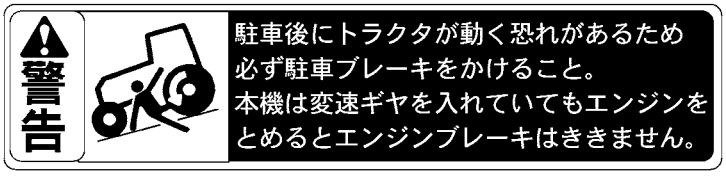


1AGALBAAP129J



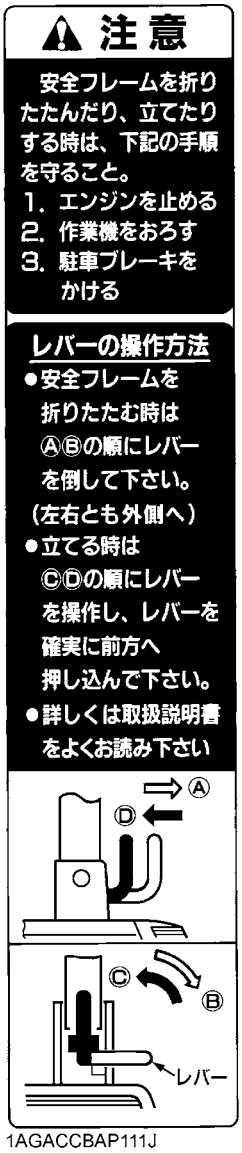
1AGACCBAP080B

(1)品番 T1063-4932-0 ［Uシフト仕様］



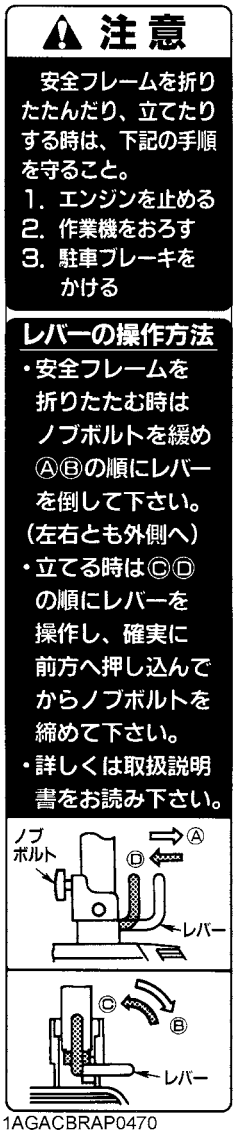
1AGALBAAP093J

(2)品番 T1060-4927-0
［KL225・245(H)・265(H)・
285(H)・315(H)・345(H)・
285-PC・345(H)-PC
安全フレーム仕様］

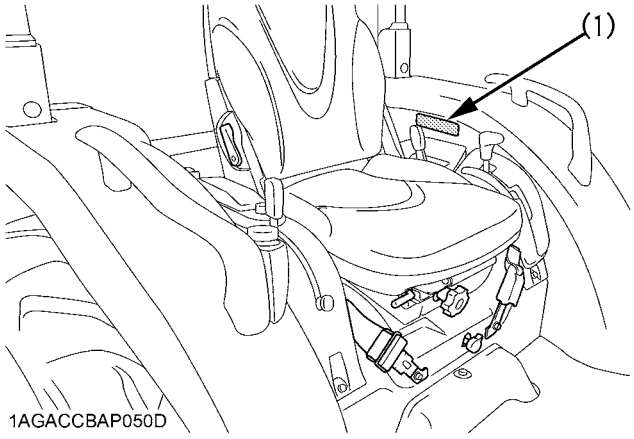


1AGACCBAP111J

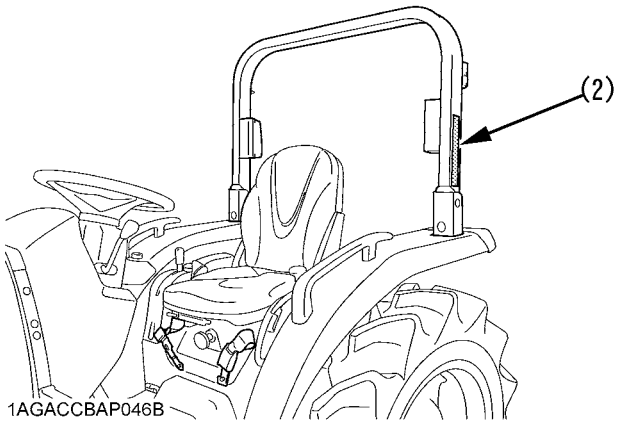
(2)品番 T1150-4927-0
［KL385(H)・415(H)・
465H・505H・
415H-PC・505H-PC
安全フレーム仕様］



1AGACBRAP0470



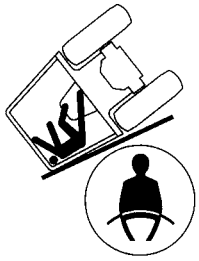
1AGACCBAP050D



1AGACCBAP046B

(1)品番　T1855-4902-0
［安全キャブ仕様］

⚠警告



転倒、転落による死傷事故軽減のために、運転時は必ずシートベルトを着用すること。

1AGACCBAP126J

(2)品番　T1859-4933-0
［安全キャブ付きUシフト仕様］

⚠注意

低温始動時
Uシフトでの発進遅れ
・異常ではないので変速を入れたまま降りないこと。遅れて動き出してキケンです。

傾斜面での
Uシフト変速
・急斜面でUシフト変速を行うと、滑走するおそれがあるので低速で走行し途中変速しないこと。

1AGACCBAP127J

(3)品番　T1855-4901-0
［安全キャブ仕様］

⚠注意

傷害事故防止のため、取扱説明書を読み理解して正しい取扱いをしてください

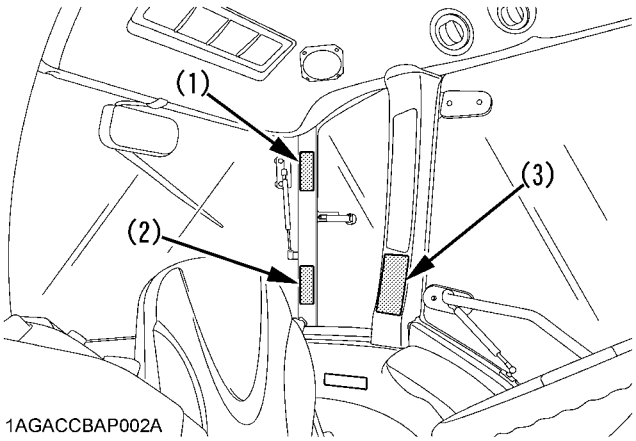
始動時
・シートにすわり、PTO及び各変速レバーを中立にすること
・前後左右に人がいないことを確認すること

運転時
・運転者以外に人を乗せないこと
・排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあるので換気の不十分な所で使用しないこと
・溝や穴のちかく、路肩など重みでくずれやすい所では運転しないこと
・急な坂道、積込み積降ろし、圃場の出入り、畦の乗越え等では遅い車速で運転し、途中で変速しないこと
・道路走行時はデフロックを使用しないこと
・道路走行は道路運送車両の保安基準に適合すること（詳細は取扱説明書を参照）

駐車時
・PTO及び各変速レバーを中立にし、作業機を地面に降ろし、駐車ブレーキを掛け、エンジンをとめること

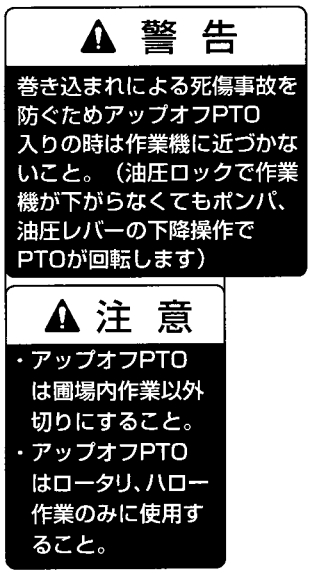
点検、整備時
・エンジンをとめ、機械の各部が停止してから行うこと
・3点リンクで作業機持ち上げ時は油圧ロックをすること

1AGACCBAP128J

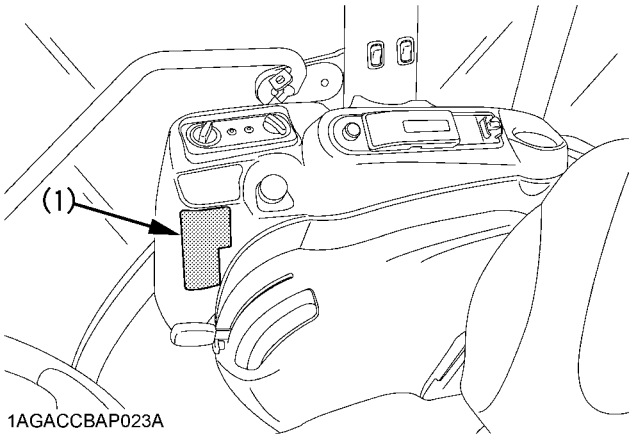


1AGACCBAP002A

(1)品番　T1856-4934-0
［安全キャブ付きN仕様］

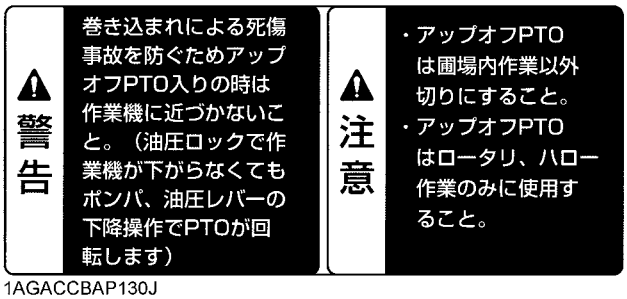


1AGACCBAP129J

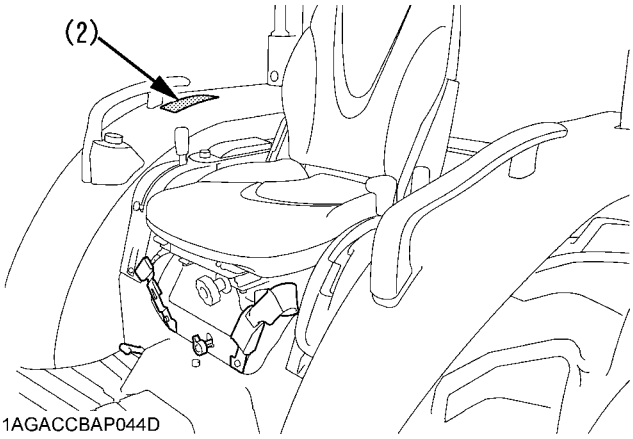


1AGACCBAP023A

(2)品番　T1841-4934-0
［安全フレーム付きN仕様］



1AGACCBAP130J



1AGACCBAP044D

表示ラベルの手入れ

1. ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
   もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
4. 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
5. ラベルが貼付けられている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証／小型特殊自動車としての取扱い

サービスと保証

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

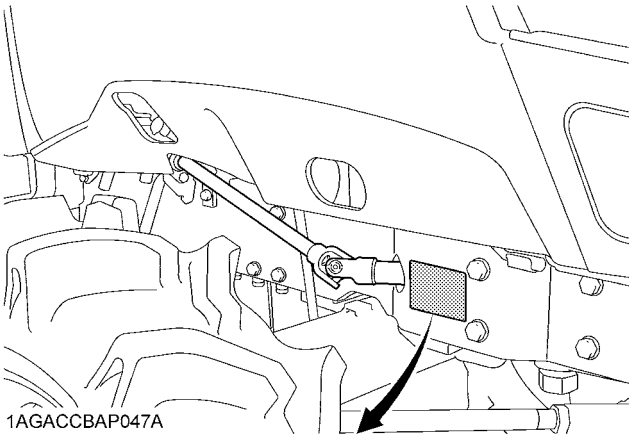
■ ご相談窓口

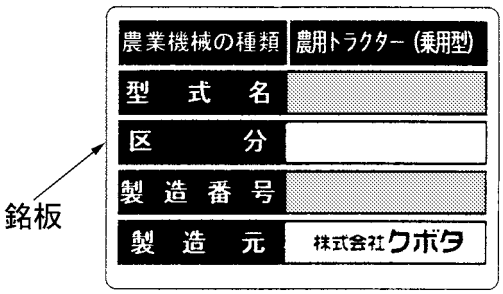
ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際銘板に記載している
1. 型式名
2. 製造番号

を併せてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

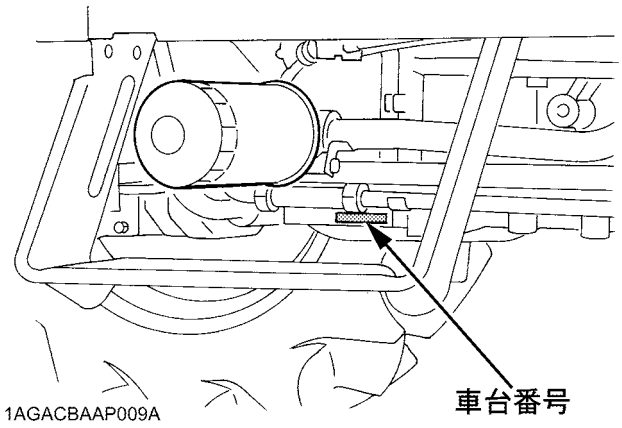
警 告

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

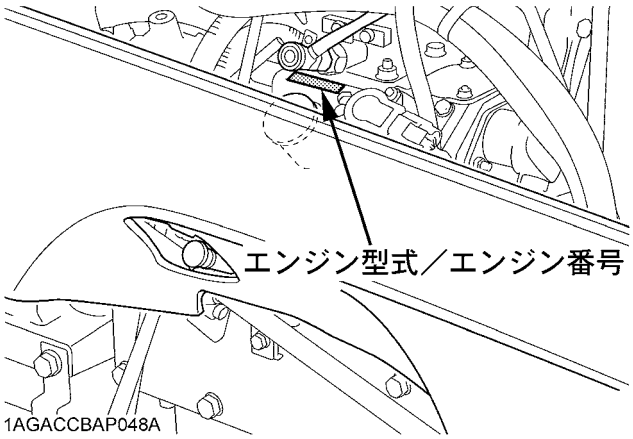

1AGACCBAP047A



1AGACBAAP121A



1AGACBAAP009A



1AGACCBAP048A

■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後 12 年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

サービスと保証／小型特殊自動車としての取扱い

農 機 型 式 名	型式検査（国検）合格番号
クボタ KSQ245　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ265　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ345　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ415　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ555　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ285PC　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ345PC　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ415PC　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSQ505PC　（安全キャブ）	申請中
クボタ KSF25　（安全フレーム）	申請中
クボタ KSF251　（安全フレーム）	申請中
クボタ KSF33　（安全フレーム）	申請中
クボタ KSF41　（安全フレーム）	申請中
クボタ KSF50　（安全フレーム）	申請中

農 機 型 式 名	安全鑑定適合番号	小型特殊自動車車両型式名	型式認定番号
クボタ KL225	申請中	クボタ EDM-KL3A	申請中
クボタ KL245	申請中	クボタ EDM-KL3A	申請中
クボタ KL265	申請中	クボタ EDM-KL3B	申請中
クボタ KL285	申請中	クボタ EDM-KL3B	申請中
クボタ KL315	申請中	クボタ EDM-KL3C	申請中
クボタ KL345	申請中	クボタ EDM-KL3C	申請中
クボタ KL385	申請中	クボタ EDM-KL3D	申請中
クボタ KL415	申請中	クボタ EDM-KL3D	申請中
クボタ KL245H	申請中	クボタ EDM-KL3A	申請中
クボタ KL265H	申請中	クボタ EDM-KL3B	申請中
クボタ KL285H	申請中	クボタ EDM-KL3B	申請中
クボタ KL315H	申請中	クボタ EDM-KL3C	申請中
クボタ KL345H	申請中	クボタ EDM-KL3C	申請中
クボタ KL385H	申請中	クボタ EDM-KL3D	申請中
クボタ KL415H	申請中	クボタ EDM-KL3D	申請中
クボタ KL465H	申請中	クボタ EDM-KL3E	申請中
クボタ KL505H	申請中	クボタ SB-KL3F	申請中
クボタ KL555H	申請中	クボタ SB-KL3G	申請中
クボタ KL285-PC	申請中（Q 仕様）	クボタ EDM-KL3B	申請中
クボタ KL345-PC	申請中（Q 仕様）	クボタ EDM-KL3C	申請中
クボタ KL345H-PC	申請中（Q 仕様）	クボタ EDM-KL3C	申請中
クボタ KL415H-PC	申請中	クボタ EDM-KL3D	申請中
クボタ KL505H-PC	申請中	クボタ SB-KL3F	申請中

小型特殊自動車としての取扱い

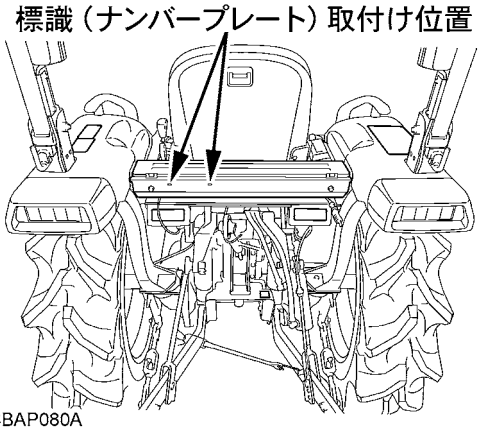
このトラクタは，道路運送車両法の小型特殊自動車に該当します。

■ 小型特殊自動車取得の届出と標識（ナンバープレート）の取付け

新たに小型特殊自動車の所有者となった者は，市町村条例により，その取得したことを市町村役所に届けて，標識（ナンバープレート）の交付を受けなければなりません。
手続きは市町村により，多少異なりますので詳細は，購入先にご相談ください。

1. 小型特殊自動車を購入したときは，販売証明書など（購入先で発行）に，軽自動車税を添えて市町村役所に届出ます。
2. 届出が済むと標識（ナンバープレート）が交付されます。
3. 標識（ナンバープレート）は，車体の取付け位置に取付けてください。

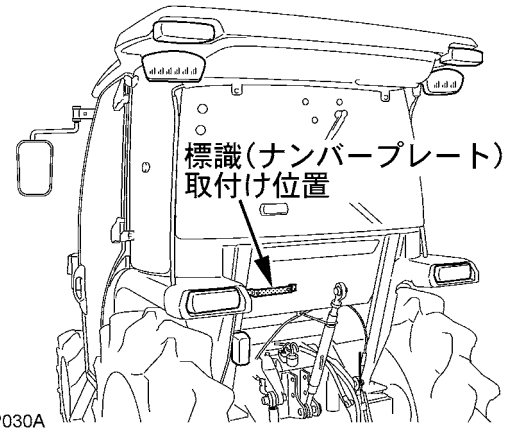
◆ 安全フレーム仕様



1AGACCBAP080A

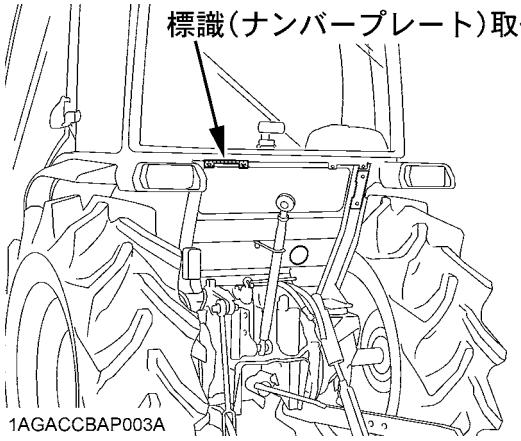
◆ 安全キャブ仕様

[KL225・245 (H)・265 (H)]



1AGACCBAP030A

[KL285 (H)・315 (H)・345 (H)・385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]



1AGACCBAP003A

■ 運転免許

公道を走行する場合は，次の運転免許証が必要です。必ず所持してください。

型　　式	免　許　証
KL225, 245, 265, 285, 315, 345, 385, 415, 285-PC, 345-PC	小型特殊自動車を運転できる免許証
KL245H, 265H, 285H, 315H, 345H, 385H, 415H, 465H, 505H, 555H, 345H-PC, 415H-PC, 505H-PC	大型特殊自動車を運転できる免許証

重　要

＊ KL245H, 265H, 285H, 315H, 345H, 385H, 415H, 465H, 505H, 555H, 345H-PC, 415H-PC, 505H-PC は道路運送車両法上の小型特殊自動車に該当しますが，**[道路交通法]** では，大型特殊自動車に該当します。従って公道を走行する場合は，**[大型特殊自動車の運転免許証]** が必要です。

■ 損害賠償保険について

万一の交通事故補償に備え，任意保険に加入されることをお勧めします。

重　要

＊ エンジンで封印されている所はさわらないでください。(封印が外されたと認められる場合は，一切の保証は致しません。)

補　足

＊ インプルメントを装着した状態では**【道路運送車両法の保安基準】**を満足しませんので，道路走行することはできません。
＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め**【道路運送車両の保安基準】**第 42 条（灯火の色等の制限）において，**【走行中に使用しない灯火】**とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

運転のしかた

運転前の点検

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。日常点検は一日一回，運転前に欠かさず行なってください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章を参照。）

注　意

＊ 運転前にブレーキ・クラッチ・ステアリングや安全装置などの日常点検を行ない，摩耗や損傷している部品があれば交換してください。また，定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。
＊ 点検をするときは，必ず作業機を降ろしエンジンを停止してから行なってください。
＊ 燃料補給時は，くわえタバコ・裸火照明はしないでください。
＊ 燃料・オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。
＊ 運転中及び停止直後は，ラジエータの圧力キャップを絶対に開けないでください。熱湯が噴出してヤケドをするおそれがあります。
＊ エンジン周囲のカバー類を開けて点検・整備するときは，次の手順に従ってください。
1. エンジン停止後 30 分経過してから開ける。
2. 点検・整備で内部に触れるときは，ヤケドのおそれがないことを確認する。

重　要

各部への給油と交換
＊ 点検するときはトラクタを水平な場所に置いて行なってください。傾いていると正確な量を示さないことがあります。
＊ 使用するエンジンオイル，ミッションオイルは，必ず指定**［クボタ純オイル］**を使用してください。

エンジンの始動と停止

警　告

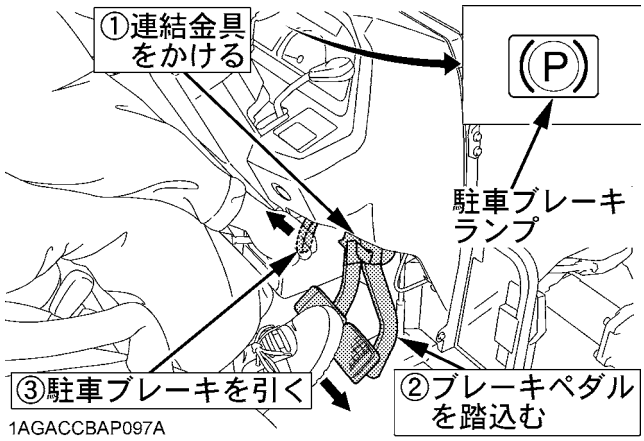
- **この取扱説明書前編の黄色のページの［安全に作業するために］の内容を必ずお読みください。**
- **トラクタに貼ってある⚠表示ラベルの内容を必ずお読みください。**
- **エンジンを始動する前に，必ずシートに座り，主変速，シャトルレバーや PTO 変速レバーが［中立］(N) かどうか，また駐車ブレーキが掛かっているかを確認してください。**
- **トラクタが突然動き出すおそれがあるため，地上に立ってエンジンを始動したり，スタータ端子や安全スイッチを直結してエンジンを始動しないでください。**
- **室内やビニールハウス内などで運転する場合は，換気を十分に行なってください。換気が不十分であると排気ガスにより，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。**

■始動のしかた

1. 駐車ブレーキをかけます。

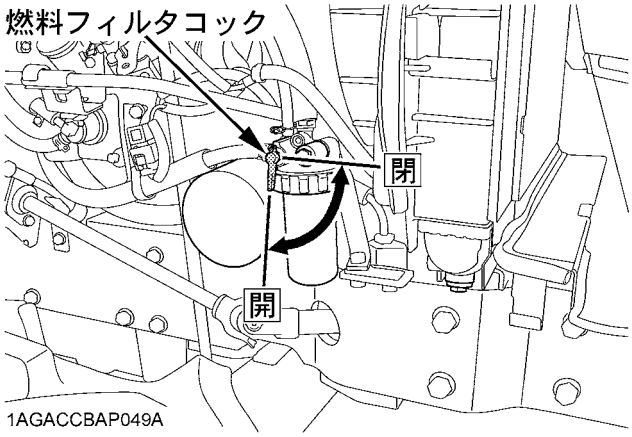
ブレーキペダルを左右連結して踏込み，レバーを**[引い]**たまま足をはなすと駐車ブレーキが掛かります。

キースイッチ**［入］**時，駐車ブレーキを掛けると，メータパネル内の(Ⓟ)ランプが点灯します。



1AGACCBAP097A

2. 燃料フィルタコックを［開］にします。



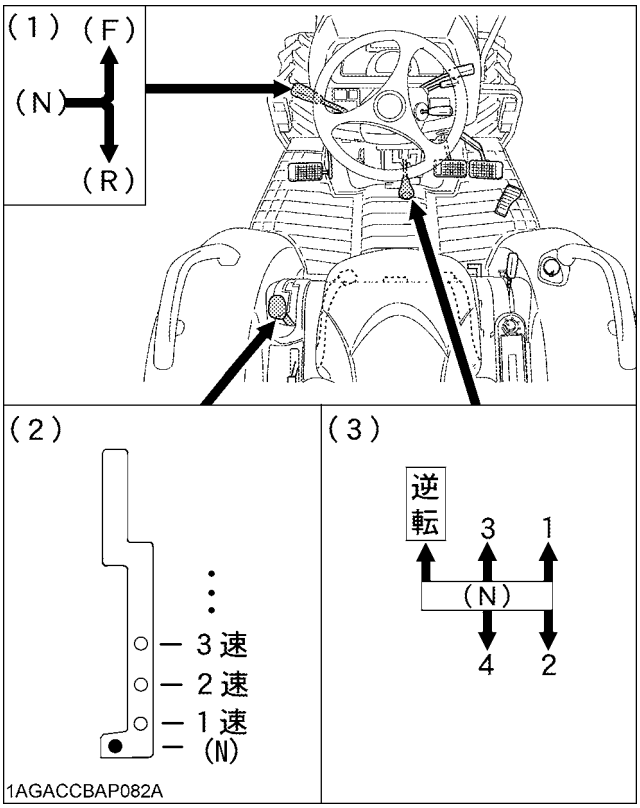
1AGACCBAP049A

3. 主変速レバー，シャトルレバー，PTO 変速レバーを［中立］(N) にします。

補　足

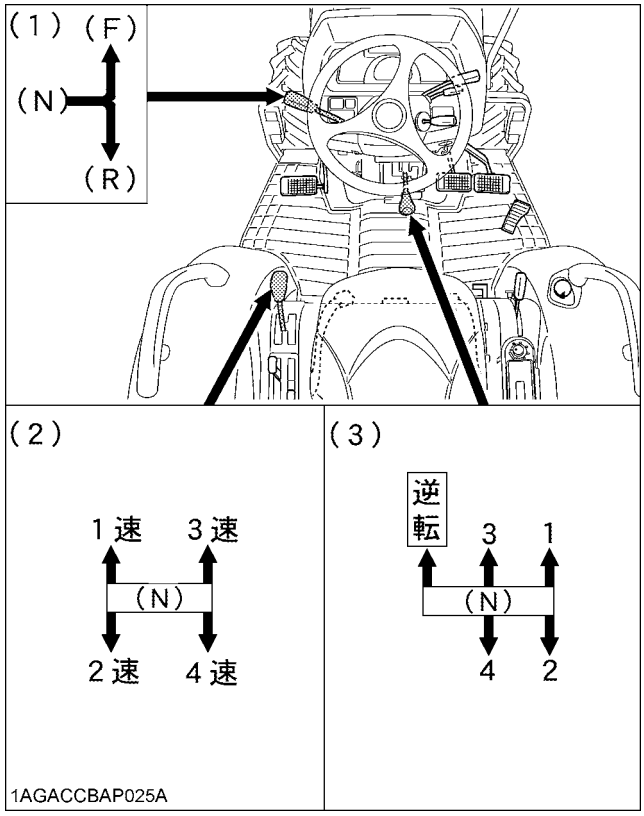
＊ シャトルレバーと PTO 変速レバーを**［中立］(N)** 又は，あんしん PTO スイッチを**［切］［N 仕様］**にしないと，安全スイッチが作動してエンジンは始動しません。

◆ U シフト (F) 仕様



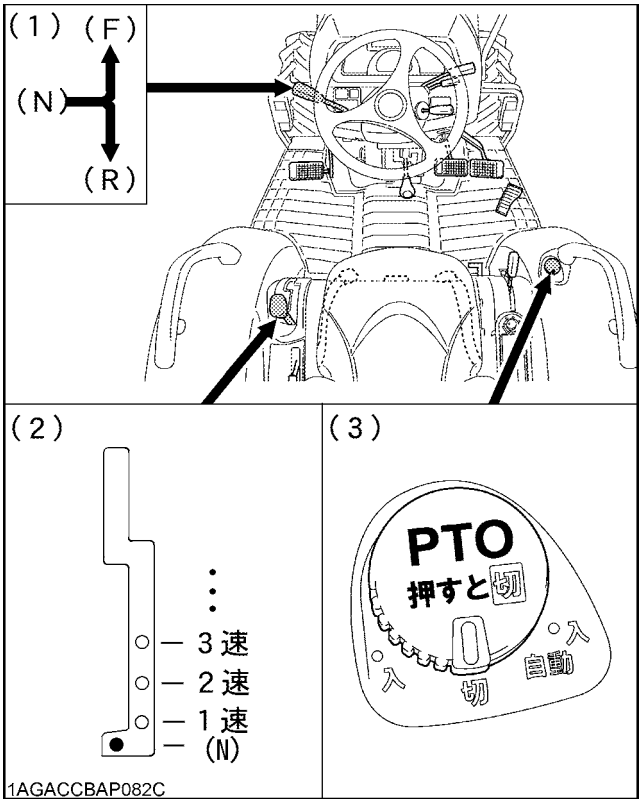
(1) シャトルレバー
(F)［前進］
(N)［中立］
(R)［後進］
(2) 主変速レバー
(3) PTO 変速レバー

◆ マニュアルシフト仕様



(1) シャトルレバー
(F)［前進］
(N)［中立］
(R)［後進］
(2) 主変速レバー
(3) PTO 変速レバー

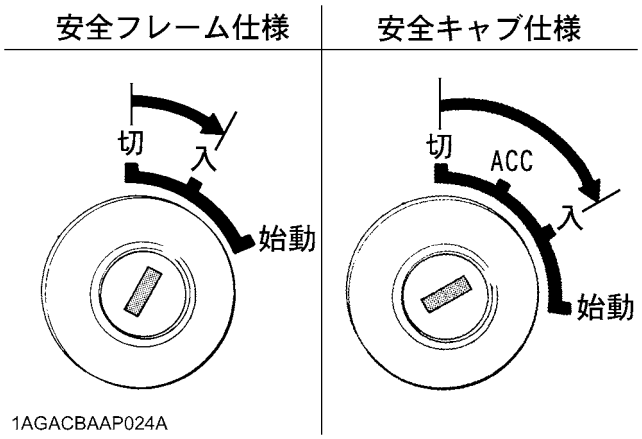
◆ あんしん PTO（N）仕様



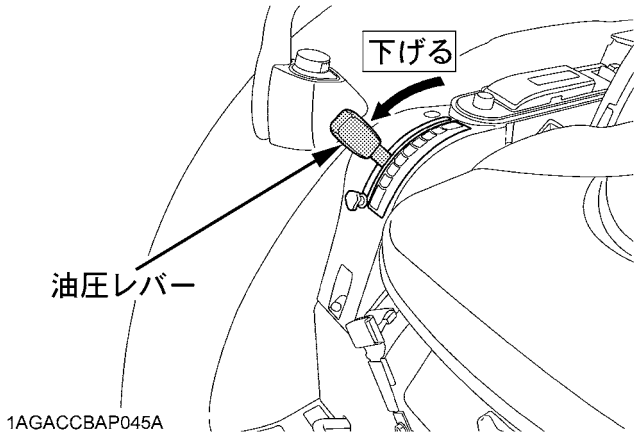
(1) シャトルレバー
(F)［前進］
(N)［中立］
(R)［後輪］
(2) 主変速レバー
(3) あんしん PTO スイッチ

PTO 変速レバーは**［中立］(N)** にしなくてもエンジンを始動できます。

4. キースイッチにキーを差込み［入］位置にします。



5. 油圧レバーを［前方に倒し］作業機を下げます。



補　足

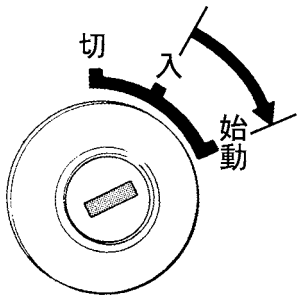
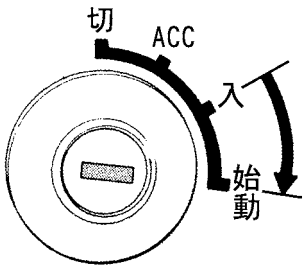
＊ 油圧ロックされている場合は下がりません。（**［作業のしかた］**の章の**［作業機昇降装置］**の項を参照）
＊ ポンパランプが点滅している場合は，油圧レバーを後方に引き点滅を解除してください。

6. クラッチペダルを［踏込み］ます。

補　足

＊ エンジンはクラッチペダルを踏込まなくても始動できますが，安全確保のため踏込んでください。

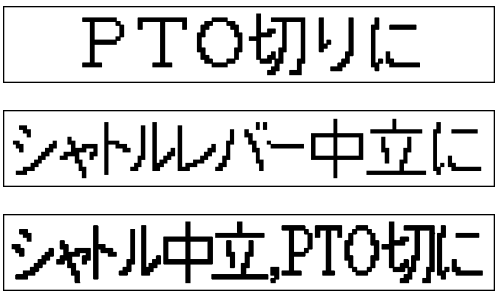
7. キーを［始動］位置に回します。

安全フレーム仕様	安全キャブ仕様
	

1AGACBAAP024B

電子メータメッセージ

＊ エンジン始動時，下記のメッセージが表示されると，エンジンは始動できません。メッセージに従ってレバーを**［中立］**又は**［切］**に戻してください。



重　要

＊ セルモータは，大電流を消費しますので，10秒以上の連続使用は避けてください。
10 秒以内で始動しなかった場合は，いったんスイッチを切って，30 秒以上休止してから同じ操作をくり返してください。

8. エンジンが始動したら，キーから手をはなします。

自動的に**［入］**にもどります。

重　要

＊ エンジン回転中は，キーを始動位置にしないでください。セルモータの故障原因になります。

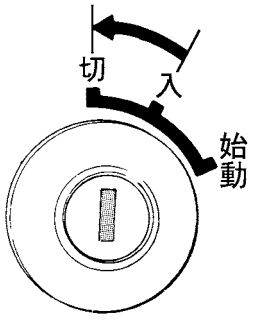
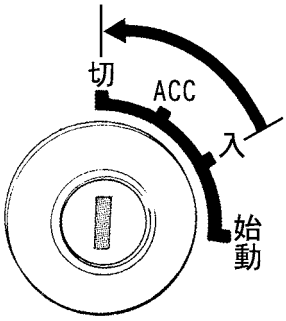
9. 電子メータに［充電系異常］・［エンジン油圧異常］の表示がないか確認します。

もし，表示されている場合は，エンジンを停止し，点検してください。

10. エンジン回転を下げ，クラッチペダルからゆっくり足を離し，そのまま 5 分程度暖機運転しましょう。

■停止のしかた

1. キースイッチのキーを［切］の位置にすると，エンジンは停止します。

安全フレーム仕様	安全キャブ仕様
	

1AGACBAAP024H

重　要

＊ **KL555H 仕様**のエンジンの停止は，５分間アイドリング運転してからにしてください。
高速負荷運転後，急にエンジンを停止するとターボチャージャに悪い影響を与えます。

2. キーは必ず［抜き］ましょう。

重　要

＊ キースイッチの切り忘れによるバッテリあがり防止のため，必ずキーを抜いてください。

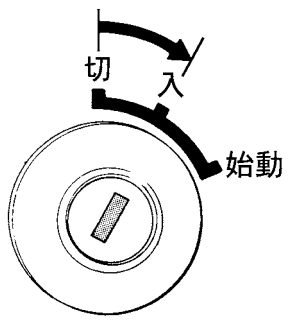
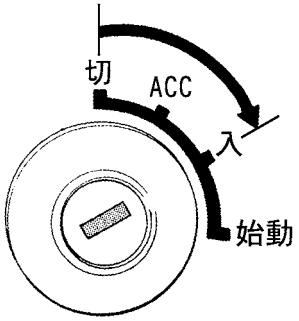
■キースイッチ

切・・・・・・・・・ エンジンが停止し，キーが抜き差しできる位置。

ACC・・・・・・・・ **（安全キャブ仕様）** エンジン停止中，ラジオ付き CD プレーヤが使えます。
（この位置で，長時間使用しないでください。バッテリあがりの原因になります。）

入・・・・・・・・・ 燃焼室内を予熱する位置。
エンジン回転中の位置，すべての電気装置が使えます。

始動・・・・・・・ エンジンを始動する位置。手を離せば自動的に **［入］** に戻ります。

安全フレーム仕様	安全キャブ仕様
	

1AGACBAAP024A

電子メータメッセージ

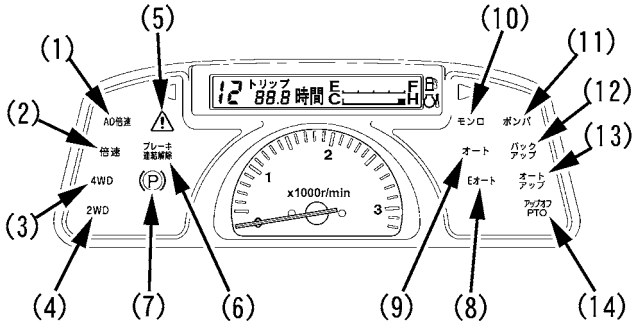
＊ キースイッチ **［入］** 時，予熱が完了すると自動的にグロー表示が消えます。
（U シフト（F）仕様では予熱完了後，変速レバーが中立時 **［N］**，変速が入っているときは **［変速段数］** が表示されます。）

グロー表示

＊ エンジンオイルが交換時間に達している場合（初回 50 時間，以降 100 時間ごと），キースイッチ **［入］** 時などで下記メッセージが約５秒間表示されます。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］** の章の **［100 時間ごとの点検・整備］** の **［エンジンオイルの交換］，［電子メータメッセージのリセット法］** の項を参照）

◆ モニタランプ

キースイッチを**［入］**位置にすると，ランプ切れチェックのため，(1) ～ (6)，(8) ～ (14) のランプが約 1 秒間点灯します。(**［運転のしかた］**の章の**［電子メータ］**の項を参照)



1AGACCBAP056B

(1) AD 倍速ランプ
(2) 倍速ランプ
(3) 4WD ランプ
(4) 2WD ランプ
(5) 警告ランプ
(6) ブレーキ連結解除ランプ
(7) 駐車ブレーキランプ

以下は MA・MAD 仕様
(8) E オートランプ
(9) オート耕うんランプ
(10) モンローマチックランプ
(11) ポンパランプ
(12) バックアップランプ
(13) オートアップランプ
(14) アップオフ PTO ランプ
(N 仕様)

補　足

＊ 各スイッチの状態によりランプ切れチェック後、消灯や点灯のままのランプもあります。

■寒冷時の暖機運転

注　意

＊ 換気が不十分な所では，暖機運転はしないでください。
換気が不十分であると排気ガスにより，一酸化炭素中毒のおそれがあります。
＊ 暖機運転中は必ず駐車ブレーキを掛けてください。

始動後，約 5 分間は負荷をかけずに暖機運転をしてください。オイルを各メタルに十分ゆきわたらせるためで，始動してからすぐ負荷をかけると，焼付きや破損など故障の原因になりますのでご注意ください。

◆ U シフト (F) 仕様

U シフトは油圧で作動し，その油圧オイルはトランスミッションオイルを兼用しています。そのため必ず下記の要領で暖機運転を行ない，トランスミッションオイルを暖めてください。暖機運転を行なわないと，満足な性能が得られないばかりか故障の原因になります。

気　　温	暖機運転時間
-10 ℃以上	5 分間
-10 ～ -20 ℃	5 ～ 10 分間
-20 ℃以下	20 分間以上

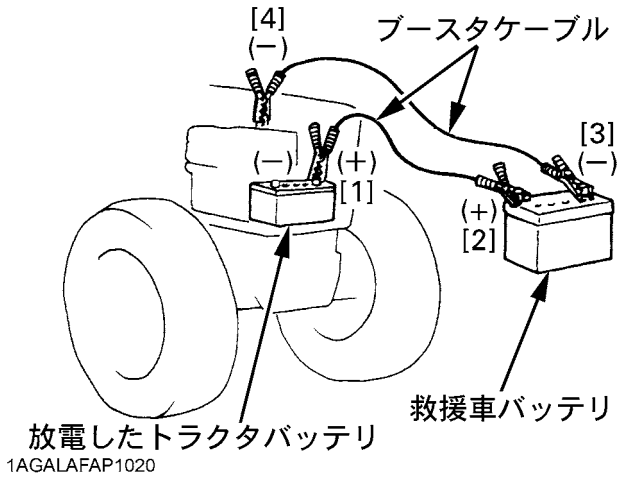
■バッテリあがりの処置

ブースタケーブル（別売）があれば，他車のバッテリを電源としてエンジンを始動することができます。

1. ブースタケーブルを図の番号順で接続します。

＊ バッテリの（＋）端子同士を接続します。

＊ マイナスケーブルの他端【4】の接続位置は，バッテリから離れたエンジン本体に接続します。
（マイナスケーブルの他端【4】を直接バッテリの（−）端子に接続すると，バッテリから発生する可燃ガスに引火するおそれがあります。）



2. 救援側の車を始動し，少しエンジン回転を高めに保ちます。
3. トラクタのエンジンを始動します。
（**【運転のしかた】**の章の**【エンジンの始動と停止】**の項を参照）
4. ブースタケーブルを接続順序の逆で外します。

重　要

＊ 救援車は必ず 12V バッテリ車を使用してください。

＊ ケーブル接続の際には，（＋）と（−）端子を絶対に接触させないでください。

＊ ケーブルが冷却ファンなどに巻込まれないようにしてください。

＊ ケーブル接続の際には，（＋）と（−）をよく確認し，絶対に逆に接続しないでください。逆に接続すると，トラクタや救援車の電子機器類が破損する場合があります。

■ならし運転（最初の約 50 時間）

この期間中は，特に次のことを厳守してください。

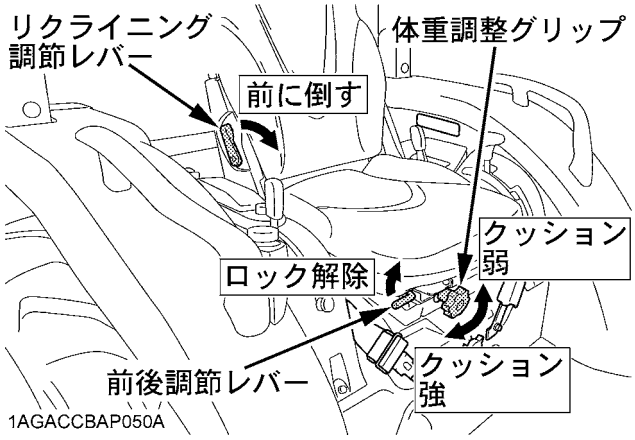
1. 急なスタート，急ブレーキは慎んでください。
2. 必要以上のスピードや負荷をかけないようにしてください。
3. 運転は，エンジンが十分暖まってから行なってください。
4. 悪路や傾斜地では，速度を落とし安全を確認しながら走行してください。
5. 50 時間使用後，**【定期点検箇所一覧表】**に従い各部の点検，オイル交換などを行なってください。

運転席周りの調節

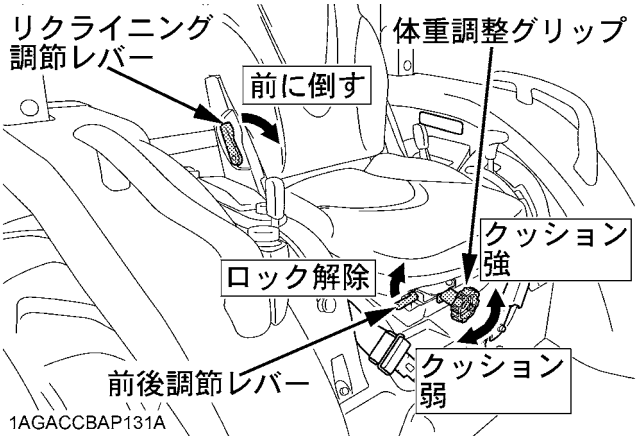
■シート

1. 前後調節レバーでロックを**【解除】**すると，前後位置が調節できます。
2. リクライニング調節レバーを**【前に倒す】**と，背もたれの角度が調節できます。
3. 体重調整グリップを**【回す】**と，クッションの強さが調節できます。
4. 雨のときはシートを前に倒しておくと，ぬれる心配がありません。**【安全フレーム仕様】**

【KL225・245 (H)・265 (H)】
【KL285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC 安全フレーム仕様】



【KL285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC 安全キャブ仕様】
【KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC】

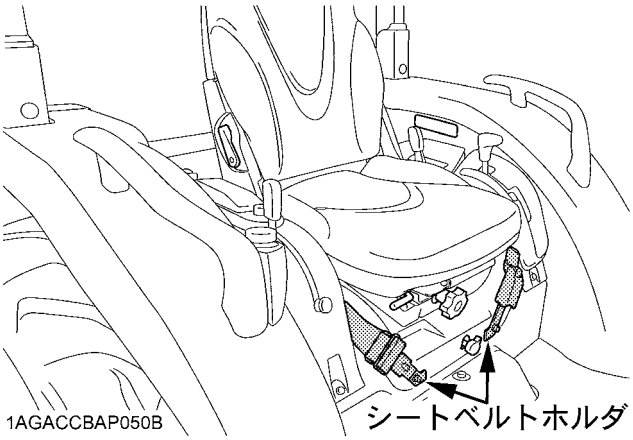


補　足

* 体重調整グリップの回動が固い場合，ネジ部に少量のグリースを塗布してください。
* シートサスペンションのスムーズな作動のために，スプリングのフック部に適宜グリースを塗布してください。
* 体重調整グリップは操作力を軽くしているので体重調整はたくさん回す必要があります。(最軽から最重まで約 19 回転です。)
  【KL285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC 安全キャブ仕様】
  【KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC】

■シートベルトホルダ

降車後は，シートベルトをシートベルトホルダに収納してください。

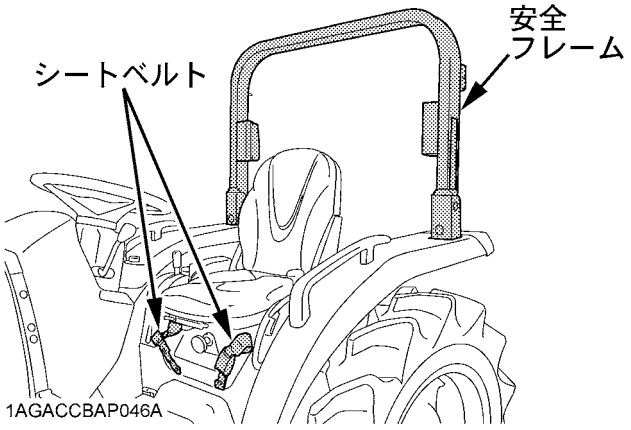


■安全キャブ・安全フレームとシートベルトについて

警　告

転倒・転落による死傷事故防止のため，下記のことを守ってください。

- **＊ トラクタを使用するときは，安全フレームを外して運転しないでください。**
- **＊ 納屋の出入りやハウス作業など，安全フレームが当たる場合を除き，運転時はいつも安全フレームを取付けて立て，確実に固定し，必ずシートベルトを着用してください。**
- **＊ 安全フレームを折りたたんだ状態では，シートベルトを絶対にしないでください。折りたたみ式安全フレームは，折りたたんだ状態では安全フレームの役目をしません。**
- **＊ 安全キャブ又は安全フレームの改造を絶対にしないでください。また，強度に影響する破損，曲がりなどが発生した場合，交換してください。**
- **＊ 安全フレームを立てたときは，左右のレバーを押込んで確実に固定してください。また日常点検時，レバーにガタがないか確認してください。**
- **＊ 安全フレームが確実に固定されているか確認してください。**
- **＊ シートベルトは作業者の身体に合わせ長さを調節してください。**
- **＊ 安全フレームを折りたたんだり，立てたりするときは，平坦な場所で必ず作業機を地面に降ろし，エンジンを止め，駐車ブレーキを掛けてから行なってください。**

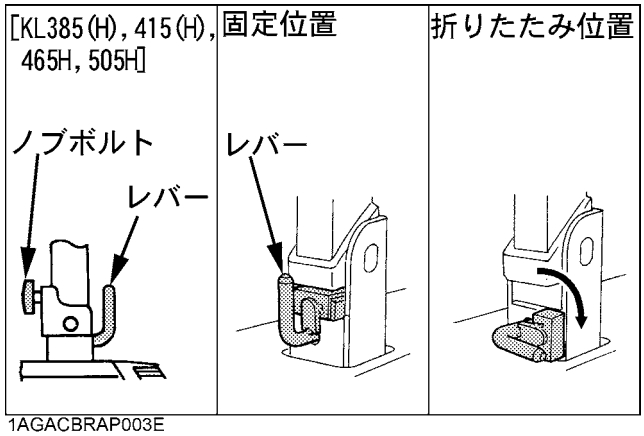


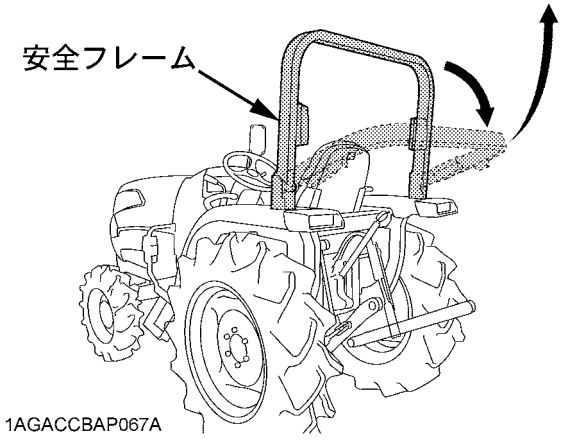
◆ 折りたたみ方法

1. ノブボルトを緩めます。
   [KL385(H)・415(H)・465H・505H]
2. レバーを後方へ引き，そのまま外側に倒します。(左右共)
3. 安全フレームをゆっくりと後方へ折りたたみます。

補　足

＊ 安全フレームを折りたたむと，作業機の状態によっては安全フレームと作業機が接触する場合があります。接触しないことを確認して折りたたんでください。





◆ 起こす方法

1. 安全フレームを前方へ動かなくなる位置まで完全に起こします。
2. レバーを立ててそのまま前方へ確実に押し込みます。(左右共)
3. ノブボルトを締めます。
   [KL385 (H) ・415 (H) ・465H・505H]
4. 安全フレームにガタがないか確認してください。

電子メータメッセージ

＊ エンジン始動時下記のメッセージが３秒間表示されます。シートベルトを正しく装着してください。

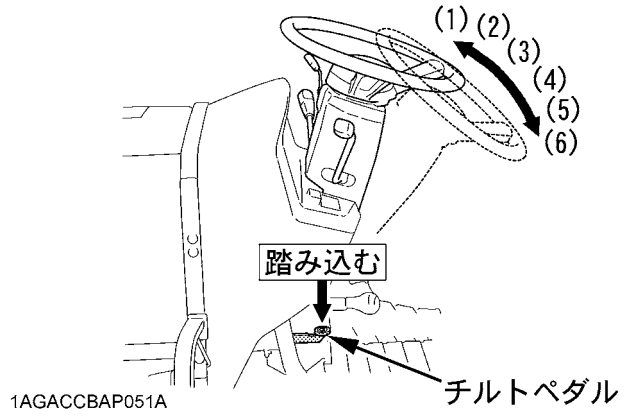
シートベルトして下さい

■チルトステアリングハンドル

注 意

＊ 走行中の調節はしないでください。
＊ 調節後，ハンドルがロックされていることを確認してください。

チルトステアリングハンドルの操作はチルトペダルを踏み込んで（1）～（6）の適当な位置でペダルをはなして位置を決めてください。
(1) …… 乗り降り時の位置
(2) ～ (6) ……運転操作位置



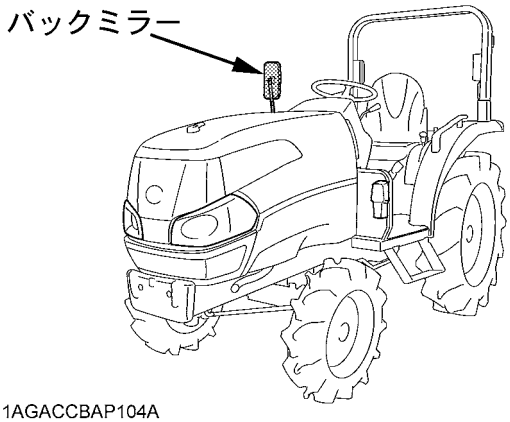
1AGACCBAP051A

■バックミラー

1. バックミラーは，上下・左右に角度調節できますので，運転席に座って見やすい位置に調節してください。
2. バックミラーは，格納できますので狭い場所などで利用してください。**[安全キャブ仕様]**

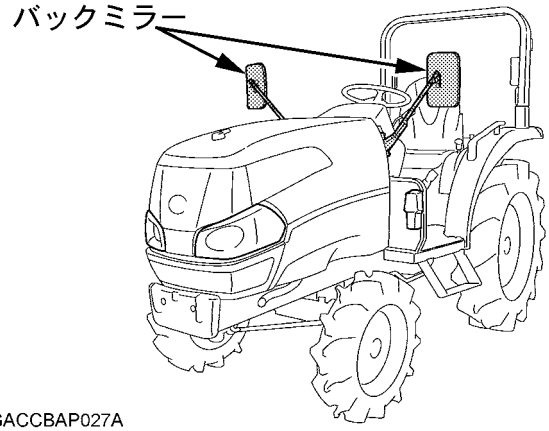
◆ 安全フレーム仕様

[KL225・245・265・285・315・345]



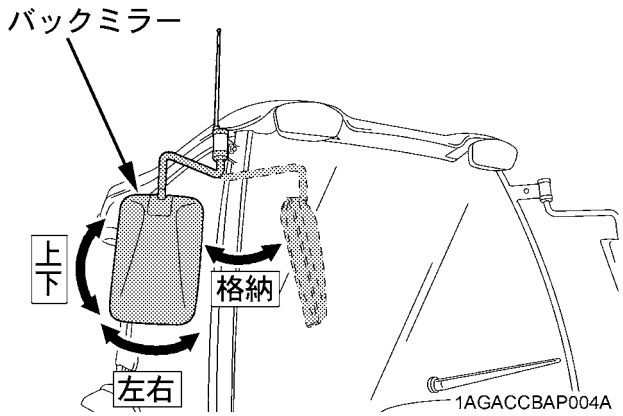
1AGACCBAP104A

[KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]



1AGACCBAP027A

◆ 安全キャブ仕様

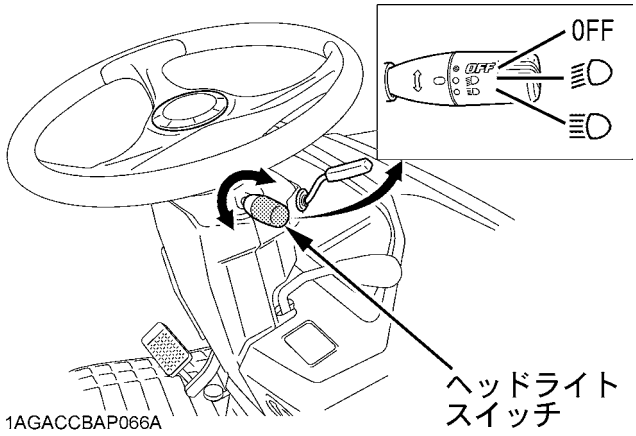


1AGACCBAP004A

灯火類の操作

■ヘッドライトスイッチ

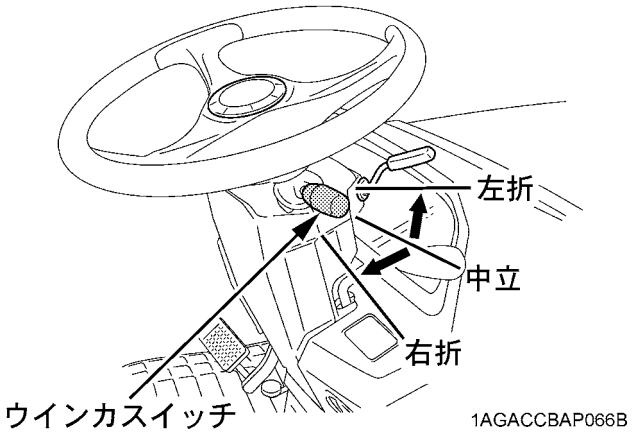
ノブを回すとスイッチが入り，位置によって次のランプが点灯します。

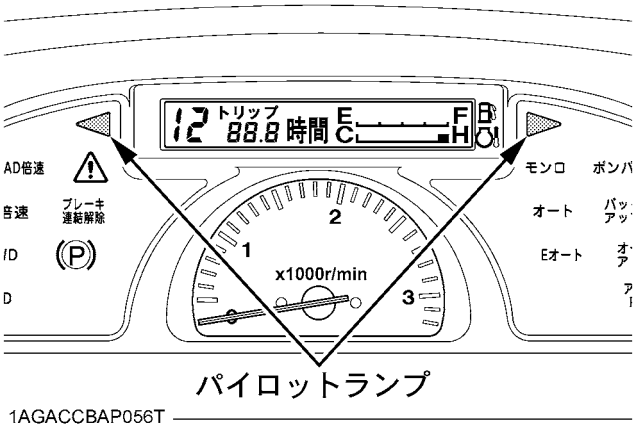


OFF……ヘッドライト消灯位置
……ヘッドライト下向き照射位置
……ヘッドライト上向き照射位置

■ウインカスイッチ

1. スイッチを前後操作すると，ウインカランプ及びメータパネル内のパイロットランプが点滅します。
   前……左折
   後……右折
2. スイッチはハンドルを戻すと，自動的に**【中立】**に戻るオートリターン機構になっています。



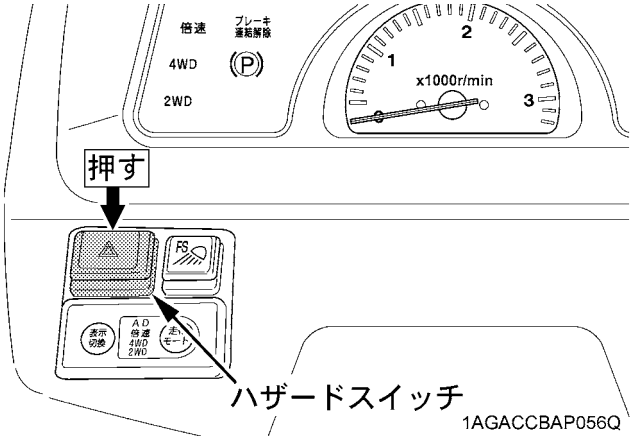


補　足

＊ ハンドルを切る角度が小さいとレバーが**【中立】**に戻らない場合があります。戻らないときは手で戻してください。

■ハザードスイッチ

故障などで停止した場合，事故を防止するために使用します。スイッチを押すとウインカ前後及びメータパネル内のウインカ作動パイロットランプが点滅し，停止中を知らせます。
再度スイッチを押すと消灯します。

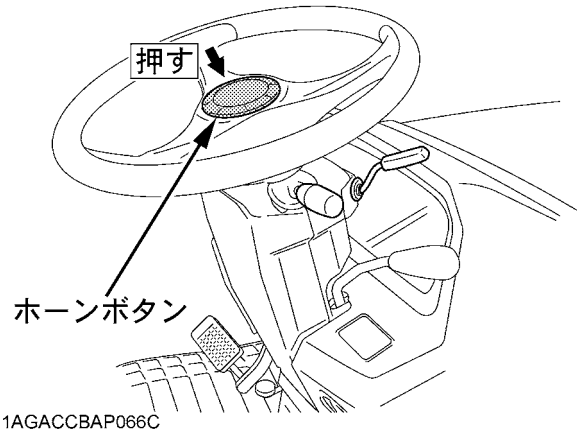


補　足

＊ ハザードランプはキースイッチ【切】【ACC】位置では作動しません。

■ホーンボタン

ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。

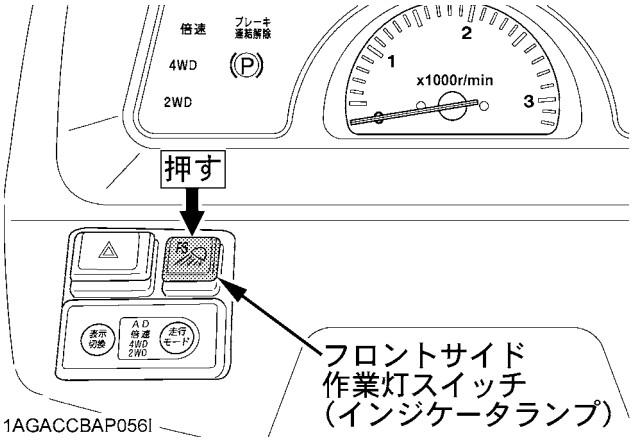


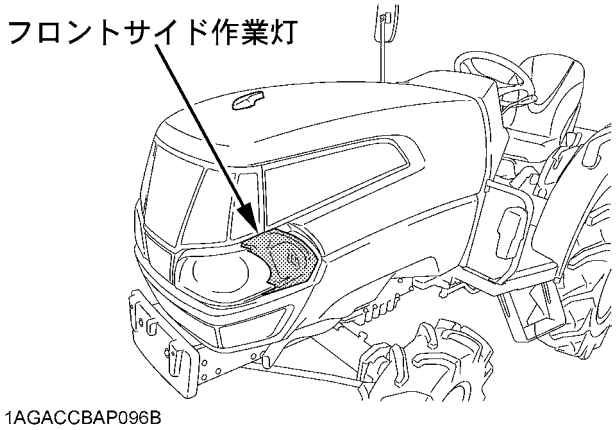
補　足

＊ ホーンはキースイッチ【切】【ACC】の位置では作動しません

■フロントサイド作業灯

スイッチを押すとフロントサイド作業灯が点灯します。再度スイッチを押すと消灯します。
作業灯の点灯を示すインジケータランプがスイッチに内蔵されています。





補　足

＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め**［道路運送車両の保安基準］**第 42 条（灯火の色等の制限）において，**［走行中に使用しない灯火］**とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

以下のランプ類は KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様，KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC 型のトラクタのみに該当します。

■バックランプ

シャトルレバーを**［後進］**の位置に入れると，バックランプが点灯します。

■ブレーキランプ

ブレーキペダル左右を連結金具で連結し，ブレーキペダルを踏むと，ブレーキランプが点灯します。

■車幅灯・尾灯

ヘッドライトに連動して点灯します。

■外部電源・信号取出端子

◆ 電源カプラ

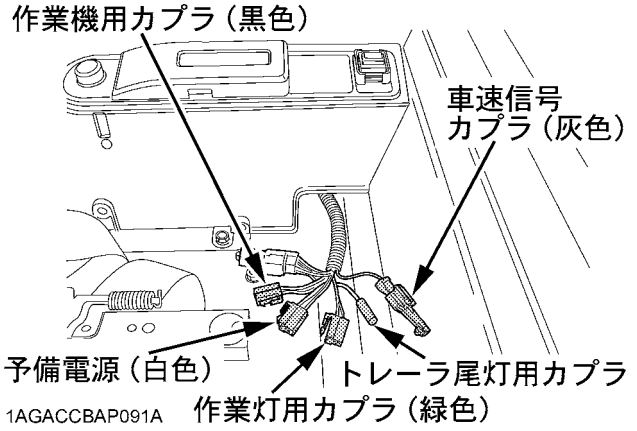
作業灯，トレーラ尾灯，ローダ電源，予備電源を使用するときは，シート後部に各々のカプラがあります。又は，インプルメントに車速信号を伝達する車速信号カプラがあります。

補　足

＊ 安全キャブ仕様の，作業灯用カプラはルーフの前・後にあり，既に接続されています。安全キャブ仕様は，次の図 2P カプラ（緑色）に外部電源ソケットが接続されています。

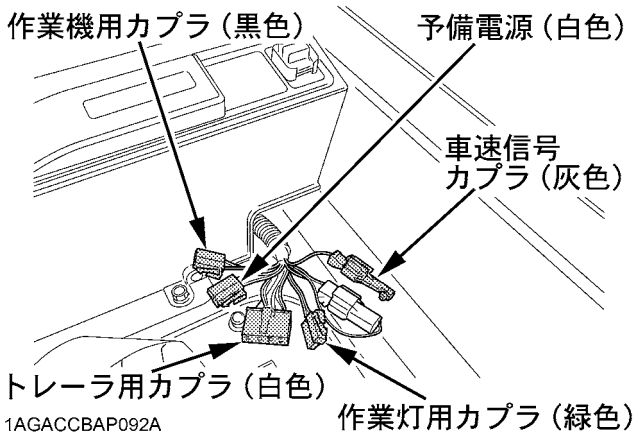
＊ 車速信号カプラは接続を必要とする専用インプルメントにのみ使用してください。出荷時にはキャップがしてありますので，インプルメントを使用しないときは必ずキャップを装着してください。故障の原因になります。

[KL225・245・265・285・315・345 安全フレーム仕様]



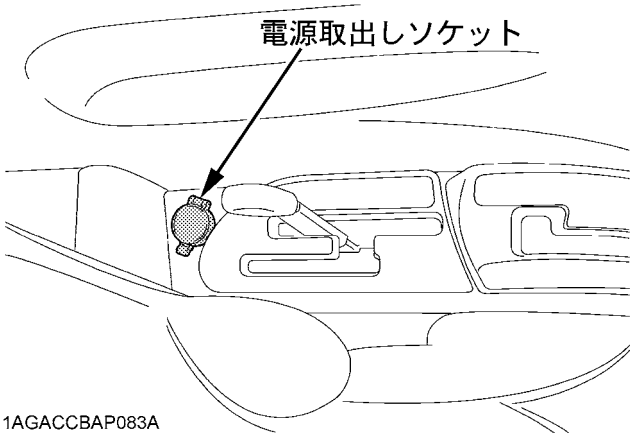
トレーラ尾灯	1P カプラ
作業灯 **[安全フレーム仕様]**	2P カプラ（緑色）
作業機（ローダ）	2P カプラ（黒色）
予備電源 **[安全フレーム仕様]**	2P カプラ（白色）
車速信号カプラ	1P カプラ（灰色）

[KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様]
[KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]

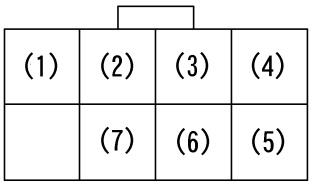


トレーラ	8P カプラ（白色）
作業灯 **[安全フレーム仕様]**	2P カプラ（緑色）
作業機（ローダ）	2P カプラ（黒色）
予備電源 **[安全フレーム仕様]**	2P カプラ（白色）
車速信号カプラ	1P カプラ（灰色）

[安全キャブ仕様]



◆トレーラカプラ電源
[KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様]
[KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]



1AGACBAAP204E

電源	配線色	
	安全フレーム仕様	**安全キャブ仕様**
(1) アース	黒	黒
(2) 駐車灯	緑赤	青白
(3) フラッシャ左	緑青	緑青
(4) ブレーキランプ	黄赤	緑
(5) フラッシャ右	黒白	緑赤
(6) テールランプ	緑赤	青白
(7) バックランプ	黄橙	紫

重 要

＊ ローダ電源，予備電源は同時には使用できません。ヒューズ切れの原因になります。

走行装置の取扱い

■発進・走行

警 告

＊ トラクタを発進するときは前後左右をよく確認し，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
また，安全キャブや安全フレームに当たる障害物がないかも確認してください。
＊ 子供はもちろん，運転者以外の人を乗せてトラクタを運転しないでください。また，必ずシートに座って運転してください。
＊ 溝や穴の近く，路肩などトラクタの重みでくずれやすい所では運転しないでください。
転落事故のおそれがあります。
＊ 急な坂道の登坂はバックで行なうか，作業機をできるだけ下げ，転倒防止に心がけてください。
＊ 下り坂は，エンジンブレーキを使用してください。ブレーキペダルを踏むだけで降りないでください。
＊ 負荷の大きいけん引をする場合や湿田脱出の場合には，徐々に発進し，トラクタが後へ転倒しないように注意してください。
＊ 高速で旋回すると，横転するおそれがあります。
デフロックペダルの解除を確認して，必ずスピードを落としてゆっくりと回ってください。
＊ 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。
周囲の状況をよくみて，安全であることを確認してからシャトルレバーを後進位置に入れて，安全な速度で後進してください。
また後進中は，特に周囲の状況によく注意して運転してください。
＊ 運転席足元に空缶，部品などの物を置くとブレーキペダルやクラッチペダルの下にはさまり，ブレーキ操作，クラッチ操作ができなくなり危険です。

[マニュアルシフト仕様]

1. **駐車ブレーキを確認し，エンジンを始動します。**
   （**[運転のしかた]**の章の**[エンジンの始動と停止]**の項を参照）
2. **油圧レバーを［後方に引き］作業機を上げます。**
   （**[作業のしかた]**の章の**[作業機昇降装置]**の項を参照）
3. **クラッチペダルを踏込みます。**
4. **作業に応じ必要なレバー類を操作します。**
5. **エンジンを加速します。**
6. **走行速度を選択します。**
7. **駐車ブレーキを解除します。**
8. **クラッチペダルをゆっくり離し発進します。**

[U シフト仕様]

1. **駐車ブレーキを確認し，エンジンを始動します。**
   （**[運転のしかた]**の章の**[エンジンの始動と停止]**の項を参照）
2. **油圧レバーを［後方に引き］作業機を上げます。**
   （**[作業のしかた]**の章の**[作業機昇降装置]**の項を参照）
3. **クラッチペダルを踏込みます。**
4. **作業に応じ必要なレバー類を操作します。**
5. **エンジン回転を調整します。**
6. **駐車ブレーキを解除します。**
7. **主変速レバーを［１速］に入れます。**
8. **シャトルレバーを［前進］又は［後進］に入れると，トラクタが動き始めます。**
9. **主変速レバーを１段ずつ変速したい位置まで変速してください。**

■停車・駐車

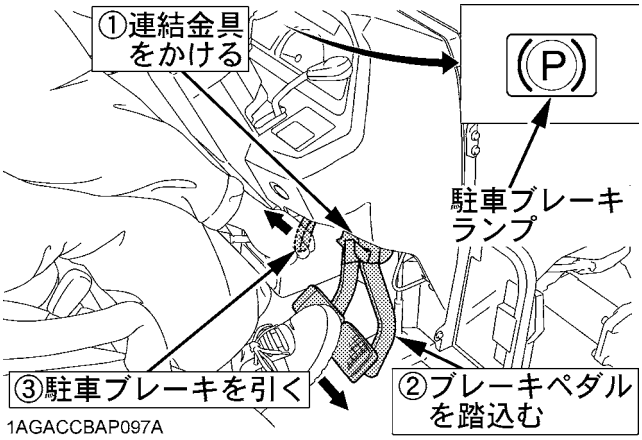
警　告

＊ U シフトは油圧ミッションのため，変速ギヤを入れてエンジンを止めても，エンジンブレーキはききません。駐車後トラクタが動き出さないよう，必ず駐車ブレーキをかけてください

注　意

＊ 駐車するときは，平たんでトラクタが安定する場所を選び，各変速レバー（主変速・シャトル・PTO）を［中立］(N)，作業機を[下げ]，駐車ブレーキを［掛け]，エンジンを［停止］してキーを抜いてください。
やむをえず坂道で駐車する場合は，タイヤに車止めをしてください。
＊ 乾いた草やわらなど可燃物の堆積した場所には，駐車しないでください。
＊ 格納などでトラクタにシートをかける場合は，マフラやエンジンがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ トラクタから降りるときは，ロータリなどの PTO 作業機が完全に止まるまで待ってください。

1. **アクセルレバーを前方に押して，エンジン回転をアイドリング状態にします。**
2. **クラッチ及びブレーキペダルを［踏込み］ます。**
3. **完全に停止してから，シャトルレバー，主変速及び PTO 変速レバーを［中立］(N)，あんしん PTO スイッチを［切］［N 仕様］にします。**
4. **作業機を取付けている場合は，油圧レバーをゆっくり［前方に倒し］作業機を下げます。**
5. **駐車ブレーキを確実に［ロック］してください。**



1AGACCBAP097A

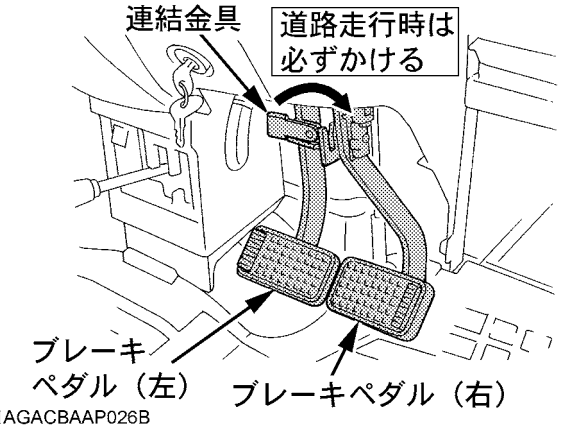
6. **キースイッチを［切］にして，エンジンを停止します。**

■ブレーキペダル

警　告

＊ 道路走行中・登り坂・下り坂及びあぜ越え中は，ブレーキペダルの左右を連結金具で，必ず連結してください。
道路走行中に片ブレーキを踏むと車体が振られ，転倒や交通事故のおそれがあります。

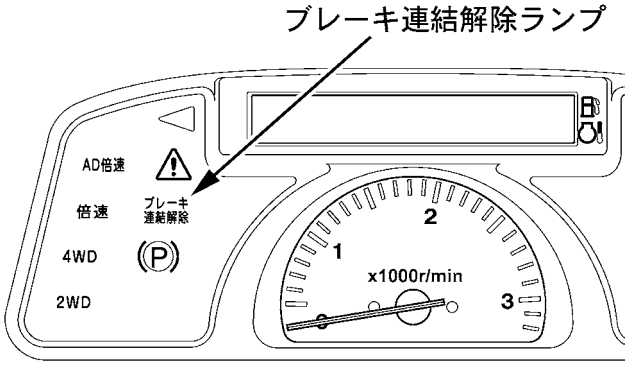
ブレーキは，強制的に機体を停止させる装置で，一般車両と異なり，左右それぞれ独立しており，後輪の片輪だけにブレーキをかけることができます。また連結金具でブレーキペダルをつなぐと，左右両輪のブレーキが同時に働きます。
連結金具をかけた状態……道路走行時。
連結金具を外した状態……農作業時。



1AGACBAAP026B

◆ ブレーキ連結解除ランプ

ブレーキペダル連結金具を外すと**ブレーキ連結解除**ランプが点灯します。道路走行時などでは連結金具をかけ，ブレーキ連結解除ランプの消灯を確認してから，走行してください。



1AGACCBAP056C

電子メータメッセージ

＊ ブレーキペダル連結金具を外したまま，車速が10km/hを超えると下記のメッセージが表示されます。
ブレーキ連結金具以外に PTO 変速レバーが中立でないときや，ポンパで作業機を持ち上げている場合には，こちらも交互に表示されます。メッセージに従って操作してください。

■クラッチペダル

注　意

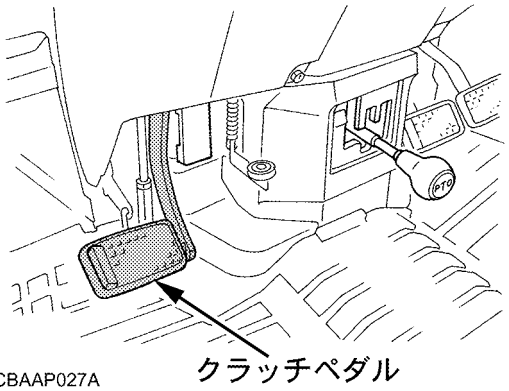
＊ 急にクラッチを離すと，急に飛出すおそれがあります。
ゆっくり行なってください。

クラッチは，エンジンの動力を各作動部に断続する装置です。
ペダルを踏込む……クラッチが切れる。
ペダルから足を離す……クラッチがつながる。

補　足

＊ 下記レバーを操作するときは，必ずクラッチペダルを踏みトラクタを完全に停止させてから行なってください。

- 主変速レバー **［マニュアルシフト仕様］**
- シャトルレバー **［マニュアルシフト仕様］**
- 副変速レバー **［マニュアルシフト仕様］**
- クリープレバー
- PTO 変速レバー



1AGACBAAP027A

［マニュアルシフト仕様］

重　要

＊ クラッチの寿命を伸ばすため，半クラッチの使用時間・回数を少なくするように，次の点にご注意ください。
- 速度調節はクラッチで行なわないようにしてください。
- 作業に応じた車速及びエンジン回転を選択してください。
- クラッチペダルの上に足を乗せたまま運転しないでください。知らないうちに半クラッチを使用していることになります。

■各変速レバーの取扱い

下記レバーを組合わせて各作業に適した速度にします。

- 主変速レバー
- 副変速レバー
- シャトルレバー
- クリープレバー

各作業に適した速度（目安）

作業名	速度　km/h
トレンチャ	～ 0.3
プランタ	0.2 ～ 0.6
ロータリ	0.5 ～ 3.0
代かき	2.9 ～ 4.1
プラウ	4.0 ～ 6.5
モーア	6.0 ～ 10.5
走行	10.0 ～

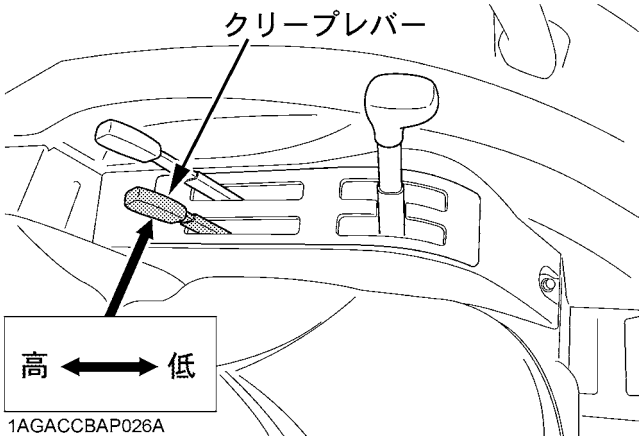
（**［付表］**の章の**［走行速度表］**の項を参照）

■クリープレバー

[KL225・245・265・285・315・345・385・415・285-PC・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC]

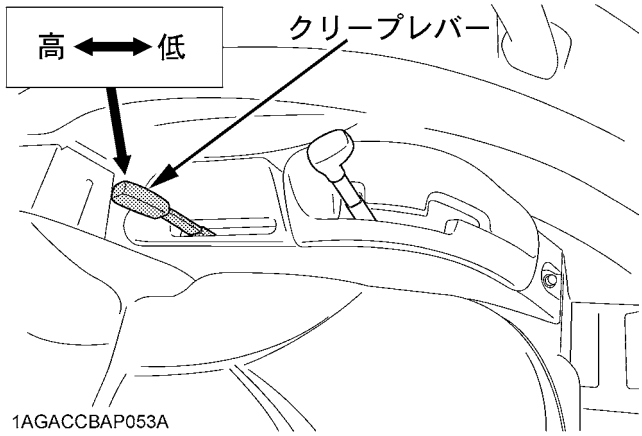
[低] 位置で超低速（クリープ速度），**[高]** 位置で高速が得られます。
クラッチペダルを踏込み操作します。

◆ マニュアルシフト仕様



1AGACCBAP026A

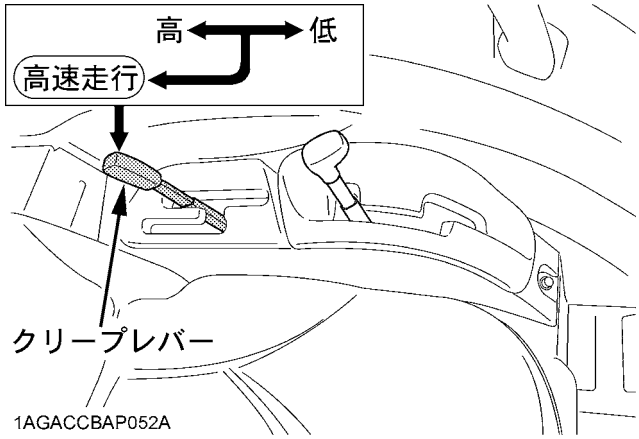
◆ Uシフト（F）仕様



1AGACCBAP053A

[KL245H・265H・285H・315H・345H・385H・415H・465H・505H・555H]

[低] 位置で超低速（クリープ速度），**[高]** 位置で高速が得られます。
[高速走行] 位置では，移動走行に便利な高速が得られます。
クラッチペダルを踏込み操作します。



1AGACCBAP052A

◆ クリープの使い方

クリープ速度は，使用する作業と取扱い方を誤ると故障の原因になります。
次のことに注意してお使いください。

1. 使用できる作業
＊ ロータリでの深耕・細土耕うん作業。
＊ ロータリで，ほ場がかたく標準速度で耕うんできない場合。
＊ プランタによる移植作業。
＊ 農業用トレンチャによる作業（農業用に限る）。
＊ 車への積み・降ろしをするとき。
2. 使用できない作業（故障の原因になります）
＊ 湿田での沈没状態から脱出する作業。
＊ けん引・トレーラ作業。
＊ フロントローダ作業。
＊ フロントブレード作業（除雪作業）。
＊ 土木作業。
＊ ほ場への出入り。
3. クリープ速度を使用するときは，必ず次のことを守ってください。
＊ 変速は，クラッチペダルをいっぱい踏込んでから行なってください。
＊ 発進は，必ず駐車ブレーキを外してから行なってください。
＊ クリープ速度では車軸の回転力が非常に強くなるので，ブレーキペダルを強く踏んだだけではブレーキはききません。
停止は，必ずクラッチを切ってからブレーキをかけてください。

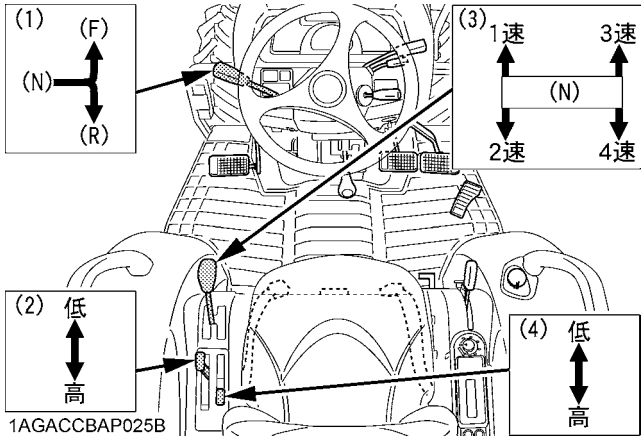
重　要

＊ クリープ速度でクラッチペダルを踏まずにブレーキペダルをあまり強く踏むと故障の原因になります。
＊ クリープ速度では，けん引作業をしないでください。超低速で無理な負荷をかけると故障の原因になります。

補　足

＊ クリープレバー操作時，レバー操作が重くなるときがあります。そのときは，クラッチペダルを踏み直し，再度クリープレバーを操作してください。
＊ また，クラッチペダルを踏み直してもまだレバー操作が重いときは，いったんシャトルレバーを**［中立］(N)** にしてから操作してください。

■マニュアルシフト仕様



(1) シャトルレバー
(F)［前進］
(N)［中立］
(R)［後進］
(2) 副変速レバー
低　［低速］
(3) 主変速レバー
高　［高速］
(4) クリープレバー

４本のレバー操作を組合せることにより前進 16 段，後進 16 段の車速が得られます。

重　要

＊ 操作はクラッチを切り，トラクタが完全に停止してから行なってください。走行中に操作するとミッションの損傷につながります。

◆ シャトルレバー

警 告

＊ 急発進を避けるため，エンジン回転を下げてからシャトルレバーを操作してください。
＊ ［前進］←→［後進］のシフト操作は，いったん［中立］位置にして，トラクタの停止を確認してから操作してください。
＊ 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。後進する場合は，周囲の状況が安全であることを確認してからシャトルレバーを［後進］位置に入れて，安全な速度で後進してください。また後進中は，特に周囲の状況をよく注意して運転してください。

レバーを持ち上げ，前に押して**［前進］**，手前（後）に引いて**［後進］**です。

◆ 主変速レバー
レバー１本で４段の車速が選択できます。

◆ 副変速レバー
［低］位置で低速，**［高］**位置で高速が得られます。

◆ クリープレバー
［低］位置で超低速（クリープ速度），**［高］**位置で高速が得られます。
クラッチペダルを踏込み操作します。

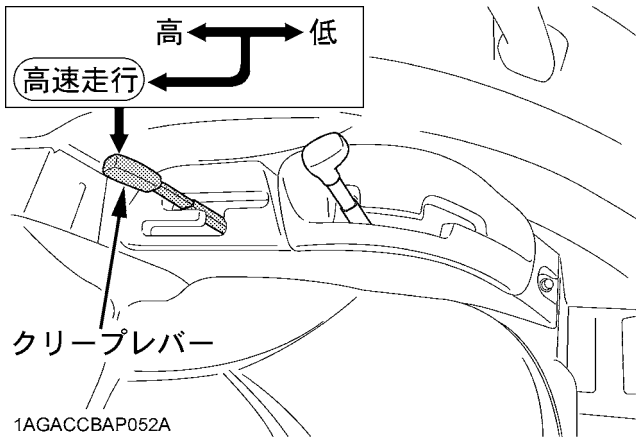
■ U シフト (F) 仕様
◆ シャトルレバー

警 告

＊ 急発進を避けるため，エンジン回転を下げてからシャトルレバーを操作してください。
＊ ［前進］←→［後進］のシフト操作は，いったん［中立］位置にして，トラクタの停止を確認してから操作してください。
＊ 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。後進する場合は，周囲の状況が安全であることを確認してからシャトルレバーを［後進］位置に入れて，安全な速度で後進してください。また後進中は，特に周囲の状況をよく注意して運転してください。

レバーを持ち上げ，前に押して**［前進］**，手前（後）に引いて**［後進］**です。レバー操作は，クラッチペダルを踏まなくても（ノンクラッチ）変速することができます。

◆ クリープレバー
［低］位置で超低速（クリープ速度），**［高］**位置で高速が得られます。
［高速走行］位置では，移動走行に便利な高速が得られます。**［高速走行 (H) 仕様］**
クラッチペダルを踏込み操作します。



◆ 主変速レバー

注　意

＊ 急発進はしないでください。
＊ 安全のため，急激な変速は避けてください。変速は１段ずつ行なってください。
＊ 緊急停止時や，作業機の取付け・取外しなど狭い場所での作業時には，クラッチを使用してください。
＊ 走行中は，主変速レバーに手を置いたままにしないでください。
＊ 急な坂道，車両への積み・降ろし，ほ場への出入り，あぜの乗り越えなどでは，途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れておいてください。
＊ 低温始動時，ミッションオイルが暖まるまでは，主変速レバーで発進するとき，変速レバーを入れてから発進までに時間がかかる場合があります。（発進遅れ）
- **十分に暖機運転をしてください。もし暖機運転をする時間がない場合は，シャトルレバーで発進するかクラッチを操作して発進してください。**
- **低温時の発進遅れは異常ではないので，主変速レバーを変速に入れたままトラクタから降りないでください。遅れて動き出すおそれがあります。**

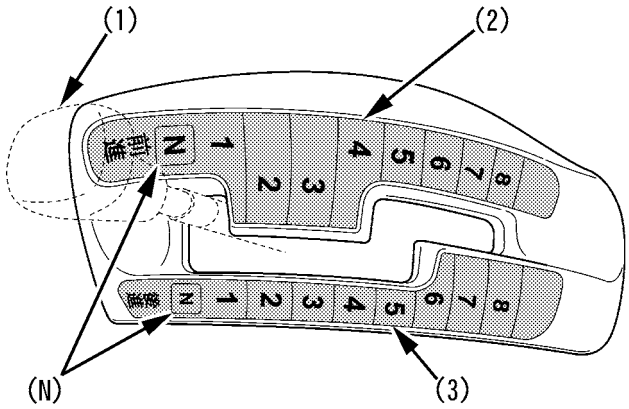
重　要

＊ 油圧クラッチ・シンクロの寿命を保つため，次の点に注意してください。
1. 作業に合った車速とエンジン回転を選んでください。
2. 急激なシフトダウンは避けてください。
3. トラクタの使い始めの変速時に，油圧クラッチのつながり音がする場合がありますが，油温が上がってくると正常になります。

◆ 変速操作

[KL225・245・265 安全フレーム仕様]

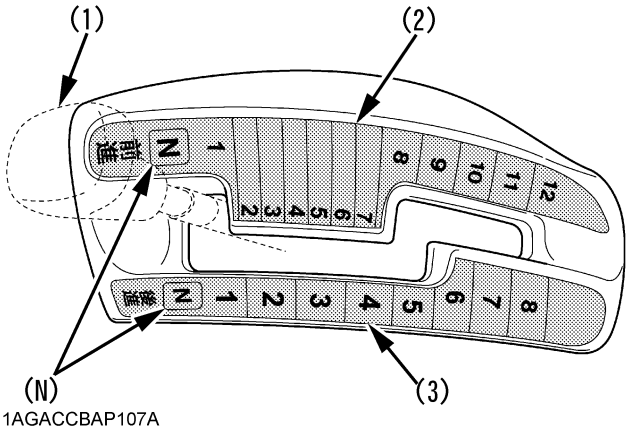
1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→ 16 段
   後進→ 16 段　の車速が得られます。



(1) 主変速レバー
(2) 前進速度ラベル
(3) 後進速度ラベル
(N) [中立] 位置

[KL225・245・265 安全キャブ仕様]
[KL285・315・345・385・415・285-PC・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC]

1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→ 24 段
   後進→ 16 段　の車速が得られます。



1AGACCBAP107A

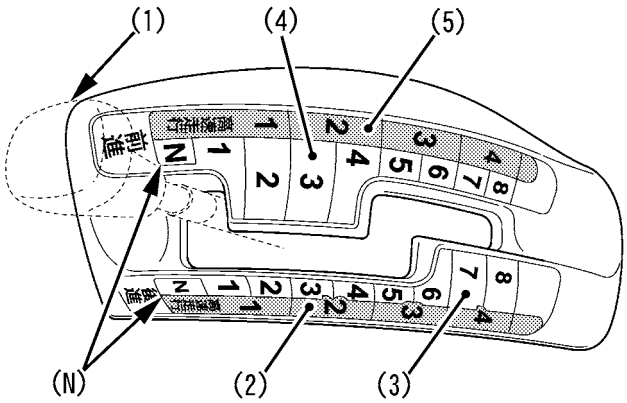
(1) 主変速レバー
(2) 前進速度ラベル
(3) 後進速度ラベル
(4) [中立] 位置

補　足

＊ 後進時，主変速レバーが後進ラベルの１速から４速の範囲内では，各２段階ありますが，後進速度は変化しません。

[KL245H・265H 安全フレーム仕様]

1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→ 20 段
   後進→ 20 段　の車速が得られます。



1AGACCBAP029A

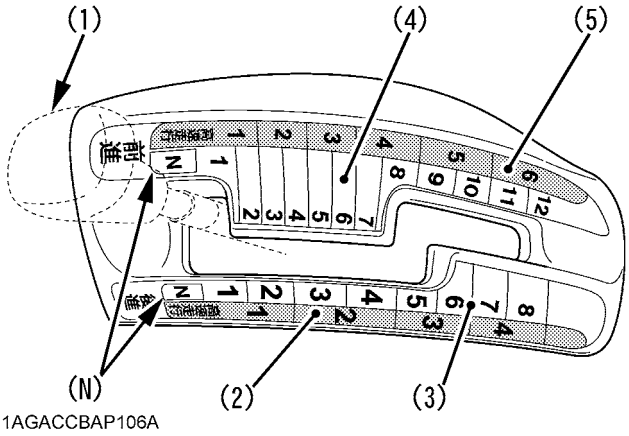
(1) 主変速レバー
(2) 後進速度ラベル（高速走行用）
(3) 後進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(4) 前進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(5) 前進速度ラベル（高速走行用）
(N) [中立] 位置

補　足

＊ 主変速レバーの変速段数は，クリープレバーが**[低]**と**[高]**速位置では内側ラベル（3）（4），**[高速走行]**位置では外側ラベル（2）（5）を参考にしてください。
＊ 高速走行時，主変速レバーは各変速域とも各２段階ありますが，速度は変化しません。

[KL245H・265H 安全キャブ仕様]
[KL285H・315H・345H・385H・415H・465H・505H・555H]

1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→ 30 段
   後進→ 20 段　の車速が得られます。



1AGACCBAP106A

(1) 主変速レバー
(2) 後進速度ラベル（高速走行用）
(3) 後進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(4) 前進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(5) 前進速度ラベル（高速走行用）
(N)［中立］位置

補　足

＊ 主変速レバーの変速段数は，クリープレバーが **［低］**と**［高］**速位置では内側ラベル（3）（4）**［高速走行］**位置では外側ラベル（2）（5）を参考にしてください。
＊ 高速走行時，主変速レバーは各変速域とも各２段階ありますが，速度は変化しません。
＊ 後進時，主変速レバーが後進ラベルの１速から４速の範囲内では，各２段階ありますが，後進速度は変化しません。

電子メータメッセージ

＊ 運転中変速段数や車速が表示されます。

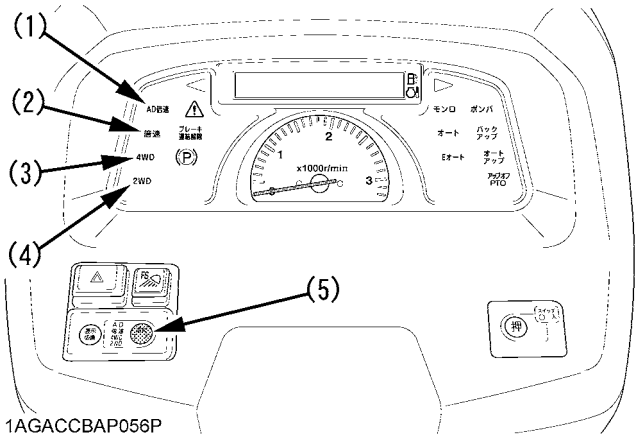
［N又は変速段数］　［車速］（表示切換スイッチで［車速モード］選択時）

＊ KL245H・265H・285H・315H・345H・385H・415H・465H・505H・555H 型トラクタでは，クリープレバーを**［高速走行］**の位置に変速すると，変速段数表示が 2 3 …の反転表示となります。

■走行モード切換スイッチ

スイッチを押すごとに
[AD 倍速⇒ 2WD ⇒ 4WD ⇒倍速⇒ AD 倍速]
の順に切換わります。
選択状態はモニタランプで表示されます。
なおスイッチは，クラッチ操作や走行・停止中に関係なく操作できます。

	モニタランプ
AD 倍速	4WD ランプと AD 倍速ランプが点灯し，旋回時に倍速ターンが作動すると同時に，AD も作動します。
倍　速	4WD ランプと倍速ランプが点灯し，旋回時に倍速ターンが作動します。
4WD	4WD ランプが点灯し，４輪駆動になります。
2WD	2WD ランプが点灯し，２輪駆動になります。



1AGACCBAP056P

(1) AD 倍速ランプ
(2) 倍速ランプ
(3) 4WD ランプ
(4) 2WD ランプ
(5) 走行モード切換スイッチ

◆４輪駆動の使い方

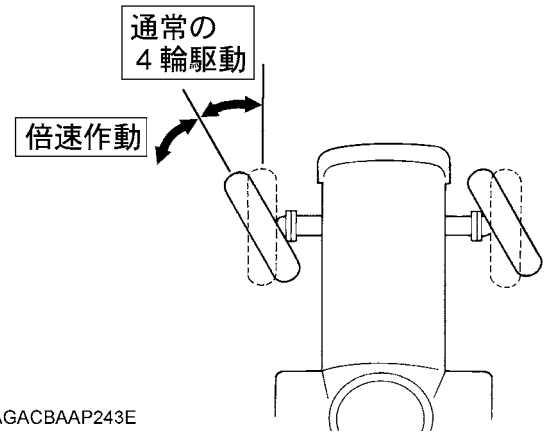
４輪駆動は，ほ場作業で使用してください。走破性，けん引力が向上します。
４輪駆動は道路走行では使用しないでください。旋回時曲がり切れなかったり，タイヤの異常摩耗の原因になります。

◆倍速ターンの使い方

警　告

＊ 倍速ターンに入れたままでは，ほ場以外を走行しないでください。ほ場から出る前に走行モード切換スイッチを［2WD］又は［4WD］に切換えてください。
＊ 倍速ターンは，畑，水田などのロータリ作業に役立ちますが，使用法を誤ると転倒などのおそれや故障の原因にもなります。

倍速ターンの作動は下図のようになっています。
【倍速】モードで旋回動作に入り，ステアリングハンドルを切っていくと，前輪の切れ角が，直進状態からある一定の角度になるまでは，通常の４輪駆動の回転数で前輪が駆動されます。
更にステアリングハンドルを切ると，倍速ターンが作動し，前輪の回転数がそれまでの約２倍の回転数で駆動され，小さくスムーズな旋回が行なえます。



1AGACBAAP243E

重　要

＊ フロントローダを装着した場合は，使用しないでください。

補　足

＊ 倍速は，危険防止のため，旋回開始時の車速が約 0.2 ～ 5 km/h の範囲のときのみ作動します。
また，倍速旋回中は車速が変わっても，倍速の作動を保持します。

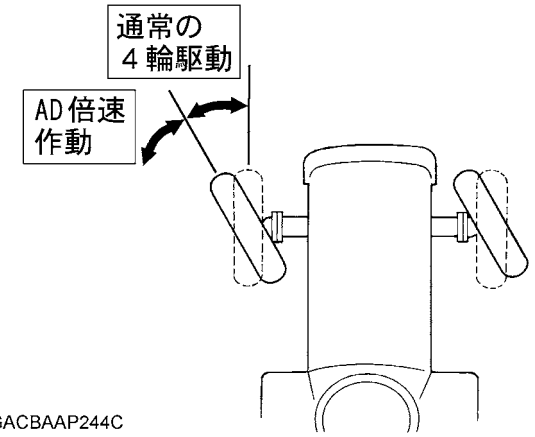
◆ AD 倍速ターンの使い方

警　告

＊ AD 倍速［入］のままでほ場以外を走行すると，旋回時急に回り事故の原因になります。ほ場から出る前に走行モード切換スイッチを［2WD］又は［4WD］に切換えてください。

隣接耕うん作業をする場合に，枕地で軽く片ブレーキを踏み，旋回を小さくする操作が行なわれますが，AD 倍速はこの操作を自動的に行なうものです。

AD 倍速ターンの作動は下図のようになっています。
［AD 倍速］モードで旋回動作に入り，ステアリングハンドルを切っていくと前輪の切れ角が直進状態からある一定の角度になるまでは，通常の４輪駆動の回転数で前輪が駆動されます。
更にステアリングハンドルを切ると，AD が作動し，内側後輪に軽くブレーキがかかるとともに，倍速ターンが作動し，前輪の回転数がそれまでの約２倍の回転数で駆動され，小さくスムーズな旋回が行なえます。



1AGACBAAP244C

補　足

＊ AD 倍速は，危険防止のため，旋回開始時の車速が約 0.2 ～ 3.5 km/h の範囲の時のみ作動します。(約 3.5 ～ 5km/h までは倍速のみ作動します。)
また，AD 倍速旋回中は車速が変わっても，AD 倍速の作動を保持します。

■アクセルレバーとアクセルペダル

◆ アクセルレバー

主に農作業時に使用する。

……レバーを手前に引くと，エンジン回転が上がる。

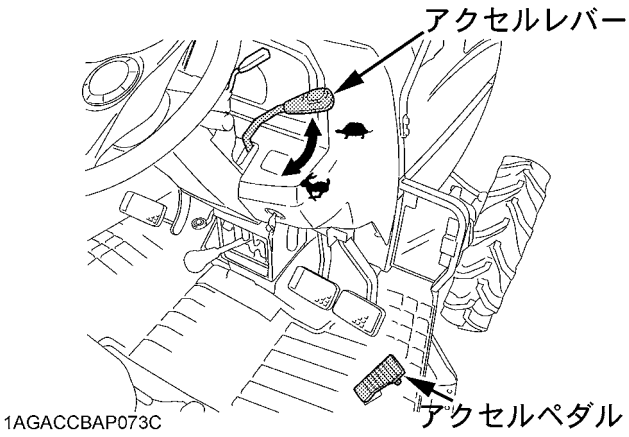
……レバーを前側に押すと，エンジン回転が下がる。

◆ アクセルペダル

主に道路走行時に使用する。

ペダルを踏込む……　エンジン回転が上がる。

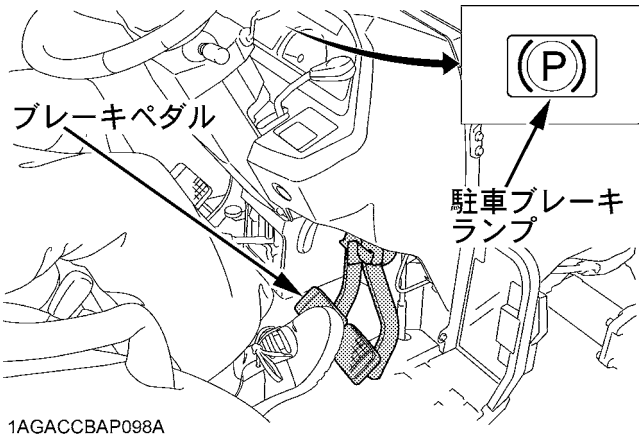
ペダルから足を離す…　アクセルレバーで設定したエンジン回転まで下がる。



1AGACCBAP073C

■駐車ブレーキの解除のしかた

ブレーキペダルを**［踏込む］**と駐車ブレーキが解除され，メータパネル内の(Ⓟ)ランプが消灯します。



満タンお知らせブザーの取扱い

燃料給油の際，満量に近づくとブザーが作動し作業者に知らせます。

1. キースイッチを**［入］**にします。
(エンジンは始動しないでください。)
2. 燃料を給油します。
3. 燃料給油を検知して「ピ…ピ…」と電子メータパネルから断続音が作動します。
4. 燃料が満タンに近づくにつれ，断続音の間隔が短くなり，満タンになると「ピー」という連続音に変わるので給油を停止してください。

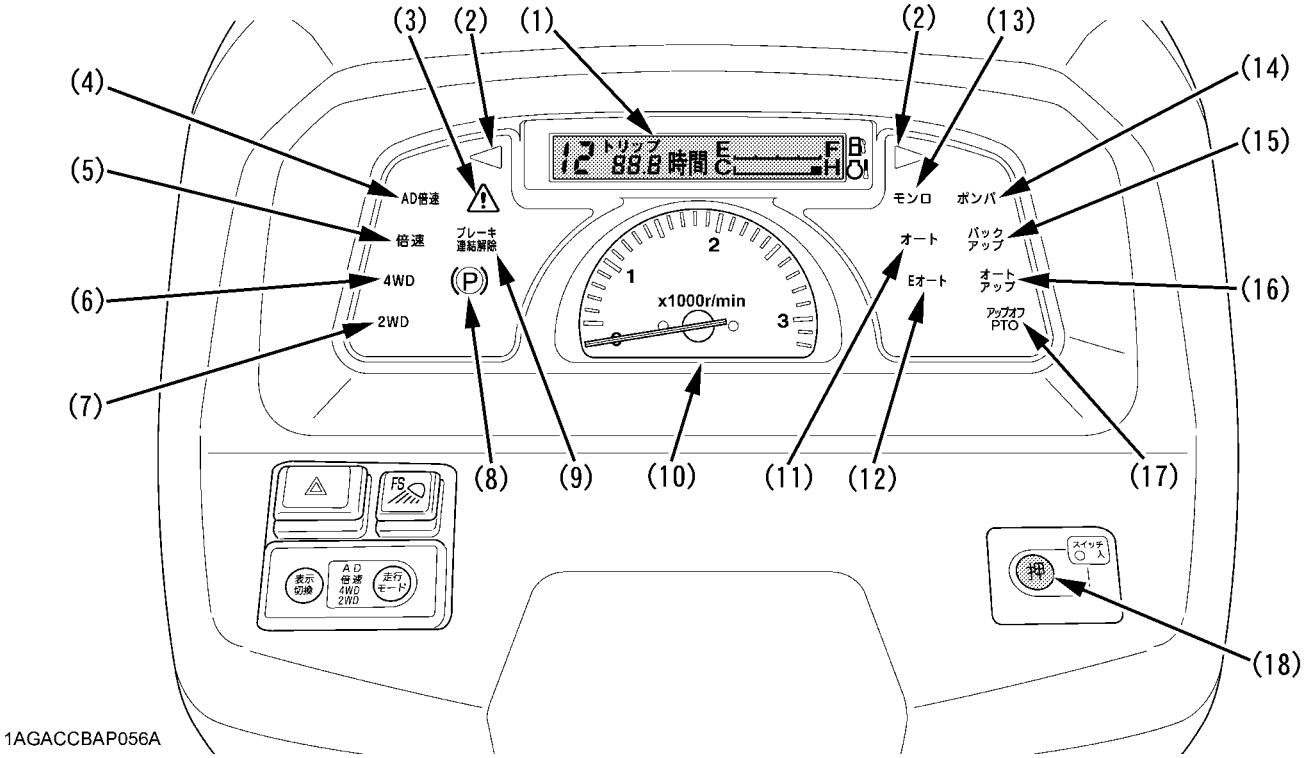
補　足

＊ 満タンでのブザー作動は満量に対し余裕を見ていますので，連続音作動のとき完全な満タンにはなりません。

電子メータパネルの取扱い

■電子メータ

電子メータは，トラクタの運転に必要な各種情報を的確なタイミングでオペレータに提供するとともに，誤操作時の操作指示，各種警報や万一故障した場合にも故障箇所や緊急使用時の取扱いなどを，メッセージとグラフィックで表示しますので，表示に従って正しく取り扱ってください。なお，次表のメッセージ以外が表示された場合は，**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［不調と処置］**の項を参照してください。



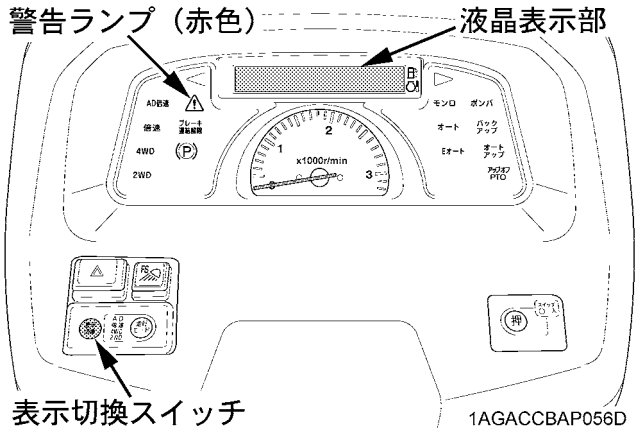
1AGACCBAP056A

参照ページ

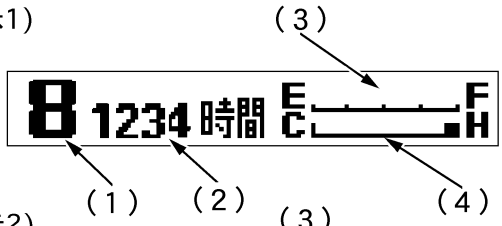
(1) メッセージ表示部…… 33
(2) ウインカパイロットランプ…… 16
(3) 警告ランプ…… 34
(4) AD 倍速ランプ…… 30
(5) 倍速ランプ…… 30
(6) 4WD ランプ …… 30
(7) 2WD ランプ …… 30
(8) 駐車ブレーキランプ…… 6，21，32
(9) ブレーキ連結解除ランプ…… 22
(10) エンジン回転計…… 38
(11) オート耕うんランプ **［MA・MAD 仕様］** 68，69
(12) E オートランプ **［MA・MAD 仕様］** … 68，69
(13) モンローマチックランプ **［MA・MAD 仕様］** …… 61
(14) ポンパランプ **［MA・MAD 仕様］** …… 47
(15) バックアップランプ **［MA・MAD 仕様］** 50
(16) オートアップランプ **［MA・MAD 仕様］** 49
(17) アップオフ PTO ランプ **［N 仕様］** … 58
(18) ワンタッチ耕うんモードスイッチ **［MA・MAD 仕様］** …… 62

■表示の切換え

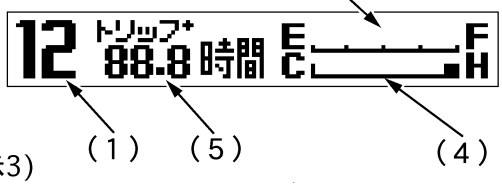
電子メータパネルの液晶表示部は，表示切換スイッチを押す毎に表示１～５の５種類のモードに切換えることができます。
作業に応じ切換えてください。



(表示1)

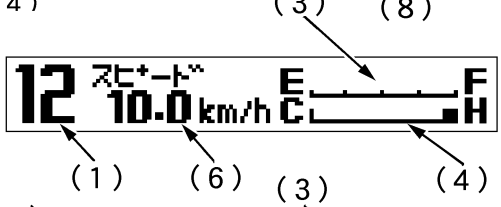


(表示2)

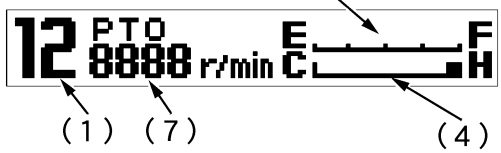


(表示3)

(表示４)



(表示５)



(1) 変速段数
（変速段数は，U シフト（F）仕様のみ表示されます）
(2) アワーメータ （積算時間）
(3) 燃料計
(4) 水温計
(5) トリップ時間 （時間）
(6) 車速 （時速）
(7) PTO 軸回転数 （回転／分）
(8) エンジンオイル交換用トリップ時間

補 足

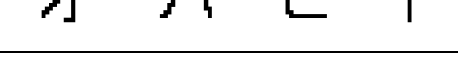
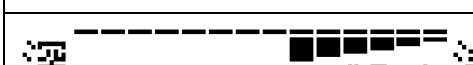
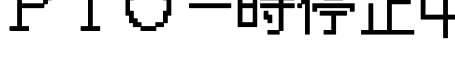
＊ 表示２の状態で表示切換スイッチを２秒間押すとトリップメータは **0.0** にリセットされます。

＊ 表示３の状態で表示切換スイッチを２秒間押すと，メッセージ表示時間が **0** にリセットされます。
（**[トラクタの簡単な手入れと処置]**の章の**[電子メータメッセージのリセット法]** の項を参照）

＊ けん引作業などで，タイヤがスリップしている場合の車速表示は実車速と異なります。

No.	メッセージ	内　　容	参　照 ページ
1		メータ表示部は，表示切換えスイッチを押すごとにNo. 1～5の5種類のモードに切り換えることができます。(変速段数は，Uシフト（F）仕様のみ表示されます。)	34
2			34
3			34
4			34
5			34
6		キースイッチ**【入】**時，エンジンの予熱を表示します。	10
7	ＰＴＯ切りに ※	エンジン始動時左記レバーが**【中立】**になっていない場合，表示されます。 メッセージに従って操作してください。 ※**【N仕様のみ】** あんしんPTOスイッチが**【切】**になっていない場合，表示されます。 あんしんPTOスイッチを**【切】**にしてください。	6
8	シャトルレバー中立に		6
9	シャトル中立,PTO切に ※		6
10	シートベルトして下さい	エンジン始動時３秒間，表示されます。	14
11	油圧レバー下げて解除 *	油圧安全ロックが作動時，表示されます。 メッセージに従って操作してください。	47
12	油圧レバー上げて解除 *		47
13	高さ規制「高」に *	エンジン始動時に**【油圧取出し】**にセットされていれば表示されます。メッセージに従って操作してください。	47
14	ブレーキペダルを連結	車速が10km/h以上時，左記レバー類が正しくセットしていないとき，表示されます。 メッセージに従って操作してください。	22，41
15	ＰＴＯ切りに		41
16	油圧レバーを上げに *		41

＊ MA・MAD仕様

No.	メッセージ	内　　容	参　照 ページ
17		燃料が約 4L 未満になると，表示されます。	34
18		充電系統に異常が生じると，表示されます。 （警告ランプ点滅）	34
19		エンジン潤滑系統に異常が生じると，表示されます。（警告ランプ点滅）	34
20		冷却水がオーバーヒートすると，表示されます。 （警告ランプ点滅） メッセージに従って操作，点検してください。	34
21			34
22			34
23	*	耕深調節ダイヤルで耕深を変更したとき，約５秒間表示されます。	70
	 **		74
24		エンジンオイル交換後 100 時間（初回 50 時間）経過すると，エンジン始動時に表示されます。	10, 122
25	***	アップオフ PTO モード **【入】** でポンパレバーを **【上げ】** 又は油圧レバーを **【最上昇位置】** にすると，PTO が停止し左記メッセージが交互に表示されます。	57
26	 ***		

*　MA・MAD 仕様
**　MAD 仕様
*** N 仕様

電子メータメッセージ
運転中下記メッセージが表示されたときは，すみやかに作業を止め，メッセージに従って処置してください。なお原因がわからないときは，購入先にご相談ください。
（下記メッセージ以外が表示された場合は，巻末の**［不調と処置］**の章を参照してください。）

◆ 燃料残量警告
＊ 燃料残量が約 4L 以下になると，メータパネルに下記メッセージが表示されます。
すぐ燃料を補給してください。
空にすると燃料系統に空気が入るので，空気抜きが必要です。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）

補　足
＊ 表示切換スイッチで表示１，２，３，４，５に切換えできます。

◆ オーバーヒート警告
＊ エンジンがオーバーヒートすると，メータパネルに⚠ ランプ（赤色）が点滅し，下記メッセージが交互に表示されます。

1. 作業を中止し，
2. エンジンをアイドリングにしてください。
   水温が下がると，上記メッセージが**冷却後点検**に変わります。
3. エンジンを停止し，停止後 30 分以上たって冷えてから，次の点検・整備をしてください。

   (1) リザーブタンク，ラジエータの冷却水の量（不足），及び水もれがないか。
   (2) 防虫網及びラジエータに，泥やごみが付着していないか。
   (3) ファンベルトのゆるみがないか。

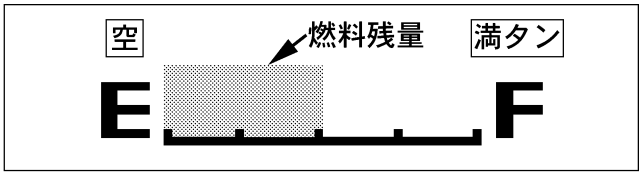
重　要
＊ リザーブタンクのオーバフローパイプから蒸気が噴き出したら，上記手順で処置を行なってください。

◆ バッテリ充電異常警告
＊ 充電系統に異常が生じると，メータパネルに⚠ ランプ（赤色）が点滅し，下記メッセージが表示されます。

◆ エンジンオイル油圧低下警告灯
＊ 潤滑系統に異常が生じると，メータパネルに⚠ ランプ（赤色）が点滅し，下記メッセージがされます。
すぐエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。

■燃料計

液晶ブロックにより，燃料残量を表示します。ブロックが【E】に近づいたら早めに燃料を補給してください。



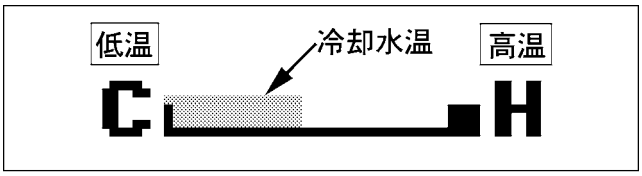
1AGACBAAP148A

■水温計

注　意

＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをするおそれがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。

液晶ブロックにより，冷却水温を表示します。



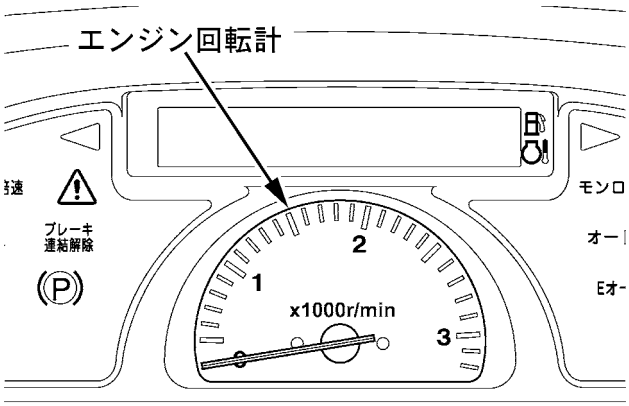
1AGACBAAP149A

◆ 次の場合には，直ちにエンジンを止めてください。

1. 回転が急に下降したり上昇したりする。
2. 突然，異常な音をたてた。
3. 排気色が急に黒くなった。

■エンジン回転計

１分間のエンジン回転数を示します。



1AGACCBAP056E

補　足

＊ PTO 回転数は，メッセージ表示部に表示させることができます。
（**【運転のしかた】**の章の**【表示の切換え】**の項を参照）

状況に応じた操作

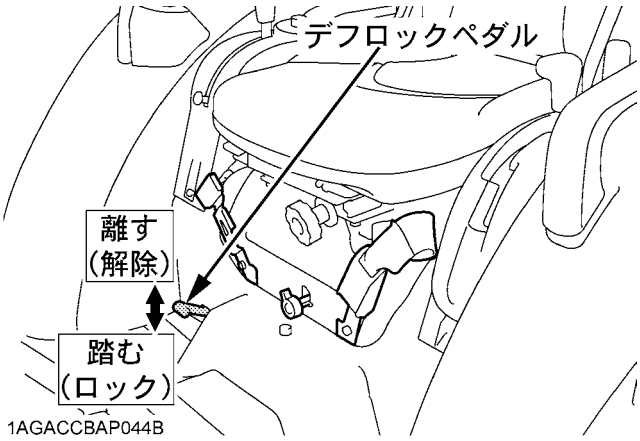
■デフロックの使い方

◆ デフロックペダル

左右の後輪が同じ回転速度で駆動される装置で，スリップ防止に効果があります。

ペダルを踏込む……ロックされる。

ペダルから足を離す…自動的に外れる。



◆デフロックの使い方

注 意

＊ デフロックを入れたままで旋回できません。旋回の前に必ず解除してください。
＊ 道路走行時には絶対にデフロックを使用しないでください。ハンドル操作ができなくなります。

デフロックは，下記のような場合に役立ちます。

1. 農場への出入りやフロントローダ作業時など，片車輪がスリップして直進できないとき。
2. 農場の一部軟弱なところに片車輪が入り込み，スリップして走行がしにくくなったとき。
3. プラウ作業などけん引力を必要とする作業で，片側車輪がスリップしたとき。

重 要

＊ デフロックを入れるときは，エンジン回転を下げてから行なってください。
＊ 抜けにくいときは，ブレーキペダルを左右交互に軽く踏んでください。
＊ 使用しないときは，足をペダルにのせないでください。

■旋回のしかた

注 意

＊ 高速で旋回すると，横転するおそれがあります。デフロックペダルの解除を確認して，できるだけエンジン回転を落とし，ゆっくりと旋回してください。

■坂道での運転

警 告

＊ ブレーキペダルの連結及びデフロックの解除を確認してください。
＊ 坂道では主変速を［中立］にしたり，クラッチを切ったりして惰性で走行しないでください。
＊ 急な坂では途中で変速しないでください。あらかじめ安全な車速に変速してから走行してください。

1. 坂道状況に応じた安全なスピードで，エンジンにできるだけ負担をかけないように走行しましょう。
2. 登り坂ではノッキングさせないように早めに遅い変速位置にしましょう。
3. 下り坂ではエンジンブレーキを活用しましょう。車速を下げるほどエンジンブレーキはよくききます。

■ほ場への出入り時の注意

警 告

＊ 左右のブレーキペダルは，必ず［連結］しておいてください。
＊ ほ場への出入りは，高低差が大きいと危険です。
あゆみ板などを利用してください。
＊ ほ場への出入りは，あぜと直角に行なってください。
＊ ほ場への出入りの際は，あらかじめ遅い車速で運転し，途中で変速しないでください。

注 意

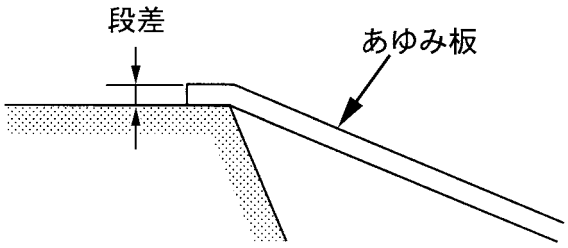
＊ 走行モード切換スイッチは［2WD］又は［4WD］にしてください。

1. 作業機を下げて進むと，前輪が浮き上がりません。常に前・後輪のバランスを考えながら操作してください。
2. あぜを上がるとき，４輪駆動の特色を生かして，バックで上がると格段に上がる能力が増します。

◆ パワクロ仕様の場合

注 意

＊ クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，あゆみ板をかけ直してはじめからやり直してください。

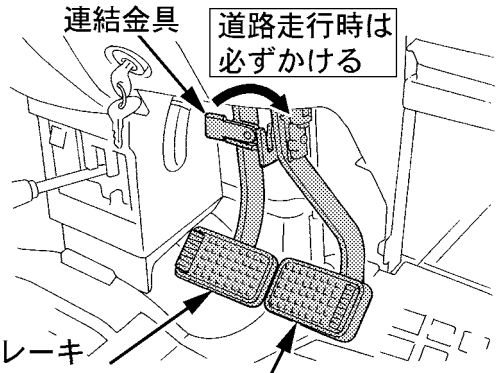


1AGACBUAP002A

■道路走行中の注意

警　告

＊ 道路を走行するときは，左右のブレーキペダルを必ず連結してください。
連結しないと，ブレーキが片ぎきになり，車体が急旋回して，転倒・転落・衝突などの事故を引起こすおそれがあります。



1AGACBAAP026B

注　意

＊ 道路を走行するときは，関係法規を守り安全運転をしてください。
＊ 運転者のほかは乗せないようにしてください。
転落事故の原因になります。
＊ 溝のある農道や両側が傾斜している農道を通るときは，特に路肩に注意してください。
＊ トラクタは，ロータリなどの作業機を装着して公道を走行できません。
[道路運送車両法の保安基準]
(作業機を装着して道路を走行すると，他の車・電柱又はガードレールなどにロータリを引掛けて，事故の原因になります。)
＊ 道路走行時にはモンロ・オートスイッチを必ず［切］にして走行してください。
[MA・MAD 仕様]
＊ ポンパランプの消灯を確認してください。
[MA・MAD 仕様]

1. 公道走行中進路方向を変えるときは，方向指示器で進路方向を他の自動車に知らせてください。
2. 夜間走行中，対向車とすれちがうときは，ヘッドライトを下向き照射にし，対向車の妨害にならないように注意しましょう。
3. 踏切では，必ずいったん停止し，左右の確認をしてから，速やかに渡ってください。

補　足

＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め**[道路運送車両の保安基準]**第 42 条（灯火の色等の制限）において，**[走行中に使用しない灯火]**とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

電子メータメッセージ

＊ 走行中下記のメッセージが表示されたときは，すみやかにトラクタを止め，メッセージに従って処置してください。
メッセージは車速が 10km/h を超えたとき表示されます。また，表示要因が 2 個以上の場合は，交互に表示されます。

◆ブレーキ連結金具が連結されていないとき

ブレーキペダルを連結

◆ PTO 変速レバーが［中立］でないとき
[N 仕様以外]
◆あんしん PTO スイッチが［切］でないとき
[N 仕様]

ＰＴＯ切りに

◆ポンパで作業機を持ち上げているとき
[MA・MAD 仕様]

油圧レバーを上げに

■トラックへの積み・降ろし

注　意

＊ あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラック荷台高さの 4 倍以上）のあるすべり止め付きのものを使用し，トラクタの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。
＊ 積み・降ろしはあらかじめ遅い車速で運転し，途中での変速はしないでください。

◆ タイヤ仕様の場合

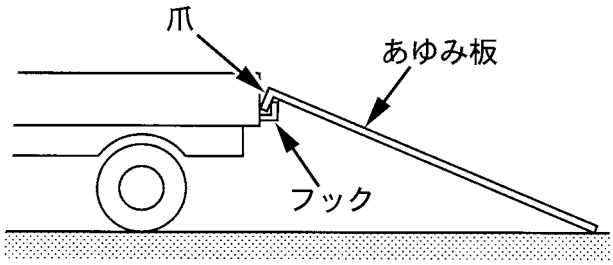
トラックへの積込みは，必ず左右のブレーキペダルを**［連結］**しバックで行なってください。
万一，途中でエンストした場合は，すぐブレーキペダルを踏込み，その後徐々にブレーキをゆるめ，いったん道路まで降ろし，あらためてエンジンを始動してから行なってください。

◆ パワクロ仕様の場合

注　意

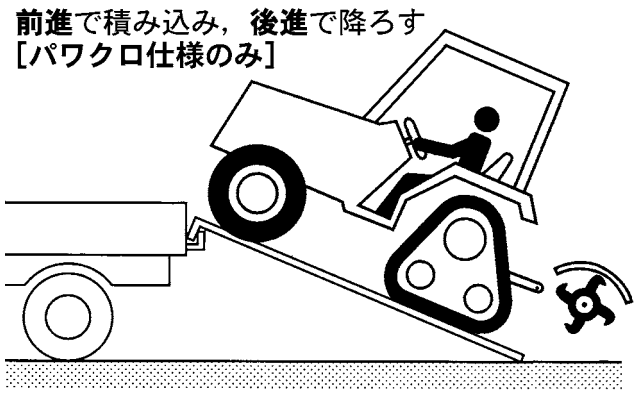
＊ トラックは荷台後部にあゆみ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。
＊ トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを［連結］し，［前進］で積み込み，［後進］で降ろしてください。前進で降りると，クローラがあゆみ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。

万一，途中でエンストした場合は，すぐブレーキペダルを踏込み，その後徐々にブレーキをゆるめ，いったん道路まで降ろし，あらためてエンジンを始動してから行なってください。



1AGACBUAP003A

前進で積み込み，**後進**で降ろす
［パワクロ仕様のみ］



1AGACBUAP004A

■パワーステアリングの取扱い

注　意

＊ パワーステアリングはエンジン運転中，ハンドル操作が大変軽くなりますので，走行は慎重に行なってください。

重　要

＊ パワーステアリングは，エンジン運転中だけ作動します。ただし，エンジン回転が低速のときは多少ハンドルが重くなります。なお，エンジン停止時は，ハンドルの遊びが大きくなりますが，機能上問題はありません。
＊ ローダなどの前部装着作業機を使用し，トラクタを止めたままハンドルを操作すると，途中重くなることがあります。このときは，低速でトラクタを移動させながらハンドルを操作してください。
＊ ハンドルをいっぱい切ると，安全弁の作動音（リリーフ音）が出ます。この音が鳴ったまま使用しないでください。（短い時間ではかまいません。）また，ハンドルのフル回転状態での連続使用は，できるだけ避けてください。
＊ 不必要なハンドルのスエ切り（走行しないでハンドルを切る）は，タイヤ及びリムなどの損耗を早めるので避けてください。
＊ 冬期は暖機運転を十分行なってから使用してください。

■パワクロ仕様の運転のしかた

パワクロ仕様の場合の特別な運転のしかたを記載しています。これ以外の取扱い操作はタイヤ仕様のトラクタと同じです。

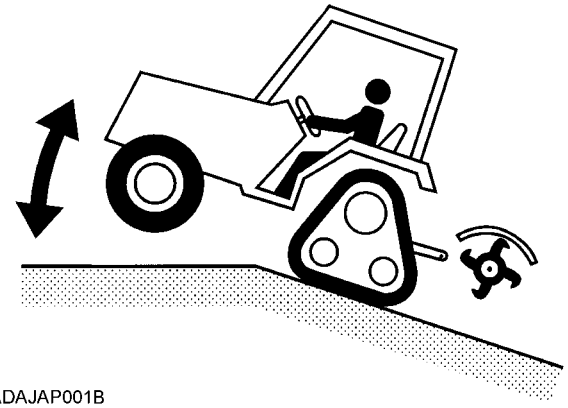
◆ 運転操作

警　告

＊ 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

注　意

＊ クローラ部が凸部を乗越えるときは，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。



1AGADAJAP001B

1. 走行速度は，タイヤ仕様とは異なります。**【付表】**の**【走行速度表】**を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒らしますので，切返しでの旋回をお奨めします。

補　足

＊ パワクロは直進性に優れる分，旋回半径は大きくなります。ほ場での作業中は，必要に応じ旋回する側のブレーキを操作すれば，小さい旋回半径で旋回できます。

重　要

＊ プラウ作業など片側のクローラを溝に落として行なう作業の場合は，クローラの張りを確認してください。また段差から無理に出ようとしないでください。
＊ 溝引きプラウ作業ではクローラが完全に溝から上がった状態で旋回してください。
片側のクローラが溝に落ちた状態で旋回すると、ゴムクローラが外れる可能性があります。
＊ あぜごえはあぜに対して垂直方向に走行し，途中で旋回しないでください。ゴムクローラが外れるおそれがあります。
＊ 道路走行でカーブを曲がったり，右左折する場合は速度を落してください。
クローラは直進性が優れるために，曲がりきれなくなる場合があります。

補　足

＊ 長距離の移動の際には，前輪タイヤ及びゴムクローラの早期摩擦防止のためにトラックやトレーラに積んで輸送することをお奨めします。
＊ クローラ部分に土がたまらないよう，定期的に清掃してください。
固まった土が遊輪，転輪のシールをいためる可能性があります。

◆ あゆみ板の使用

注　意

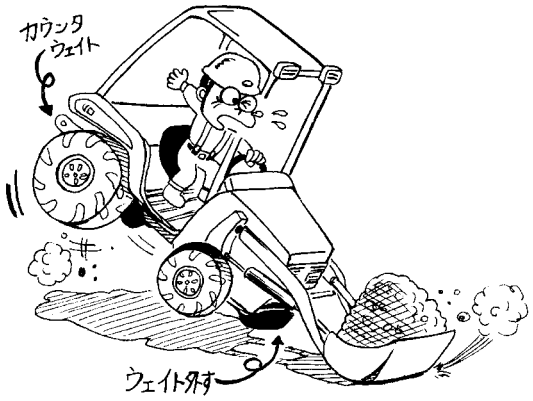
＊ あゆみ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。
＊ あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。
＊ 途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。
＊ あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が15度以下になる長さ：トラックの荷台高さ，あるいはほ場乗入れ部高さの4倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワクロの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。

■ローダ作業

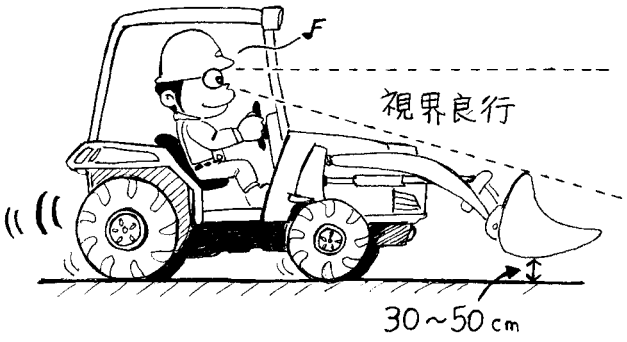
ローダ作業を安全に行なうために！

ローダ作業時の転倒事故を防止するために，次のことがらを必ず守ってください。

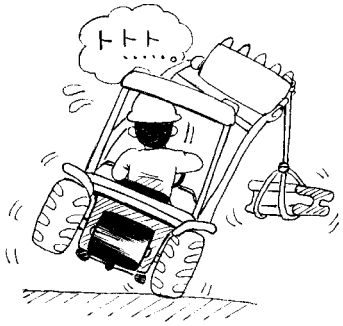
1.トラクタ後部にカウンタウエイトを取付ける！
トラクタの後部に，三点リンクを利用して適正量のカウンタウエイトを取付け，前・後進のバランスを保つようにしてください。



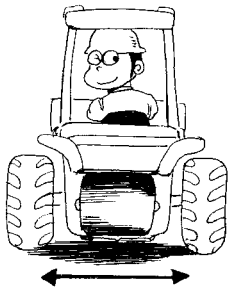
2.運搬はローダを低く下げてゆっくり走行する！
運搬・走行するときは，積荷の高さを地上から30～50cmにし，速度も５km/時以下で走行してください。特に傾斜地・悪路では，速度をひかえめに慎重に走行してください。



3.片持ち作業をしない！
片持ち作業はトラクタ横転の原因になりますので，荷物は左・右片寄らないようにバランスよく載せてください。



4.後輪トレッドはできるだけ広げる！
作業時はトラクタの安全性を増すため，後輪トレッドはできるだけ広げてください。



5.フロントローダ作業中はADや倍速ターンを絶対に使用しないでください。

★以上，ローダ作業での転倒事故を未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にもローダの［**取扱説明書**］をよく読んで安全に作業をしてください。

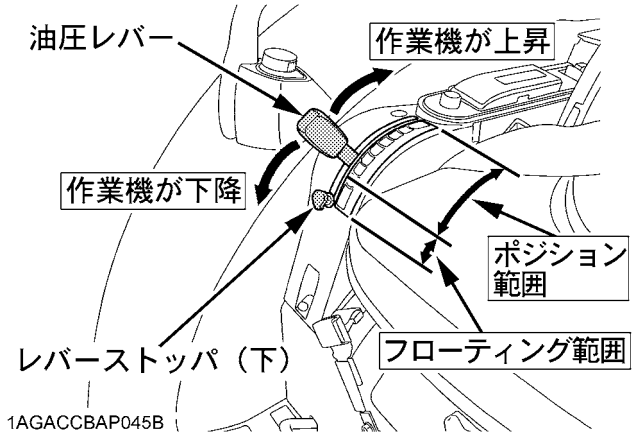
作業のしかた

作業機昇降装置

油圧装置は，クラッチの断続に関係なくエンジン回転中は常に作動します。

■油圧（ポジションコントロール）レバー

油圧レバーは，油圧によって作業機を上下させる装置です。



	レバー位置	作業機	作業機の位置
ポジション範囲	下げ方向に移動させる	下がる	この範囲では，作業機を任意の位置にセット･保持できます。
	上げ方向に移動させる	上がる	
フローティング範囲	下げ位置	下がる	この範囲では，作業機はいっぱいまで下がります。

◆ レバーストッパ（下降側）の使い方

1. 油圧レバーで，希望する作業位置を決めます。
2. その位置にレバーストッパを固定します。
3. その後は，油圧レバーをレバーストッパに当たるまで動かすことにより，同一の作業位置が得られます。

◆ 油圧レバーの取扱い特性

[MA・MAD 仕様]

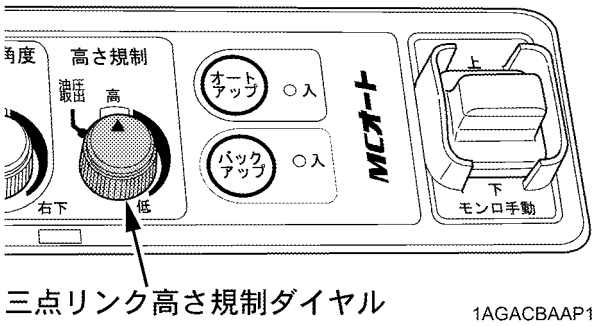
1. エンジン停止後，キースイッチを**［入］**にして，油圧レバーを**［前方に倒す］**と，作業機が下降します。(ポンパランプ点滅時は下がりません。電子メータメッセージに従って油圧レバーを操作し，ポンパランプの点滅を解除してください。)
2. 三点リンク高さ規制ダイヤルで上昇上限位置を規制している時は，制限位置までしか上昇しません。

■三点リンク高さ規制ダイヤル

[MA・MAD 仕様]

三点リンクの上昇上限位置を変えるときに使用します。

1. ダイヤルを**［高］**にすると，三点リンクの上昇上限位置が高くなります。
2. ダイヤルを**［低］**方向に回すと，三点リンクの上昇上限位置が低くなります。

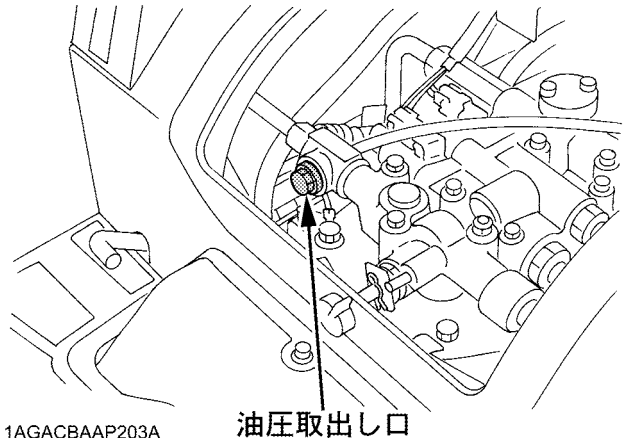


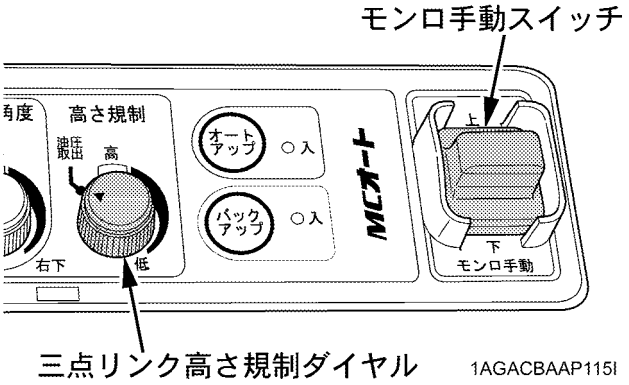
補　足

＊ 三点リンク高さ規制ダイヤルにより，ポンパレバー，油圧レバー，オートアップ及びバックアップでの上げ位置を任意の高さに規制できます。

◆ 油圧取出しの使い方

油圧シリンダから油圧を取出すときに使用します。





1. ポンパレバー又は，油圧レバーで三点リンクを最上位置にし，モンローマチックを**［平行停止］**させます。
2. 三点リンク高さ規制ダイヤルを**［油圧取出］**位置にします。
3. 油圧の取出し**［上げ－中立－下げ］**は，モンロ手動スイッチで行ないます。

電子メータメッセージ

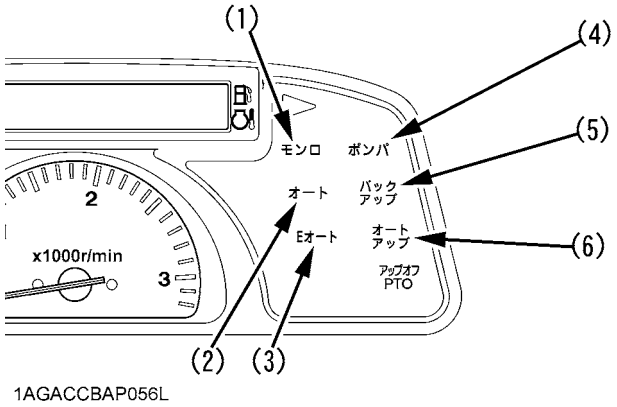
＊ エンジンを始動後，三点リンク高さ規制ダイヤルを**［油圧取出］**位置にすると，下記のメッセージが表示されます。

油圧取出し

＊ 油圧取出し作業終了後は，**［油圧取出］**を解除し，上記メッセージの消灯を確認してください。

補　足

＊ 三点リンク高さ規制ダイヤルを**［油圧取出］**位置にすると，**モンロ，オート，E オートポンパ，バックアップ，オートアップ**の各ランプが消灯します。
＊ **［油圧取出］**位置では，油圧レバー，ポンパレバー，モンローマチックオートは作動しません。
＊ **［油圧取出］**位置でエンジンを停止し，再度**［油圧取出］**作業を行なう場合は，エンジン始動後，**［油圧取出］**を解除し（ダイヤルを**［油圧取出］**位置から**［高］**又は**［低］**の方向へ回す），再度**［油圧取出］**位置にしてください。
＊ 油圧取出し作業の終了後は，**［油圧取出］**を解除してください。
＊ **［油圧取出し］**使用時は，三点リンクも同時に作動する場合がありますので，三点リンクとの同時使用は行なわないでください。



(1) モンロランプ
(2) オートランプ
(3) E オートランプ
(4) ポンパランプ
(5) バックアップランプ
(6) オートアップランプ

■ポンパレバー
［MA・MAD 仕様］

注　意

＊ ほ場内作業以外では，ポンパを使用しないでください。
＊ ポンパアップ状態で道路走行しないでください。ほ場外（移動など）では油圧レバーを使用してください。

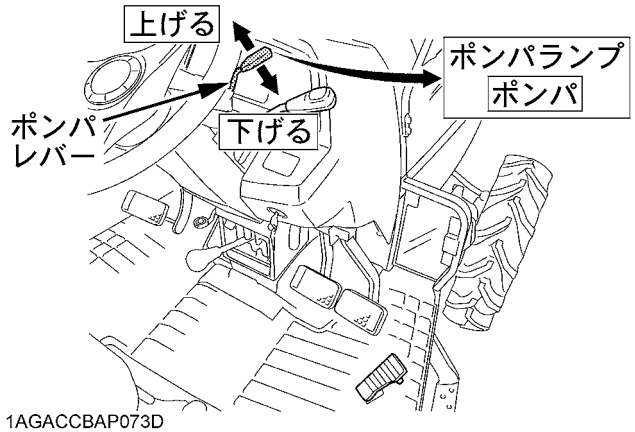
レバーのワンタッチ操作で作業機を上下させる装置です。ほ場内での旋回操作が便利になります。
レバー上げる（ポンパランプ点灯）… 作業機上昇
レバー下げる（ポンパランプ消灯）… 作業機下降
ポンパレバーで作業機上昇後，油圧レバーを最上位置にすると，ポンパ制御が解除され（ポンパランプ消灯），ポジション制御になります。

補　足

＊ ポンパレバーはスイッチですので軽い操作力で作動します。無理な力を加えないでください。
＊ 新しい作業機を装着したときは，ポンパレバーではなく，油圧レバーを使って作業機を上げて，作業機がトラクタに当らないことを確認してください。
＊ ポンパレバー操作時，ブザー音が１回鳴ります。

◆ ポンパの上手な使い方

ポンパレバーを解除したときの下降位置は油圧レバーで設定した位置になります。
例えば代かきハローなど，作業機の位置を固定して昇降させる場合，油圧レバー位置をセットしたまま，ポンパレバーにより昇降させることができます。**［耕深位置制御］**



1AGACCBAP073D

補　足

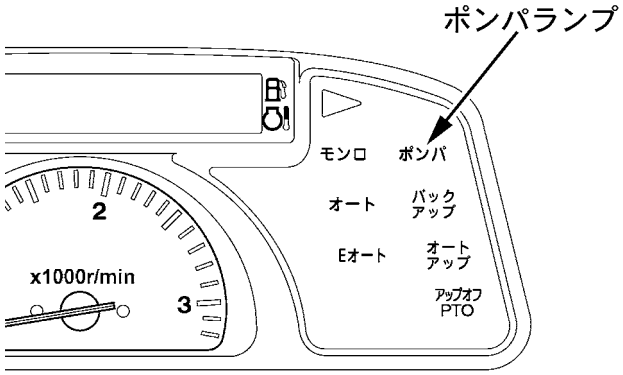
＊ ポンパランプが点滅している場合，油圧レバー又はポンパレバーを操作し，ポンパランプの**［点滅を解除］**してから使用してください。
＊ あぜぎわなどほ場が平たんではないところでポンパを使用すると，ロータリなどの作業機に衝撃がかかり損傷するおそれがあります。このような場合は油圧レバーでゆっくりと作業機を下降させてください。

◆ 三点リンクの安全ロック機能

［MA・MAD 仕様］

下記状態でエンジンを始動すると，安全ロックが作動し作業機は昇降しなくなります。
1. 作業機の高さと油圧レバー位置（エンジン停止時の位置）が異なっている時。
2. 三点リンク高さ規制ダイヤルが**［油圧取出］**位置になっている時。

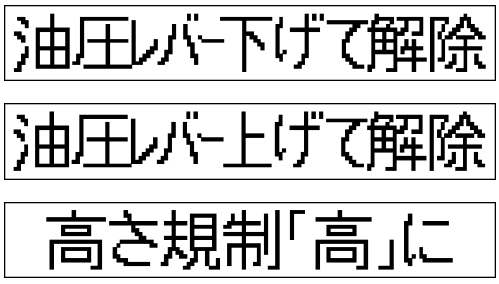
安全ロックが作動すると，ポンパランプが点滅状態となり，解除方法は 電子メータメッセージとして表示されます。



1AGACCBAP056M

電子メータメッセージ

＊ 安全ロックの解除は，下記の表示メッセージに従って解除してください。
安全ロック解除時，ブザー音が 2 回鳴ります。



（三点リンク高さ規制ダイヤルを**［油圧取出］**位置から**［高］**に戻す。）

補　足

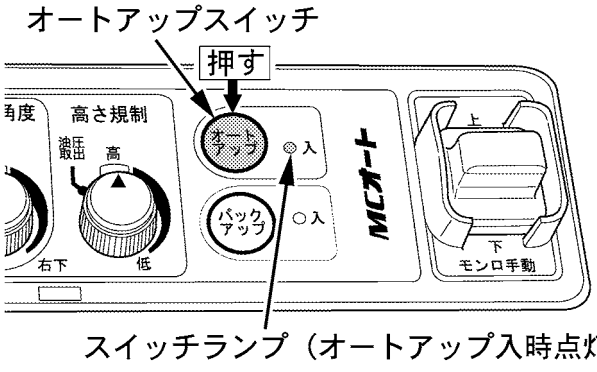
＊ 安全ロックは，ポンパレバーで作業機を上げても解除できます。
＊ 電子メータメッセージの油圧レバー下げて解除は，車速が約 10km/h 以上のときは表示しません。

■オートアップスイッチ
[MA・MAD 仕様]

注 意

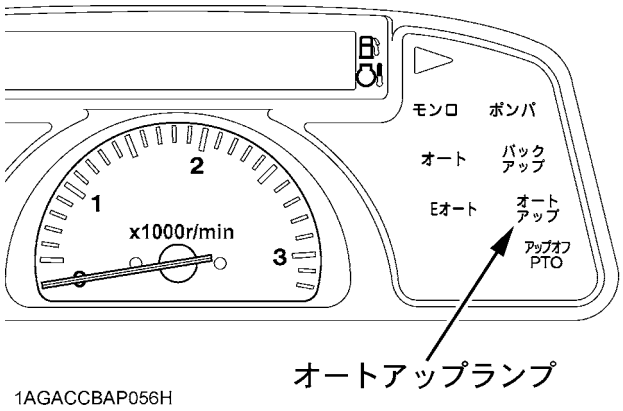
- **危険防止のため，オートアップの使用は，ほ場内作業のみにしてください。**
- **オートアップで作業する場合は，ランプが点灯していることを確認してください。ランプが消灯しているときは，作業機は自動で上昇しません。この状態で旋回すると，作業機を引きずり，障害事故を引起すおそれがあります。**
- **スイッチの操作はエンジンを始動したあとに行なってください。エンジン始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチの操作が無効になる場合があります。**

◆ オートアップの使い方
1. オートアップスイッチを押し**[入]**にします。オートアップ**[入]**のとき，メータパネルのオートアップランプが点灯します。
2. 隣接耕うん作業での旋回時，ステアリングハンドルを回すと，作業機が自動で上昇し，ほ場内での旋回操作が簡単にできます。（上昇時ブザー音が 1 回鳴ります。）
3. 作業機を下げるときは，ポンパレバー又は油圧レバーで行なってください。
4. オートアップスイッチを再度押すと，オートアップが**[切]**となります。（オートアップランプ消灯）



スイッチランプ（オートアップ入時点灯）

1AGACBAAP115J



オートアップランプ

1AGACCBAP056H

補 足

- オートアップが点灯中でもシャトルレバーが**[中立]**，**[後進]**及び PTO 変速レバーが**[中立]**又はあんしん PTO スイッチが**[切]**[**N 仕様**]の場合，オートアップは作動しません。
- 隣接耕うん作業以外では，オートアップスイッチを**[切]**にしてください。

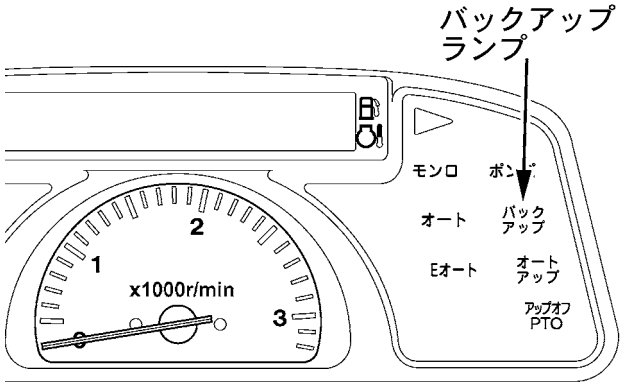
■バックアップスイッチ

[MA・MAD 仕様]

バックアップを**[入]**にしておくと，後進時作業機が自動的に上昇し，**[うっかりバック]**からの作業機の損傷を防ぎます。

注 意

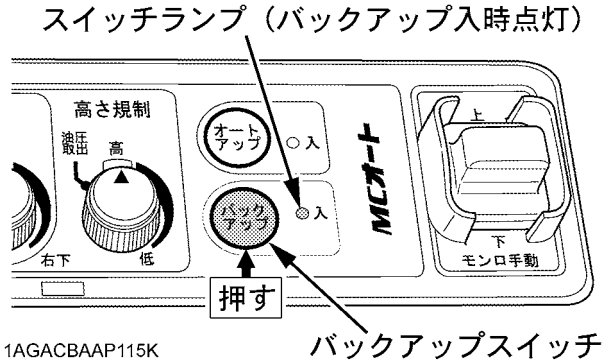
＊ スイッチの操作はエンジンを始動した後に行なってください。エンジン始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチの操作が無効になる場合があります。



1AGACCBAP056F

◆ バックアップの使い方

1. バックアップスイッチを押し**[入]**にします。
   バックアップ**[入]**のとき，メータパネルのバックアップランプが点灯します。
2. シャトルレバーを**[後進]**に入れると，作業機が自動で上昇します。
3. 作業機を下げるときは，ポンパレバー又は油圧レバーで行なってください。
4. バックアップスイッチを再度押すと，バックアップが**[切]**となります。
   （バックアップランプ消灯）



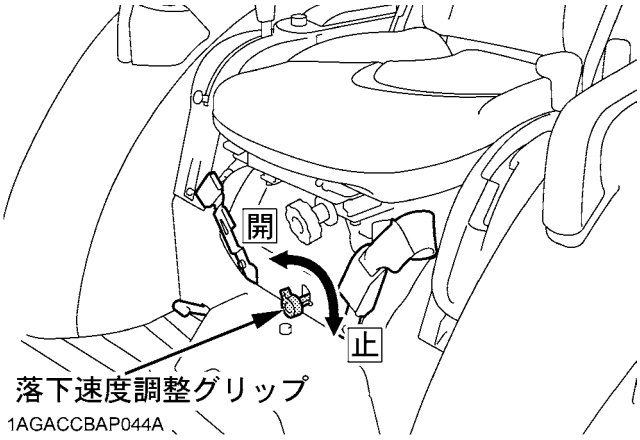
1AGACBAAP115K

■作業機落下速度の調整

注　意

＊ ロータリなど作業機を点検する場合は，必ず落下速度調整グリップで，作業機が落下しないようにロック（停止）してください。
＊ 落下速度調整グリップでロックした後，油圧レバーを［前方に倒して］，作業機が落下しないことを必ず確認してください。
＊ ロックするとともに適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし，落下防止を行なってください。

落下速度調整グリップを回すことにより作業機落下速度が調整できます。（回転角 90°）



［開］方向に回す：
油圧回路が開き，作業機の落下速度が速くなります。
［止］方向に回す：
油圧回路が閉じ，作業機の落下速度が遅くなります。
（**［止］**方向に一杯まで回すと，油圧がロック（停止）します。）

ロータリの落下速度は，上昇位置から接地するまで１～２秒が適当です。
特にオート耕うん時，落下速度が速すぎると滑らかな耕うんができない場合があります。

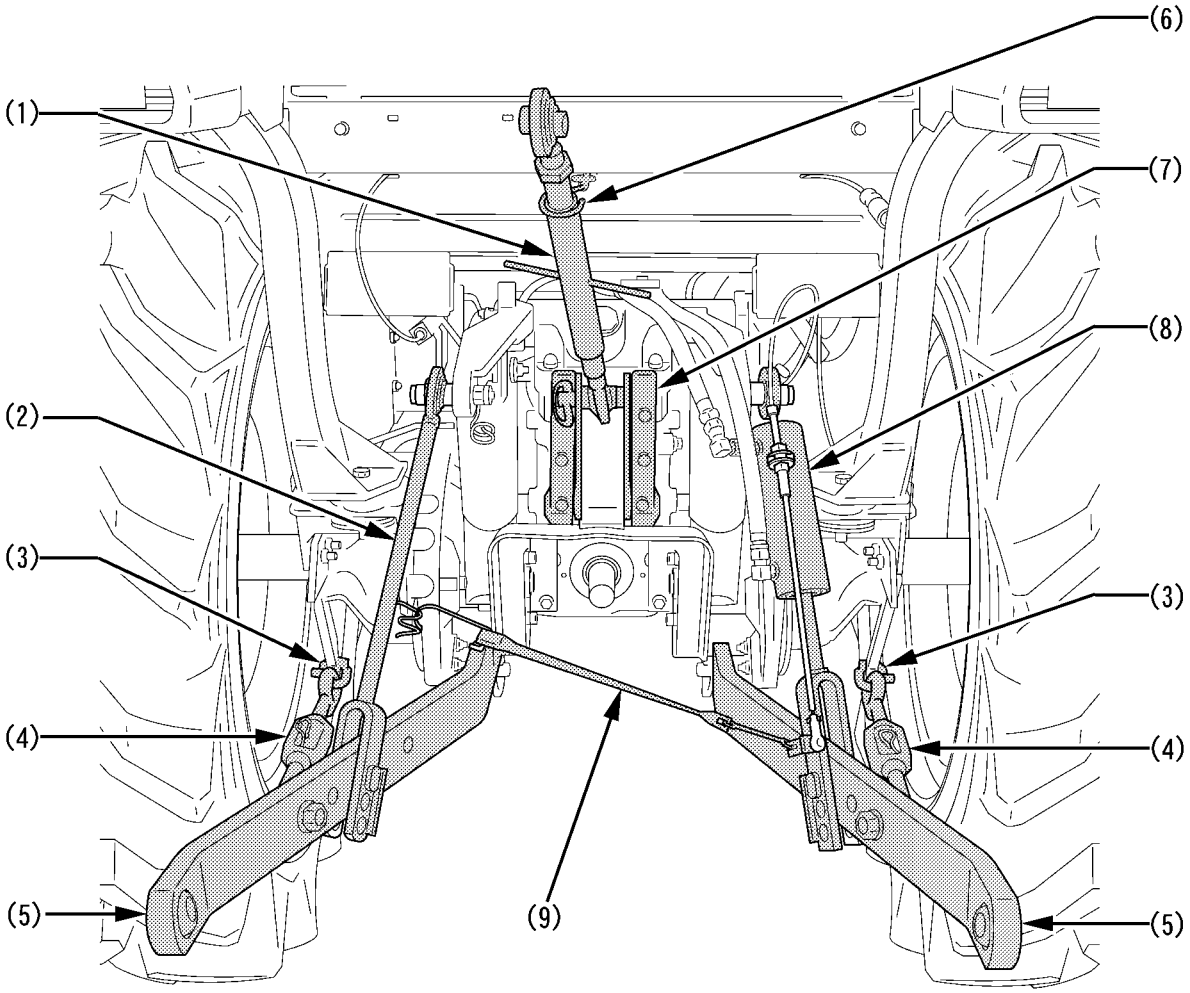
重　要

＊ グリップは軽く回すだけで油圧がロックされますので無理に回さないでください。
（回転角 90°）

◆ 油圧ロックの取扱い

1. トラクタの格納は，作業機を降ろした状態で保管してください。
作業機を上げた状態で長時間保管すると，油圧ロックしていても下降することがあります。
2. 作業機を上げた状態で保管する場合は，次の要領で行なってください。
(1) エンジンをかけた状態で落下速度調整グリップを**［止］**方向に回してください。
(2) 油圧レバーを前方に倒し，作業機が下がらないことを確認してください。
この操作を行うことで，油圧ロックの作動がより確実になります。
(3) エンジンを停止してください。
(4) 再度油圧レバーを上げてください。

三点リンク



1AGACBAAP039E

(1) トップリンク
(2) リフトロッド左
(3) チェックチェーン
(4) ターンバックル
(5) ロアーリンク
(6) トップリンクフック
(7) トップリンクブラケット
(8) リフトシリンダ（リフトロッド右）
(9) 振止めゴム

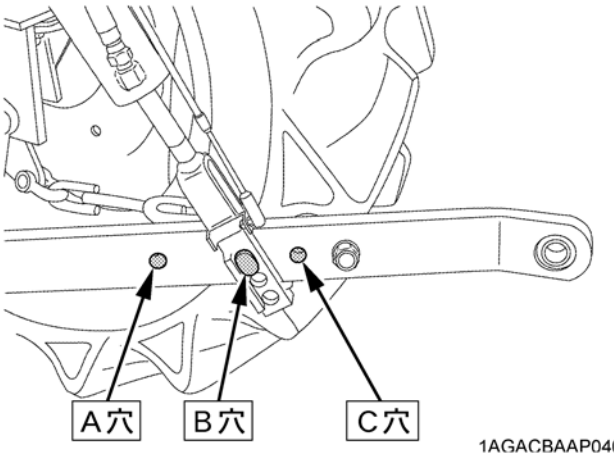
1. 三点リンクは，JIS 1形です。
2. **KL225・245(H)・265(H) 型トラクタ**をご購入の方は，トップリンクアッシが仕様によっては付属されないので別途購入してください。
3. 三点リンク用作業機を装着したとき（3）チェックチェーン，（5）ロアーリンクがタイヤと接触するおそれのある場合は，後輪輪距を広げてください。(**[作業のしかた]**の章の**[輪距の調整]**の項を参照)

1. インプルメント取付け前の準備

■ロアーリンク取付け穴の選択

[KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・385 (H)・415 (H)・555H・285-PC・345 (H) -PC・415-PC]
下表を参考に正しい取付け穴を選択してください。

	ロアーリンク穴位置
オートヒッチフレーム無しのとき（一般作業機装着時）	A 穴
	B 穴 **[KL555H]**
特殊三点リンク用オートヒッチフレーム付きのとき（ロータリ）	B 穴（播種機装着時必要に応じ C 穴）
W3P 用オートヒッチフレーム付きのとき［W3P 仕様］（ロータリ）	B 穴 **[KL225・245 (H)・265 (H)・285-PC]**
	A 穴 **[KL285 (H)・315 (H)・345 (H)・385 (H)・415 (H)・555H 345 (H) -PC・415 (H) -PC]**



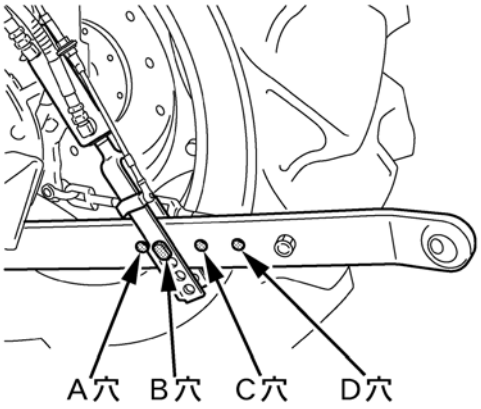
1AGACBAAP040B

補　足

＊ ロアーリンクの C 穴を使用するときは，リフトロッドの上穴は使用できません。
＊ クボタロータリを使用する場合のリフトロッド穴位置は**ロータリ**の**［取扱説明書］**を参照してください。
＊ 他社インプルメントを使用する場合のリフトロッド穴位置は購入先に相談してください。
＊ KL415H-PC には，C 穴がありません。

[KL465H・505H・505H-PC]
下表を参考に正しい取付け穴を選択してください。

	ロアーリンク穴位置
オートヒッチフレーム無しのとき（一般作業機装着時）	B 穴
特殊三点リンク用オートヒッチフレーム付きのとき（ロータリ）	C 穴（播種機装着時必要に応じ D 穴）
W3P 用オートヒッチフレーム付きのとき［W3P 仕様］（ロータリ）	A 穴



1AGACBRAP004A

補　足

＊ ロアーリンクの D 穴を使用するときは，リフトロッドの上穴及び上から２段目の穴は使用できません。
＊ クボタロータリを使用する場合のリフトロッド穴位置は**ロータリ**の**［取扱説明書］**を参照してください。
＊ 他社インプルメントを使用する場合のリフトロッド穴位置は購入先に相談してください。
＊ KL505H-PC には，D 穴がありません。

2. 作業機の着脱

警　告

＊ 作業機を着脱する前，必ずエンジンを止めてください。又，ロータリなどの PTO 作業機は完全に止まるまで待ってください。
＊ 駐車ブレーキがかかっていないときは，トラクタと作業機の間に入らないでください。
＊ 作業機の着脱は，固い平坦な場所で行なってください。
＊ 作業機を取付けたとき，油圧で作業機を上下させ，トラクタとの接触やユニバーサルジョイントの外れがないか点検してください。

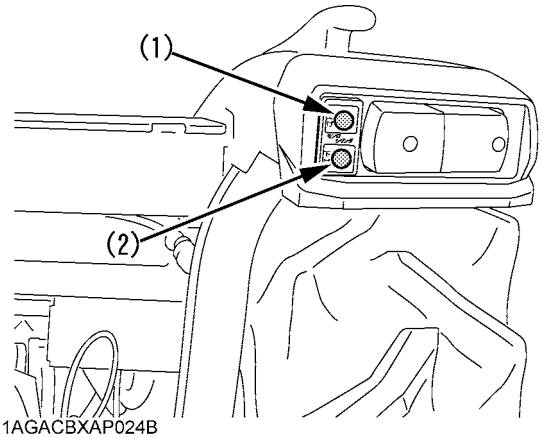
■モンロー外部操作スイッチ

[KL385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC MA・MAD 仕様]

注　意

＊ 作業機を装着しているときは，特に機械に巻き込まれるおそれがありますので，操作しないでください。

作業機装着時, ロアーリンク高さを変えるときに使用します。



1AGACBXAP024B

(1) モンロー外部操作スイッチ（上げ）
(2) モンロー外部操作スイッチ（下げ）

モンロー外部操作スイッチ (1) 又は, (2) を押している間, モンロー用シリンダが伸縮します。

補　足

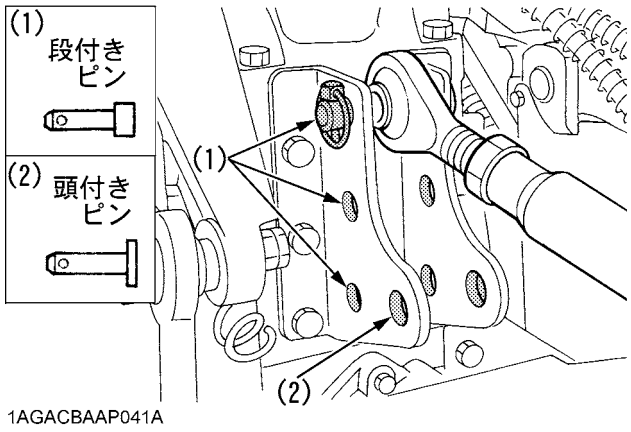
＊ モンロスイッチ**【切】**で使用してください。モンロスイッチ**【入】**で使用すると，スイッチから手を離すと元の水平位置に戻ります。

■トップリンク

◆ 取付け穴の選択

使用する作業機によって取付け穴を選択してください。指定された取付け穴以外は使用しないでください。

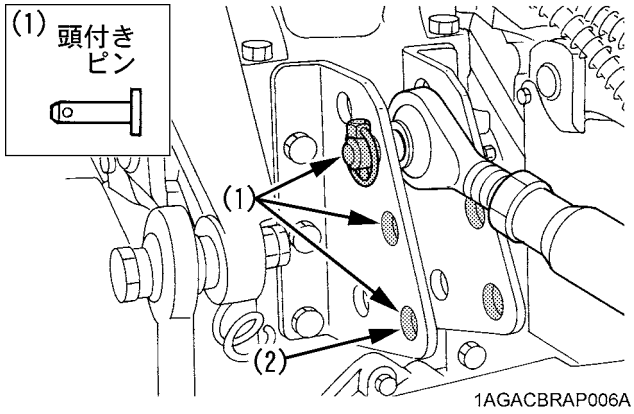
[KL225・245 (H) ・265 (H) ・285 (H) ・315 (H) ・345 (H) ・285-PC・345 (H) -PC]



1AGACBAAP041A

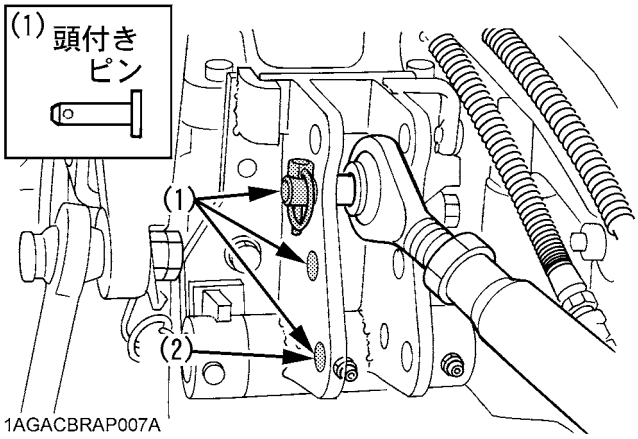
(1) トップリンク取付け穴（段付きピン使用）
(2) W3P 用オートヒッチフレーム使用時取付け穴（頭付きピン使用）

[KL385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC]



1AGACBRAP006A

[ドラフト付き（MAD）仕様]



(1) トップリンク取付け穴（頭付きピン使用）
(2) W3P 用オートヒッチフレーム使用時取付け穴

◆ トップリンク長さの調整

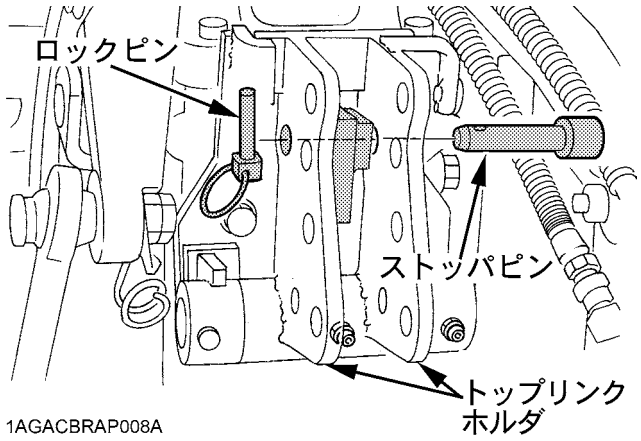
伸縮させて，作業機の傾きを調整してください。調整後はロックナットでロックしてください。

補　足

＊ トップリンクの取付け穴及び長さは，**取付ける作業機**の**［取扱説明書］**をご覧ください。

◆ ドラフトストッパピンの着脱［MAD 仕様］

プラウ作業などドラフトコントロールを使用する場合は，トップリンクホルダのストッパピンを抜いてください。また，ロータリ作業などポジションコントロールを使用する場合は，ストッパピンを入れてください。



補　足

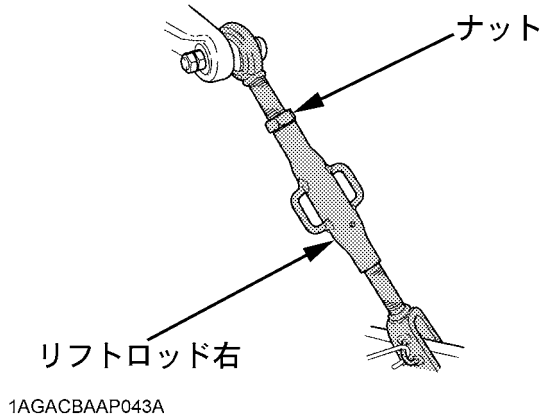
＊ ストッパピンを外したまま，ロータリ耕うんを行なうと，オートが正常に作動しない場合があります。

■リフトロッドの調整

（**MA・MAD 仕様**の調整方法は**［作業のしかた］**の章の**［モンローマチックオートの取扱い］**の項を参照）

1. リフトロッド右，又はハンドルを回して，作業機の水平を合せてください。
2. 調整後は，ナット，又はストッパで固定してください。

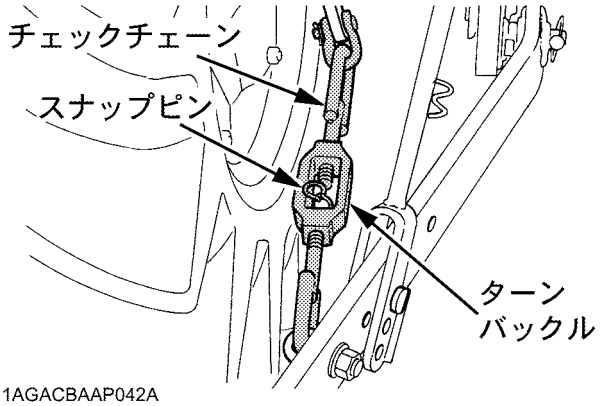
[KL225・245・265]



■チェックチェーン

スナップピンを抜き，ターンバックルを回して，作業機の横振れを制限してください。
調整後はスナップピンで，ターンバックルを固定してください。

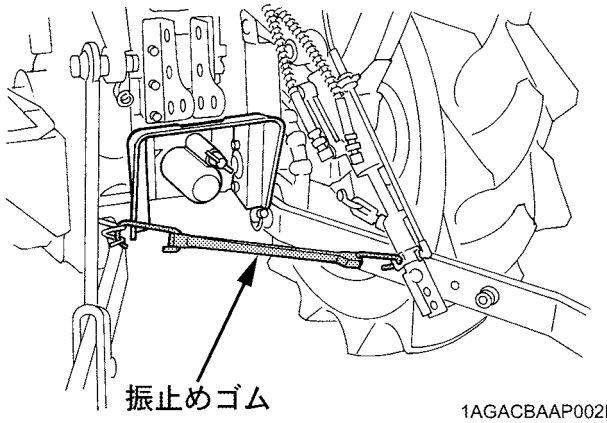
作　業　機	チェーンの張り具合
プラウ，ハロー， サブソイラ， ディガー	ゆるめる 作業機が横方向に ５～６ cm 動く程度
モーア，ヘイレーキ， テッダ，リッジャ， カルチベータ	軽く締める
ロータリ	作業機が横方向に １～２ cm 動く程度



1AGACBAAP042A

■作業機を取付けないときの注意

作業機を取付けないときは，ロアーリンクが後輪にあたらないように，左右振れ止めをしてください。



1AGACBAAP002B

けん引ヒッチ（別売）

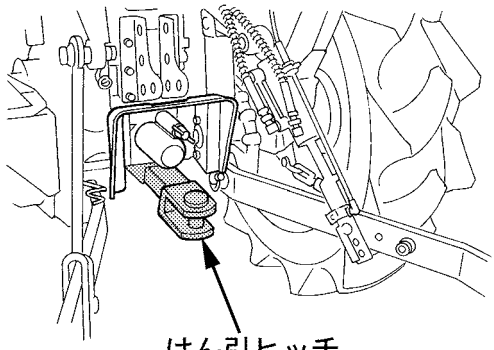
警　告

＊ けん引作業をするときは，必ずけん引ヒッチ（別売）を使用し，トップリンクブラケットや車軸などで引張らないようにしてください。転倒事故を引起こすおそれがあります。

＊ 三点リンクに取付け，PTO 軸からユニバーサルジョイントで動力を取出すインプルメント（ロータリ，ブロードキャスタなど）を使用するときは，けん引ヒッチを外してください。そうしないと，ユニバーサルジョイントがけん引ヒッチにあたって破損し，事故を起こすおそれがあります。

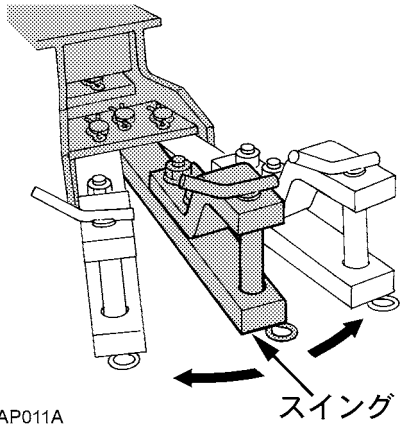
けん引は，このトラクタ用に採用しているインプルメントのみにしてください。
他の物をけん引する場合は，必ず購入先にご相談ください。

[KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC]



1AGACBAAP044A

[KL385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC]

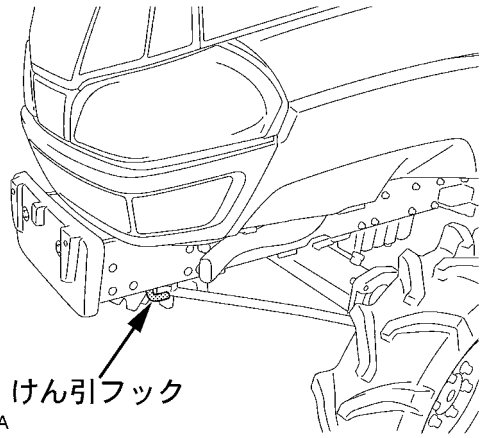


1AGACBRAP011A

■けん引フック

注 意

＊ けん引フックは，横方向へは絶対に引かないようにしてください。
横に引張ると，外れやすくフレームが曲るおそれがあります。



1AGACCBAP054A

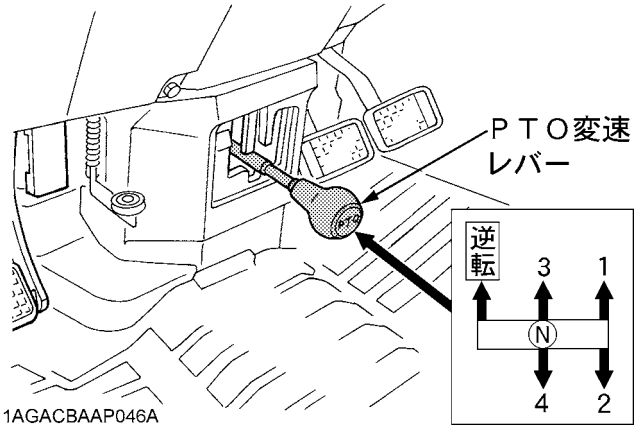
PTO

■ PTO 変速レバー

注 意

＊ 作業機に指定された PTO 回転速度を厳守してください。低速回転で使用すべき作業機を，高速回転で使用しないでください。

PTO 軸（動力取出し軸）の回転速度は，正転４段・逆転１段に変速できます。
変速操作は，必ずクラッチペダルをいっぱい踏込んでから行なってください。



1AGACBAAP046A

◆ PTO［逆転］の使い方

1. 使用できる作業機
＊ メーカ指定のロータリに限ります。

重 要

＊ メーカ指定以外のロータリ・インプルメントで使用すると，作業機の故障の原因になります。

2. 使用できる作業
＊ 土寄せ作業
＊ 草やわらなどの巻きつきをほぐすとき

重 要

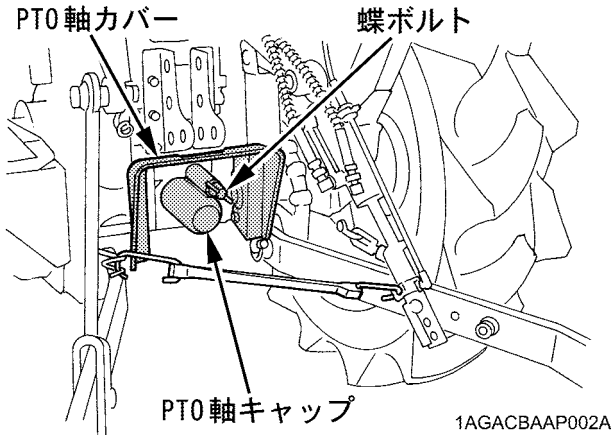
＊ オートスイッチは**[切]**にして油圧（ポジションコントロール）レバーで作業してください。（**[作業のしかた]**の章の**[モンローマチックオートの取扱い]**の項を参照）**[MA・MAD 仕様]**

3. 使用できない作業
＊ 未耕地での耕うん作業
＊ ロータリの爪を逆に取付けて行なう耕うん作業

■ PTO 軸カバー，PTO 軸キャップ

注 意

- **＊ PTO 軸を使わないときは，PTO 軸にグリースを塗布した後，PTO 軸キャップを取付けておいてください。そうしないと，巻込まれによる傷害事故を引起こすおそれがあります。**
- **＊ PTO 軸キャップを使用しないときは，PTO 軸キャップを紛失しないように大切に保管してください。**
- **＊ PTO 軸カバーは常に取付けておいてください。**
- **＊ PTO 軸カバーの上に乗らないでください。**



■あんしん PTO スイッチ［N 仕様］

警 告

- **＊ 巻き込まれによる死傷事故を防ぐため，アップオフ PTO スイッチが［入］のときは作業機に近づかないでください。**

注 意

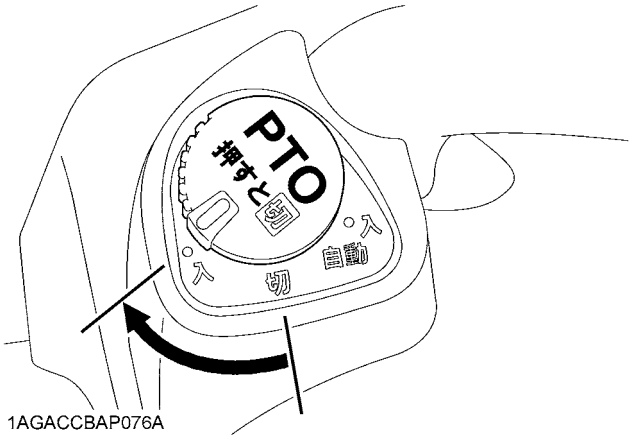
- **＊ アップオフ PTO モードは，ほ場作業以外のときは［切］にしてください。**
- **＊ アップオフ PTO モードは，ロータリ，ハロー作業のみで使用してください。**
- **＊ アップオフ PTO モードをロータリ・ハロー以外の作業に使うと作業機の破損，思わぬトラブルが起こるおそれがあるので使わないでください。**
  （ハーベスタの草わらつまり，バイブロサブソイラの地中でのロックなど。）
- **＊ あんしん PTO スイッチが［入］のときは，PTO 軸には触れないでください。レバー操作などで PTO 軸が回転し巻込まれによる傷害事故を引起こすおそれがあります。**
- **＊［油圧レバー下げで回転］のメッセージが表示されているときは，作業機の昇降操作（ポンパ含む）で PTO が回転します。周囲の確認を十分に行なって作業をしてください。**

補 足

- ＊ あんしん PTO スイッチが**［切］**の位置でないとエンジンは始動できません。
- ＊ 走行クラッチを踏むと PTO は停止します。PTO を止めずに走行を停止したい場合は，クラッチを踏まずにシャトルレバーを操作してください。

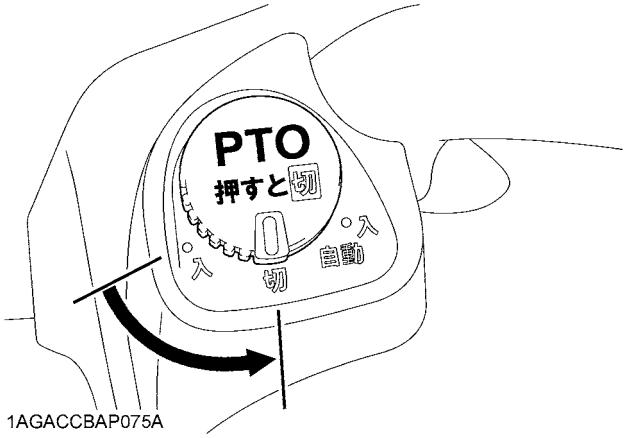
◆ あんしん PTO スイッチの操作

スイッチを押しながら左に回すと**［入］**になります。



1AGACCBAP076A

スイッチを押すと**［切］**に戻ります。



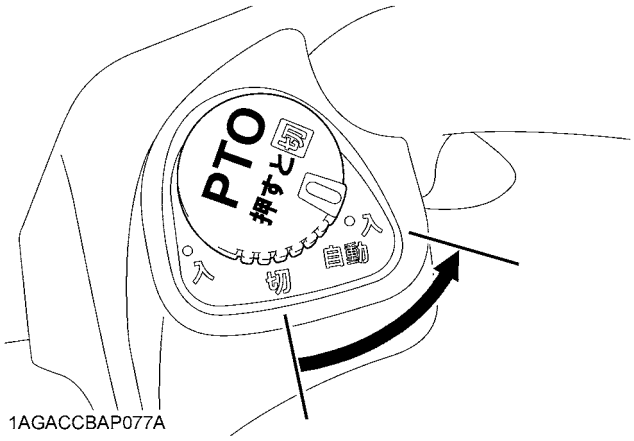
1AGACCBAP075A

◆ アップオフ PTO モード

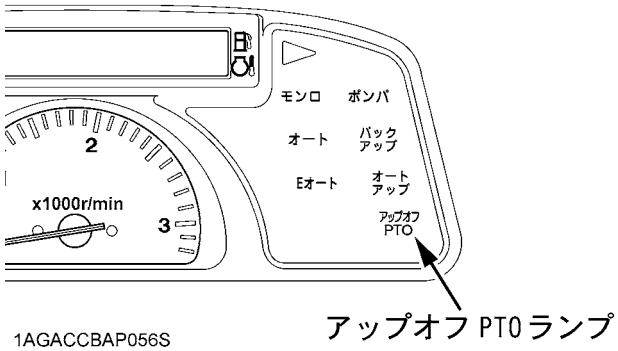
スイッチを押しながら右に回すとアップオフPTOモードが**［入］**になり，メータのアップオフPTOランプが点灯します。
アップオフPTOはポンパスイッチ又は油圧レバーの**［上げ］**操作により PTO 回転が停止する機能で，ロータリ，ハロー作業での旋回時における泥，ほこりの飛散，うっかりミスによる障害物の破損を軽減させることができます。
また，ポンパスイッチ又は油圧レバーの**［下げ］**操作により PTO 回転が始まります。

補　足

* アップオフ PTO 機能により PTO 回転が停止している間はブザーが鳴り続けます。
* 油圧レバーの位置によってはポンパスイッチによる PTO の停止・回転が行なえない場合があります。



1AGACCBAP077A



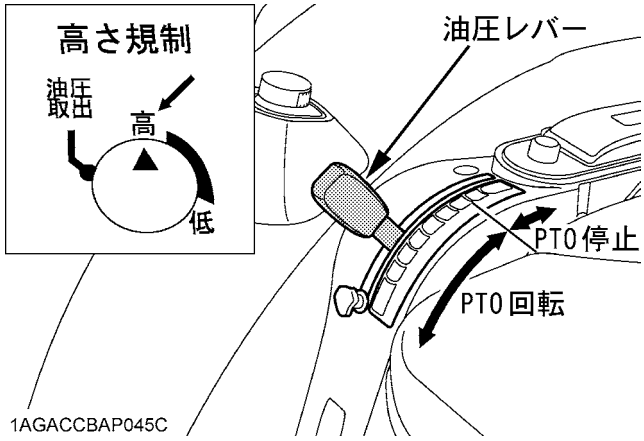
1AGACCBAP056S

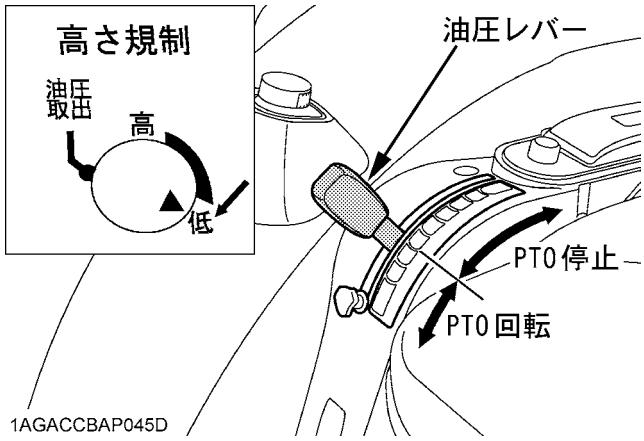
アップオフ PTO ランプ

重　要

* アップオフ PTO 機能はポンパスイッチ又は，油圧レバーの操作を感知して，PTO を停止・回転させますので，三点リンクの上昇・下降の動作と PTO 停止・回転の動作は完全に一致しない場合があります。
* アップオフ PTO モードが**【入】**で油圧ロックをしている場合，ポンパスイッチ又は油圧レバーの**【下げ】**操作により作業機が下がらなくても，PTO は回転します。（**【作業のしかた】**の章の**【作業機落下速度の調整】**の項を参照）
* アップオフ PTO の動作タイミングは，高さ規制ダイヤルを使用すると変化します。
（次図）

油圧レバーが**【PTO 回転】**位置にあるときのみポンパスイッチの**【上げ】**操作により PTO 回転が停止し，**【下げ】**操作により PTO 回転が始まります。エンジン始動後，アップオフ PTO モードを**【入】**にしたときに PTO が回転するか停止するかは，エンジン始動時の三点リンクの高さで決まります。





（高さ規制ダイヤルを**【低】**にすると，PTO 回転が始まる油圧レバー高さも低くなります。）

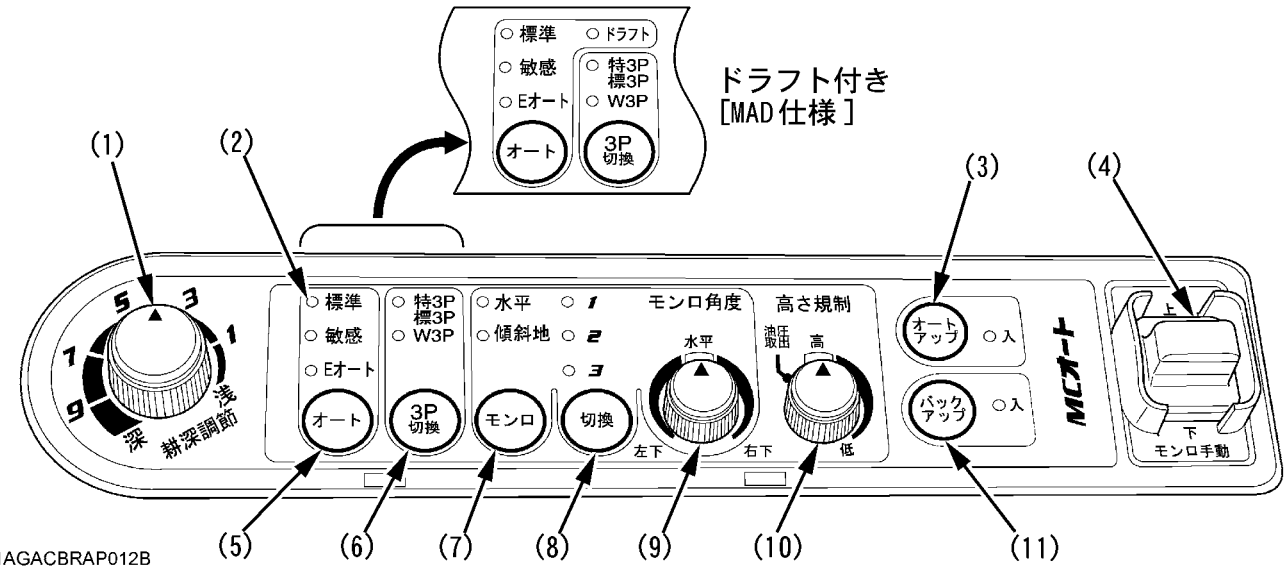
モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］

注 意

**＊ 各スイッチの操作はエンジンを始動した後に行なってください。
エンジンの始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチ操作が無効になる場合があります。**

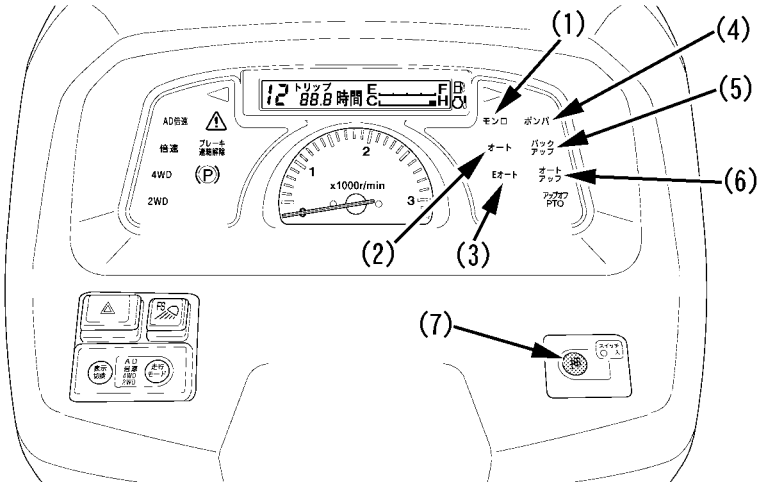
■各部の名称

各操作スイッチには，スイッチ上部を指先で軽く押すごとにモードが切り換わるタッチ式スイッチを用いています。また，スイッチでの選択状態を，メータパネル内のモニタランプと各スイッチランプで表示します。



1AGACBRAP012B

(1) 耕深調節ダイヤル
(2) スイッチランプ
(3) オートアップスイッチ
(4) モンロ手動スイッチ
(5) オートスイッチ
(6) 3P 切換スイッチ
(7) モンロスイッチ
(8) 切換スイッチ
(9) モンロ角度調節ダイヤル
(10) 三点リンク高さ規制ダイヤル
(11) バックアップスイッチ



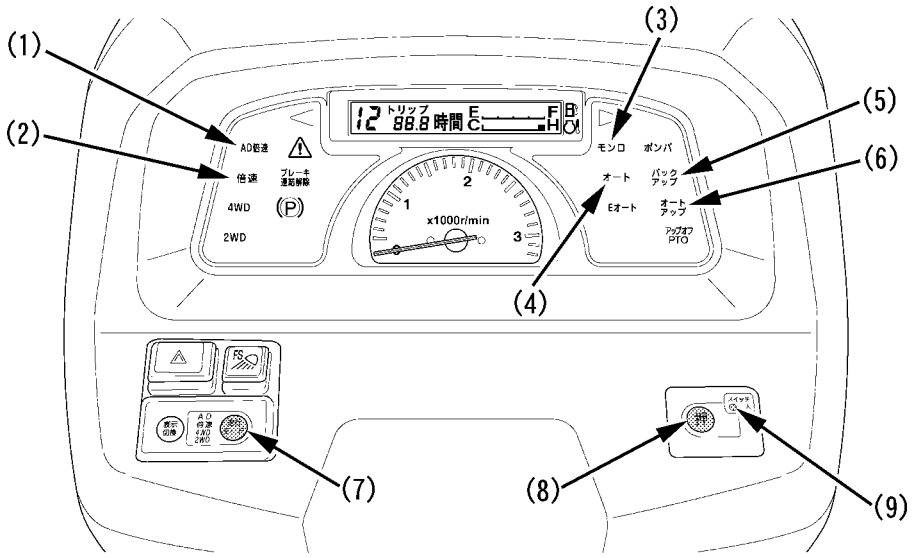
1AGACCBAP056G

(1) モンロランプ
(2) オートランプ
(3) E オートランプ
(4) ポンパランプ
(5) バックアップランプ
(6) オートアップランプ
(7) ワンタッチ耕うんモードスイッチ

■ワンタッチ耕うんモードスイッチ

一般的なほ場で耕うん作業を行なう場合にはワンタッチ耕うんモードスイッチを 1 回押すだけで，トラクタの自動装置はすべて標準的な設定（※）**［モンロ水平］［オート標準］［オートアップ入り］［バックアップ入り］［AD 倍速］**に設定されスイッチ**［入］**ランプが点灯します。
※**［ワンタッチ耕うんモードの設定変更方法］**により変更できます。

作業終了後，もう一度ワンタッチ耕うんモードスイッチを押すと，自動装置はすべて**［切］**になり，**［2WD］**の状態になります。（作業中，下記の任意変更を行なった場合には，再度自動装置がすべて**［入］**の状態になります。）



1AGACCBAP056J

（1）AD 倍速ランプ
（2）倍速ランプ
（3）モンロランプ
（4）オートランプ
（5）バックアップランプ
（6）オートアップランプ
（7）走行モード切換スイッチ
（8）ワンタッチ耕うんモードスイッチ
（9）スイッチランプ（選択時点灯）

◆ ワンタッチ耕うんモードの任意変更

作業に応じ各操作スイッチで各自動装置の設定が変更できます。
(設定を変更した場合は，ワンタッチ耕うんモードスイッチのランプは消灯します。又，ドラフトを使用した場合**［モンロ水平］**ランプは消灯し，モンロ**［切］**となります。)
初期設定状態に戻すには，モードスイッチを押してランプを点灯させた後，再度スイッチを押すと，自動装置はすべて**［切］**になり，**［2WD］**の状態になります。

	操作スイッチ	操作方法
片ブレーキをかけたくない。倍速を効かせたくない。	走行モード切換スイッチ	希望の状態に切換える。
オートを使用しない。	オートスイッチ	**［切］**にする。
オートを敏感にしたい。	オートスイッチ	**［敏感］**に切換える。
カバーを上げて耕うんしたい。	オートスイッチ	**［E オート］**に切換える。
モンロを使用しない。	モンロスイッチ	**［切］**にする。
傾斜地モンロを使用する。	モンロスイッチ	**［傾斜地］**に切換える。
オートアップ不要の時。	オートアップスイッチ	**［切］**にする。
バックアップ不要の時。	バックアップスイッチ	**［切］**にする。
ドラフトを使用する。	オートスイッチ	**［ドラフト］**に切換える。
ドラフト使用時にモンロを使用したい。	オートスイッチ モンロスイッチ	オートスイッチでいったん**［ドラフト］**に切換え，次にモンロスイッチを**［モンロ水平］**に入れる。

補　足

＊ 作業後または作業中にエンジンを停止した場合には，停止前の状態を記憶しています。
＊ モンローマチック・オート，オートアップ，バックアップ，および AD 倍速，倍速については，それぞれ**［モンロスイッチ・オートスイッチ・オートアップスイッチ・バックアップスイッチ・走行モード切換スイッチ］**の項を参照してください。

◆ ワンタッチ耕うんモードの設定変更方法

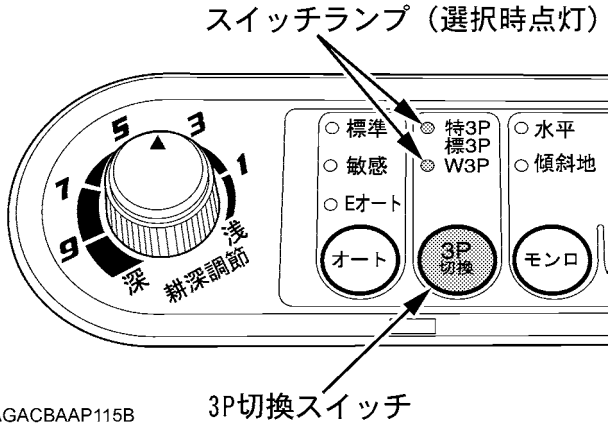
よく使用する設定をワンタッチ耕うんモードとして記憶させることができます。
1. ワンタッチ耕うんモードスイッチを押し，ワンタッチ耕うんモードスイッチのランプを**［点灯］**状態にします。
2. ワンタッチ耕うんモードの設定を変更します。(例えばバックアップが不要な場合はバックアップスイッチを押して**［切］**にします。)
3. ワンタッチ耕うんモードスイッチを５秒間長押しします。
   ５秒後メータから「ピ」音が作動すれば設定が記憶されます。
4. ワンタッチ耕うんモードの設定を工場出荷設定に戻したい場合は，ワンタッチ耕うんモードスイッチを 10 秒間長押しします。
   ５秒後にメータから「ピ」音が作動し，10 秒後にメータから２回目の「ピ」音が発生すれば，工場出荷の設定に戻ります。

■ 3P 切換スイッチ

スイッチを押すごとに
[特 3P ／標 3P ⇔ W3P]
に切換わります。
作業機装着時，下記を参考にスイッチを切換えてください。
選択状態はスイッチランプにより表示されます。

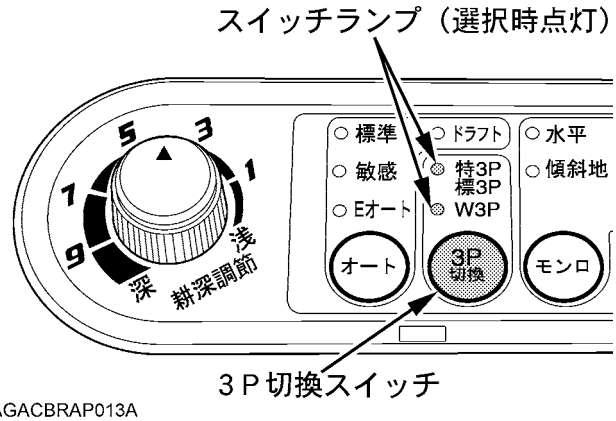
特 3P 用オートヒッチフレーム装着及び
オートヒッチフレーム無しの時
……特3P／標3Pを選択
W3P 用オートヒッチフレーム装着時
……W3P を選択

[MA 仕様]



1AGACBAAP115B

[MAD 仕様]



1AGACBRAP013A

補　足

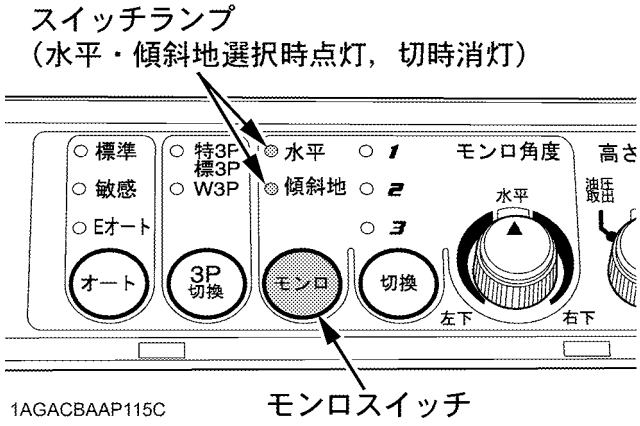
＊ W3P 仕様で，オートヒッチフレーム付き標準三点リンク式作業機を装着時，ジョイントの取付け位置やトップリンク長さなどを変更してください。(**ロータリ**の**[取扱説明書]**参照)
＊ モンロ及びオートを **[切]** にすると，3P 切換スイッチは操作できません。(スイッチランプも消灯)

■モンロスイッチ

スイッチを押すごとに
[水平⇒傾斜地⇒切（手動）⇒水平]
の順に切換わります。
次にあげた作業に応じ，いずれかを選択してください。

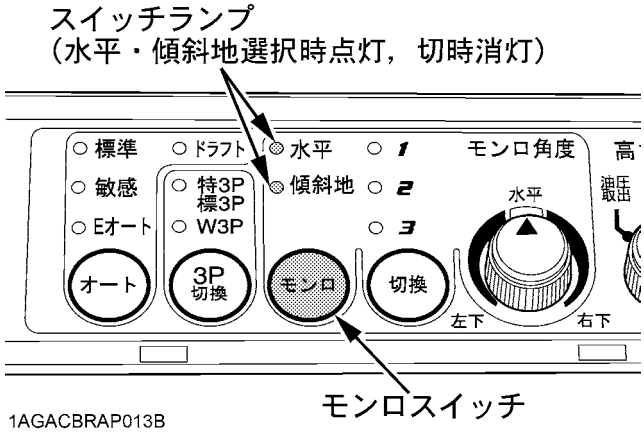
メータパネル
水平・傾斜地選択時……モンロランプ点灯
切（手動）選択時……モンロランプ消灯

[MA 仕様]

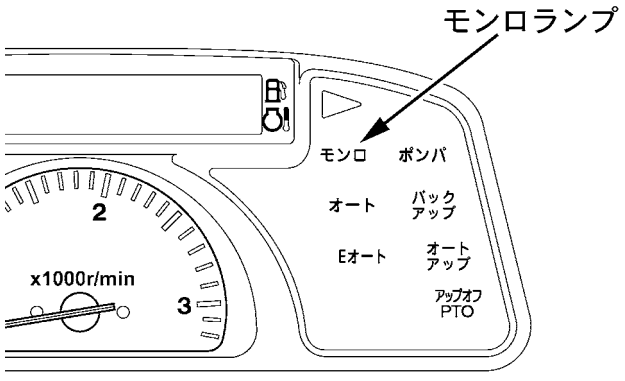


1AGACBAAP115C

[MAD 仕様]



1AGACBRAP013B



1AGACCBAP056N

◆ 水平

トラクタ本体の傾きにかかわらず作業機を常に水平または地面に対し一定の角度に保ちたいとき使用します。

1. モンロ角度調節ダイヤルが**[水平]**位置の場合
   （作業機は常に水平に保たれます。）
＊ 水田でのあぜ際耕うん，枕地，凸凹地での均平耕うん
＊ 整地板・代かきロータリなどによる均平作業
＊ 畑での畝立て，畝崩し作業その他
2. モンロ角度調節ダイヤルが **[水平]** 位置以外の場合
   （作業機は水平面に対して常に一定の角度に保たれます。）
＊ 広幅畝立て，その他

補　足

＊ モンロスイッチが **[水平]** の場合，作業機を上端付近まで上げたときは，作業機の姿勢は本機に平行に保持されます。
＊ 左右のオフセット量が大きく，左右の重量バランスが悪い作業機の場合は，モンロスイッチ **[切]** で使用してください。

◆ 傾斜地

傾斜のあるほ場で，作業機を常にほ場面と平行に保ちたいとき使用します。

＊適応作業：　傾斜のある畑の耕うん・仕上げ作業（マルチ・リッジャなど）

補　足

＊ モンロスイッチが **[傾斜地]** の場合，作業機を上端付近まで上げたときは，作業機の姿勢は本機に平行に保持されます。
＊ **[傾斜地]** 選択時，凹凸の激しいほ場で十分な精度が得られない場合は **[切]**（手動）で使用してください。
＊ **[傾斜地]** 選択時，斜面と作業機の傾きの差が著しく大きいときは，モンロ手動スイッチにより，傾きの差が小さくなるように補正できます。トラクタが水平状態にあるときは調整できません。調整幅いっぱいまで動かしても傾きの差が大きいときは，**[切]** 又は **[水平]** で使用してください。エンジンを再始動すると，補正量は標準値に戻ります。
＊ 左右のオフセット量が大きく，左右の重量バランスが悪い作業機の場合は，モンロスイッチ **[切]** で使用してください。

◆ 切（手動）

モンローマチックの自動制御が解除され，位置制御になります。

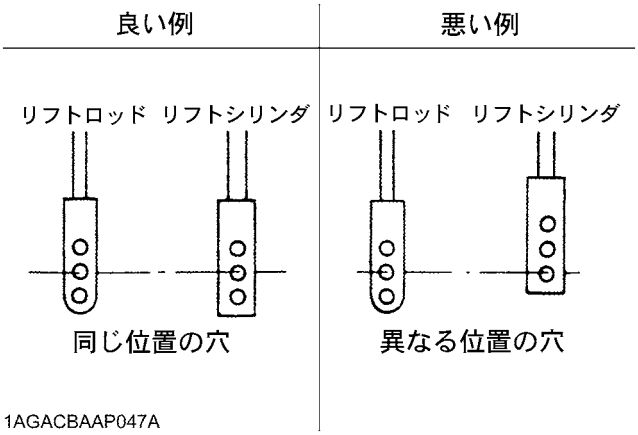
補　足

＊ モンロスイッチが **[切]**（手動）では，作業機を上端付近まで上げても，作業機の姿勢は本機と平行にはなりません。
従って，取付けている作業機を上げるときは注意してください。
＊ 位置制御とは：
このモードは，プラウ作業などで，常にリフトシリンダの位置（長さ）を一定に保ちたい場合に使用します。**[モンロ]** スイッチを **[切]**（手動）にすると，リフトシリンダの長さを **[モンロ手動]** スイッチで設定した長さを保つ制御をします。したがって，車体が傾いても長さは，変化しません。
リバーシブルプラウでの口開け作業などでは，リフトシリンダを **[モンロ手動]** スイッチで適当な長さに合せて，耕起できます。通常に耕起する場合には，モンロスイッチを **[水平]** に入れ，油圧レバーを上げると，リバーシブルプラウは車体と平行になります。その状態で **[モンロ]** スイッチを **[切]** にしてください。
＊ **[モンロ]** スイッチを **[切]**（手動）でエンジンを停止させた場合，トラクタはそのときの作業機の傾きを記憶しており，次のエンジン始動時に，記憶した作業機の傾きに戻ります。

重　要

* モンローマチックが不要の場合（フロントローダ作業などの場合）には，**[切]** で作業してください。
* **[手動]** で作業機を傾斜させているとき，作業機を上端に上げると，ジョイント騒音が高くなる場合がありますので注意してください。
* チェックチェーンを張りすぎますと，モンローマチック作動時に三点リンクに無理な力が加わりますので，チェックチェーンは手で軽く締める程度にしてください。

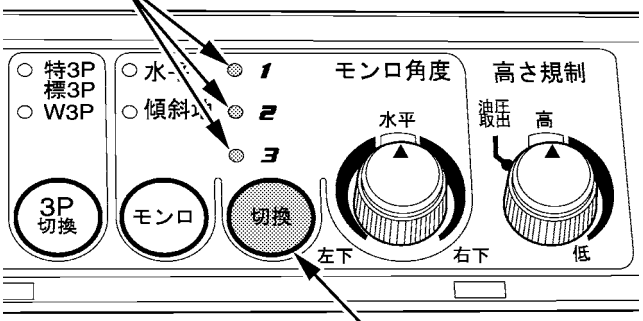
リフトロッドとリフトシリンダ先端部の取付け穴は，左右対称になるようにしてください。



■切換スイッチ

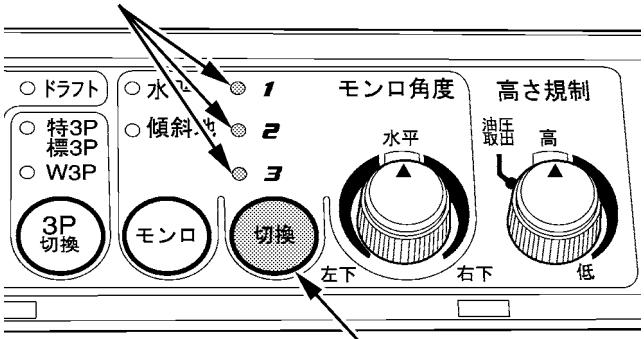
スイッチを押すごとに，**［1⇒2⇒3⇒1］**の順に切換わります。
作業機によって定まる三点リンクの取り付け状態（ロアーリンク幅及びロアーリンク穴）に応じて，下表を参考にスイッチを切換えてください。
選択状態はスイッチランプにより表示されます。

［MA 仕様］
スイッチランプ（選択時点灯）



1AGACBAAP115L
切換スイッチ

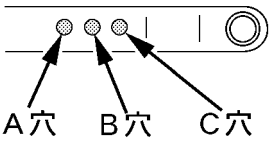
［MAD 仕様］
スイッチランプ（選択時点灯）



1AGACBRAP013C
切換スイッチ

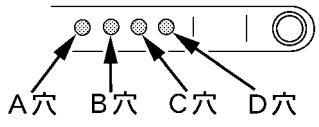
切換スイッチ	ロアーリンク	ロアーリンク穴位置 （ ）内は KL465H・505H	作業機例
1	広	B 穴 (C 穴)	オートヒッチフレーム 付きロータリ (特殊 3P 仕様)
		B 穴又は C 穴 (C 穴又は D 穴)	—
2	広	A 穴 (A 穴又は B 穴)	—
3	狭	A 穴 (B 穴)	—

ロアーリンク穴

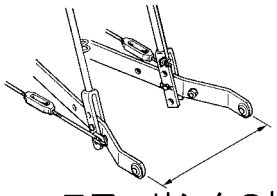


1AGACBRAP014A

［KL465H・505H］



1AGACBRAP016C



ロアーリンクの幅
［広］…718㎜
(JIS)
［狭］…590㎜
(参考)

1AGACBRAP015A

補　足

＊ 3P 切換スイッチが**［W3P］**を選択時，切換スイッチは自動的に下記を選択します。
このとき，切換スイッチを押しても切換えできません。

［切換スイッチ］

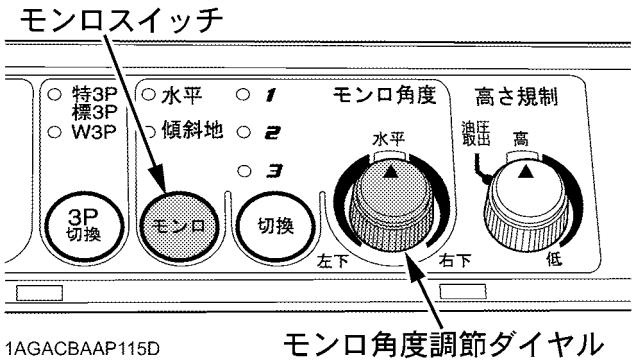
KL225・245(H)・265(H) …… **1**
KL285(H)・315(H)・345(H)・385(H)・415(H)・465H・505H・555H・285-PC・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC… **2**

＊ モンロ **［切］**のとき，切換スイッチは，操作できません。（スイッチランプ消灯）
＊ ロアーリンクの穴は，KL415H-PC には C 穴，KL505H-PC には D 穴がありません。

■モンロ角度調節ダイヤル

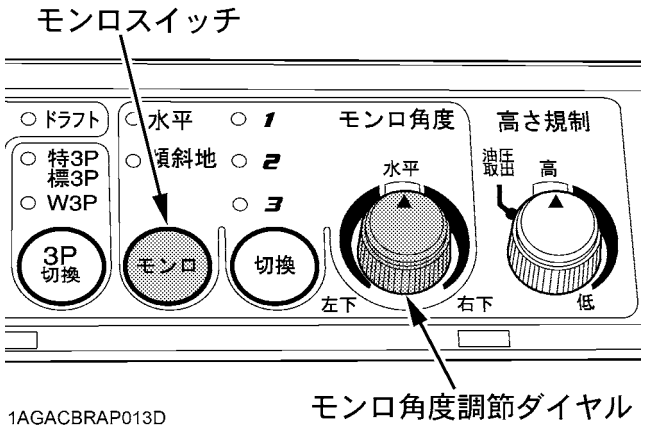
モンロスイッチが **[水平]** の場合，作業機の姿勢を調節するときにモンロ角度調節ダイヤルを使用します。

[MA 仕様]



1AGACBAAP115D

[MAD 仕様]



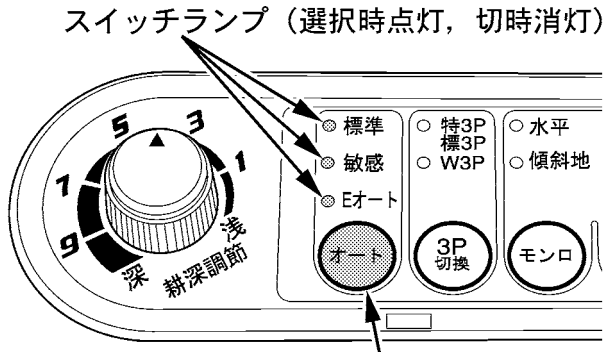
1AGACBRAP013D

1. ダイヤルを **[水平]** 位置にすると，作業機は水平に保持されます。
2. ダイヤルを **[左下]** 方向に回すと，作業機が左下りに保持されます。
3. ダイヤルを **[右下]** 方向に回すと，作業機が右下りに保持されます。

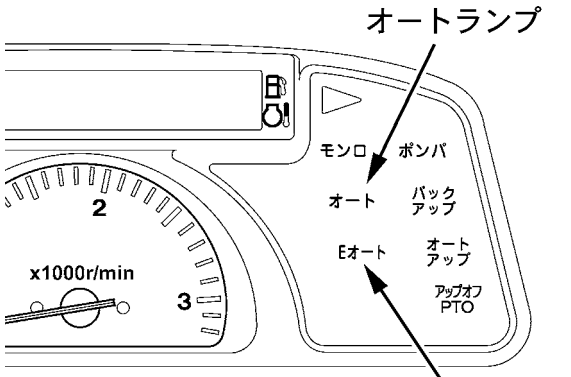
■オートスイッチ［MA 仕様］

スイッチを押すごとに
[標準⇒敏感⇒E オート⇒切⇒標準]
の順に切換わります。
次にあげた作業に応じ，いずれかを選択してください。

	メータパネル
標準・敏感選択時……	**[オート]** ランプ点灯
E オート選択時……	**[E オート]** ランプ点灯
切選択時……	**[オート]**，**[E オート]** ランプ消灯



1AGACBAAP115E



1AGACCBAP056O

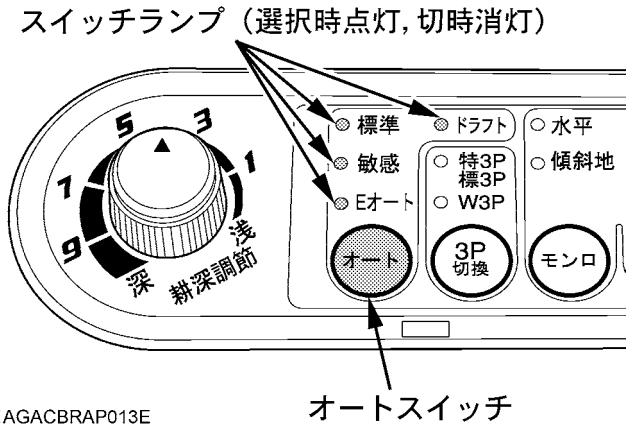
◆ 標準
浅起しから深起しまで，一般的な作業に使用します。
◆ 敏感
湿田での作業，代かき作業，その他仕上がりに応じて使用します。
◆ E オート
ロータリカバーを上げたまま荒起こしなどの作業を後２輪なしで行なうオート作業に使用します。
◆ 切
オートの自動制御が解除されます。

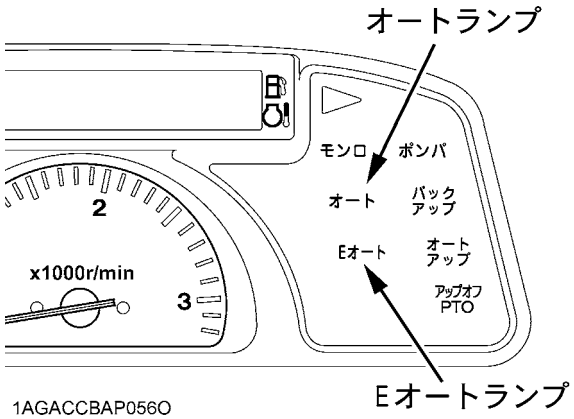
補　足

＊ ロータリカバーを上げて作業するときは，**【E オート】**または**【切】**にしてください。
＊ **【標準】【敏感】**選択時でも，ロータリなどの作業機が付いていない場合は，オートランプは消灯します。

■オートスイッチ［MAD 仕様］
スイッチを押すごとに
【標準⇒敏感⇒ E オート⇒ドラフト⇒切⇒標準】
の順に切換わります。
次にあげた作業に応じ，いずれかを選択してください。

	メータパネル
標準・敏感選択時……	**【オート】**ランプ点灯
E オート選択時……	**【E オート】**ランプ点灯
ドラフト選択時……	**【オート】**ランプ点灯
切選択時……	**【オート】**，**【E オート】**ランプ消灯

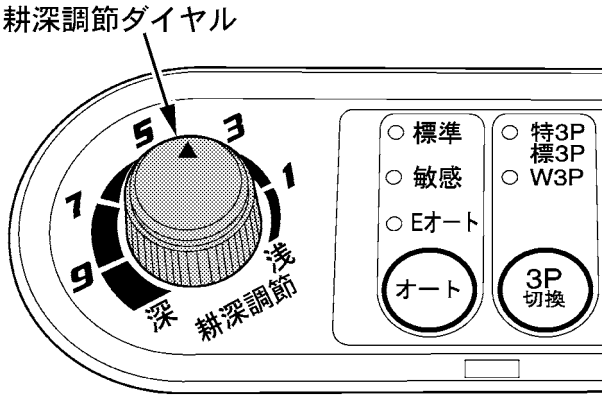




◆ 標準
浅起しから深起しまで，一般的な作業に使用します。
◆ 敏感
湿田での作業，代かき作業，その他仕上がりに応じて使用します。
◆ E オート
ロータリカバーを上げたまま荒起こしなどの作業を後２輪なしで行なうオート作業に使用します。
◆ ドラフト
ドラフト作業時使用します。
◆ 切
オートの自動制御が解除されます。

補　足
＊ ロータリカバーを上げて作業するときは，**［E オート］**または**［切］**にしてください。
＊ **［標準］［敏感］**選択時でも，ロータリなどの作業機が付いていない場合は，オートランプは消灯します。

■耕深調節ダイヤル



1AGACBAAP115F

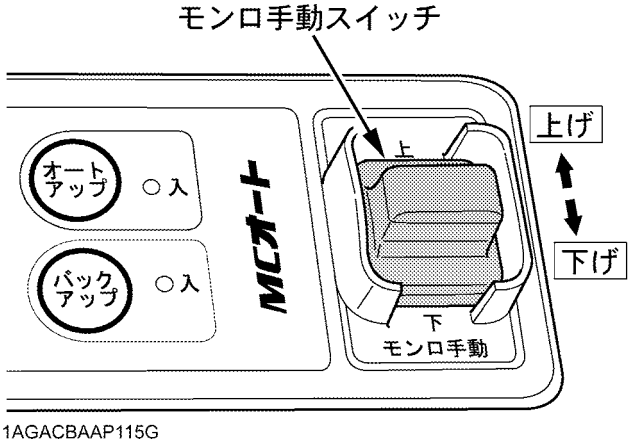
オートスイッチが，**［標準・敏感・E オート］**の場合，浅起しから深起しまで希望の耕深になるよう，このダイヤルで設定してください。

補　足
＊ **［浅］**から**［１］**付近まで作業機を吊り上げる制御となります。湿田や代かき作業に利用してください。
＊ ほ場内で，部分的にタイヤの沈下量が大きく変わり，耕深が変化する場合は，ダイヤルで調節してください。

電子メータメッセージ
＊ 耕深調節ダイヤルで耕深を変更したとき，ブザーが鳴りダイヤル調節に応じて下記メッセージが表示されます。操作終了後，約５秒間で元の表示にもどります。

■モンロ手動スイッチ

モンロスイッチが**［切（手動）］**の場合，作業機を左右に傾斜させるときに使用します。



1AGACBAAP115G

1. **［上げ］**方向へスイッチを押している間，作業機の右側が上がります。
2. **［下げ］**方向へスイッチを押している間，作業機の右側が下がります。

重　要

＊ スイッチですので軽い操作力で作動します。無理な力を加えないでください。

補　足

＊ モンロスイッチが**［傾斜地］**の場合，このスイッチにより斜面と作業機の傾きの差を補正できます。

■作業機の取扱い

◆ リフトシリンダを取付け，取外しする場合

購入先にご相談ください。

● 取外す場合は，下記部品が必要となります。

（別途購入品）

品番	品名	備考
99093-9800-1	キャップアッシ	キャップ及びプラグを含む

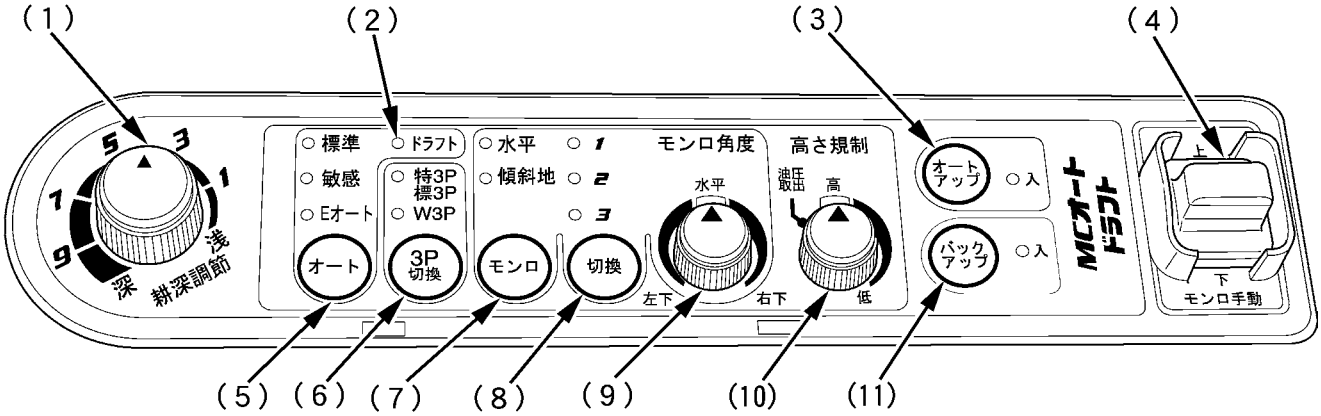
オートドラフトの取扱い［MAD 仕様］

注 意

**＊ 各スイッチの操作はエンジンを始動した後に行なってください。
エンジンの始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチ操作が無効になる場合があります。**

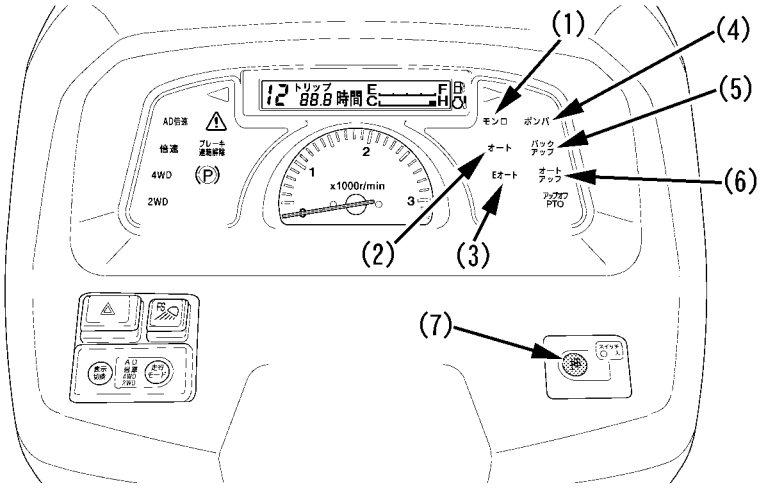
■各部の名称

各操作スイッチには，スイッチ上部を指先で軽く押すごとにモードが切換わるタッチ式スイッチを用いています。また，スイッチでの選択状態を，メータパネル内のモニタランプと各スイッチランプで表示します。



1AGACBRAP013F

(1) 耕深調節ダイヤル
(2) スイッチランプ
(3) オートアップスイッチ
(4) モンロ手動スイッチ
(5) オートスイッチ
(6) 3P 切換スイッチ
(7) モンロスイッチ
(8) 切換スイッチ
(9) モンロ角度調節ダイヤル
(10) 三点リンク高さ規制ダイヤル
(11) バックアップスイッチ

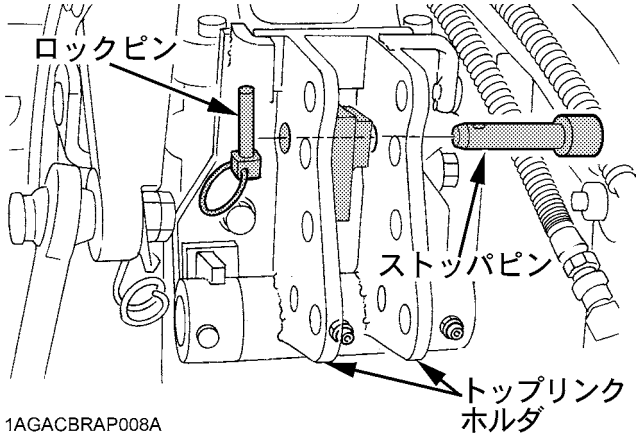


1AGACCBAP056G

(1) モンロランプ
(2) オートランプ
(3) E オートランプ
(4) ポンパランプ
(5) バックアップランプ
(6) オートアップランプ
(7) ワンタッチ耕うんモードスイッチ

■ドラフトストッパピン

プラウ作業などドラフトコントロールを使用する場合は，トップリンクホルダのストッパピンを抜いてください。
また，ロータリ作業や一般作業機用としてポジションコントロールを使用する場合は，ストッパピンを入れてください。



1AGACBRAP008A

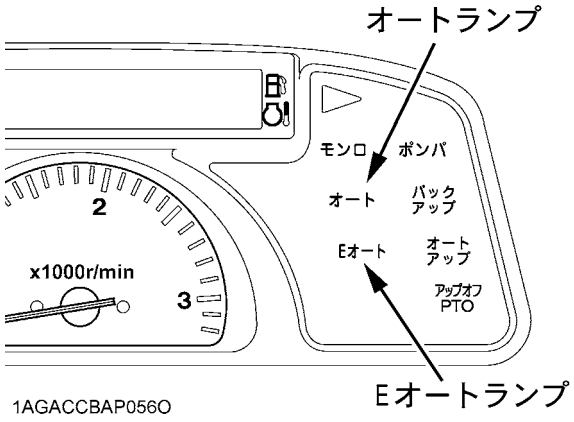
補　足

＊ トップリンク取付け位置により，ドラフト感度を調整することができ，上穴を使用する程感度が敏感となります。

■オートスイッチ

スイッチを押すごとに
[標準⇒敏感⇒Eオート⇒ドラフト⇒切⇒標準]
の順に切換わります。
ドラフト作業時は**[ドラフト]**を選択してください。
けん引負荷を感知して，自動的に作業機を上下させます。

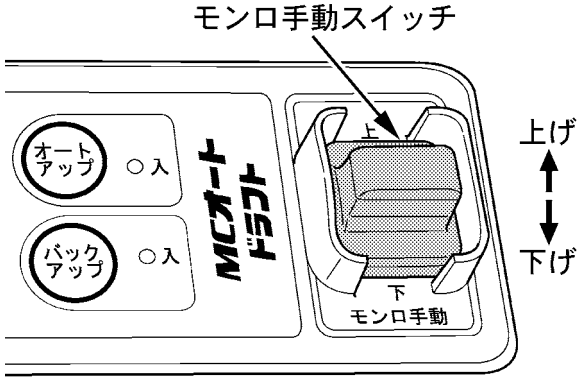
	メータパネル
ドラフト選択時……	**[オート]** ランプ点灯
標準・敏感選択時……	**[オート]** ランプ点灯
Eオート選択時……	**[Eオート]** ランプ点灯
切選択時……	**[オート]**，**[Eオート]** ランプ消灯



1AGACCBAP056O

■モンロ手動スイッチ

ドラフト作業時，作業機を左右に傾斜させるときに使用します。



1AGACBRAP013G

1. **[上げ]** 方向へスイッチを押している間，作業機の右側が上がります。
2. **[下げ]** 方向へスイッチを押している間，作業機の右側が下がります。

重　要

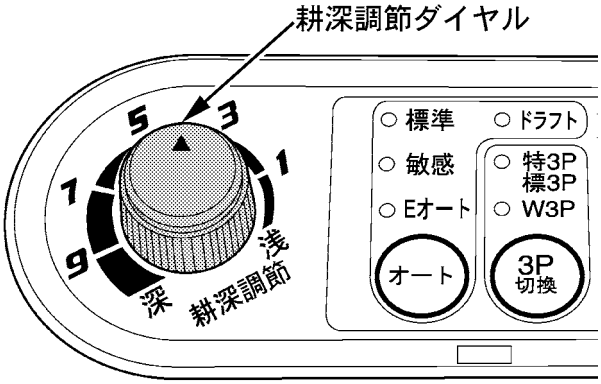
＊ スイッチですので軽い操作力で作動します。無理な力を加えないでください。

補　足

＊ オートドラフト使用時，モンローマチックは**[位置制御]**となり作業機の傾きを一定に保ちます。
＊ エンジンを停止させた場合，トラクタはそのときの作業機の傾きを記憶しており，次のエンジン始動時に記憶した作業機の傾きに戻ります。

■耕深調節ダイヤル

プラウなどの耕深をこのダイヤルで設定してください。



1AGACBRAP013H

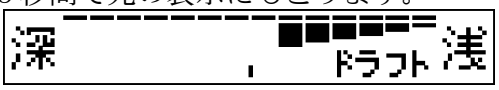
1. ダイヤルを**【浅】**方向へ回すと，プラウの耕深が浅く保持されます。
2. ダイヤルを**【深】**方向へ回すと，プラウの耕深が深く保持されます。

補　足

＊ ダイヤルを**【深】**方向へいっぱい回すと，フローティング範囲になります。また**【浅】**方向へいっぱい回すと作業機が上端まで上昇します。

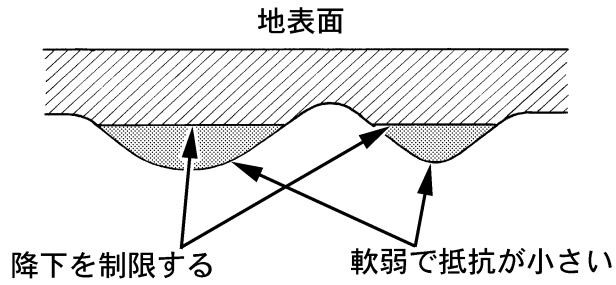
電子メータメッセージ

＊ 耕深調節ダイヤルで耕深を変更したとき，ブザーが鳴りダイヤル調節に応じて下記メッセージが表示されます。操作終了後，約5秒間で元の表示にもどります。



◆ ミックスコントロール

油圧レバーで作業機の降下位置を規制し，ドラフトコントロールでけん引抵抗に応じた制御をするという2つのコントロールをします。軟弱な土質でのプラウ・サブソイラなどの作業に適しています。



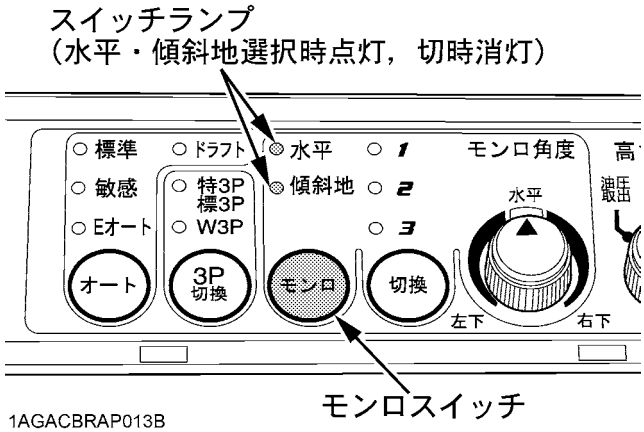
1AGACBRAP017A

■ 3P 切換スイッチ

標準三点リンクが使えるように，**【特 3P ／標 3P】**が自動選択されます。
スイッチを押すごとに，**【特 3P ／標 3P ⇔ W3P】**に切換わります。
（**【作業のしかた】**の章の**【3P 切換スイッチ】**の項を参照）

■モンロスイッチ

ドラフト使用時にモンローマチックを使用する場合は，いったんオートスイッチを**【ドラフト】**に切換えた後，モンロスイッチを**【水平】【傾斜地】**に切換えてください。
（**【作業のしかた】**の章の**【モンロスイッチ】**の項を参照）



1AGACBRAP013B

■モンロ角度調節ダイヤル

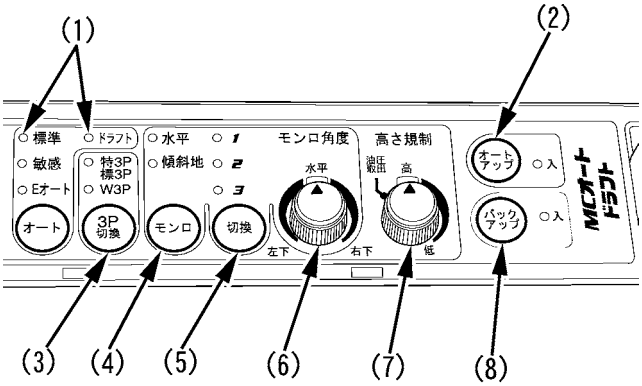
モンロスイッチ用スイッチランプ**［水平］［傾斜地］**が**［消灯］**している場合は，このダイヤルを回しても角度調整はできません。モンロスイッチを**［水平］［傾斜地］**に切換えれば，モンローマチックが使用できます。
（**［作業のしかた］**の章の**［モンロ角度調節ダイヤル］**の項を参照）

■切換スイッチ

モンロスイッチを**［水平］［傾斜地］**に切換えたとき，使用します。
（**［作業のしかた］**の章の**［切換スイッチ］**の項を参照）

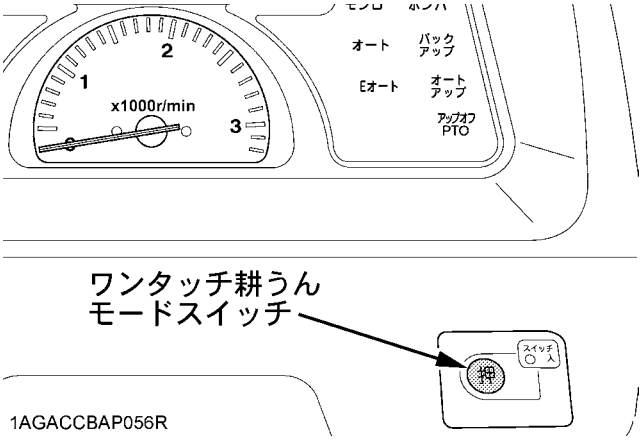
■ワンタッチ耕うんモードスイッチ

スイッチランプは**［消灯］**し，ワンタッチ耕うんモードが**［切］**となります。
（**［作業のしかた］**の章の**［ワンタッチ耕うんモードスイッチ］**の項を参照）



1AGACBRAP013I

(1) スイッチランプ
(2) オートアップスイッチ
(3) 3P 切換スイッチ
(4) モンロスイッチ
(5) 切換スイッチ
(6) モンロ角度調節ダイヤル
(7) 三点リンク高さ規制ダイヤル
(8) バックアップスイッチ



1AGACCBAP056R

補　足

＊ 下記３つのスイッチはドラフト作業時使用できます。（**［作業のしかた］**の章の**［作業機昇降装置］**の項を参照）

1. 三点リンク高さ規制ダイヤル
2. オートアップスイッチ
3. バックアップスイッチ

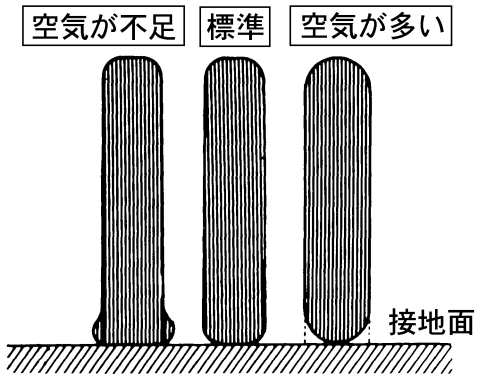
タイヤ・ウエイト

■タイヤの空気圧

警　告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

前輪・後輪の空気圧が適正であるかを調べます。外観から判断する目安は次のとおりです。



1AGAAAPAP007A

◆ 標準空気圧

［　］内はフロントローダ装着時

	空気圧 kPa(kgf/cm²)
前　輪	157(1.6) ［196(2.0)］
	137(1.4)
後　輪	98(1.0)
	120(1.2) KL385H 用 12.4-28 タイヤのみ

■輪距の調整

注　意

＊ けん引作業・傾斜地作業・フロントローダ作業などの場合は，左右の安定を良くするため，支障のない範囲で輪距を広くして使用してください。

◆ 前輪

前輪の輪距は変更できません。

◆ 後輪

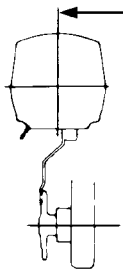
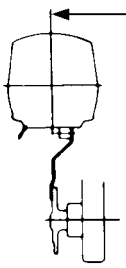
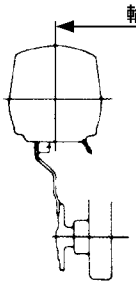
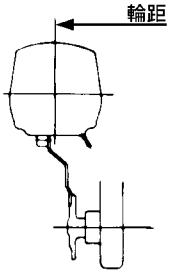
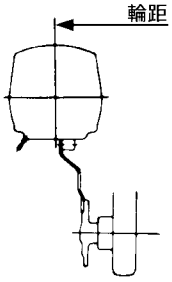
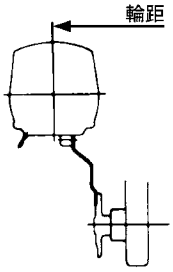
リムとディスクの取付け位置変更により，輪距の調整が行なえます。（タイヤの仕様により異なります。）

重　要

＊ 決められた輪距以外では使用しないでください。
＊ 道路走行時は，出荷状態に戻してください。

補　足

＊ タイヤは，側面の矢印が前進時の回転方向に合うように取付けてください。
＊ ストレークは，最小輪距のときだけ取付けられます。
＊ 後輪ウエイトは，すべての輪距で取付けられます。

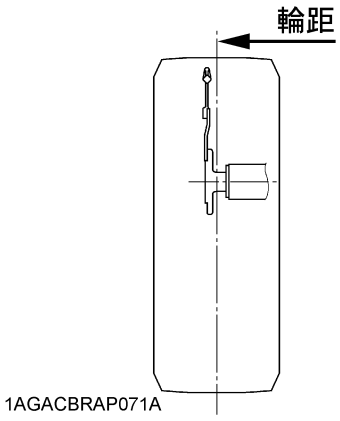
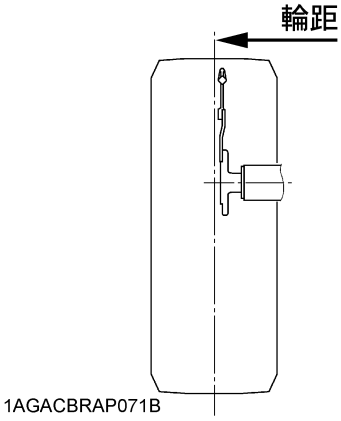
型　式 (標準タイヤ)						
KL225 (9.5-22)	1010mm (出荷状態)	—	—	1130mm	—	—
KL245(H) (9.5-24)	1010mm (出荷状態)	—	—	1130mm	—	—
KL265(H) (11.2-24)	1050mm (出荷状態)	—	—	1165mm	—	—
KL285(H) (12.4-24)	1070mm (出荷状態)	—	—	1370mm	—	—
KL285(H)[G仕様] (12.4-24)	1080mm (出荷状態)	1175mm	1265mm	1365mm	1445mm	1545mm
KL285(H)[-8仕様] (11.2-26)	1115mm (出荷状態)	1210mm	1230mm	1330mm	1405mm	1505mm
KL315(H) (12.4-26)	1090mm (出荷状態)	—	—	1360mm	—	—
KL315(H)[R仕様] (12.4-26)	1090mm (出荷状態)	1185mm	1260mm	1360mm	1380mm	1480mm
KL315(H)・345(H) [G仕様, R仕様] (13.6-24)	1110mm (出荷状態)	1205mm	1235mm	1330mm	1480mm	1575mm
KL315(H)・345(H) [-8,-6仕様] (11.2-28)	1105mm (出荷状態)	1205mm	1235mm	1335mm	1400mm	1495mm
KL345(H) (13.6-24)	1110mm (出荷状態)	—	—	1330mm	—	—
KL385(H) [G仕様] 含む (12.4-28) KL415(H) [G,-8仕様] 含む (13.6-26) KL465H・505H [G仕様] 含む (13.6-28)	—	1140mm (出荷状態)	1210mm	1310mm	1335mm	1430mm
KL555H [G仕様] 含む (12.4-32)	—	1130mm (出荷状態)	1230mm	1330mm	1430mm	1530mm

補　足

＊ 輪距によりディスクの組換えもあわせて行なってください。

◆ クローラ

クローラの取付け位置変更により，輪距の調整が行なえます。

型　　式	 1AGACBRAP071A	 1AGACBRAP071B
KL285-PC	— 〈1050mm〉	1180mm(1150mm) 〈1190mm〉
KL345(H)-PC	— 〈1050mm〉	1180mm(1150mm) 〈1190mm〉
KL415H-PC	1110mm	1230mm
KL505H-PC	1110mm	1230mm

(　) は PC1 仕様，〈　〉は PC3 仕様

■ウエイト（オプション）

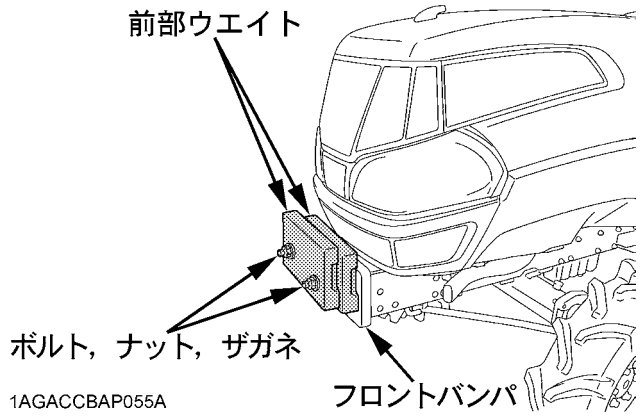
注　意

＊ トラクタ後部用作業機を装備したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20%以上になるようにバランスウエイトを装備し，使用してください。
＊ 装着可能な最大ウエイトを装備してもかじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の20%以上を確保できない作業機は装着しないでください。
前部が軽くなりすぎると，操縦が難しくなり転倒事故のおそれもあります。
＊ フロントローダを使用するときは，安定性を高めるためトラクタ後部に作業機や適切なウエイトを装着してください。
（詳細は購入先にご相談ください。）

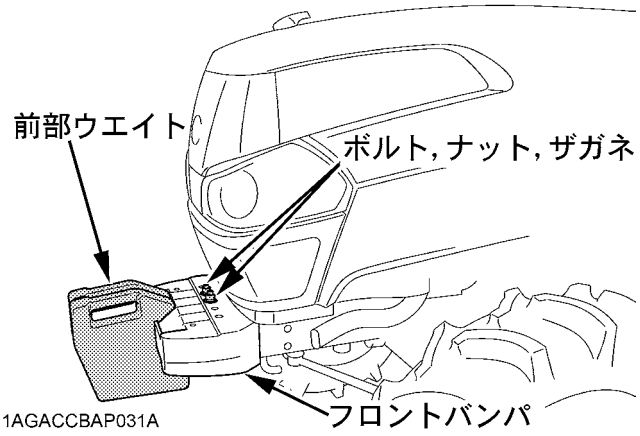
ウエイトの必要枚数は使用する**インプルメント**の**［取扱説明書］**や購入先にご相談ください。

◆ 前部ウエイトの取付け方法

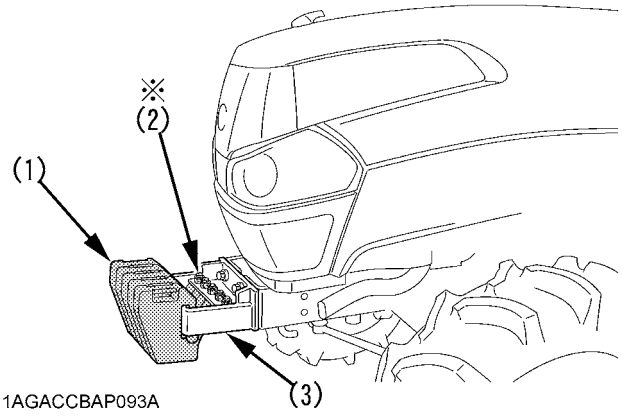
［KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)］
トラクタのフロントバンパにウエイトを付属のボルト，ナットで固定します。
ウエイト１枚の重量は 28kg で１～３枚取付けできます。



［KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC］
トラクタのフロントバンパにウエイトをひっかけ，付属のボルト，ナットで固定します。
ウエイト１枚の重量は 25kg で１～５枚取付けできます。



［KL285-PC・345 (H)-PC］
トラクタのフロントバンパに付属のボルト，ナットで固定します。
ウエイト１枚の重量は 25kg で１～５枚取付けできます。



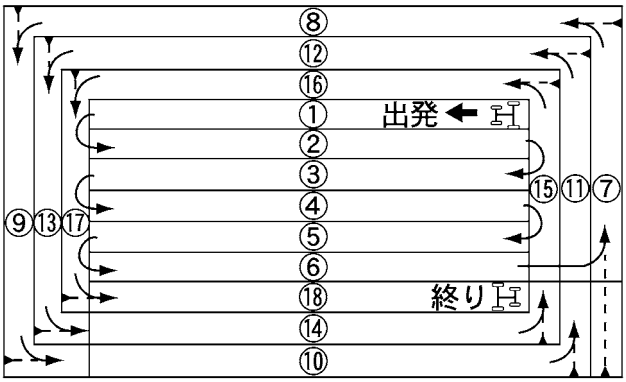
(1)　ハンガウエイト
（99261-11002…前部ウエイトアッシ）
(2)　ボルト，ナット，ザガネ
(3)　フロントバンパ
※　ボルトについては標準出荷部品に含まれているボルト（01073-51460 ×５本）をご使用ください。

一般的な耕うん要領

■隣接耕うんのしかた

作業条件により，車速及びPTO回転速度を決めて耕うんを始めます。

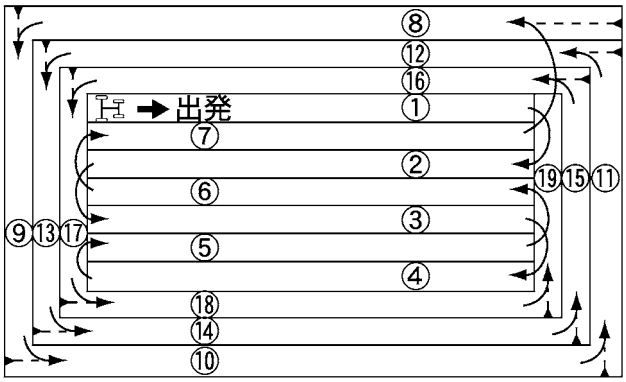
1. 図の長方形部分１枚が，直進１回で耕うんされる耕作地を示しています。
2. 図のような順序をとるのは，１度耕うんしたところを後輪タイヤで押えないための最善の方法です。
3. 従って出発点は，トラクタが最後に外に出る場合によって決まります。
4. 直進が終って，次の直進に移るまでは，ロータリを上げて旋回します。
5. サイドドライブロータリは，サイドフレーム側があぜぎわになるようにして，あぜぎわ耕うんを行ないます。



1AGACCBAP037A

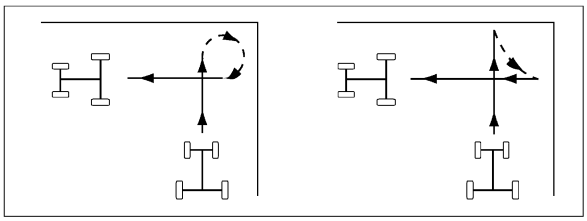
■一うねおき耕うんのしかた

一うねおき耕うんは，小回りの難しい場所に用いる方法で，その他は隣接耕うんと同じです。



1AGACCBAP038A

■トラクタの方向転換のしかた



1AGACCBAP036A

安全キャブ装備品の取扱い

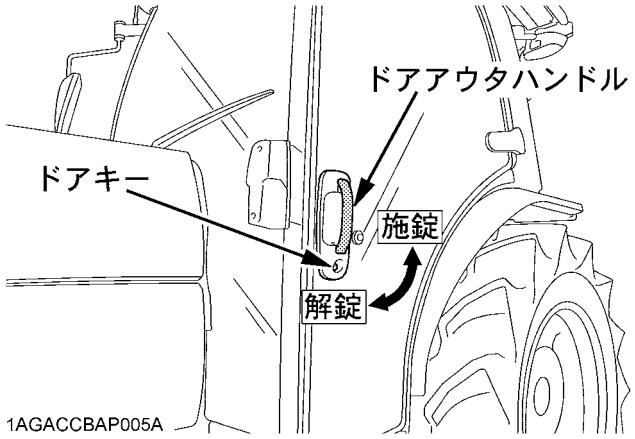
ドア・窓の開閉とロック

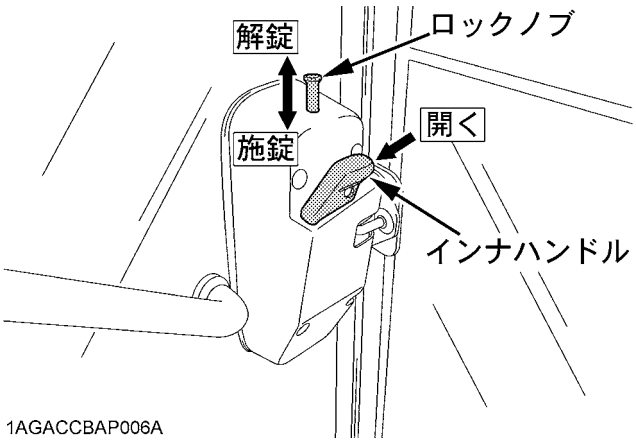
注　意

- **リヤウインド後方で作業機を着脱・調整する場合は，リヤウインドの開閉に注意してください。（開放時頭などを打つおそれがあります。）**
- **ガラスを破損させるおそれがありますので安全キャブ内には物を載せないでください。**
- **ガラスの取扱いはていねいに行なってください。**

■ドア

◆ ドアの開閉とロック



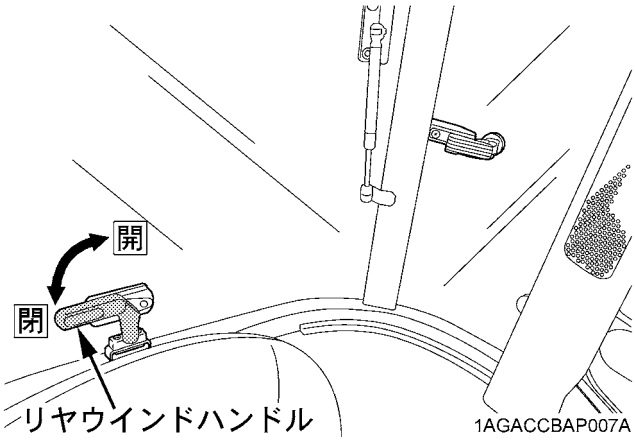


補　足

- ドアにぶらさがったり，作動範囲以上に無理に押し開かないでください。

■リヤウインド

リヤウインドハンドルを時計方向に回し，そのまま押すと，ダンパの作用で容易に開くことができます。

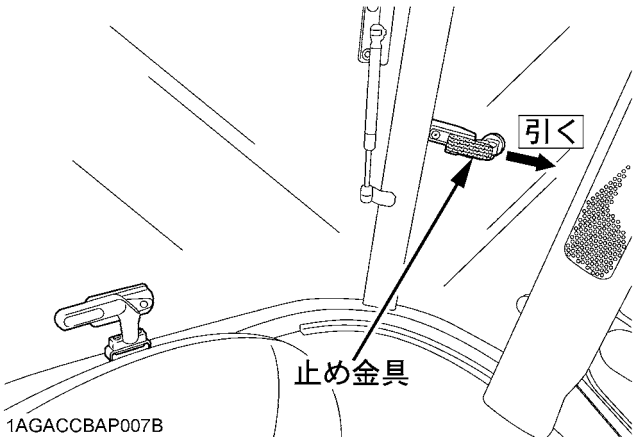


重　要

- 作業機によってはリヤウインドの開閉ができない場合がありますので，開閉するときには十分確認して行なってください。
- リヤウインドを開放したままで，作業機を上げるとリヤウインドを破損するおそれがありますので，作業機を上げるときには安全を十分確認してください。
- リヤウインドを開放したままで，高速走行や悪路走行をしないでください。

■クォータウインド

止め金具を手前に引き，ガラスと共に外側へ押すと開きます。



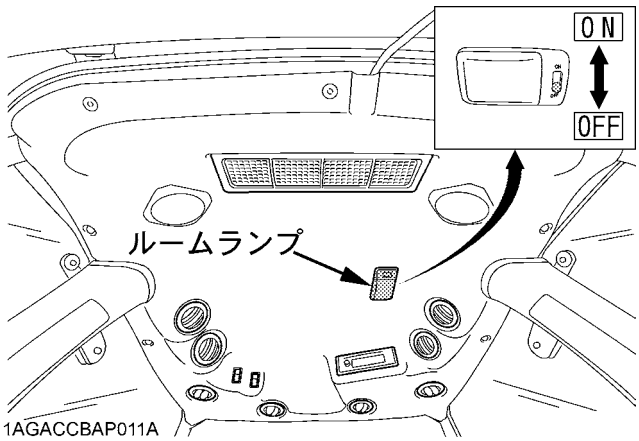
重　要

- クォータウインドを開放したままで，悪路走行をしないでください。

ルームランプ

ルームランプのスイッチを【ON】にすると点灯します。

【OFF】… ドアの開閉に関係なく，ランプは点灯しません。
【ON】… ドアの開閉に関係なく，ランプが点灯します。



ワイパ

■フロントワイパ・ウォッシャスイッチ

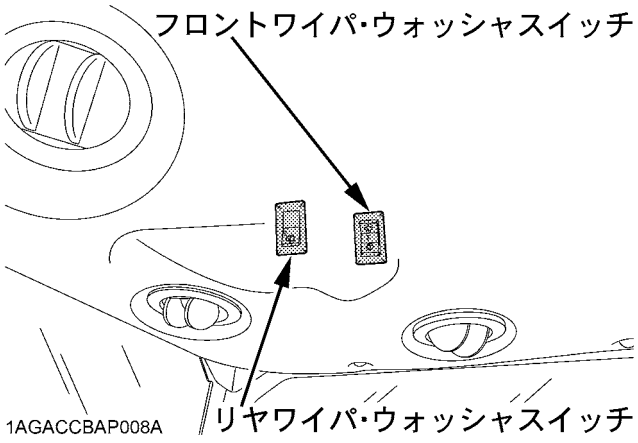
1. スイッチの下側を１段押すとワイパが作動します。さらに２段目を押すと，押している間のみ，ワイパが作動したままウォッシャ液が噴射します。
2. スイッチの上側を１段押すと，間欠ワイパが作動します。(少雨時使用)
   さらに２段目を押すと，押している間のみワイパが作動したまま，ウォッシャ液が噴射します。

■リヤワイパ・ウォッシャスイッチ

1. スイッチの下側を１段押すとワイパが作動します。
   さらに２段目を押すと，押している間のみ，ワイパが作動したままウォッシャ液が噴射します。
2. スイッチの上側を押込むと，ウォッシャ液が噴射します。

重 要

＊ からぶきはガラスを傷つけることがあります。
必ずウォッシャ液を噴射してからワイパを作動させてください。



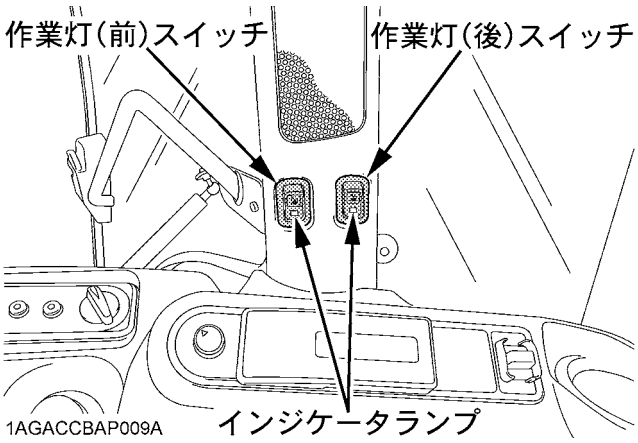
■寒冷時のワイパの使用

寒冷時には，ワイパブレードがガラスと氷着していることがあります。そのままワイパを作動させるとワイパブレード及びワイパモータの故障につながるおそれがありますので，必ずキースイッチを【切】にして氷を取除いてから再度起動させてください。

作業灯

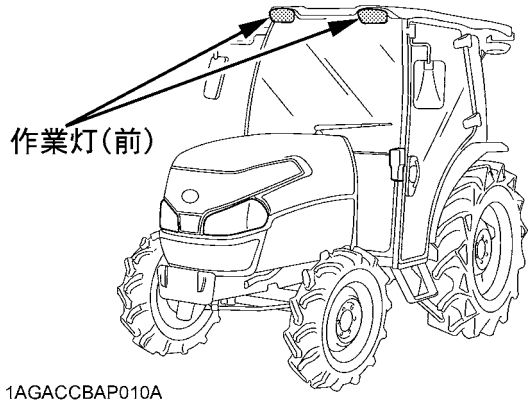
■作業灯スイッチ

作業灯スイッチの上側を押すと作業灯が点灯し，スイッチの下側を押すと消灯します。
またスイッチには，ヘッドライトに連動して点灯するイルミネーションランプと，作業灯の点灯を示すインジケータランプが内蔵されています。



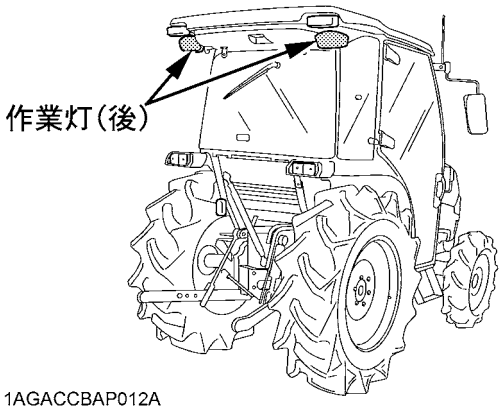
1AGACCBAP009A

◆ 作業灯（前）



1AGACCBAP010A

◆ 作業灯（後）



1AGACCBAP012A

重　要

＊ バッテリがあがりますので，ヒータ・作業灯・ヘッドライトなど電装品を使用する場合は，エンジン回転を1600回転/分以上にしてください。

補　足

＊ 作業灯は**【道路運送車両の保安基準】**第42条（灯火の色等の制限）において，**【走行中に使用しない灯火】**とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

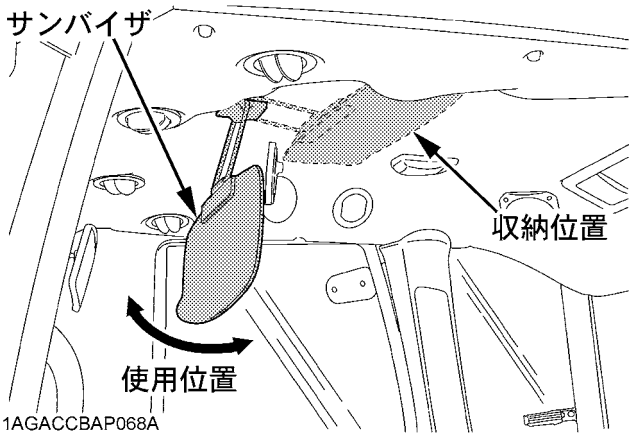
サンバイザ

[KL285H・315H・345H・385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・345H-PC・415H-PC・505H-PC]

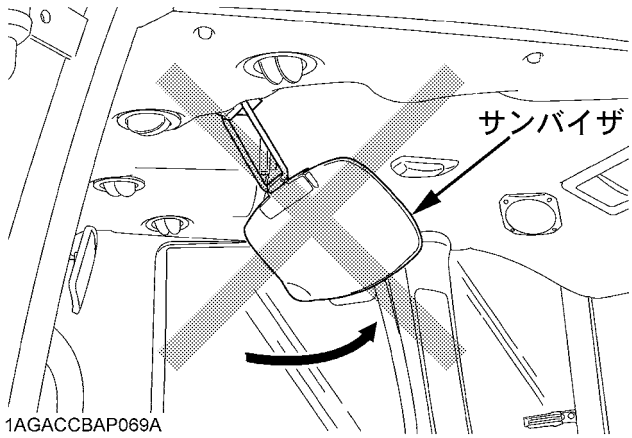
注 意

＊ サンバイザを適切な位置で使用しないと，前方視界がさえぎられたり，頭にあたったりするおそれがあります。
＊ サンバイザと天井の間に物をはさまないでください。発進・停止時に物が落ちるおそれがあります。

直射日光などでまぶしいときに使用します。
サンバイザは，収納位置より前へ押し下げて使用してください。



1AGACCBAP068A



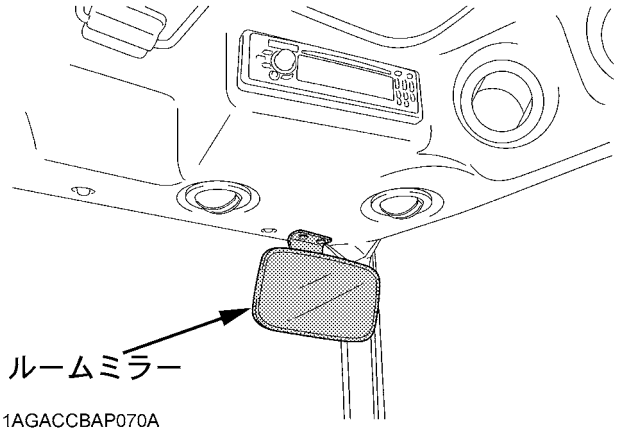
1AGACCBAP069A

上図のような位置で使用すると，頭にあたったりするおそれがあります。

ルームミラー

[KL285H・315H・345H・385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・345H-PC・415H-PC・505H-PC]

ルームミラー全体を動かして，後方視界を確認しながら調節してください。
ルームミラーの調節は，必ずトラクタを運転する前に行ない，走行中には行なわないでください。

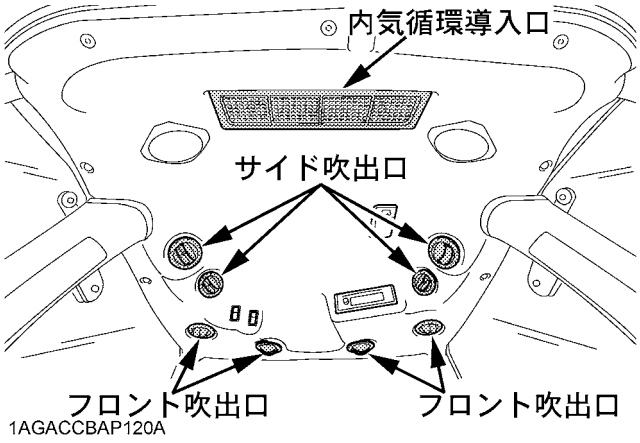


1AGACCBAP070A

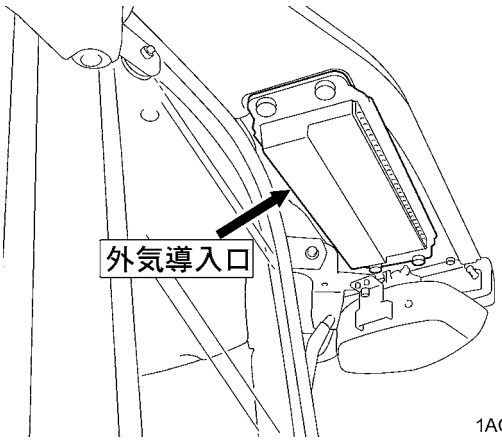
エアコン

■空気の流れ

安全キャブ内の空気の流れは下図の通りです。
８カ所の吹出口の調節により，最適のコンディションが得られます。



1AGACCBAP120A

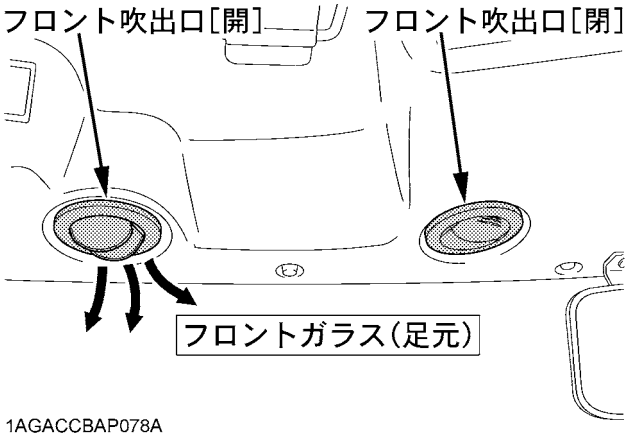


1AGACCBAP121A

■風向調整

◆ フロント吹出口

1. 風の方向は，吹出し口により自由に調整できます。
   デフロスタ（フロントガラスのくもり止め）として使用する場合，吹出し口をフロントガラスの方向に向けてください。
2. サイド吹出口からの風量を増したいときは，**[閉]** にしてください。



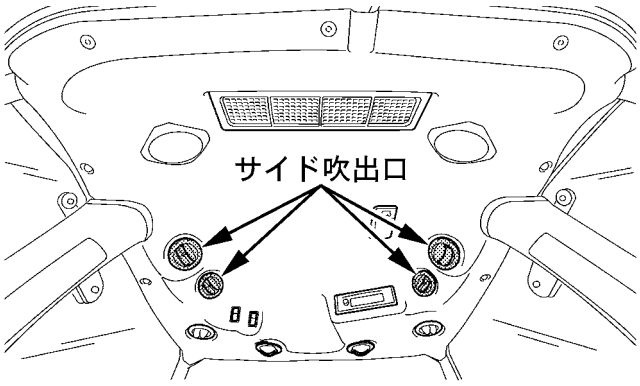
1AGACCBAP078A

補　足

＊ フロント吹出口からの冷風がメータパネルに当たると，メータパネルが曇ることがあります。そのときは，フロント吹出口の向きを変えて，メータパネルに冷風が当たらない様にしてください。

◆ サイド吹出口

冷風の方向は，ルーバーの向きにより自由に調整できます。

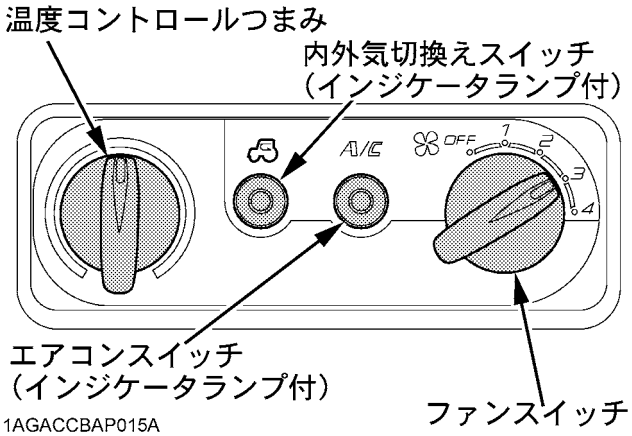


1AGACCBAP120B

重　要

＊ ドアのクモリ止めのため，ドアへの風量を増したいときは，サイド吹出口（顔面，背面）をドアガラスに向けてください。

■コントロールパネル



◆ 内外気切換えスイッチ

外気導入… スイッチを押してランプ消灯にすると，安全キャブ室内に外気が入ってきます。
ほこりが多い作業やガラスが曇る場合に使用します。

内気循環… スイッチを押してランプ点灯にすると，外気は入りません。
早く冷暖房をきかせたいときや強くきかせたいときに使用します。

補　足

＊ 内気循環での長時間暖房は避けてください。ガラスが曇りやすくなります。
＊ ほこりが多発する作業では，外気導入で使用してください。外気を採り入れることにより室内の圧力が上昇し，安全キャブ室内にほこりが入りにくくなります。

◆ 温度コントロールつまみ

温度を調節するためのつまみです。好みの位置にセットして適宜調節します。右に回すと温風，左に回すと冷風が出ます。

◆ ファンスイッチ

風量が４段階に切換えられます。**［４］**は最も風量の多い位置です。

◆ A/C エアコンスイッチ

エアコンを使うときは，このスイッチを押して**［入］**にします。**［入］**のとき，インジケータランプが点灯します。

重　要

＊ トラクタを１週間以上，長期放置後にエアコンを使うときは，エンジン回転をアイドリングしてA/Cエアコンスイッチを**［入］**にし，１分間運転してください。
エンジン回転が高いままで，A/Cエアコンスイッチを**［入］**にするとコンプレッサが故障するおそれがあります。

■取扱い操作方法

◆ 暖房

1. 内外気切換えスイッチを消灯にして外気導入にします。
早く室温を上げたいときはスイッチを点灯させ内気循環にします。
2. ファンスイッチ**（１・２・３・４）**と温度コントロールつまみを調整し，快適な温度にします。

補　足

＊ 夏期ヒータを使用しないときは，熱気で室内温度が上昇しないように，温度コントロールつまみを**［冷風］**（左端）に寄せてください。

◆ 冷房・除湿暖房

1. 内外気切換えスイッチを消灯にして外気導入にします。
2. エアコンスイッチを押し**［入］**にします。
3. ファンスイッチ**（１・２・３・４）**を作動させます。
4. 温度コントロールつまみを**［冷風］**又は中間位置に調整し，快適な温度にします。

◆ デフロスト

フロントガラスの曇り及び凍結除去するときは，

1. フロント吹出口を開き，フロントガラスの方向に向けます。
2. 必要に応じサイド吹出口を閉じます。
3. 内外気切換えスイッチを消灯させ外気導入にします。
4. ファンスイッチを**［４］**，温度コントロールつまみを**［温風］**（右端）にします。

■ヒータ使用上の注意

注　意

＊ ウォータホース及びヒータユニットに直接ふれないようにしてください。ヤケドなどの傷害事故につながります。
＊ 異常を認めたとき、修理を怠るとヤケドなどの傷害事故やエンジンの焼付などの重大な故障につながります。

1. 冬期は外気温に適した濃度の不凍液を使用してください。
   また，有効期限の切れた不凍液を使用しないでください。
2. 冬期において不凍液を使用しない場合は，運転終了時トラクタ本体から冷却水を排水してください。
   (**[トラクタの簡単な手入れと処置]**の章の**[2年ごとの点検・整備]**の**[冷却水の交換]**の項を参照)
3. ウォータホースは2シーズンごとに交換を受けてください。
4. 日常点検
   次のような異常を認めたときは速やかに修理を受けてください。
   (ヤケドなどの傷害事故やエンジンの焼付などの重大な故障につながります。)

＊ ウォータホースの傷付き，ひびわれ，ふくらみ
＊ ウォータホースジョイント部の水漏れ
＊ ウォータホースの保護ブッシュ及びグロメットの外れ，破損
＊ 本体取付けボルトの緩み，ブラケットの破損

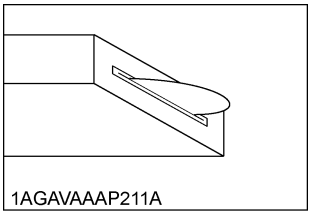
5. ウォータホース及びヒータユニットに直接ふれないようにしてください。ヤケドなどの傷害事故につながります。

AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの取扱い

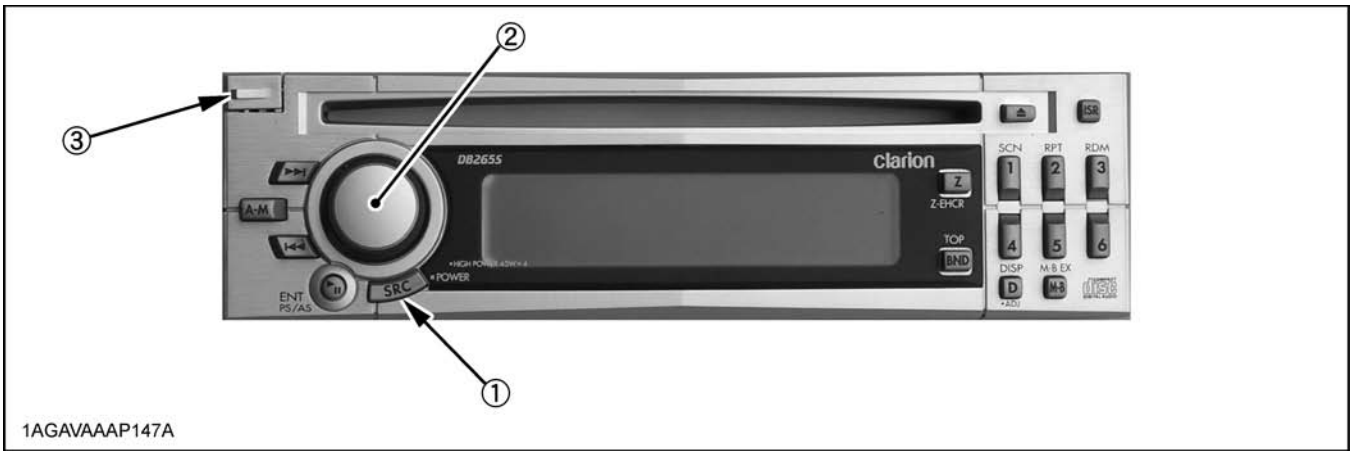
[安全キャブ仕様]

注 意

＊ 運転中は安全のため車外の音が聞こえる音量にしてください。
＊ CD が落下して頭にあたったりするおそれがあるので，下図の状態で放置しないでください。



■共通部の操作のしかた



① [SRC] ボタン
② [VOLUME] ノブ
③ リリースボタン

◆ 電源の入／切

1. **[SRC]** ボタンを押すと電源が入り，前回電源を切ったときのソースで始まります。
2. **[SRC]** ボタンを押すたびに，ラジオと CD が交互に切換わります。CD が入っていないときには，**[NO DISC]** と表示されます。
3. **[SRC]** ボタンを約 1 秒間押すとラジオ又は CD への電源が切れます。

補 足

＊ 電源が **[切]** 状態でも，キースイッチが **[ON]** または **[ACC]** 位置では，時計が表示されます。(時刻の設定は **[時刻合わせ]** の項を参照)

◆ 音量調節

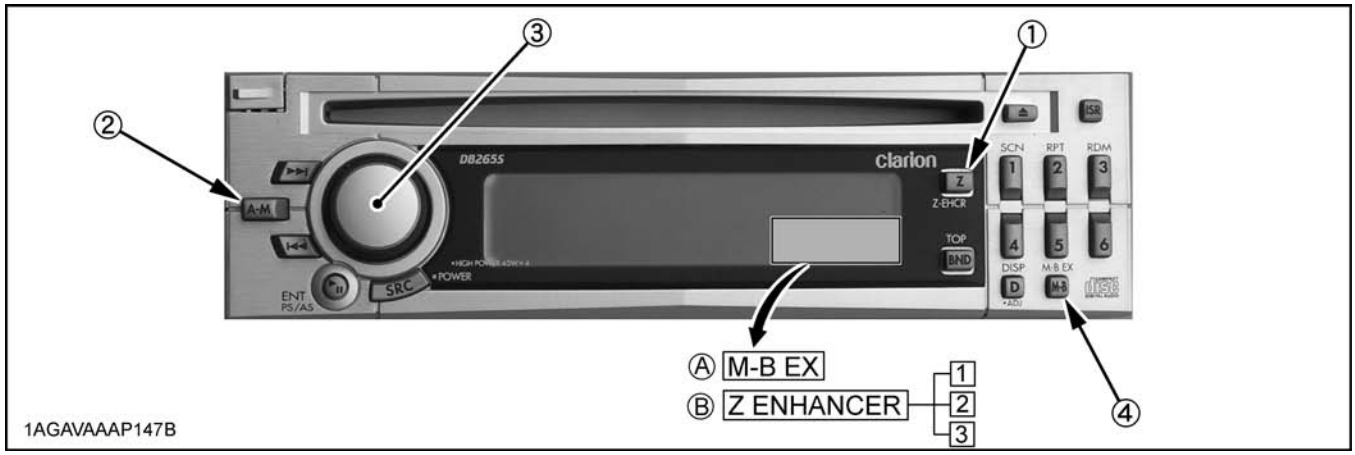
[VOLUME] ノブを左右に調節します。
右へ回すと大きくなり，左へ回すと小さくなります。

補 足

＊ 調節時はディスプレイに音量値が **[VOLUME 0]** ～ **[VOLUME 33]** の範囲内で表示されます。

◆ リリースボタン

このボタンを押すと操作パネルが外れます。
操作パネルは衝撃に弱いため，必要以上には取り外さないでください。また，頭上にあるので落さないように注意してください。



①［Z］ボタン
②［A-M］ボタン
③［VOLUME］ノブ
④［M-B］ボタン

Ⓐ マグナベース EX　ON 時点灯
Ⓑ Z エンハンサーインジケータ

◆ 音質調整

音質自動ワンタッチ設定

[Z]ボタンを押すごとにインジケータ表示が下記のように切換わります。お好みの音質を設定してください。

インジケータ	備　考
Z ENHANCER 1	低音を重視したサウンド
Z ENHANCER 2	高音を重視したサウンド
Z ENHANCER 3	低音と高音を重視したサウンド
消灯（OFF）	初期設定

◆ 音質手動設定

1. **[Z]**ボタンを押し，Z ENHANCER を**[OFF]**（消灯）にする。
2. **[A-M]**ボタンを押すごとに下記のようにディスプレイ表示が切換わります。

ディスプレイ	備　考
BASS	低音部調整
TREB	高音部調整
BAL	左右スピーカの調整
FAD	—
消灯	元のソース

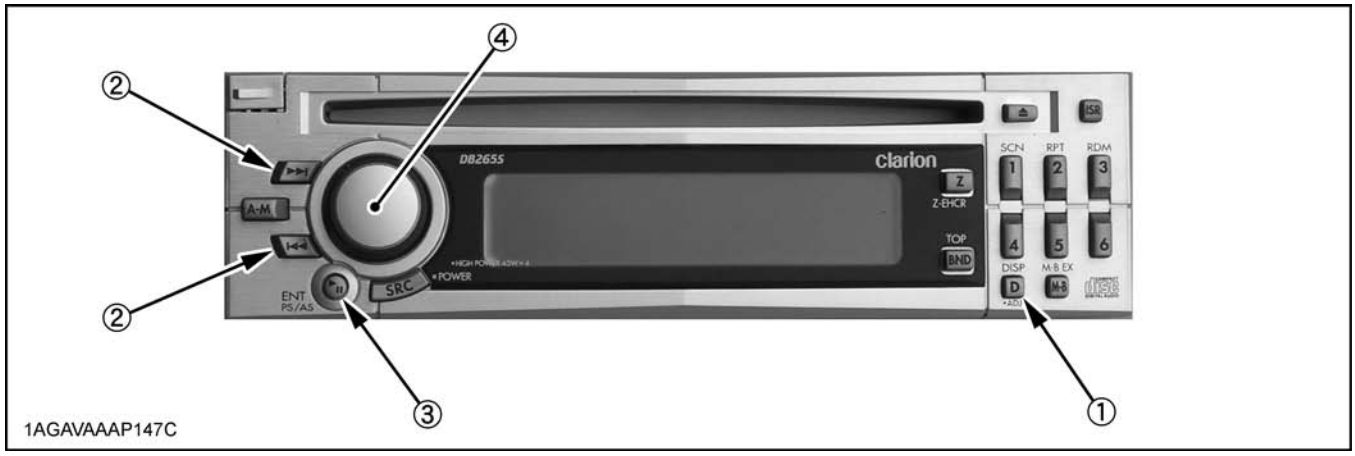
3. **[BASS]**または**[TREB]**を選択し，**[VOLUME]**ノブを左右に回し調節します。
   右へ回すと強調され，左へ回すと減衰されます。（調整範囲は，－７～＋７です。）
4. **[A-M]**ボタンを再度押すと設定が完了します。

補　足

＊ 音質は Z- エンハンサ機能が**[OFF]**のとき調整できます。

◆ 重低音の増強

[M-B]ボタンを押すと，マグナ・ベース EX（MAGNA BASS EX）が ON になり，重低音が増強されます。**[M-B]**ボタンを再度押すと，マグナ・ベース EX 機能が解除されます。



① [D] ボタン
② サーチボタン
③ プレイ / ポーズボタン
④ [VOLUME] ノブ

◆ 時計表示への切換え

[D] ボタンを押すごとに下記のように表示が切換わります。

ラジオモードの場合

	表示例
周波数表示	FM 1 83.00
時間表示	AM 10:05

CD モードの場合

	表示例
演奏状態表示	TO 1 00:01
時間表示	PM 10:05

補 足

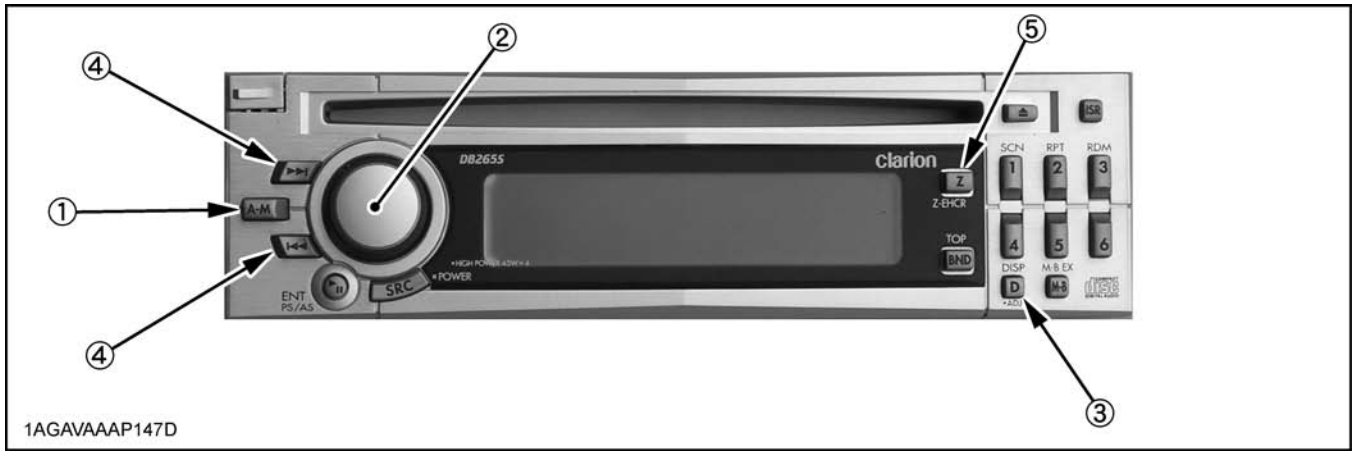
＊ 常に時計を表示させるには，スクリーンセーバー機能を **[SS OFF]** に設定します。
（**[スクリーンセーバーの設定]** の項を参照）
＊ 時計表示のときは，ラジオの選局や CD の選曲などのボタン操作時に，受信周波数やトラック No. などを表示した後，元の時計表示に戻ります。

◆ 時計合わせ

1. キースイッチを **[ACC]** 又は **[ON]** にします。
2. **[D]** ボタンを約 1 秒間押し，**[SCRN SVR]** を表示させる。
3. サーチボタンを押して，**[CLOCK<E>]** を選択します。
4. プレイ / ポーズボタンを押します。
   調整時点（**[AM 10:16]** など）の時刻を表示して，時刻設定モードになります。
5. サーチボタンを押して，「時」または「分」を選択します。
   点滅している項目が調整できます。
6. **[VOLUME]** ノブを回して，時刻を合わせます。
7. プレイ / ポーズボタンを押すと設定が完了します。

補 足

＊ 時計は 12 時間表示です。
＊ 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると，時刻調整は解除されます。



① [A-M] ボタン
② [VOLUME] ノブ
③ [D] ボタン
④ サーチボタン
⑤ [Z] ボタン

◆ 左右スピーカの音量バランス調整

1. **[Z]** ボタンを押し，Z ENHANCER を **[OFF]**（消灯）にする。
2. **[A-M]** ボタンを押すごとに下記のようにディスプレイ表示が切換わります。

ディスプレイ	備　考
BASS	低音部調整
TREB	高音部調整
BAL	左右スピーカの調整
FAD	—
消灯	元のソース

3. **[BAL]** を選択し，**[VOLUME]** ノブを左右に回します。

右へ回すと右側が強調され，左へ回すと左側が強調されます。（調整範囲は，L13 ～ R13 です。）

4. **[A-M]** ボタンを再度押すと設定が完了します。

補　足

＊ 音量は Z- エンハンサ機能が **[OFF]** のとき調整できます。

◆ スクリーンセーバーの設定

1. **[D]** ボタンを約 1 秒間押し，**[SCRN SVR]** を表示させる。
2. サーチボタンを押して，**[SCRN SVR]** を選択します。
3. **[VOLUME]** ノブを回して，**[SS ON]** 又は **[SS OFF]** を選択します。

SS ON	スクリーンセーバー機能がONになります。 演奏などの状態表示で30秒間何も操作しないと，スクリーンセーバー表示になります。
SS OFF	スクリーンセーバー機能が OFF になります。

4. **[D]** ボタンを再度押すと設定が完了します。

補　足

＊ 初期設定は **[SS ON]** です。ディスプレイに演奏状態を常に表示させておきたい場合は，**[SS OFF]** に設定しておいてください。

■ラジオを聴くには

①［SRC］ボタン
②［BND］ボタン
③［ISR］ボタン

◆ ラジオの選択

1. **［SRC］**ボタンを押すと受信バンドと受信周波数（**［FM1 83.00］**など）を表示して，ラジオが選択されます。

補 足

＊ **［SRC］**ボタンを押すたびに，ラジオと CD が切換わります。

◆ 受信バンドの選択

1. **［BND］**ボタンを押すごとに下記のようにディスプレイが切換わります。
お好みのバンドを選択してください。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

◆ クイック選局（ISR 機能）

ISR 機能とはどのソースからでもすぐに，特定の放送局を呼び出す機能です。
交通情報など，運転中に聴きたい情報などをすばやく選局できます。

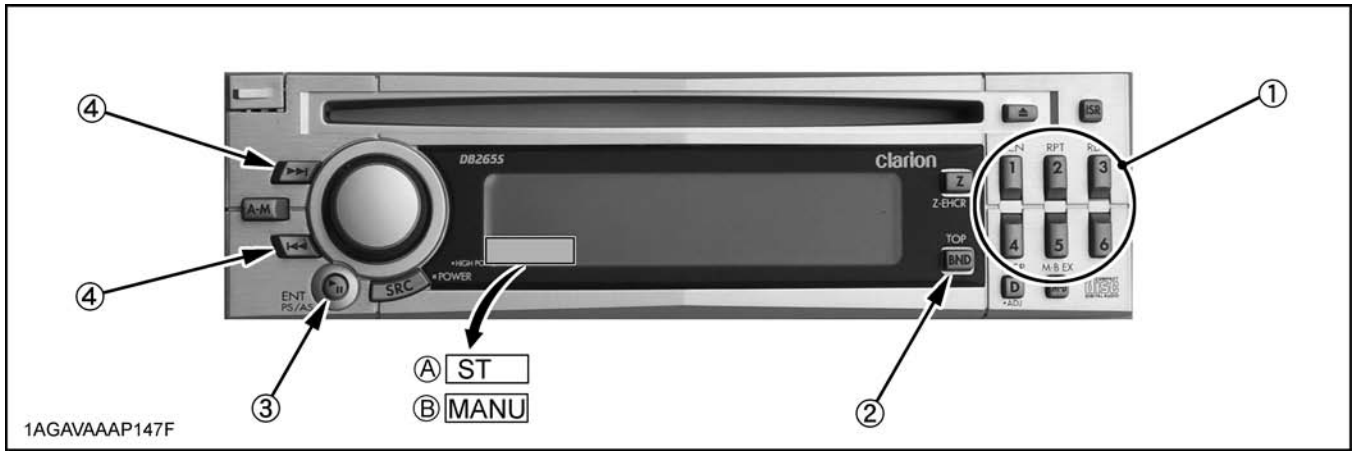
1. **［ISR］**ボタンを押すと，ディスプレイに**［ISR 1620］**が表示されます。
2. **［ISR］**ボタン又は**［SRC］**ボタンを押すと，元のソースに戻ります。

補 足

＊ 初期設定では，AM1620kHz の交通情報が登録されています。

登録のしかた

登録させたい放送局を選局し，**［ISR］**ボタンを約２秒間押すと登録されます。



① ダイレクトボタン
② [BND] ボタン
③ プレイ / ポーズボタン
④ サーチボタン

Ⓐ ST：ステレオ放送受信時に点灯
Ⓑ MANU：手動選局モード時点灯

◆ プリセット選局

あらかじめ自動又は手動でメモリ登録しておくと，ダイレクトボタン（1～6）を押すだけで選局できます。（登録のしかたは**［メモリ登録（自動選局）］**又は**［メモリ登録（手動選局）］**の項を参照）

◆ メモリ登録（自動選局）

登録できる数は FM1，FM2，AM1，AM2 の各バンドごとに 6 局ずつ，計 24 局です。

3. **［BND］**ボタンでメモリ登録させたいバンド（FM1，FM2 または AM1，AM2）を選択します。
4. プレイ / ポーズボタンを約 2 秒間押します。受信電波の強い放送局が自動的にダイレクトボタン（1～6）に登録されます。

補　足

＊ 電波の弱い場所では 6 局すべて登録されない場合もあります。

◆ メモリ登録（手動選局）

登録できる数は FM1，FM2，AM1，AM2 の各バンドごとに 6 局ずつ，計 24 局です。

1. **［BND］**ボタンでメモリ登録させたいバンド（FM1，FM2 または AM1，AM2）を選択します。
2. サーチボタンを押して登録させたい放送局を選択します。
3. 登録させたいダイレクトボタン（1～6）を約 2 秒間押すと登録されます。

◆ メモリ登録の確認

プレイ / ポーズボタンを押すと，登録された放送局を順に受信します。
プレイ / ポーズボタンを再度押すと解除されます。

◆ 自動選局

1. ディスプレイに**［MANU］**が点灯しているときは，**［BND］**ボタンを約 1 秒間押し消灯させます。（消灯時のみ自動選局できます。）
2. サーチボタンを押します。
3. 放送のあるところで自動的に選局が止まります。他を選局したいときは，再度ボタンを押してください。

◆ 手動選局

1. ディスプレイに**［MANU］**が消灯しているときは，**［BND］**ボタンを約 1 秒間押し点灯させます。（点灯時のみ手動選局できます。）
2. サーチボタンを押して，放送のあるところに合わせます。

■ CD を聴くには

① [SRC] ボタン
② イジェクトボタン
③ プレイ / ポーズボタン

◆ CD の挿入と再生

CD の挿入口に CD を入れると **[T01 00:00]** を表示し，自動的に演奏が始まります。
シングル CD のときは，CD 挿入口の中央に入れます。

すでに CD が入っている場合は，**[SRC]** ボタンを押して CD を選択すると，トラック No.（**[T01 00:00]** など）を表示し，自動的に CD の演奏が始まります。

補　足

＊ 本機は disc マーク表示のあるコンパクトディスク以外はご使用になれません。
＊ CD-R/RW で記録されたディスクは，使用できない場合があります。
＊ CD は印刷面を上にして入れてください。

1AGAVAAAP1530

◆ CD の取出し

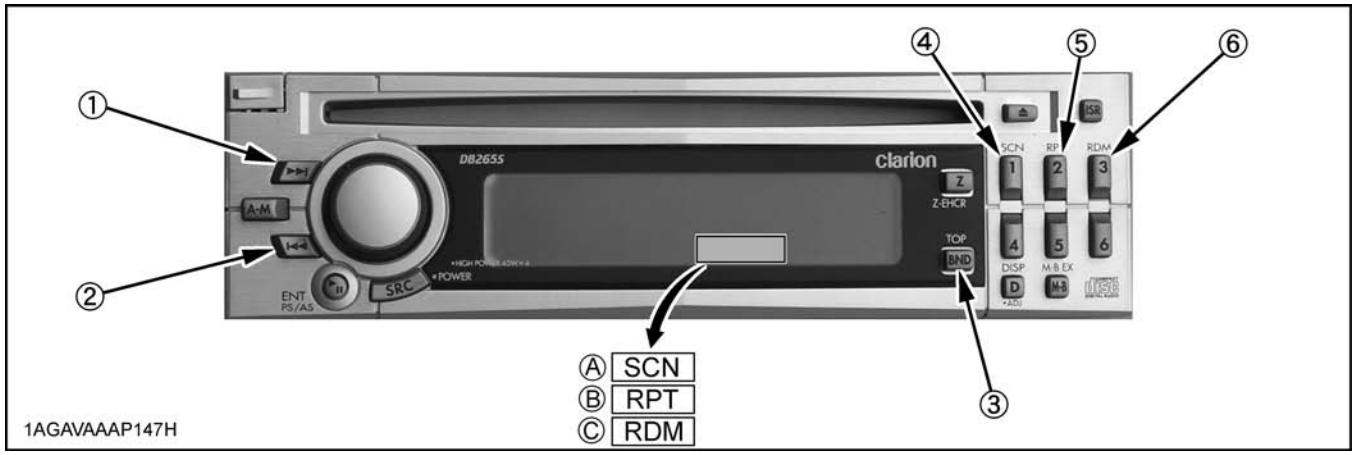
イジェクトボタンを押すと CD が取出されます。

補　足

＊ CD をイジェクトしたままにしておくと，15 秒後に本機内に引き込まれます（オートリロード）。
＊ オートリロード前に無理に CD を押し込むと，CD にキズがつくおそれがあります。
＊ シングル CD はオートリロードされません。イジェクトした場合は，シングル CD を取出してください。

◆ 演奏の一時停止

プレイ / ポーズボタンを押すと **[PAUSE]** が表示され，演奏が一時停止します。
プレイ/ポーズボタンを再度押すと演奏が再開されます。



① サーチボタン（上）
② サーチボタン（下）
③［BND］ボタン
④［SCN］ボタン
⑤［RPT］ボタン
⑥［RDM］ボタン

Ⓐ SCN：スキャン演奏時に点灯
Ⓑ RPT：リピート演奏時に点灯
Ⓒ RDM：ランダム演奏時に点灯

◆ 次の曲／前の曲選択

次の曲を聴くときは，サーチボタン（上）を押します。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。
前の曲を聴くときは，サーチボタン（下）を 2 回押します。サーチボタン（下）を押すと，演奏中の曲を最初から演奏します。
さらに押すと，押した回数だけ前の曲が演奏されます。
曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタン（下）を２回押すと，２つ前の曲へ戻ることがあります。

◆ 早送り／早戻し

早送りするときはサーチボタン（上）を押し続けます。
早戻しするときはサーチボタン（下）を押し続けます。

１秒以上押すと５倍速で，３秒後には 30 倍速で，演奏曲が早送りまたは早戻しされます。

◆ トップ機能

[BND] ボタンを押すと，最初の曲（トラック No.1）から演奏されます。

◆ 曲を探す（スキャン演奏）

CD に収録されている全曲を 10 秒間ずつ演奏します。
[SCN] ボタンを押すと，ディスプレイの **[SCN]** が点灯して，スキャン演奏します。スキャン演奏は，演奏している曲の次の曲から始まります。

◆ 曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

演奏中の１曲を繰り返し演奏します。
[RPT] ボタンを押すと，ディスプレイの **[RPT]** が点灯して，リピート演奏します。

◆ ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

CDに収録されている全曲を順不同に演奏します。
[RDM] ボタンを押すと，ディスプレイの **[RDM]** が点灯して，ランダム演奏します。

安全キャブ装備品の取扱い

■取扱い上の注意

1AGAVAAAP1530

1. discマークのついたCDをご使用ください。
   また，ハート形や八角形など，特殊形状のCDは使用しないでください。
   CD-R/CD-RWで記録されたディスクは，使用できない場合があります。
   CDが曇っているときは，やわらかい布でふいてください。
2. 本機はシステム保護のため，各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには，**[エラー表示について]**の項を参照して障害を取除いてください。障害を取除けば，通常の動作になります。
3. 本機は，水分や高温，多湿を嫌いますので，車内清掃や換気に十分ご注意ください。
4. 車内の温度に気をつけてください。
   極寒や酷暑のとき，とくに夏期は車内の温度が大変高くなることがありますので，車内の換気に注意し，適温で使用してください。
5. 本機操作は，安全性の面からできるだけ停車中に行なってください。また運転中の音量は事故防止のため，車外の音が聞こえる程度でお楽しみください。
6. 本機のお手入れは，乾いたやわらかい布でふいてください。固い布や，ベンジン・シンナ・アルコールなどは絶対に使用しないでください。また，汚れがひどい場合にはやわらかい布を水またはぬるま湯に浸し，軽くふき取ってください。
7. CDはディスク面に，傷や指紋をつけないように扱ってください。
   汚れたときは，やわらかい布で，内側から外側へ向かって，よくふいてください。
8. 8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により，ディスクが落下するおそれがあります。
9. CDは次のような場所には保管しないでください。
   - 直射日光のあたる場所
   - 湿気やホコリの多い場所
   - 暖房の熱が直接あたる場所

◆ 推奨クリーニングディスク

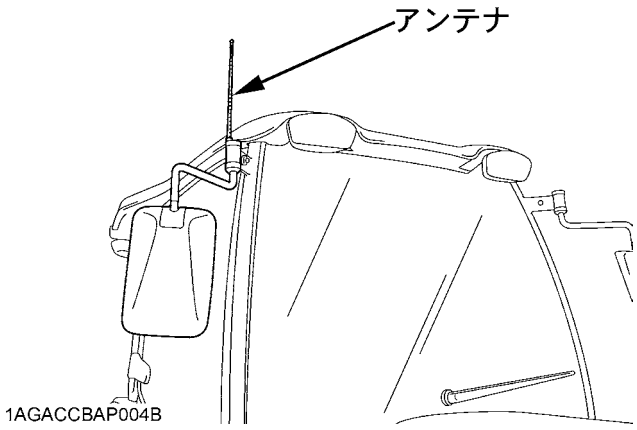
クラリオン製　CTC-007-210

■お問合わせ

このAM/FMラジオ付CDプレーヤのお問合わせは，下記メーカ窓口でもご相談いただけます。

クラリオンサービス（株）
　お客様相談室
TEL　0120-112-140
　　（土・日・祝除く / AM9:00 ～ 12：00
　　PM1:00 ～ 5：30）
　　048-541-2964
FAX　048-541-2069

■アンテナ



1AGACCBAP004B

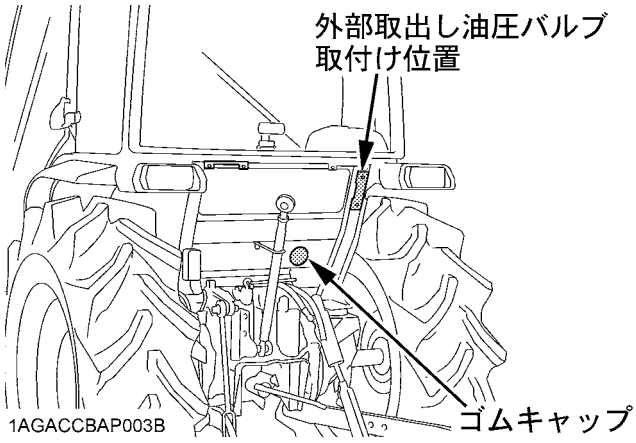
重　要

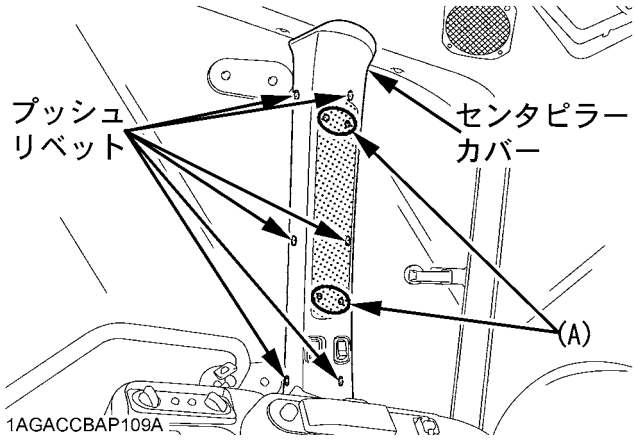
＊ アンテナは角度調節できませんので動かさないでください。

インプルメントの装着

■インプルメント用操作ボックスの取付

ゴムキャップに穴又は切り込みを開け，インプルメント用操作コードなどを安全キャブ室内に導入してください。





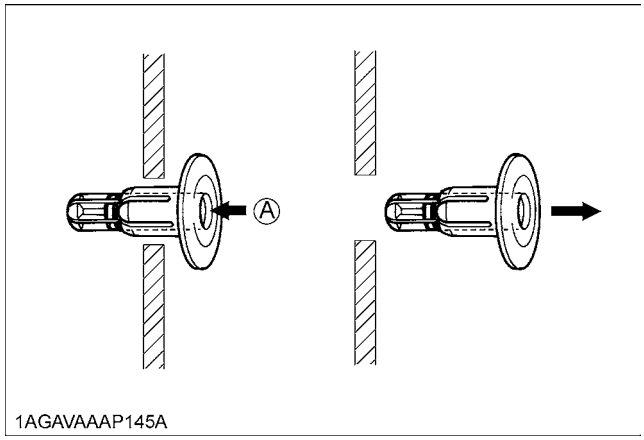
補　足

＊ (A) 部に操作ボックスなどを取付ける場合は，(A) 部の樹脂にドリルなどで穴を開けてください。
穴開け位置は樹脂の裏側にマークがあります。
樹脂の奥に取付け用 M8 ナットが２個あるので，そこへ取付けてください。

◆ センタピラーカバーの取付け，取外し

● 外し方

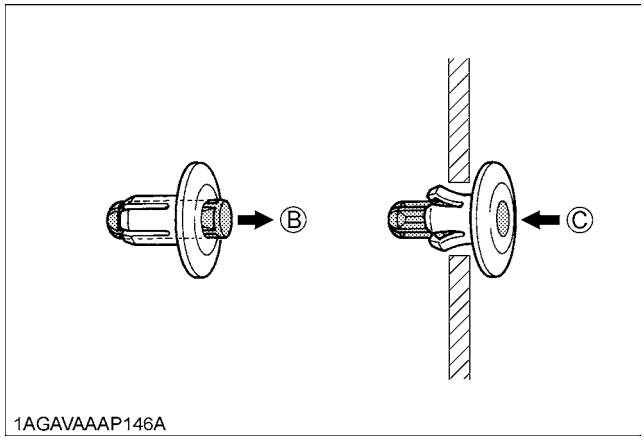
プッシュリベットの中央 (A) 部を少し押し，センタピラーカバーよりリベット（６個）を抜きます。



(A)“少し押す”

● 取付け方

プッシュリベットの中央 (B) 部を少し押出し，センタピラーカバーにプッシュリベットを差込んでから中央 (C) 部を押し固定します。



(B)“少し押し出す”
(C)“押して固定する”

トラクタの簡単な手入れと処置

注　意

給油及び点検整備するときは
1. トラクタを平たんな広い場所に置き
2. 作業機を降ろし
3. 駐車ブレーキをかけ
4. エンジンを止め
5. キーを抜き，安全を確認してから行なってください。
そうしないと傷害事故を引起すおそれがあります。

廃棄物の処理について

警　告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，燃料，冷却水（不凍液），冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

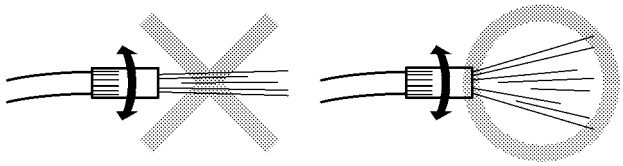
洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。
2. 油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。
3. 機械の破損・損傷・故障の原因になります。
例）(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内，安全キャブ室内等への浸入による故障
(3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類，ガラス等の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

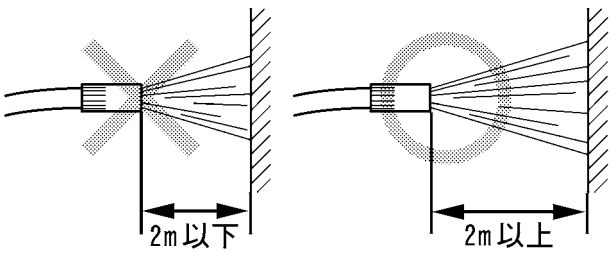
直射洗車厳禁



直射　　拡散

1AGACBRAP067A

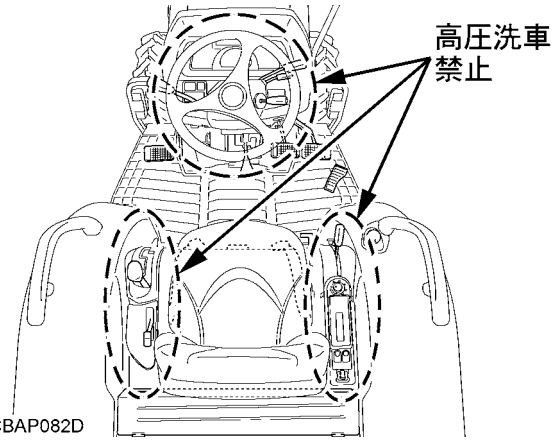
近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

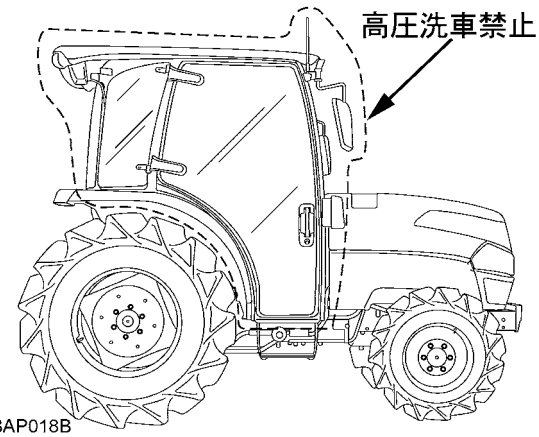
重　要

＊ 高圧洗車機などによる洗車の際には，メータパネル，ステアリングポスト回り，ポンパレバー，ホーンボタン回り，バッテリ，エンジン回りの電気配線・電装品（および電子油圧操作部）には，圧力水をかけないでください。電気部品の故障の原因になります。



1AGACCBAP082D

安全キャブのガラス部，ルーフ部の洗車の際には，圧力水をかけないでください。（圧力を下げるか水流を広げてください。）
安全キャブ室内の水もれ，電気部品の故障の原因になります。



1AGACCBAP018B

定期点検箇所一覧表

重　要

＊ ◎はならし運転の 50 時間後又は 100 時間後に必ず行なってください。
＊ バッテリ電解液は年間使用時間が 100 時間以内の場合，１年ごとに点検を行なってください。

次の定期点検箇所に従って，定期点検を実施しましょう。

No.	項目	時期	アワーメータ表示時間 50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	それ以降	参照ページ
1	エンジンオイル	交換	◎		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	121
2	エンジンオイルフィルタ	交換	◎				○				○				○		200 時間ごと	126
3	油圧オイルフィルタ	交換		◎			○				○				○		200 時間ごと	127
4	ミッションオイル	交換		◎							○						400 時間ごと	131
5	前車軸ケースオイル	交換					○						○				300 時間ごと	130
6	グリースの注入	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	116
7	エンジン始動システム	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	118
8	タイヤ取付ボルト	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	118
9	クラッチハウジングの水抜き	排水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	118
10	パワーステアリングホース	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	119
		交換															２年ごと	119
11	燃料ホース	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	120
		交換															２年ごと	120
12	バッテリ電解液	点検	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	122
13	エアクリーナエレメント	清掃	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	124
		交換															１年ごと	124
14	燃料フィルタエレメント	交換							○								400 時間ごと	132
15	ファンベルト	調整	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	124
16	クラッチペダル	調整	◎		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	125
17	ブレーキペダル	調整	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	125
18	ステアリングジョイント部	点検			○				○				○				200 時間ごと	127
19	ラジエータホース	点検			○				○				○				200 時間ごと	126
		交換															２年ごと	135
20	トーイン，タイロッド	点検			○				○				○				200 時間ごと	128
21	エンジンバルブクリアランス	点検															800 時間ごと	133
22	前部デフケース前後遊び	調整											○				600 時間ごと	133
23	ラジエータ(クーリングシステム)	洗浄															２年ごと	135
24	冷却水	交換															２年ごと	134
25	メインシリンダホース	交換															２年ごと	135
26	モンロシリンダホース **[MA･MAD仕様]**	交換															２年ごと	135
27	燃料の空気抜きのしかた	－															必要に応じて	136
28	ヒューズ類	交換															必要に応じて	136
29	ランプ類	交換															必要に応じて	137
30	ホーン接点のグリース塗布	－															必要に応じて	137

[安全キャブ仕様]

No.	時期		アワーメータ表示時間														それ以降	参照ページ
	項目		50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700		
1	内気フィルタの詰まり	清掃			○				○				○				200時間ごと	128
2	外気フィルタの詰まり	清掃			○				○				○				200時間ごと	129
3	コンデンサの詰まり	清掃			○				○				○				200時間ごと	129
4	エアコンベルトの張り	調節			○				○				○				200時間ごと	130
5	ヒータ配管，ホース	点検															1年ごと	133
6	エアコン配管，ホース	点検															1年ごと	133
7	ウォッシャ液	補充															必要に応じて	137
8	各部への注油	―															必要に応じて	137
9	冷媒（ガス）量	点検															必要に応じて	138

[パワクロ仕様]

No.	時期		アワーメータ表示時間														それ以降	参照ページ
	項目		50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700		
1	グリースの注入	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50時間ごと	116
2	転輪・遊輪のオイルシール	点検			○								○				400時間ごと	132

＊専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは，購入先にご相談ください。

給油（水）一覧表

■トラクタの給油（水）

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">給油（水）項目</th><th colspan="6">容　　量（L）</th><th rowspan="2">備　　考</th></tr>
<tr><th>KL225
KL245(H)
KL265(H)</th><th>KL285(H)</th><th>KL315(H)
KL345(H)</th><th>KL385(H)
KL415(H)</th><th>KL465H
KL505H</th><th>KL555H</th></tr>
<tr><td>1</td><td>燃　　料</td><td>27</td><td>36</td><td colspan="2">40</td><td colspan="2">48</td><td>ディーゼル軽油</td></tr>
<tr><td>2</td><td>冷　却　水</td><td>5.8</td><td colspan="2">6.0</td><td>7.5</td><td colspan="2">8.0</td><td>清水（不凍液を入れた場合は，その量だけ少なく清水を入れてください。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">エンジンオイル</td><td colspan="3">5.7</td><td colspan="2">8.2</td><td>—</td><td>クボタ純オイル（ディーゼルエンジン用)D30又はD10W-30 CC級又はCD級</td></tr>
<tr><td colspan="5">—</td><td>8.5</td><td>クボタ純オイル（ディーゼルエンジン用）D30 スーパー CD 又は D10W-30 スーパー CD CC 級使用不可，CD 級以上のみ使用</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ミッションオイル
（油圧オイル）</td><td colspan="3">32</td><td colspan="3">41</td><td rowspan="3">クボタ純オイル
スーパー UDT 又は
バイオスーパー UDT</td></tr>
<tr><td>5</td><td>前車軸ケース</td><td>3.7*</td><td colspan="2">3.9**</td><td colspan="3">5.5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>各操作レバー
・ペダル支点</td><td colspan="6">注　　油</td></tr>
<tr><td>7</td><td>三点リンク</td><td colspan="6">注入・塗布</td><td rowspan="3">極圧（万能）グリース</td></tr>
<tr><td>8</td><td>バッテリターミナル</td><td colspan="6">塗　　布</td></tr>
<tr><td>9</td><td>油圧シリンダ</td><td colspan="6">注　　入</td></tr>
<tr><td>10</td><td>ウォッシャ液
[安全キャブ仕様]</td><td colspan="6">2</td><td>自動車用ウォッシャ液</td></tr>
</table>

*　前車軸を分解・修理した場合は 4.5L 入れてください。
**　前車軸を分解・修理した場合は 5.5L 入れてください。

[パワクロ仕様]
下表以外の給油（水）は，同じエンジン出力のタイヤ仕様機種と同じです。

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">給油項目</th><th colspan="4">容　　量（L）</th><th rowspan="2">備　　考</th></tr>
<tr><th>KL285-PC</th><th>KL345(H)-PC</th><th>KL415H-PC</th><th>KL505H-PC</th></tr>
<tr><td>1</td><td>ミッションオイル
（油圧オイル）</td><td>36</td><td>35</td><td colspan="2">43</td><td>クボタ純オイル
スーパー UDT 又は
バイオスーパー UDT</td></tr>
<tr><td>2</td><td>転輪</td><td colspan="2">0.1</td><td colspan="2">0.1</td><td rowspan="3">スーパー UDT</td></tr>
<tr><td>3</td><td>前遊輪</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2">0.075</td></tr>
<tr><td>4</td><td>後遊輪</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2">0.1</td></tr>
</table>

推奨オイル・グリース一覧表

必ず下記の指定オイルを使ってください。

■エンジンオイル・ミッションオイル

メーカ	エンジンオイル	ミッションオイル・前車軸ケースオイル・各操作レバー支点
新日本石油	クボタ純オイル (ディーゼルエンジン用) D30 又は D10W-30 ターボ付エンジンは D30 スーパー CD 又は D10W-30 スーパー CD	クボタ純オイル スーパー UDT 又はバイオスーパー UDT
コスモ石油		
ジャパンエナジー		
昭和シェル石油		
富士興産		

★バイオスーパー UDT 油は万一事故でオイルが土壌、河川、沼地、海などに流出した場合，微生物などにより成分のほとんどが分解され環境汚染を防ぐことができる潤滑油です。

■グリース

メーカ	商品名	用　途
新日本石油	エピノックグリース AP2	極圧（万能）グリース
コスモ石油	ダイナマックス EP2	
ジャパンエナジー	JOMO リゾニックス EP2	
昭和シェル石油	アルバニヤ EP グリース 2	
富士興産	フッコール EP2	
出光興産	ダフニーエポネックス SR2	
モービル	モービラックス EP2	
エッソ／ゼネラル	ビーコン EP2	
協同油脂	マルテンプ PS2	ホーン接点用グリース

ボンネットの開閉及びサイドカバーの外し方

注　意

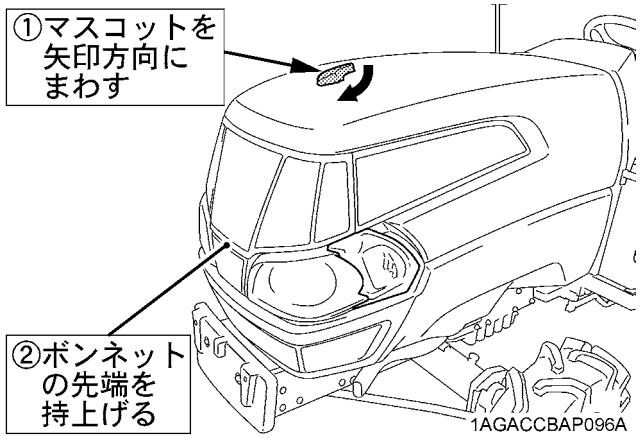
＊ エンジン回転中は絶対にボンネットを開けないでください。
＊ マフラが熱いときさわらないでください。ヤケドすることがあります。

■ボンネットの開閉

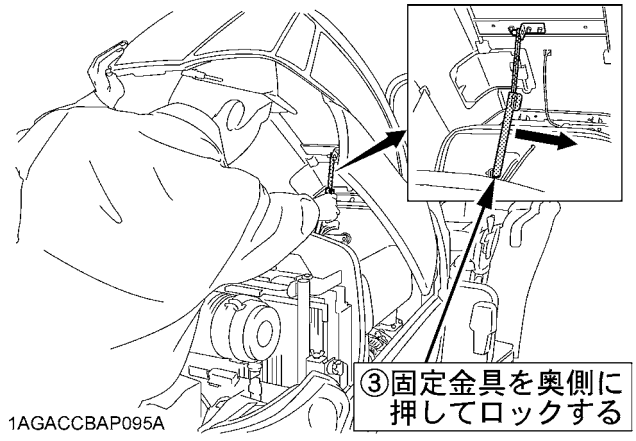
注　意

＊ ボンネットを開き点検・調整するときは，必ずボンネット固定金具が［ロック］されたか確認してから作業をしてください。

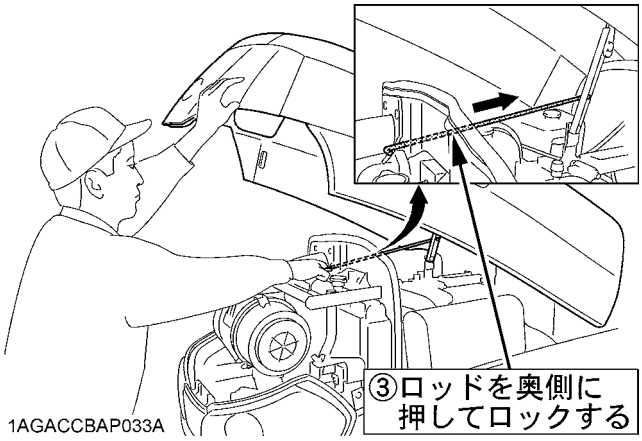
◆ ボンネットの開け方



［KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H) -PC］

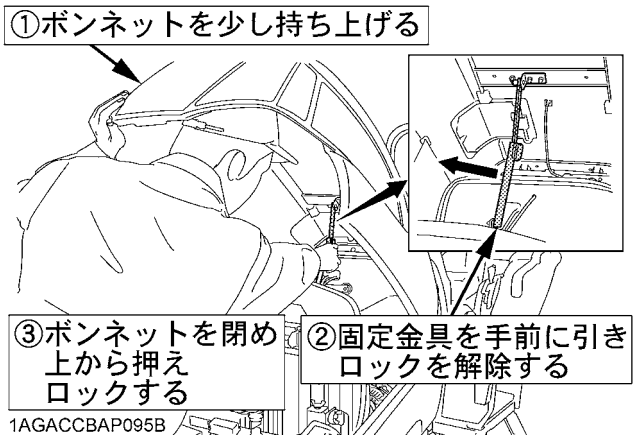


［KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC］

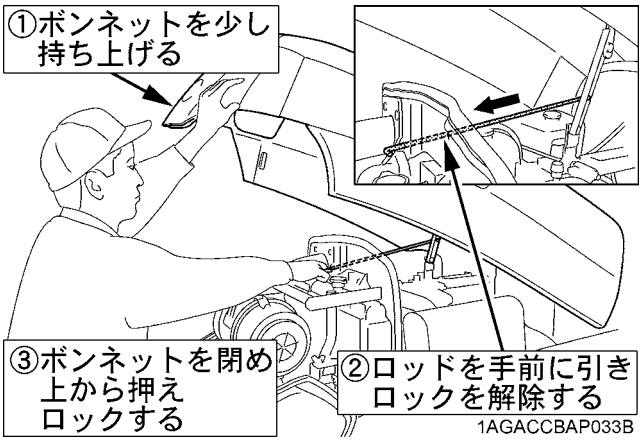


◆ ボンネットの閉め方

［KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H) -PC］

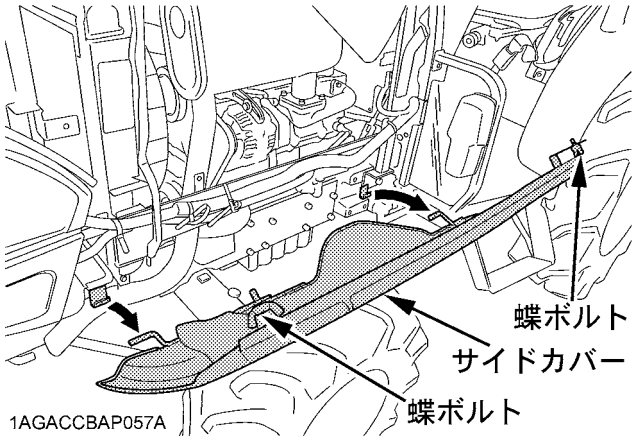


［KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC］



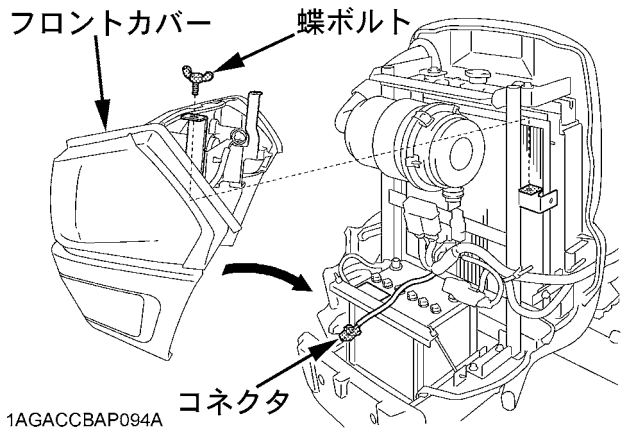
■サイドカバーの取り外し

両側のボルトを外し，上部へ引き上げてサイドカバーを外します。



■フロントカバーの取り外し

1. ヘッドライト用コネクタを外します。
2. 両側のボルトを外し，フロントカバーを外します。



日常点検

注　意

＊ 火気厳禁
＊ 点検をするときは，必ず作業機を降ろしエンジンを停止してから行なってください。
＊ 燃料・オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。
＊ トラクタは常に清掃しておいてください。バッテリ，配線，マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると，火災の原因になります。
＊ 運転中及び停止直後は，ラジエータの圧力キャップを絶対に開けないでください。熱湯が噴出してヤケドをすることがあります。
＊ エンジン周囲のカバー類を開けて点検・整備するときは，内部が十分に冷え，ヤケドのおそれがないことを確認してから行なってください。

■前日の異常箇所

前日の作業中に異常を感じたところがあれば，使用前に支障がないか点検してください。

■トラクタの周りを歩いて

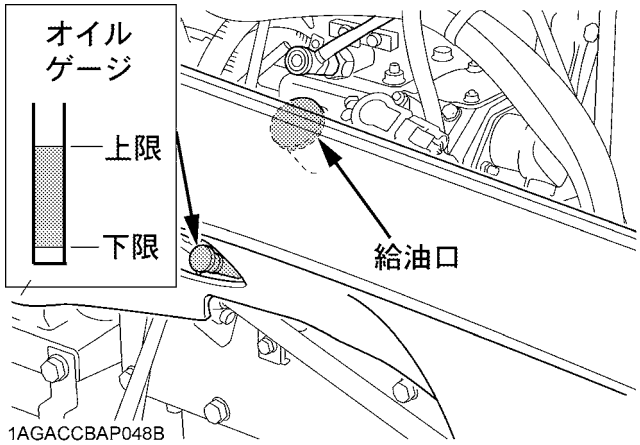
1. ボルトやナットのゆるみ及び作業機取付けピンの脱落
2. 車体各部の変形や損傷
3. 油や水もれなど異常がないか，点検してください。

■エンジンオイルの量及び汚れ

注　意

＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

1. オイルゲージを抜いて先端をきれいにふき，差込んでから再び抜き**［下限と上限の間］**にオイルがあるかを調べます。
2. **［下限］**以下の場合は補給してください。ただし，**［上限］**以上には入れないでください。



重　要

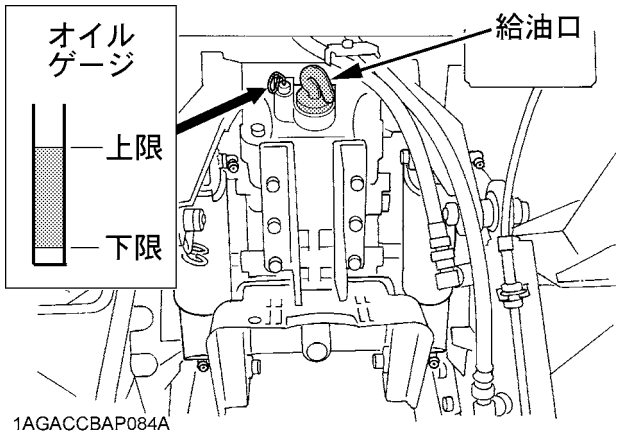
＊ 点検するときは，トラクタを水平な場所に置いてください。傾いていると正確な量が示されません。
＊ オイル量はエンジン始動前か，エンジンを止めてから約５分以上たってから点検してください。そうでないと，オイルがまだエンジン各部に残っており正確なオイル量は測れません。

■ミッションオイルの量及び汚れ

注　意

＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

1. オイルゲージを抜いて先端をきれいにふき，差込んでから再び抜き**［下限と上限の間］**にオイルがあるかを調べます。作業機（ロータリ）付の場合は，作業機（ロータリ）を下げて確認してください。
2. **［下限］**以下の場合は補給してください。ただし，**［上限］**以上には入れないでください。



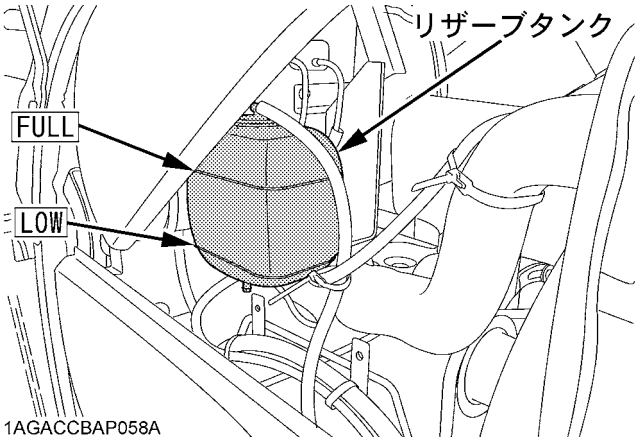
■冷却水の量

注　意

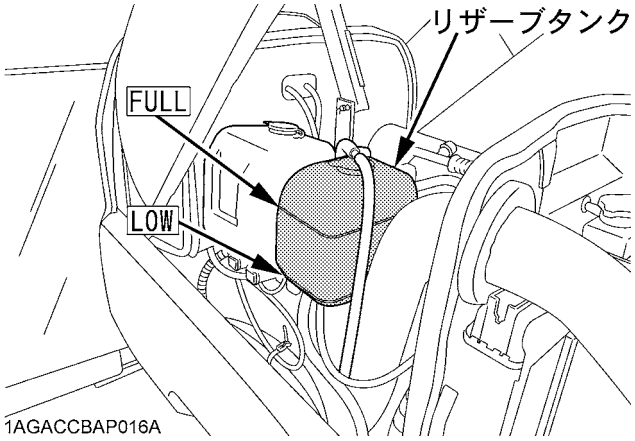
＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをすることがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。

ラジエータには，リザーブタンクが付いており，ラジエータ内の冷却水が少なくなると，リザーブタンクから自動的に補給される構造になっています。
冷却水の量はリザーブタンク内の量を点検してください。**[FULL から LOW の範囲]** であれば正常です。冷却水が LOW 以下の場合は，FULL のレベルまで補給してください。FULL 以上は入れないでください。

[安全フレーム仕様]



[安全キャブ仕様]

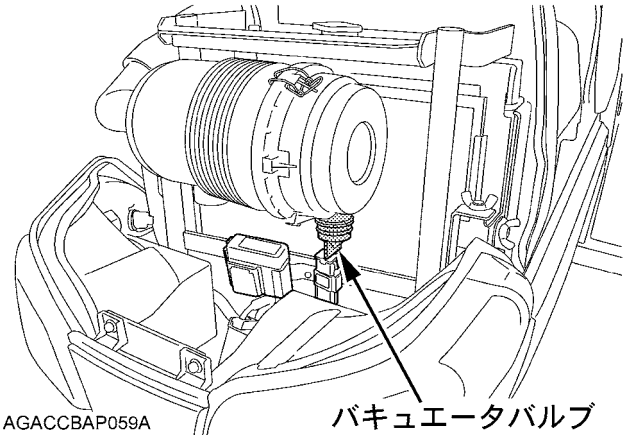


補　足

＊ ラジエータ本体のキャップは，冷却水点検及び交換するとき以外開けないでください。

■バキュエータバルブの清掃

バキュエータバルブを開き，ごみを取除いてください。水分があるときは，エアクリーナを掃除してください。



■ワイヤハーネス，バッテリ（+）コードの点検・交換

注　意

＊ 配線の端子や接続部のゆるみおよび配線の損傷は，電気部品の性能を損なうだけでなく，ショート（短絡）・漏電の原因になり，火災事故になるおそれがあり大変危険です。傷んだ配線は，早めに交換・修理してください。
ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金などで代用せず，購入先に点検・整備を依頼してください。
＊ また，本機の配線は，防水性など充分考慮して配線してありますのでむやみに修理して使用せず，購入先に点検・整備を依頼してください。
＊ バッテリおよび電気配線の周辺部は，マフラやエンジン周辺部と同様，わらくず・ゴミ・燃料の付着があると火災の原因になるので，毎日作業前に清掃してください。

下記項目を点検してください。
1. 配線の損傷がないこと。配線被覆が破れているときは，購入先に点検・整備を依頼してください。
2. 配線のクランプのゆるみが無いこと。配線がクランプより外れているときは，所定のクランプに配線をセットしてください。
3. ターミナル（端子），カプラ（ソケット）の接続部のゆるみがないこと。
4. 各スイッチ，メータが確実に作動すること。

重　要

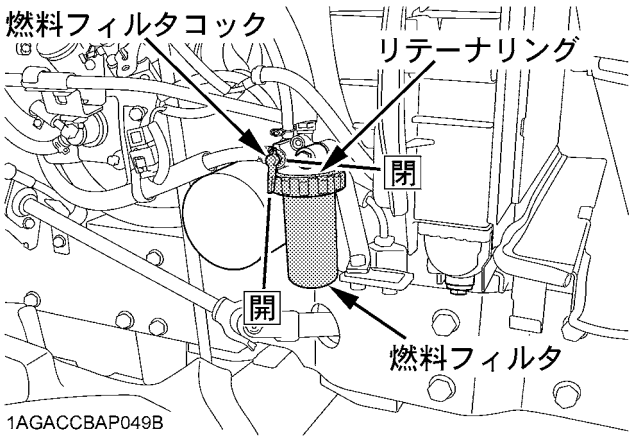
＊ 高圧洗車機などによる洗車の際には，メータパネル，ステアリングポスト回り，ポンパレバー，ホーンボタン回り，バッテリ，エンジン回りの電気配線・電装品（および電子油圧操作部）には，圧力水をかけないでください。電気部品の故障の原因になります。
＊ １年に１回は，購入先で定期点検を受けてください。
＊ スローブローヒューズの点検，交換は必ず購入先で行なってください。

■燃料フィルタの水，沈殿物の点検

燃料中に含まれる水・ごみがフィルタ内に沈殿します。水・ごみがたまったら燃料フィルタコックを閉じ，フィルタを外し，水・ごみを取除いてください。
このときは，必ず空気抜きをする必要があります。
1. 燃料フィルタコックを**［閉］**にしてください。
2. カップ上部のリテーナリングをゆるめてカップを外し，内部を軽油で洗浄します。

重　要

＊ 組付けるときは，チリやホコリが付着しないように注意しましょう。
＊ エレメントを交換したのちは，必ず空気が抜けたことを確かめた後，運転してください。（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）

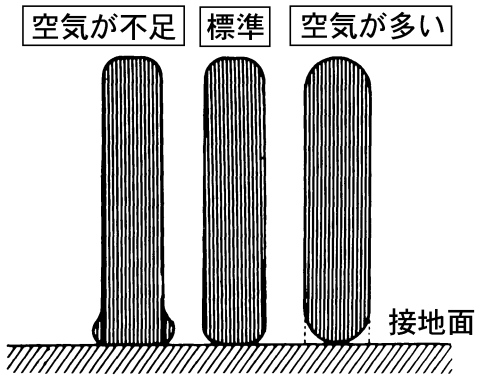


■タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷

警　告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

前輪・後輪の空気圧が適正であるかを調べます。外観から判断する目安はつぎのとおりです。



1AGAAAPAP007A

◆ 標準空気圧

［　］内はフロントローダ装着時

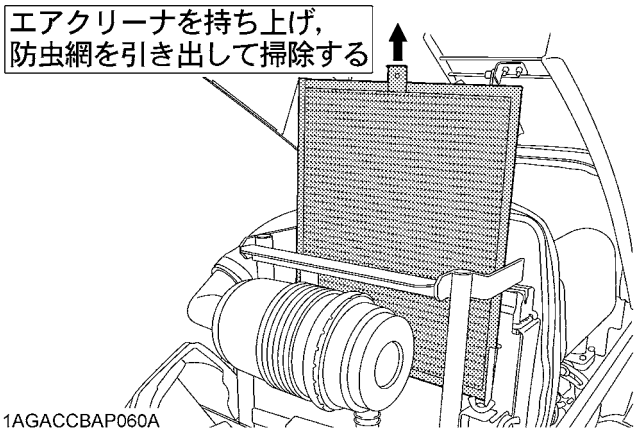
	空気圧 kPa（kgf/cm²）
前　輪	157（1.6）［196（2.0）］
	137（1.4）
後　輪	98（1.0）
	120（1.2） KL385H 用 12.4-28 タイヤのみ

■防虫網の清掃

注　意

＊ エンジンを必ず停止して清掃してください。

水田や夜間作業に使用すると，防虫網に草の実や昆虫が付着し詰まることがあります。防虫網を引出し清掃してください。



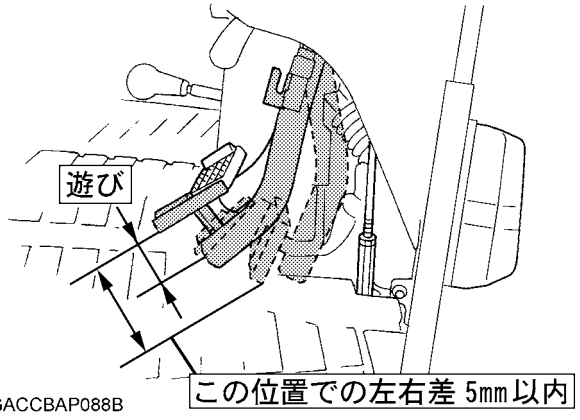
1AGACCBAP060A

■ブレーキペダルの遊び・点検

警　告

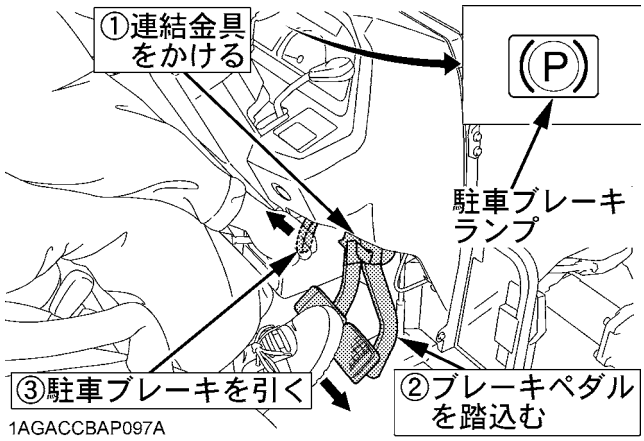
＊ ブレーキの調整が悪いと，人身事故にもつながります。常に作動状態に注意してください。

ペダルを踏んで遊び量が**［15 ～ 20mm］**かどうか，また左右ブレーキの踏込み量の差が**5mm以内**かどうかを調べます。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［100時間ごとの点検・整備］**の**［ブレーキペダルの点検・調整］**の項を参照）



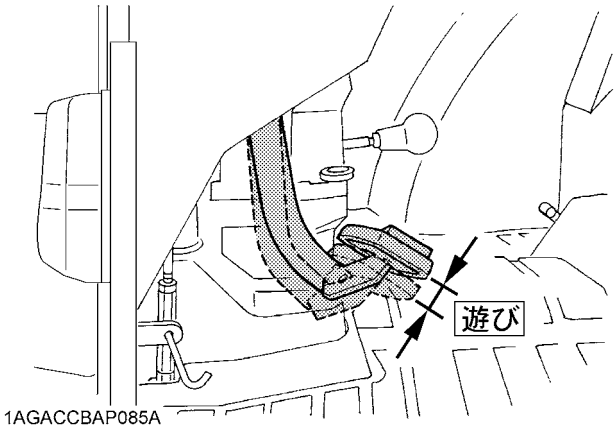
■駐車ブレーキの作動点検

ブレーキペダルを左右連結して踏込み，レバーを**［引い］**たまま足をはなすと駐車ブレーキがかかります。キースイッチ**［入］**時，駐車ブレーキを掛けると，メータパネル内の（Ⓟ）ランプが点灯します。
外すときは，ペダルを踏込めば外れます。



■クラッチペダルの遊び・点検

ペダルの遊び量が**［20 ～ 30mm］**あるか確認してください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［100時間ごとの点検・整備］**の**［クラッチペダルの点検・調整］**の項を参照）



重　要

＊ クラッチの調整が悪いと，クラッチ切れ不良，すべりを起し損傷につながります。

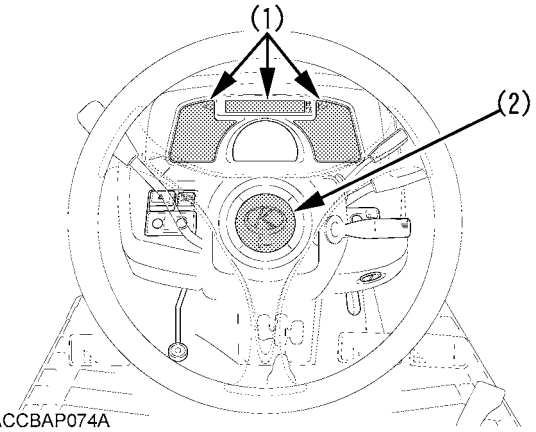
■メータ・ランプ類の作動

下記メータ及びランプ類が正しく作動するか点検してください。

(1) 電子メータ
(2) ホーン
(3) ヘッドライト
(4) ウインカ（前）
(5) ウインカ（後）
(6) ハザードランプ
(7) フロントサイド作業灯
(8) 作業灯

[KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様]
[KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]

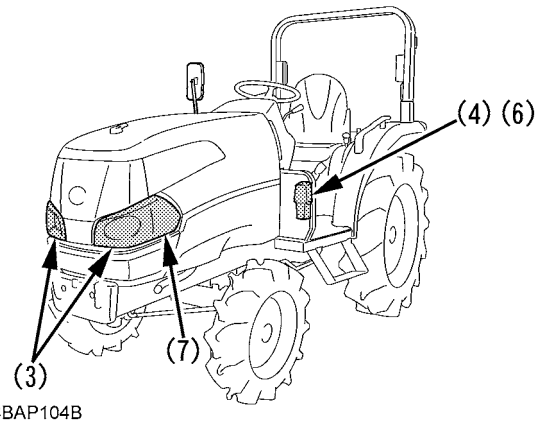
(9) 後退灯
(10) 尾灯・制動灯
(11) 車幅灯



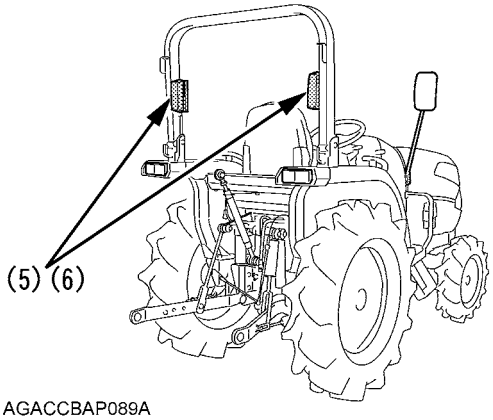
1AGACCBAP074A

◆ 安全フレーム仕様

[KL225・245・265・285・315・345]（パワクロ仕様除く）

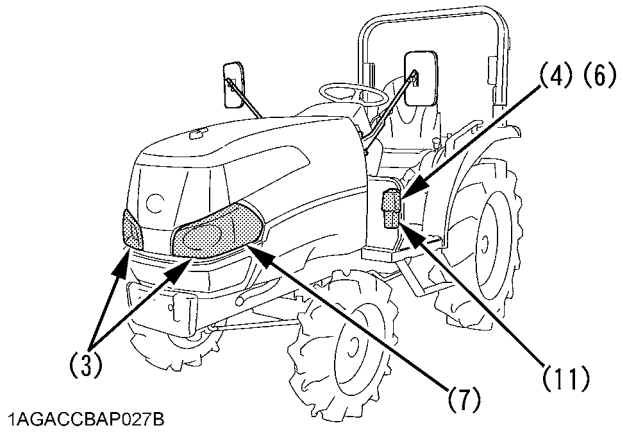


1AGACCBAP104B

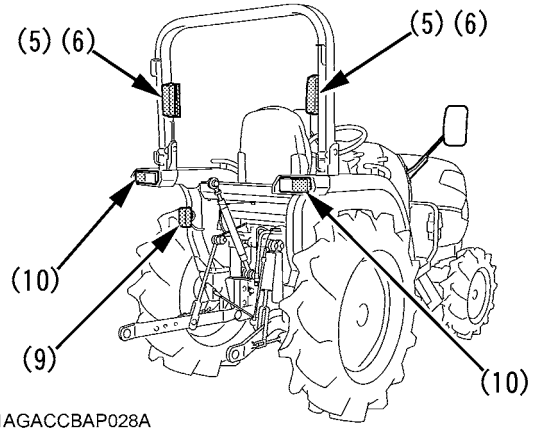


1AGACCBAP089A

[KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]

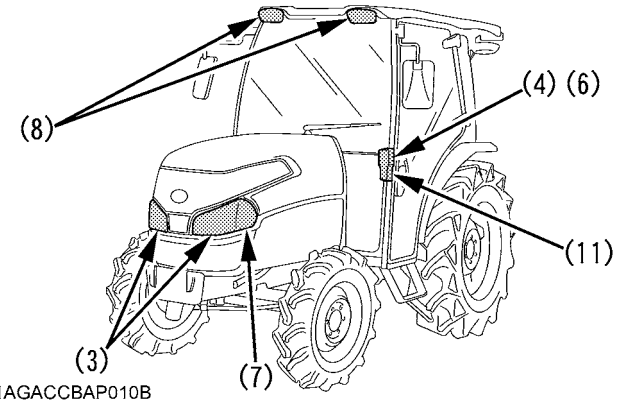


1AGACCBAP027B

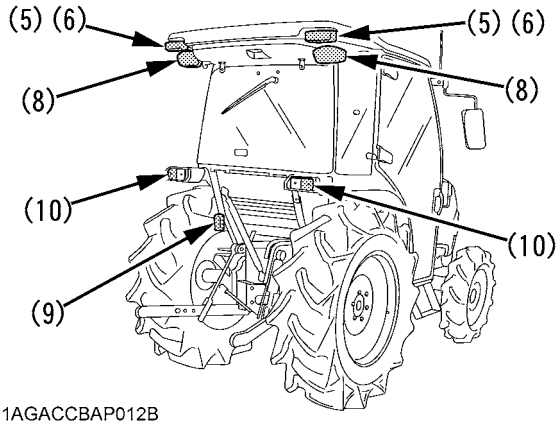


1AGACCBAP028A

◆ 安全キャブ仕様



1AGACCBAP010B



1AGACCBAP012B

■燃料の補給

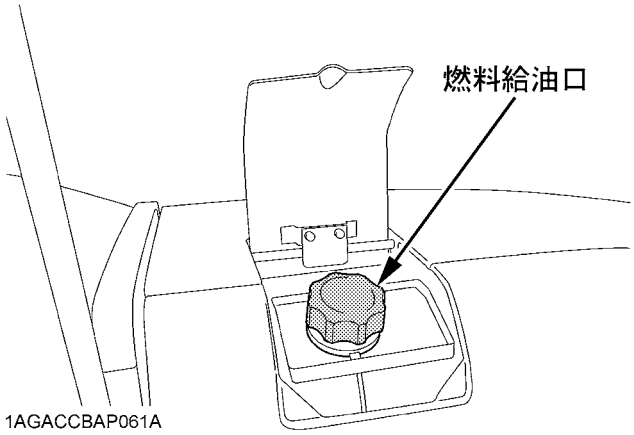
注　意

＊ 燃料を補給するときは，エンジンを必ず停止してください。
＊ 火気厳禁。

燃料には，**［ディーゼル軽油］**を使用してください。
ディーゼル軽油には下表の種類があります。地域・季節に見合ったものを使用してください。

種　類	ディーゼル軽油の流動点（℃）
特 1 号	+ 5 以上
1　号	0 及び - 5
2　号	-10
3　号	-15 及び -20
特 3 号	-25 及び -30

流動点付近以下の温度になると燃料の流動性が悪くなり，始動が困難になります。



重　要

＊ 燃料中にごみや砂が混入していると，燃料噴射ポンプが作動不良になりますので，給油時はこし網を外さないでください。
＊ 燃料キャップの空気穴が土やごみでふさがれていないか点検してください。
＊ 燃料キャップが締まっているか確認してください。

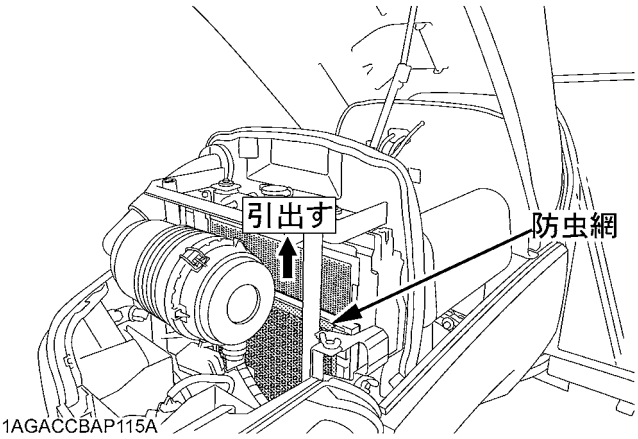
■コンデンサ用防虫網の清掃

［安全キャブ仕様］

エアコン仕様では，ラジエータと同様にコンデンサの前にも防虫網があります。
防虫網を引出して，掃除してください。

重　要

＊ 防虫網は金属製ですので，バッテリの（+）端子に触れないように特に注意してください。



■エンジンの始動確認

エンジンを始動し，かかり具合，異音がないかを確認してください。

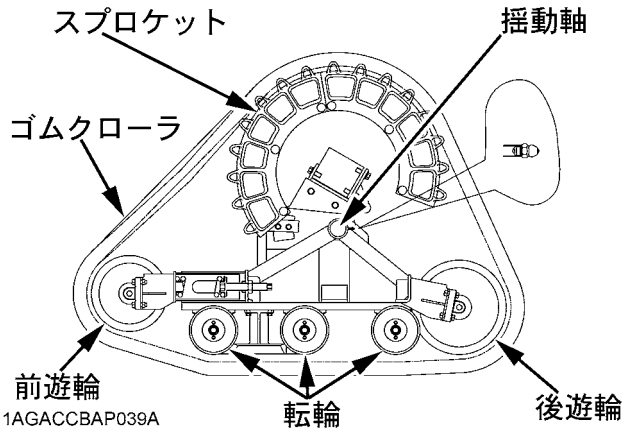
アクセルペダルを操作し，加速・減速がスムーズか確認してください。

日常点検（パワクロ仕様のみ）

メンテナンスを行なうことで，パワクロ機の寿命アップと当用期のトラブルを未然に防ぐことができます。下表に従ってメンテナンスを実施してください。

■日常点検箇所一覧

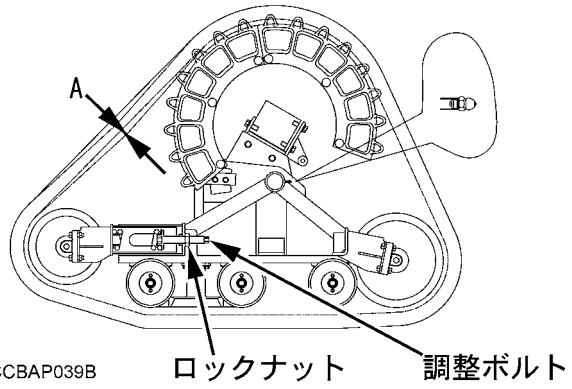
点検箇所	点検内容
転輪	● オイルもれはありませんか。オイルもれがある場合は，購入先にて点検を受けてください。 ● 草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか。
遊輪	● 極端な摩耗，偏摩耗はしていませんか。 ● オイルもれはありませんか。オイルもれがある場合は，購入先にて点検を受けてください。**[KL415H-PC，505H-PC のみ]**
スプロケット	● 草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか。
ゴムクローラ	● クローラに大きな損傷はありませんか。 ● クローラの張りは適正ですか。
揺動軸部	● グリースアップを適宜行なってください。 （目安：50 時間使用ごと及びシーズン修了後）



■ゴムクローラの張り調整

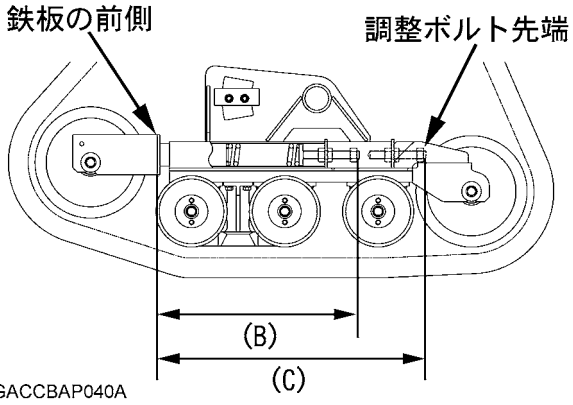
1. ゴムクローラが緩んだままで使用すると，走行中にクローラが外れるおそれがありますので，定期的に点検を行なってください。
2. ゴムクローラの張りの調整は，A 部のたわみが 196 ～ 245N（20 ～ 25kgf）の荷重で 10 ～ 15mm になるように，調整ボルトにて行なってください。調整後は確実にロックナットで固定してください。（図 1 参照）

（図 1）

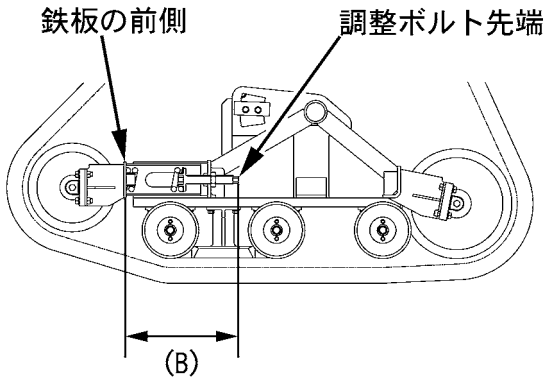


上記ゴムクローラの張り調整の目安として，次の図に示す寸法をご参照ください。

[KL285-PC]



[KL345(H)-PC・415H-PC・505H-PC]



1AGACCBAP041A

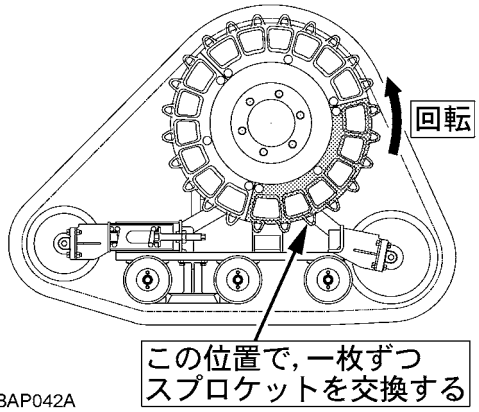
	KL285-PC	KL345(H)-PC	KL415H-PC	KL505H-PC
(B)	463 mm	330 mm	333 mm	333 mm
(C)	613 mm	−	−	−

■スプロケットの交換手順

スプロケットは3枚で構成されています。

1. まず　部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。(図2)
2. 次に車軸をゆっくり回転させ，順次下側に来たスプロケットを新しいものに交換していきます。
3. 3枚のスプロケットを交換した後,ゴムクローラの張り調整を行なってください。

(図2)

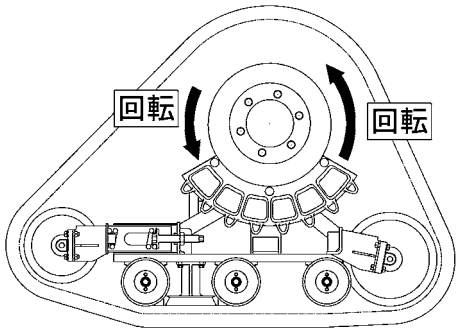


1AGACCBAP042A

■ゴムクローラの交換手順

1. 調整ボルトのロックナットを緩め，次に調整ボルトを回転させ，クローラの張りを緩めます。(図1参照)
2. 図2の　部に示した下側のスプロケットから順次2枚のスプロケットを外します。
3. 一枚のスプロケットを残したまま図3に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ，古いゴムクローラを外します。
4. 新しいゴムクローラに置き換えた後，車軸を回転させ，スプロケットにゴムクローラを掛けます。
5. 外した2枚のスプロケットを取付けた後，最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。

(図3)

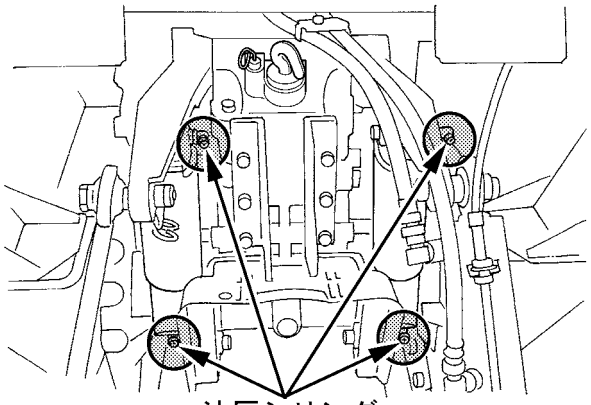


1AGACCBAP043A

50 時間ごとの点検・整備

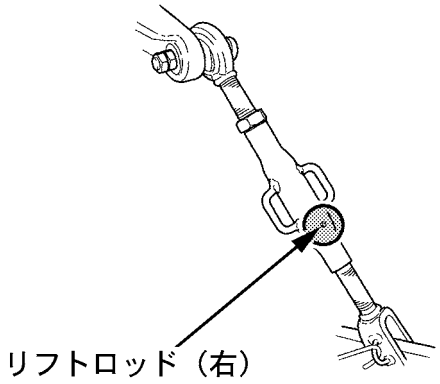
■グリースの注入

代かき作業などで泥水の中に入ったときは，１日の作業が終ったあと必ずグリースアップをしておきましょう。グリースは，**［クボタ推奨グリース］**を使用してください。



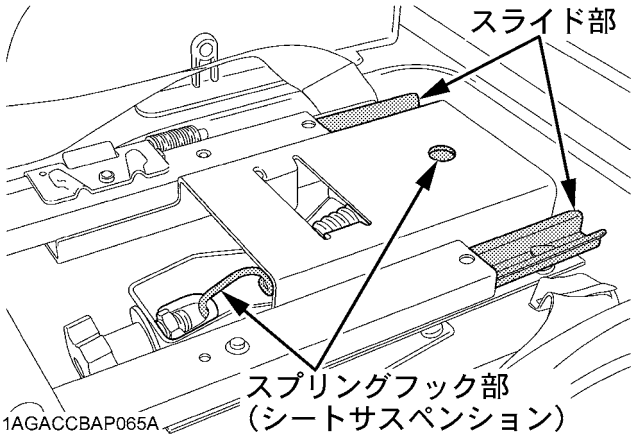
1AGACCBAP084B

［KL225・245・265 MA・MAD 仕様以外］

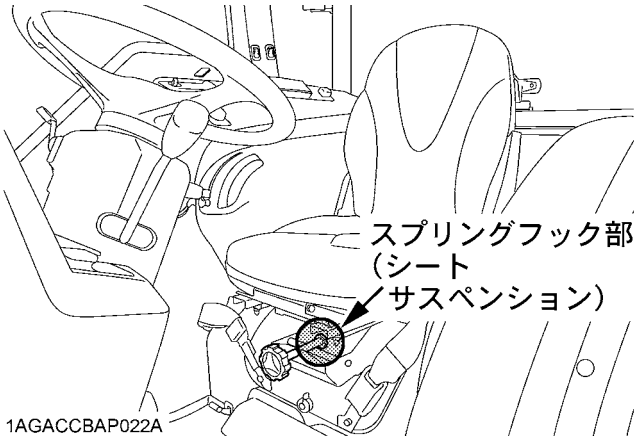


1AGACBAAP043B

［KL225・245 (H) ・265 (H) ］
［285 (H) ・315 (H) ・345 (H) ・285-PC・345 (H) -PC 安全フレーム仕様］

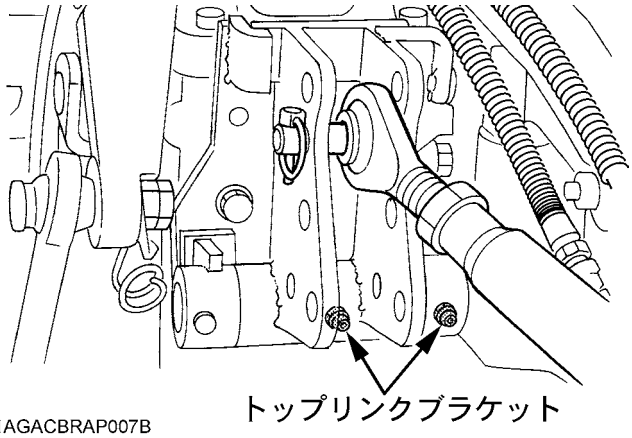


1AGACCBAP065A



1AGACCBAP022A

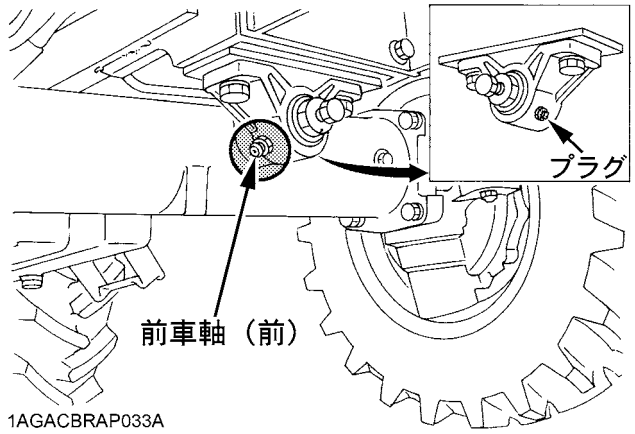
［MAD 仕様］



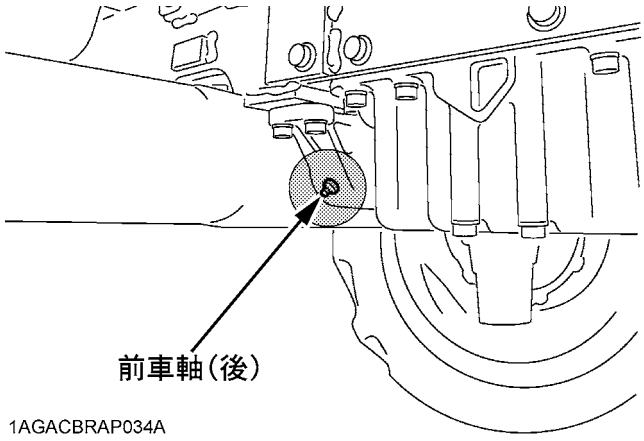
1AGACBRAP007B

[KL385 (H) ・415 (H) ・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC]

プラグを外し, グリースがにじみ出てくるまでグリースを注入してください。



1AGACBRAP033A

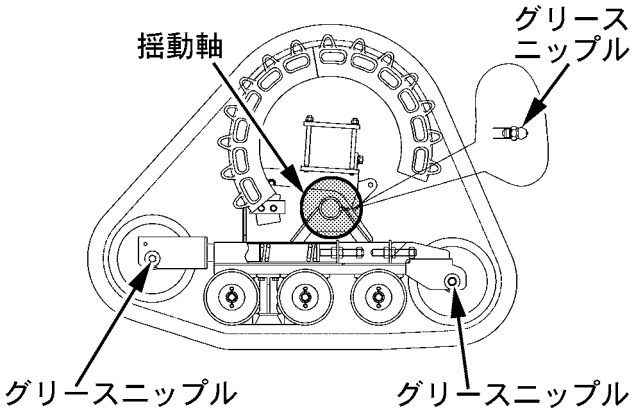


1AGACBRAP034A

[KL285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]

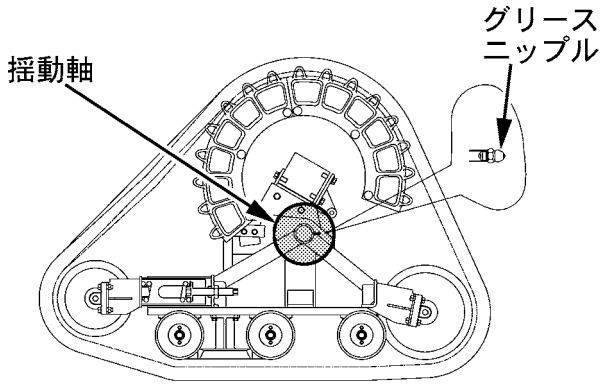
グリースの注入は, パイプとフレームあるいはパイプとザガネのすきまからグリースが出るまで行なってください。

[KL285-PC・345 (H) -PC]

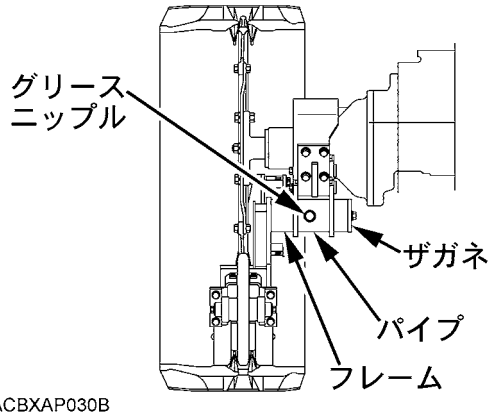


1AGACCBAP119A

[KL415H-PC・505H-PC]



1AGACCBAP039C



1AGACBXAP030B

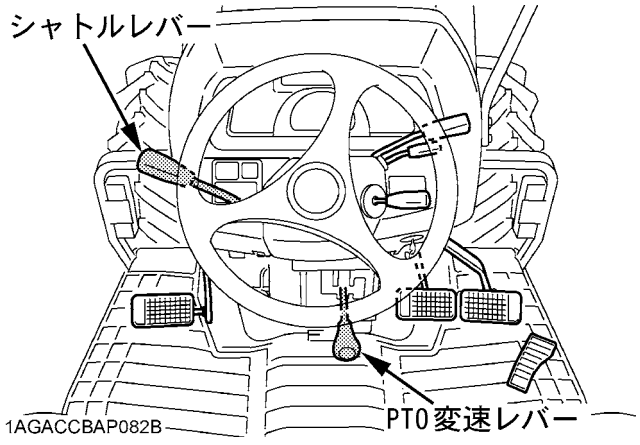
■エンジン始動システムの点検

注 意

＊ 点検中，トラクタに人を近づけないようにしてください。
＊ 装置に異常があれば必ず整備をした後，ご使用ください。

◆ 点検

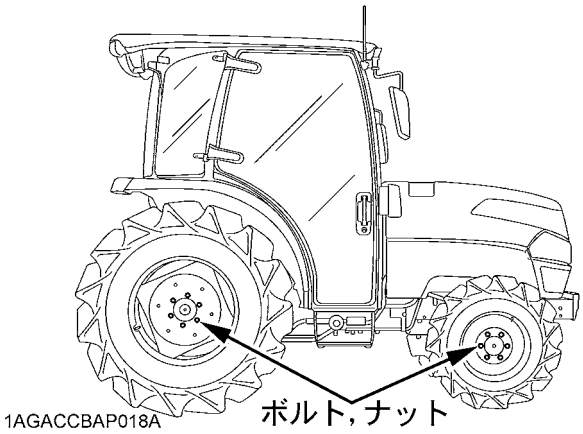
1. 運転席に座り，主変速，シャトル及び PTO 変速レバーを**［中立］(N)** にします。
2. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止します。
3. アクセルレバーを**［最低速］**位置にします。
4. クラッチペダルを一杯踏込み，キースイッチを瞬時**［始動］**位置に回します。
   このとき，エンジンが回れば正常です。
5. 次に，クラッチペダルを一杯踏込んだままシャトルレバーを**［前進］**又は**［後進］**に入れ，PTO 変速レバーを**［各変速段］**(**一方が中立 (N) の場合も含む**)又はあんしんPTOスイッチを**［入］［N 仕様］**に入れ，キースイッチを瞬時**［始動］**位置に回します。
   このとき，エンジンが回らなければ正常です。
6. もし，不良の場合は，購入先へご相談ください。



■タイヤ取付けボルトの点検

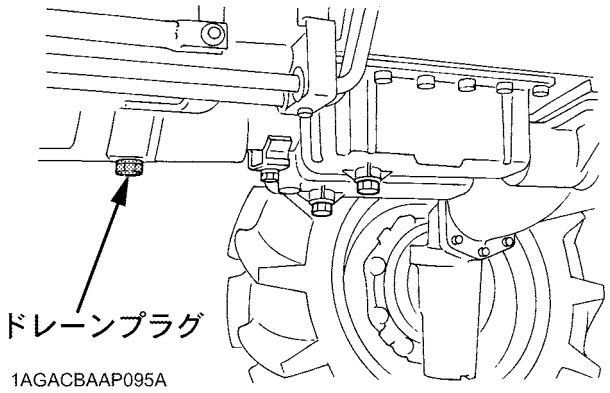
注 意

＊ タイヤ取付けボルトやナットがゆるんだ状態でトラクタを運転しないでください。ゆるんだまま走行すると，傷害事故を引起こすおそれがあります。



■クラッチハウジングの水抜き

代かき作業・洗車・雨降りなどで，クラッチハウジングに多量の水がかかった場合，又は 50 時間使用ごとにクラッチハウジング底のドレーンプラグを外して，水の浸入がないことを確認してください。もし水が入っていれば，完全に抜いて，内部をよく乾燥してください。



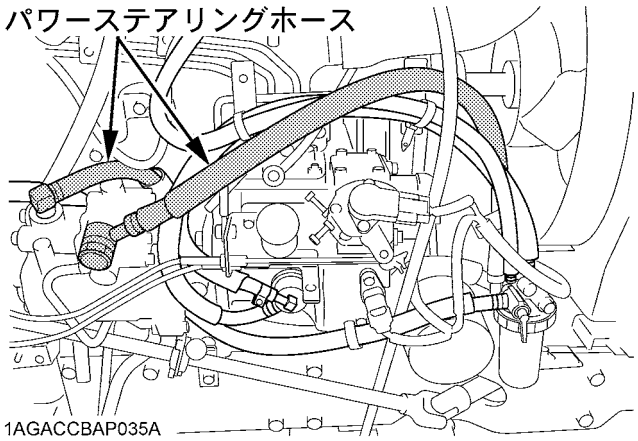
■パワーステアリングホースの点検

注　意

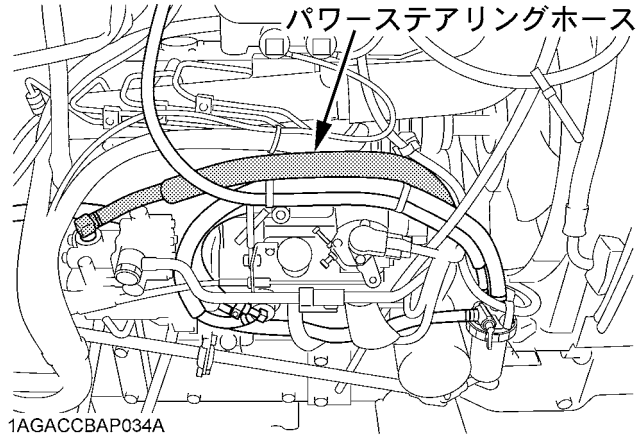
＊ ホースの傷みは，必ず点検しましょう。ホースが破損しハンドル操作ができなくなり，傷害事故を引起こすおそれがあります。

パワーステアリングホースは，使わなくても劣化する消耗品です。２年ごとに又はいたんだときには新品と交換する必要があります。
ホースがいたんでいないか常に注意してください。

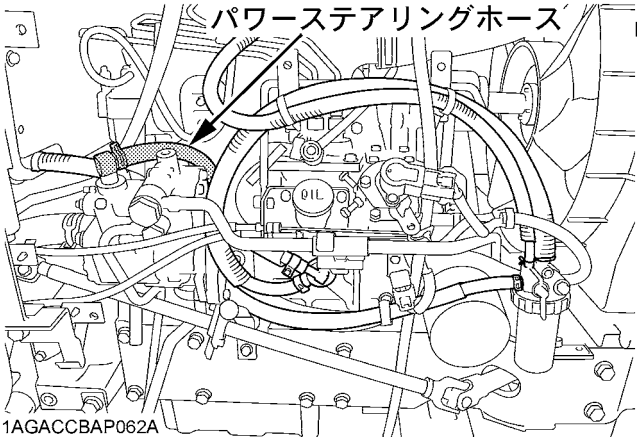
[KL225・245・265・285・315・345 マニュアルシフト仕様]



[KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC Uシフト仕様]



[KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC]



重　要

＊ 交換時にホースなどにごみが入らないように注意してください。ごみが入ると作動不良の原因になります。

■燃料ホースの点検

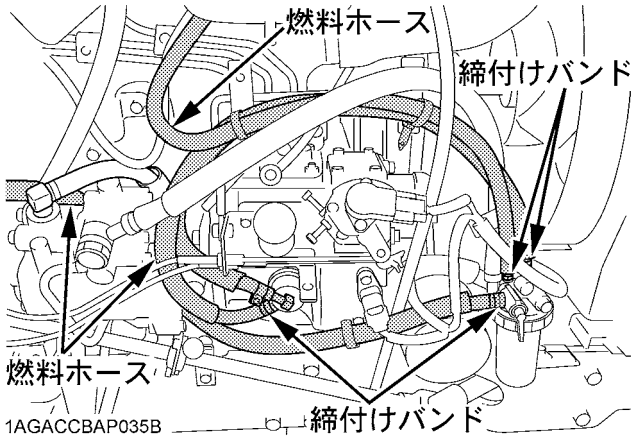
注　意

＊ ホース類の傷みや締付けバンドのゆるみは，必ず点検してください。異常があれば交換・整備を行なってください。
燃料もれなどによる火災や傷害事故などの原因になります。

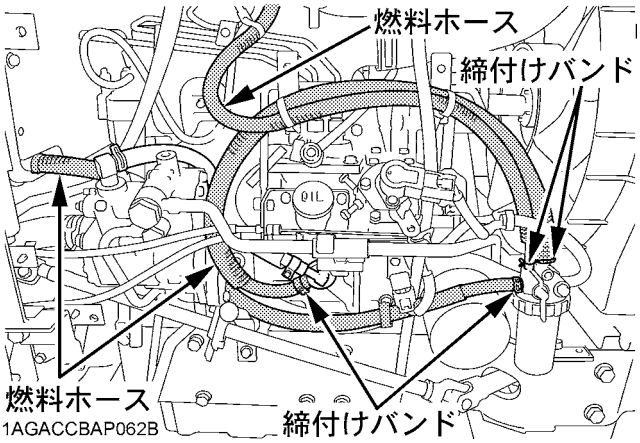
燃料ホースなどのゴム製品は，使わなくても劣化する消耗品です。締付けバンドと共に２年ごとに又はいたんだときには新品と交換する必要があります。

1. ホース類や締付けバンドがゆるんだり，いたんでいないか常に注意してください。
2. 燃料ホースを交換した場合は，必ず空気抜きをする必要があります。
（**[トラクタの簡単な手入れと処置]**の章の**[燃料の空気抜きのしかた]**の項を参照）

[KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC]



[KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC]



重　要

＊ 交換時にホースや噴射ポンプなどにごみが入らないように注意してください。ごみが入ると，噴射ポンプの作動不良の原因になります。

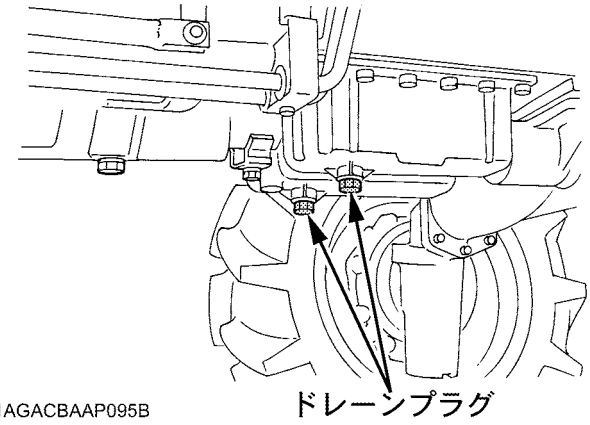
100 時間ごとの点検・整備

■エンジンオイルの交換

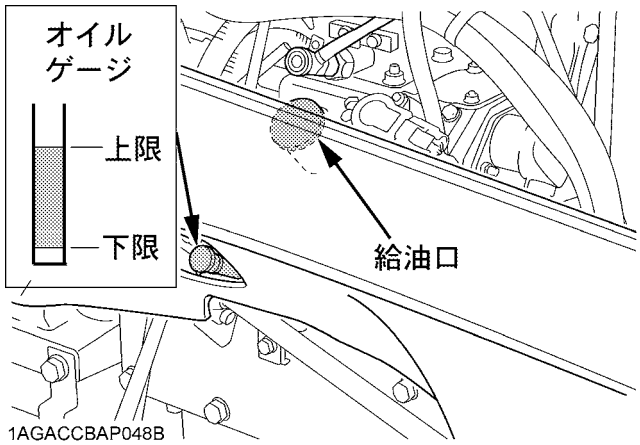
注 意

＊ 交換をするときは，必ずエンジンを止めて十分冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

1. ドレーンプラグ（左右共）を外してオイルを排出します。このときオイルが暖まっている方が排出しやすくなります。ただしヤケドに注意してください。



2. ドレーンプラグ（左右共）を締めます。
3. エンジンオイルを給油口から，規定量まで入れてください。このときオイルをこぼさないように注意してください。オイルゲージを外しておくと給油がしやすくなります。



重 要

＊ 今まで使用していたオイルと異なるメーカ，あるいは粘度 No. の異なるものを使用する場合は，オイルを全部排出してから，新しいオイルと交換してください。注ぎ足し使用は絶対しないでください。
＊ 気温により次のように使いわけてください。

[KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・385 (H)・415 (H)・465H・505H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]

15 ℃以下	D10W-30（オールシーズン用）
15 ℃以上	D30，又は D10W-30

冬期は必ず D10W-30 を使用してください。

[KL555H ターボ付き]

15 ℃以下	D10W-30 スーパー CD （オールシーズン用）
15 ℃以上	D30 スーパー CD，又は D10W-30 スーパー CD

冬期は必ず D10W-30 スーパーCD を使用してください。

＊ 点検するときは，トラクタを水平な場所に置いてください。傾いていると正確な量が示されません。
＊ オイル量はエンジン始動前か，エンジンを止めてから約５分以上たってから点検してください。そうでないと，オイルがまだエンジン各部に残っており正確なオイル量は測れません。

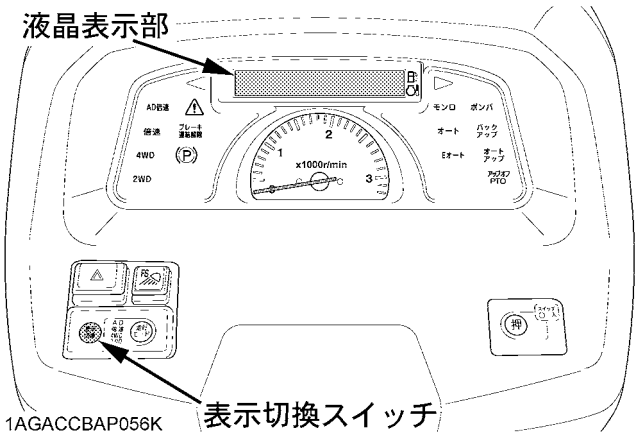
■電子メータメッセージのリセット法

エンジンオイル交換時下記手順でメッセージ表示時間を**0時間**に戻してください。
正しくリセットしておくと，オイル交換時期に達すると，電子メータメッセージが表示され大変便利です。（表示１）

1. 表示切換スイッチを押し，**[エンジンオイル交換用トリップ時間]** 表示モードにする。（表示２）
2. 表示２の状態で表示切換スイッチを２秒間押すとメッセージ表示が**0時間**にリセットされます。（表示３）

補　足

＊ 新車時，アワーメータの表示時間が 20 時間未満でリセットすると，50 時間運転後（表示１）にメッセージが表示されます。



電子メータメッセージ

（表示１）

エンジンオイル交換時期

（表示２）

エンジン オイル 交換後 100 時間

（表示３）

エンジン オイル 交換後 0 時間

■バッテリ電解液の点検

危　険

バッテリには補水不要なタイプと補水が必要なバッテリの２種類があります。補水が必要なバッテリについては，以下の事を守ってください。

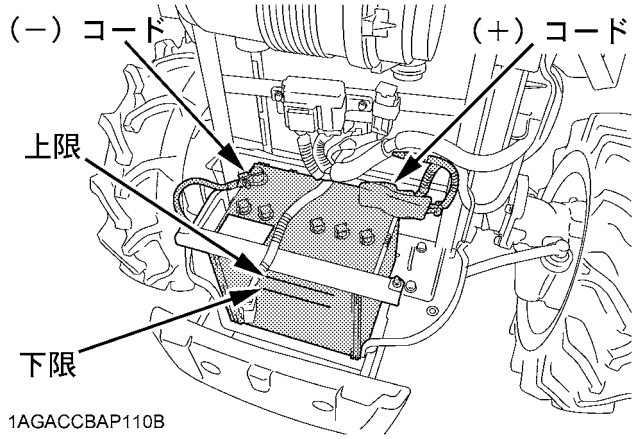
＊ バッテリは液面が LOWER（最低液面線）以下になったままで使用や充電をしないでください。LOWER 以下で使用を続けると電池内部の部位の劣化が促進され，バッテリの寿命を縮めるばかりでなく，爆発の原因になることがあります。すぐに UPPER LEVEL と LOWER LEVEL の間に補水してください。

警　告

＊ バッテリ液は希硫酸なので扱いには十分注意し，身体や衣服に付けないようにしてください。もし付着した場合は，すぐに水で洗い流してください。状況により医師の診断を受けてください。
＊ バッテリの点検及び取外し時は，エンジンを必ず停止し，キースイッチを［切］位置にしておいてください。
＊ バッテリを取外すときは，短絡（ショート）事故を防ぐため，最初にバッテリ（－）コードを外し，接続するときは，最後にバッテリ（－）コードを接続してください。
＊ バッテリを充電しているときは，タバコを吸ったり火を近づけないでください。バッテリは充電中，可燃性ガスが発生し，引火爆発のおそれがあります。

◆ バッテリ液の点検

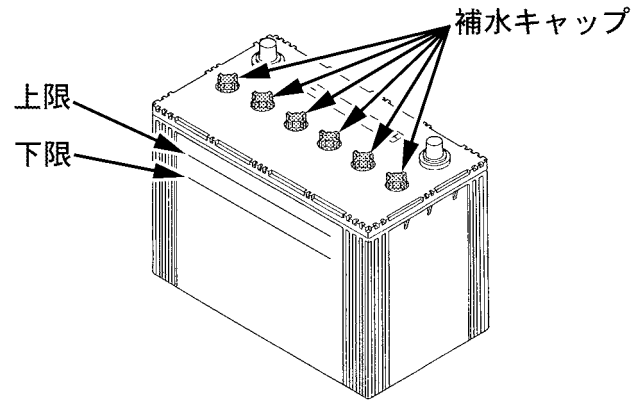
バッテリ側面の２本線間（レベル）に液面があるか点検してください。少ないときは上限の線（レベル）まで蒸留水を補給してください。



1AGACCBAP110B

◆ 補水のしかた

1. バッテリ上ふたの補水キャップを外します。
2. ６個の補水穴から蒸留水を均一に上限の線（レベル）まで補水します。
3. キャップを元の穴にねじ込みます。



1AGACBAAP099A

◆ バッテリの取付け，取外し

注　意

＊ バッテリを取外すときは，バッテリ（−）コードを最初に外し，次に（+）コードを外してください。
＊ 取付けるときは，必ず（+）側から取付けます。逆にすると，工具が当たった場合にショートします。

重　要

＊ バッテリ液が不足するとバッテリをいため，多過ぎると液がこぼれて車体の金属部を腐食させます。
＊ 新品のバッテリと交換する場合には必ず指定した型式のバッテリを使用してください。

トラクタ	バッテリ型式
KL225・245(H)・265(H)・285(H)・285-PC	75D23R
KL315(H)・345(H)・385(H)・415(H)・465H・505H・555H・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC	80D26R

＊ バッテリを外し，再度取付けるときにはバッテリの（+），（−）のコードを元どおりに配線し，まわりに接触しないように締付けてください。

◆ 補充電のしかた

警　告

＊ バッテリを充電しているときは，タバコを吸ったり火を近づけないでください。バッテリは充電中，可燃性ガスが発生し，引火爆発のおそれがあります。

1. バッテリは必ず車体から取外して充電してください。電装品の損傷のほかに配線などをいためることがあります。なお急速充電は行なわないでください。
2. バッテリコードを接続するときは，（+）と（−）をまちがえないようにしてください。まちがえるとバッテリと電気系統が故障します。
3. 充電は，バッテリの（+）を充電器の（+）に，バッテリの（−）を充電器の（−）にそれぞれ接続して，普通の充電法で行なってください。コードの接続をまちがわないように注意してください。

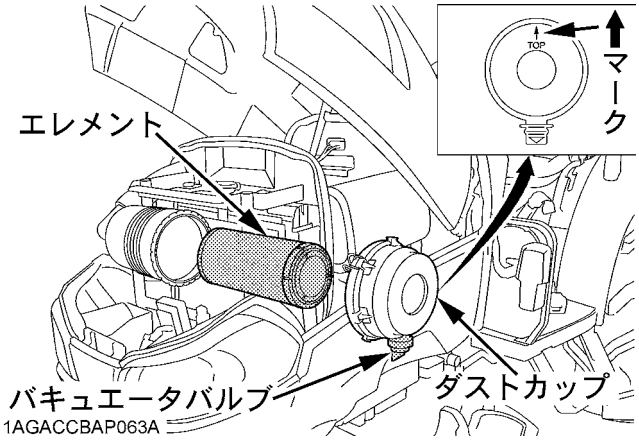
■エアクリーナエレメントの清掃

◆ エレメントの清掃

乾いたちりやほこりの場合は，エレメントをいためないように注意しながら，エアで吹き飛ばしてください。（エアの圧力は 205kPa（2.1kgf/㎠）を越えないように注意し，ノズルとエレメントの間は適当にあけてください。）
エレメントがカーボンや油分で汚れている場合は，中性洗浄剤をご使用ください。

◆ エレメントの交換

エレメントの交換は１年間使用後，又は６回掃除ごとに交換が必要です。



重　要

＊ エレメントは，清掃・交換以外は不必要にさわらないでください。
＊ 乾式エレメントを使用していますので，オイルを使用しないでください。
＊ 清掃時，エレメントをたたいて変形させないでください。変形するとほこりがエンジンに侵入し，エンジンを損傷することがあります。変形したときは，すぐに新しいエレメントと交換してください。
＊ ダストカップの（⬆ マーク）を必ず上向きになるように取付けてください。

◆ バキュエータバルブの清掃

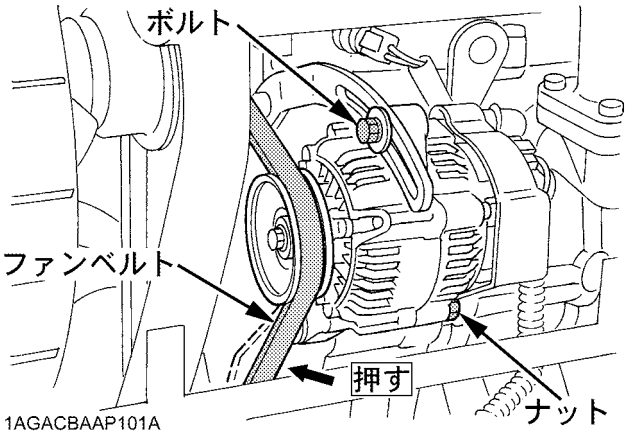
バキュエータバルブを開き，大きなごみを取除いてください。

■ファンベルトの点検・調整

適正張り強さ	ベルトの中央部を指先で約 69N（７ kgf）の力で押さえて，約 12mm たわむ程度

◆ 調整方法

1. オルタネータを取付けているボルト・ナットをゆるめて，オルタネータを動かして調整します。
2. 調整後はボルト・ナットを確実に締付けてください。



重　要

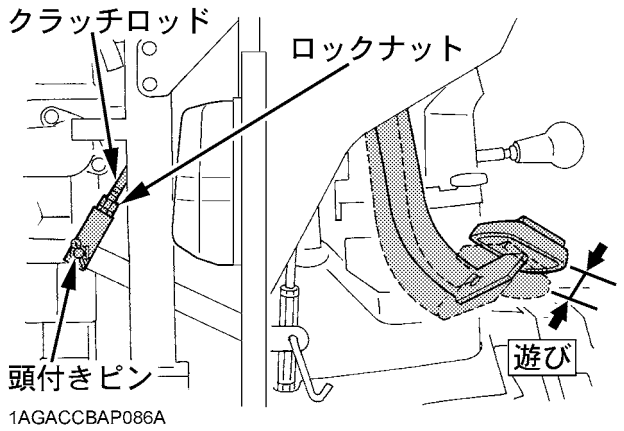
＊ ベルトの張りがゆるいと，オーバヒートや充電不足の原因になります。
＊ き裂やはがれがあれば交換してください。

■クラッチペダルの点検・調整

適正遊び量	ペダルで 20 ～ 30mm

◆ 調整方法

1. ロックナットをゆるめ頭付きピンを外してクラッチロッドで，ペダルの遊びを調整します。
2. 調整後はロックナットを確実に締付け，更に割ピンは確実に折り曲げてください。



1AGACCBAP086A

重　要

＊ クラッチの調整が悪いと，クラッチ切れ不良，スリップを起こし損傷につながります。

■ブレーキペダルの点検・調整

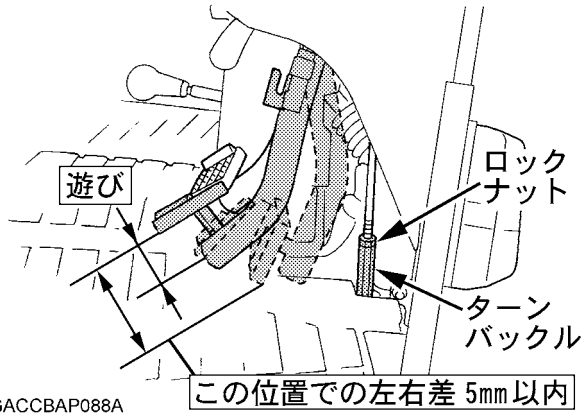
警　告

＊ 点検・調整をするときは，必ずエンジンを止めて行なってください。
＊ ブレーキの調整が悪いと，人身事故にもつながります。常に作動状態に注意してください。
＊ 調整時左右のペダルの踏込み量の差を必ず［5 mm 以内］にしてください。差が大きいとブレーキが片ぎきになります。ブレーキが片ぎきになると，傷害事故を引起こすおそれがあります。

適正遊び量	ペダルで 15 ～ 20mm

◆ 調整方法

1. 駐車ブレーキを解除します。
2. ロックナットをゆるめターンバックルを回して，ペダルの遊びを調整します。調整後はロックナットを確実に締付けてください。
3. ブレーキペダルを踏込んだとき，駐車ブレーキレバーが確実に作動するか確認してください。



1AGACCBAP088A

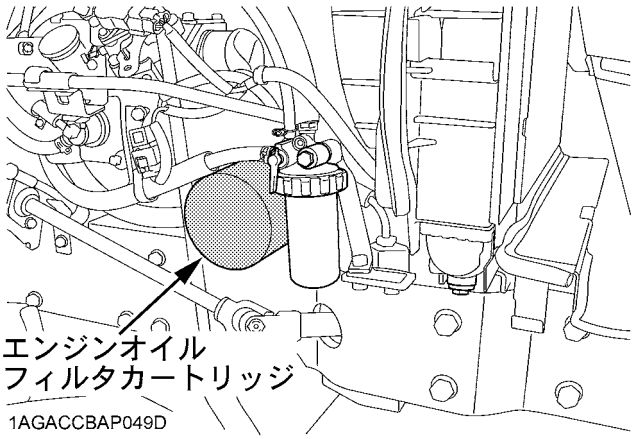
200 時間ごとの点検・整備

■エンジンオイルフィルタカートリッジの交換

注　意

＊ 交換をするときは，必ずエンジンを止めて十分冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

1. フィルタレンチでフィルタを取外します。
2. 新しいカートリッジのＯリングにオイルを薄く塗布してから，フィルタレンチを使用せず手で確実に締付けます。
3. エンジンオイルを規定量まで補給します。
4. 約５分間運転し，オイルランプの作動に異常がないか又，油もれがないか確認してからエンジンを止めます。
5. 再びオイルゲージで油量を確認し，不足していれば補給してください。



補　足

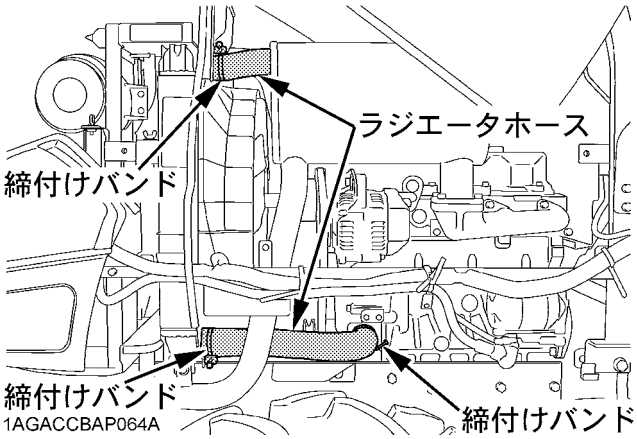
＊ オイルフィルタは，カートリッジタイプです。このオイルフィルタが詰まると，バイパスバルブが作動して，オイル系統からこのオイルフィルタを通らずに送油されるので，ろ過されないオイルで潤滑が行なわれます。これを防ぐため，オイルフィルタの詰まりがないように，規定時間で，新しい純正部品のカートリッジと交換してください。

■ラジエータホースの点検

注　意

＊ ラジエータホースの傷みや締付けバンドのゆるみがないか点検してください。異常があれば交換・整備を行なってください。熱湯もれによるヤケドなどの原因になります。

ラジエータホースなどのゴム製品は，使わなくても劣化する消耗品です。締付けバンドと共に２年ごとに又はいたんだときには新品と交換する必要があります。

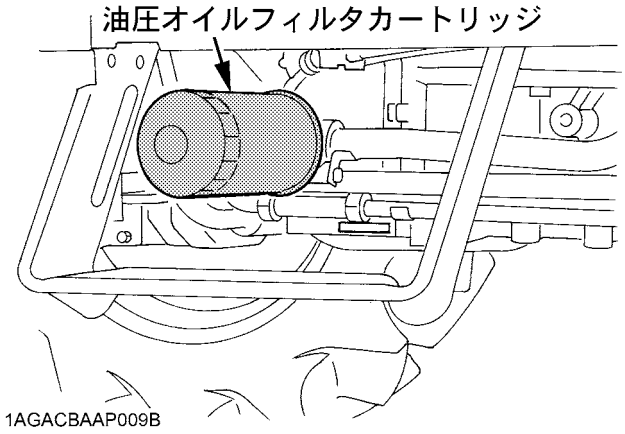


■油圧オイルフィルタカートリッジの交換

注　意

＊ 交換するときは，必ずエンジンを止めて十分冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

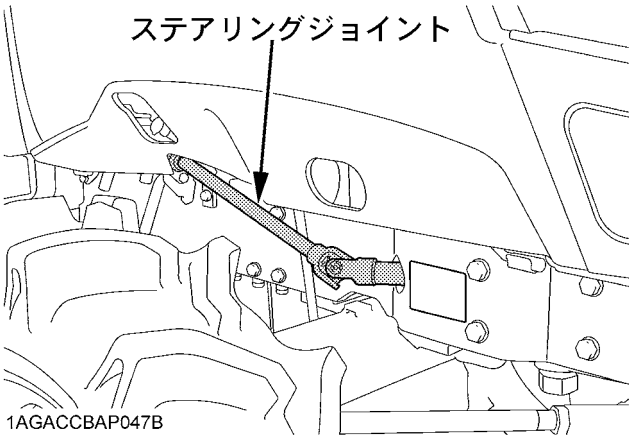
純正部品のカートリッジと交換してください。



1. ミッションオイルを抜きます。
2. フィルタレンチでフィルタを取外します。
3. 新しいカートリッジのＯリングにオイルを薄く塗布してから，フィルタレンチを使用せず手で確実に締付けます。
4. ミッションオイルを規定量まで補給します。
5. 約２分間運転し，作業機の昇降に異常がないか確認し，作業機（ロータリなど）を下げてからエンジンを止めます。
6. 再びオイルゲージで油面を確認し，不足していれば補給してください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［400 時間ごとの点検・整備］**の**［ミッションオイルの交換］**の項を参照）

■ステアリングジョイント部の点検

エンジンを停止して，ステアリングジョイントを手でさわって，ステアリングジョイントにガタや変形がないか点検してください。
もし，異常があれば購入先へ点検整備依頼してください。



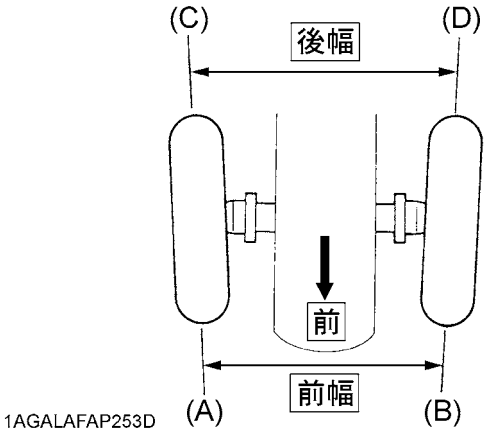
■トーイン調整・タイロッドの点検

注　意

＊ トーインの調整が悪いと，ハンドルを取られたり，異常に振れることがあります。

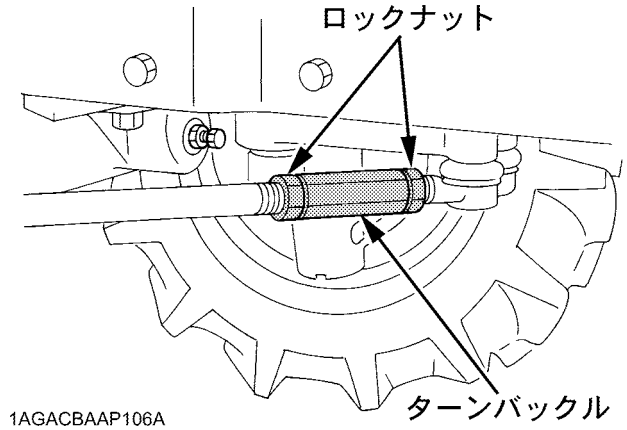
◆ 点検

前輪の前幅 (A)(B) と後幅 (C)(D) を測り，
(C)(D) － (A)(B) ＝２～８ ㎜
になっているかを調べます。



◆ 調整方法

1. ロックナットをゆるめ，
   (C)(D) － (A)(B) ＝２～８ ㎜
   になるように調整します。
2. 調整後はロックナットを確実に締付けてください。



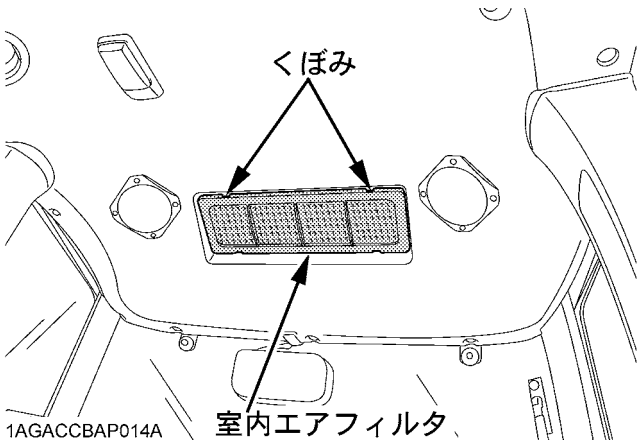
補　足

＊ トーインの点検・調整時，タイロッドエンド (関接球) やリンクに摩耗や変形がないか調べてください。
＊ 標準空気圧で，トーインの点検・調整を行なってください。

以下は安全キャブ仕様のみの点検項目です。

■室内エアフィルタの清掃

フィルタが目詰まりするとエアコンの効率が低下します。フィルタの網目を損傷させないように清掃をしてください。



◆ 室内エアフィルタの取付け，取外し

●「外し方」

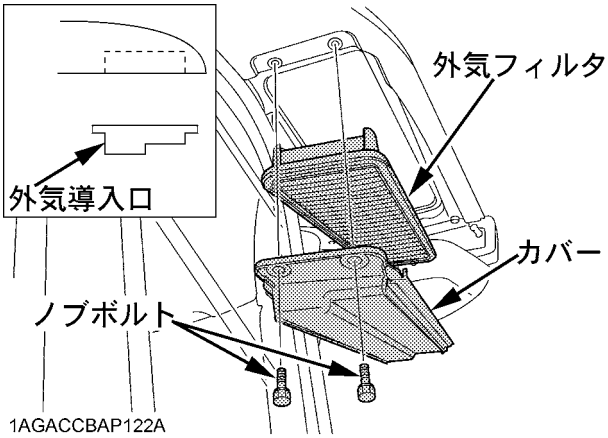
室内エアフィルタのくぼみを矢印方向に押さえながら外します。

●「取付け方」

差込むとワンタッチで取付けできます。

■外気フィルタの清掃

ノブボルトを外し，カバーとフィルタをいっしょに外します。



補　足

＊ カバーの空気導入口を内側に向けて組付けてください。

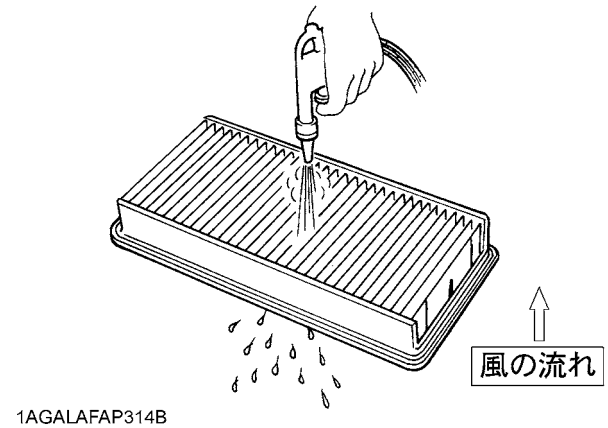
◆ 清掃法

●「通常」

風の流れ方向の逆方向よりエアブローしてください。

重　要

＊ エレメントをたたかないでください。
エレメントが変形すると，エアコンユニットにほこりが浸入し，エアコンを損傷する場合があります。



●「汚れが著しいとき」

家庭用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて上下左右に動かしながら洗浄し，清水でよくすすいだ後，完全に自然乾燥させてください。

重　要

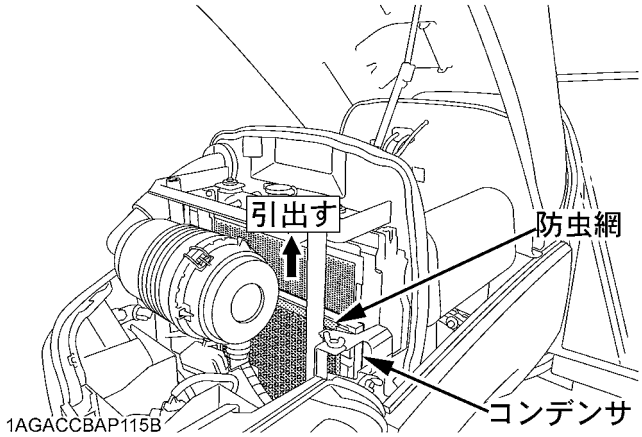
＊ 洗浄にガソリン，シンナなどを使用しないでください。

■エアコンコンデンサの詰まり

注　意

＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

防虫網を引出してコンデンサフィンにごみが詰まっていればエアブロー又は水道水などで取除いてください。



■エアコンベルトの張り

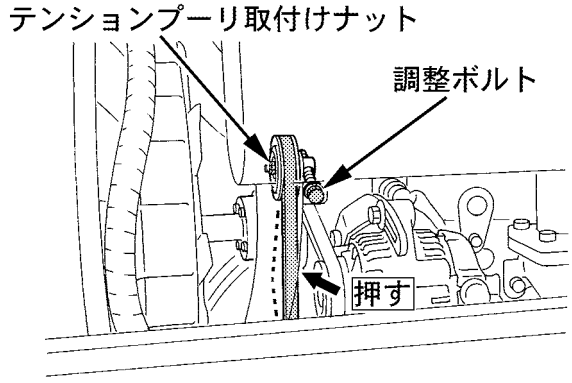
注　意

＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

適正張り強さ	ベルトの中央部を指先で約98N(10kgf) の力で押さえて，約 10 ～ 12mm たわむ程度

◆ 調整方法

テンションプーリ取付けナットをゆるめ，調整ボルトで張ります。



1AGACBAAP111A

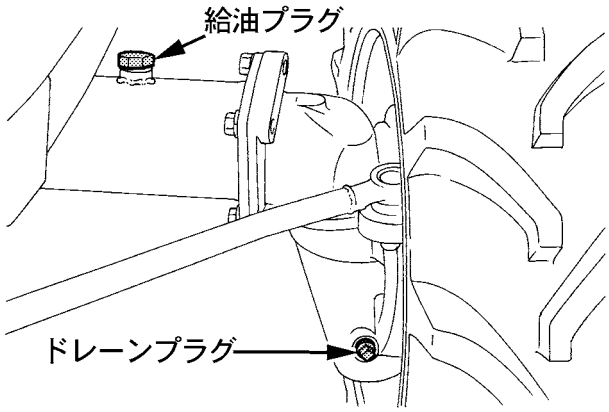
300 時間ごとの点検・整備

■前車軸ケースオイルの交換

[KL225・245 (H)・265 (H)・285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC]

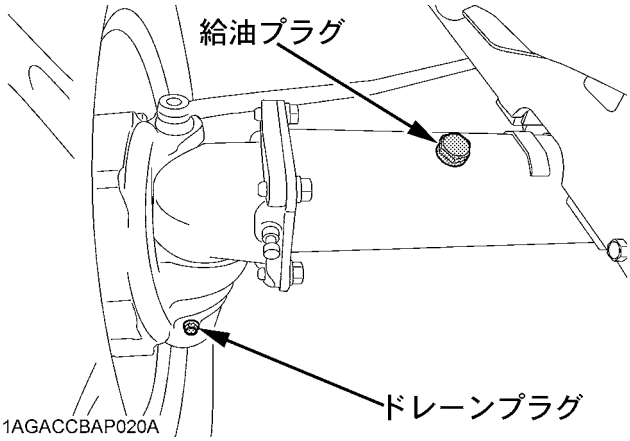
1. 給油プラグとドレーンプラグを外してオイルを排出します。

[KL225・245 (H)・265 (H)]



1AGACBAAP112F

[KL285 (H)・315 (H)・345 (H)・285-PC・345 (H)-PC]



1AGACCBAP020A

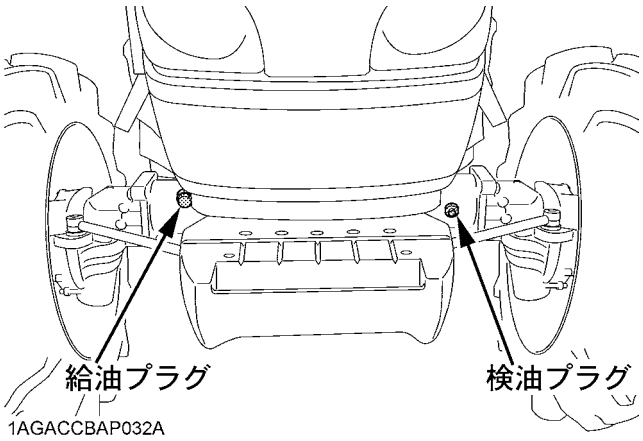
2. ドレーンプラグを締めます。
3. ミッションオイルを給油口から，規定量入れてください。

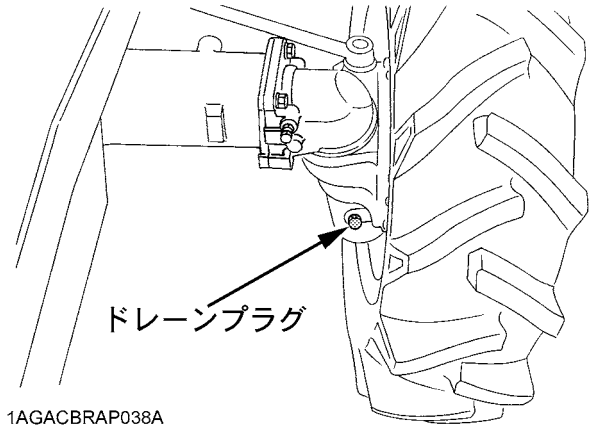
補　足

＊ 給油プラグを外さないと空気が入らないので，オイルの排出に時間がかかります。

[KL385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・415H-PC・505H-PC]

1. 給油プラグとドレーンプラグを外してオイルを排出します。
2. ドレーンプラグを締めます。
3. 検油プラグを外します。





4. ミッションオイルを給油口から，検油プラグの高さまで入れてください。

補　足

＊ 給油プラグを外さないと空気が入らないので，オイルの排出に時間がかかります。

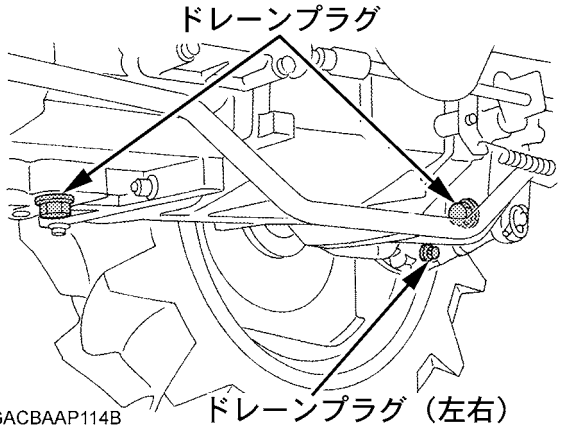
400 時間ごとの点検・整備

■ミッションオイルの交換

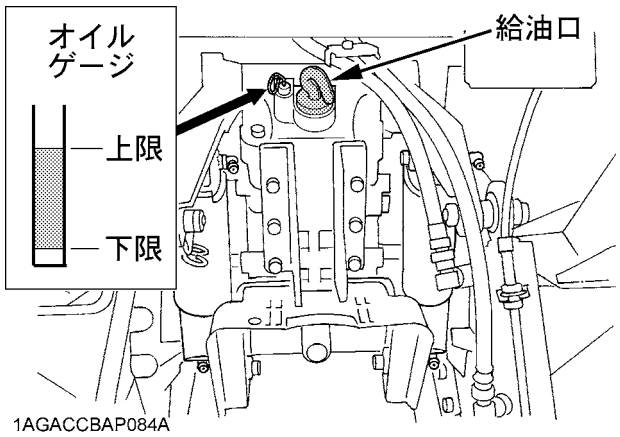
注　意

＊ 交換をするときは，必ずエンジンを止めて十分冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

1. 給油プラグとドレーンプラグを外してオイルを抜きます。



2. ドレーンプラグを締めます。
3. ミッションオイルを給油口から，規定量入れてください。



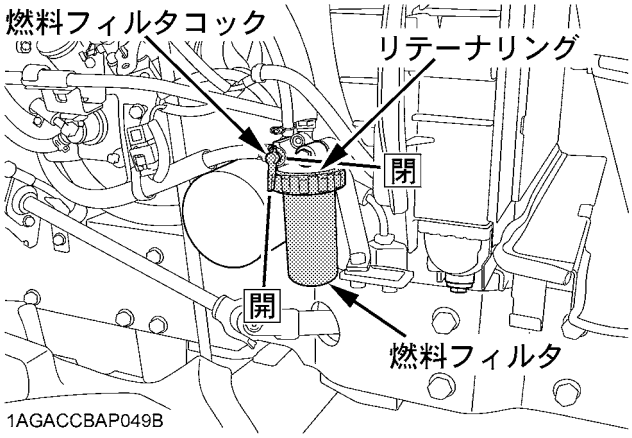
4. エンジンを始動して２～３分運転してから止め，再度油量を点検して規定量まで補給してください。
5. 一度オイルゲージの油をふき取り再びオイルゲージで油面を確認し，不足していれば補給します。作業機（ロータリ）付の場合は，作業機（ロータリ）を下げて確認してください。

■燃料フィルタエレメントの清掃・交換

1. 燃料フィルタコックを**【閉】**にしてください。
2. カップ上部のリテーナリングをゆるめてカップを外し，内部を軽油で洗浄します。
3. 新しいフィルタエレメントと交換します。

重　要

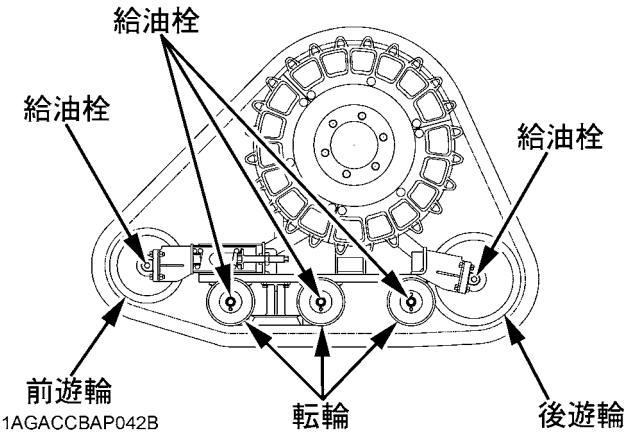
＊ 組付けるときは，チリやホコリが付着しないように注意しましょう。
＊ エレメント交換後は，必ず空気抜きをしてください。（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）



■転輪・遊輪のオイルシール点検

［KL285-PC・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC］

クローラの転輪・遊輪のオイルシールは，200時間ごとに点検・チェックの上，異常があれば交換してください。
又，点検時に転輪部，遊輪部（KL285-PC，345(H)-PCは転輪のみ）にオイル補給をしてください。補給時は給油口を最上位置にし，オイル差しでオイルがあふれ出るまで補給してください。給油栓は締付時ネジ部にシールテープを巻いてください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［給油（水）一覧表］**の項を参照）



600 時間ごとの点検・整備

■前部デフケース前後遊びの調整

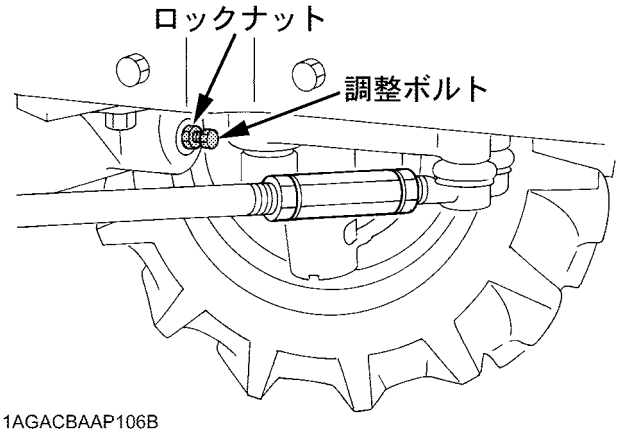
前部デフケース支持部の調整が悪いと，前輪が著しく振れたり，ハンドルに振動が伝わってきます。

◆ 点検

前後方向のガタを点検し，ガタがあれば調整します。

◆ 調整

前輪タイヤ（両輪）を持上げて，ロックナットをゆるめ，調整ボルトを締込みガタを調整します。



1AGACBAAP106B

800 時間ごとの点検・整備

■エンジンバルブクリアランスの点検

購入先で交換及び点検をしてもらってください。

1 年ごとの点検・整備

■エアクリーナエレメントの交換

エレメントの交換は 1 年間使用後，又は 6 回掃除ごとに交換が必要です。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［100 時間ごとの点検・整備］**の**［エアクリーナエレメントの清掃］**の項を参照。）

■ヒータ配管，ウォータホースの点検

■エアコン配管，ホースの点検

各配管及びホースの損傷を点検してください。

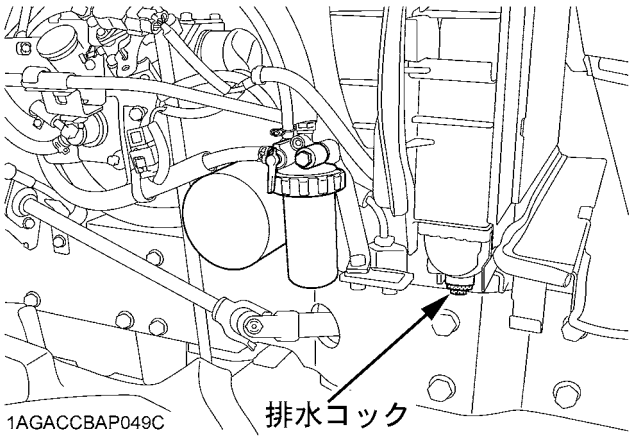
2年ごとの点検・整備

■冷却水の交換

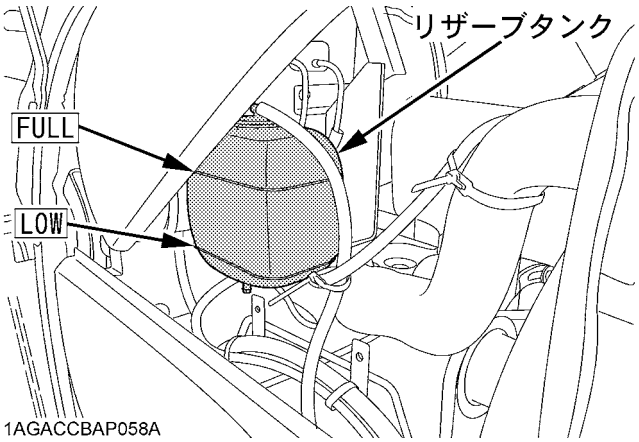
注 意

＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをすることがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。

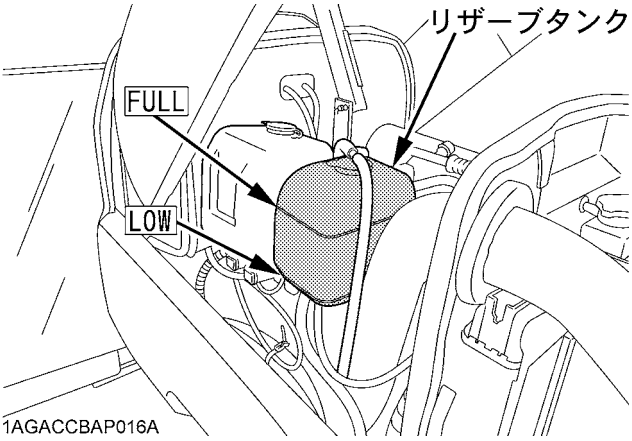
1. ラジエータ下側の排水コックとラジエータキャップを開き，冷却水を全部出します。
2. リザーブタンクの排水は，ラジエータキャップのオーバフローパイプを外し排水します。



[安全フレーム仕様]



[安全キャブ仕様]



3. 水道の水でラジエータ内を洗浄し，排水コックを締めオーバフローパイプを取付けます。
4. ラジエータ及びリザーブタンクに冷却水を注入したのち，ラジエータキャップを確実に締めてください。
5. 安全キャブ仕様はヒータに冷却水が循環するため，冷却水が約 1L 多く必要となります。
   冷却水を交換した場合，冷却水をリザーブタンクの注入口まで一杯にし，ヒータ **[ON]**（温度コントロールつまみを右に回す）にして，しばらくエンジンを回し，冷却水を暖め，エンジンを止めてください。
   冷却水が冷えると，リザーブタンクの冷却水が吸いこまれ，リザーブタンクの冷却水が適量になります。

◆ 不凍液の使い方

不凍液は水の凍結温度を下げる効果をもっており，冷却水凍結によるシリンダやラジエータの損傷を防ぎます。冬期気温が０℃以下になるようなときは，必ず不凍液（ロングライフクーラント）を清水と混合しラジエータ及びリザーブタンクに補給するか又は，冷却水を完全に排水してください。〔工場出荷時は，不凍液（ロングライフクーラント）が入っています。〕

重　要

＊ 冷却水には，不凍液（ロングライフクーラント）を 50% 入れ，よく水と混ぜ合せてからお使いください。
＊ 不凍液の混合比を誤ると，冬期には冷却水の凍結，夏期にはオーバヒートの原因になります。
＊ 不凍液を使用する場合は，ラジエータ保浄剤を投入しないでください。不凍液には防錆剤が入っていますので，保浄剤を混入すると沈積物が生成することがあり，エンジン部品に悪影響を与えます。
＊ クボタ不凍液（ロングライフクーラント）の有効使用期間は２年間です。必ず２年で交換してください。

不凍液の保証不凍結温度

原液混合比%	15	20	25	30	35	40	45	50	55
保証不凍結温度℃	-5	-8	-11.5	-15	-20	-25	-30	-35	-43

■ラジエータの洗浄

洗浄には，ラジエータ洗浄剤を使用すれば，水アカなどきれいに洗浄できます。
＊ ２年使用ごと
＊ 不凍液を混入するとき
＊ 不凍液混入から水だけに変えるときなどに使用してください。

■ラジエータホースの交換

■パワーステアリングホースの交換

■燃料ホースの交換

■メインシリンダホースの交換

■モンローシリンダホースの交換［MA・MAD 仕様］

購入先で点検及び交換をしてもらってください。

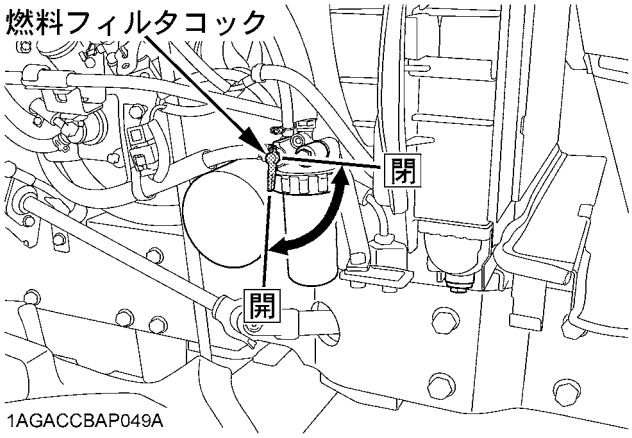
必要に応じた点検・整備

■燃料の空気抜きのしかた

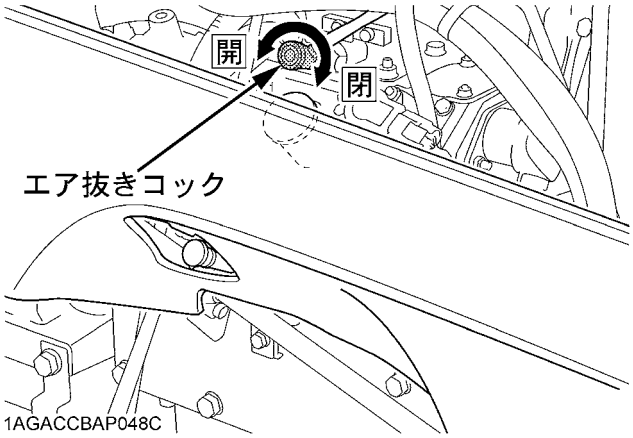
燃料の空気抜きは，次のようなときに行なう必要があります。

- 燃料フィルタ及び配管を取外したとき
- 燃料切れが起きたとき
- トラクタを長時間使用しなかったとき

1. 燃料フィルタコックを**【開】**にする。



2. 燃料噴射ポンプ上のコックを**【開】**く。

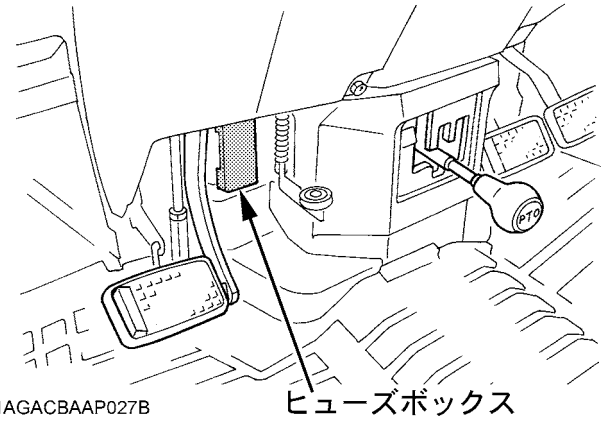


3. タンクに燃料を満たす。
4. エンジンを始動し，約１分間運転後停止する。
5. 燃料噴射ポンプのコックを閉じる。

補　足

＊ 空気抜きするときのほかは燃料噴射ポンプのコックは，必ず閉じておいてください。エンストの原因になります。

■ヒューズの交換



1. ヒューズボックスのふたを外す。
2. ヒューズを外す。
3. 切れたものと同容量のヒューズと交換する。

重　要

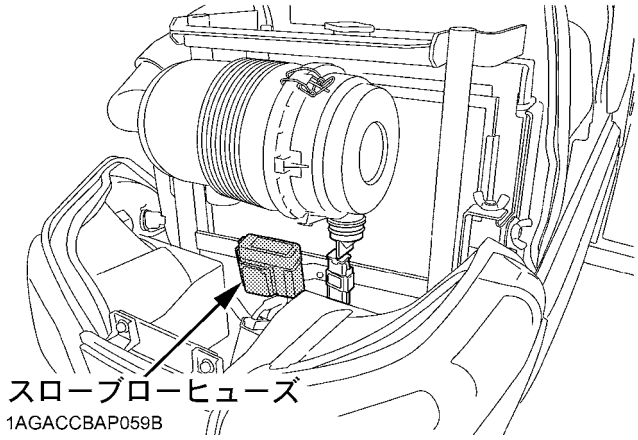
＊ ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金や銀紙などで代用せず，購入先で点検，修理してください。

補　足

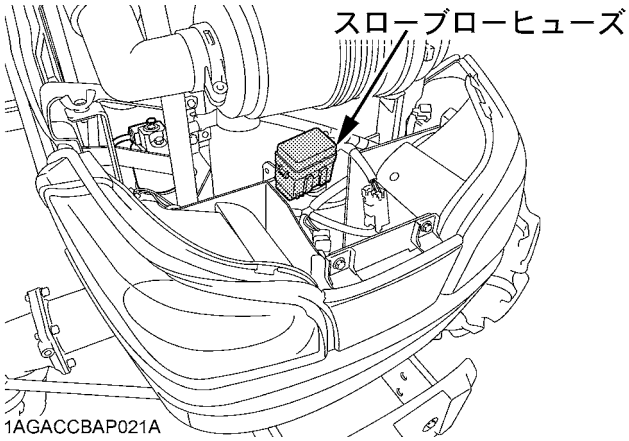
＊ トラクタに作業灯やラジオなどを取付けるときの電源取出しは，購入先にご相談ください。

■スローブローヒューズの交換
スローブローヒューズは，配線を保護するためのものです。もし切れた場合は，購入先で点検，修理してください。

[安全フレーム仕様]



[安全キャブ仕様]

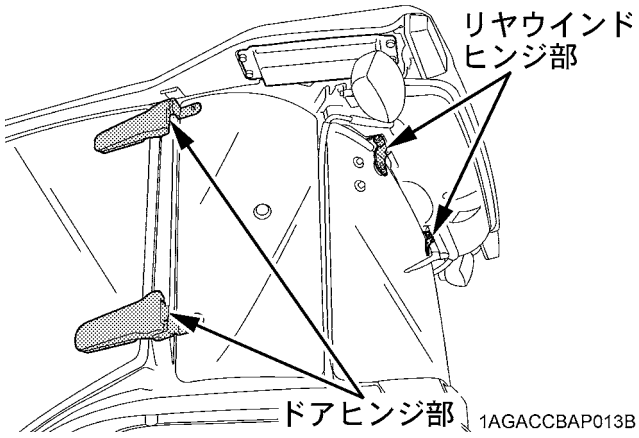


■ランプ類の交換
1. ヘッドライトは，ライトのボディ後部からバルブを取出して交換します。
   交換後はゴムカバーを確実に取付けしてください。
2. その他のランプはレンズを外し，バルブを交換します。

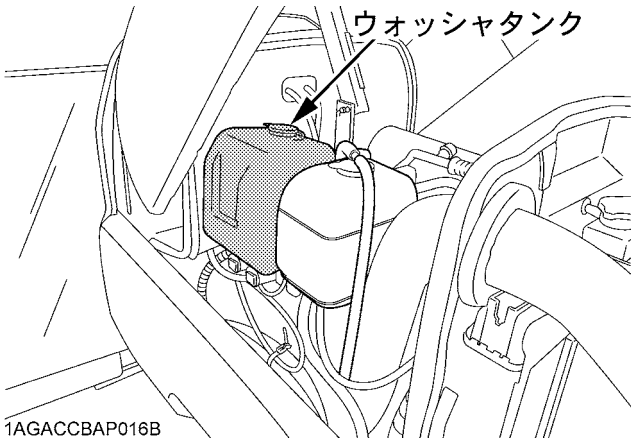
■ホーン接点のグリース塗布
ハンドルのホーン接点用グリースが切れると，ハンドルを回したときに音が鳴ります。もし音が鳴っている場合は，購入先で点検及びグリースを塗布してもらってください。

以下は安全キャブ仕様のみの点検項目です。

■注油



■ウォッシャ液の補充
自動車用ウォッシャ液を適量補充してください。



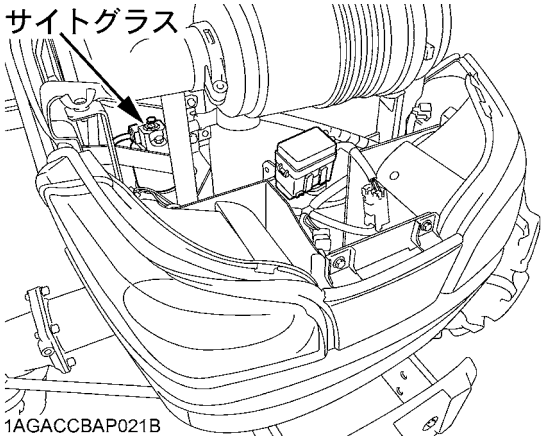
重　要
* 凍結を避けるため，清水のみの使用はしないでください。
* 空回しはポンプを損傷させる原因になりますので空運転をしないでください。
* ウォッシャノズルの詰まりを防ぐために，ごみが入らないようにしてください。

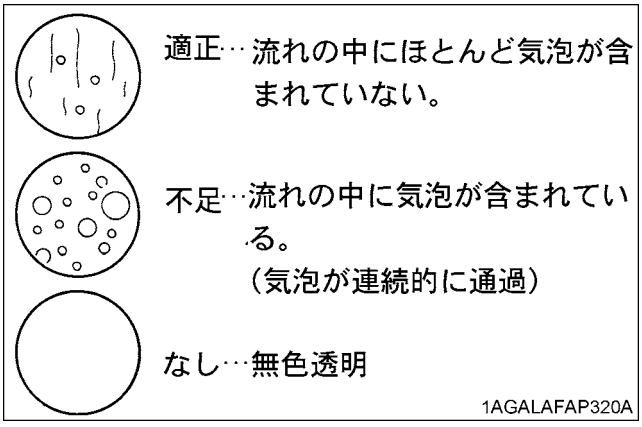
■冷媒（ガス）量の点検

冷媒が不足するとエアコンの冷えが悪くなります。
下記要領で点検し，冷媒が不足しているときは，購入先で点検及び充てんをしてもらってください。

◆ 点検方法

1. エアコンを以下の条件で運転します。
＊ エンジン回転数　　：約 1500rpm
＊ 温度コントロールつまみ：最強冷位置（左端）
＊ ファンスイッチ　　：最強風（HI）
＊ エアコンスイッチ　　：ON
2. サイトグラスにより，冷凍サイクルを流れている冷媒の状態を確認する。





格納

■長期格納時の手入れ

注 意

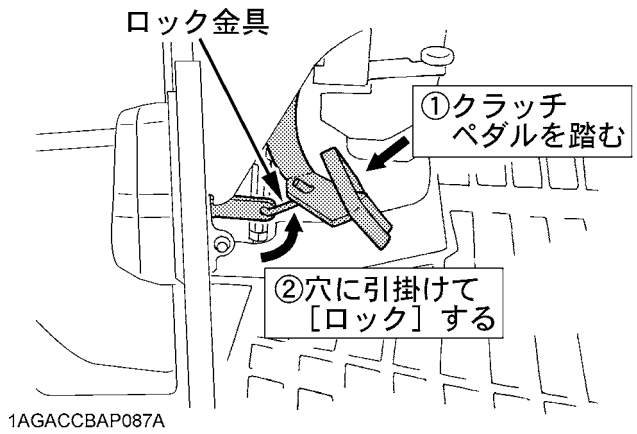
＊ 長期格納時は，クラッチ固着防止のため，クラッチ［切り］に固定してください。クラッチが固着するとエンジン始動と同時に車体が動くことがあります。
＊ シートをかける場合は，マフラやエンジン自体の冷却状態を確認してからにしてください。火災を起こす原因になります。

トラクタを長い間使用しない場合は，次の要領で整備してから格納しましょう。

1. 不具合箇所は整備してください。
2. エンジンオイルを交換し，2000 回転／分以上で 10 ～ 15 分間の防錆運転をし，各部にオイルをゆきわたらせてください。
その後も１～２カ月ごとに同様に防錆運転をしてください。
3. 定期点検一覧表の項目を確認するようにしてください。
4. 車体のさびやすい部分には，グリースかオイルを塗っておいてください。
5. 燃料フィルタコックを**［閉］**にしておいてください。
6. 冷却水は抜いておいてください。但し，オールシーズンタイプのクーラントであれば抜かなくても構いません。
7. クラッチペダルは，クラッチ板のさび付きによりクラッチが切れなくなる場合がありますので，クラッチを踏込んだ状態で必ずロックしてください。

◆ クラッチ［切］保持の方法

(1) クラッチペダルをいっぱい踏込み，**［ロック］**します。
(2) ロックしたまま，クラッチペダルから足を離します。これでクラッチは，**［切］**の状態で保持されます。
(3) 使用するときは，クラッチペダルをいっぱい踏込めば，**［ロック］**が外れ，**［切］**保持の状態が解除されます。



1AGACCBAP087A

8. クラッチハウジング底のドレーンプラグを外して，水が浸入していないことを確認してください。
9. タイヤの空気圧は，標準より少し多いめにしてください。
10. バッテリを本機から取外し風通しの良い冷暗所に保管してください。またトラクタに取付けたまま保管するときは必ずアース側（－側）を外してください。
11. ウエイトは取外し，作業機は，外すか地面に降ろした状態にしてください。
12. 後輪の前後に車止めをしておいてください。
13. 各部の配線・バッテリコード・燃料配管などのキレツ・被覆の破れ・コードクランプの外れは，確実に点検・整備してください。
14. 格納中バッテリは，１カ月に一回充電器で完全充電するようにしましょう。
15. 格納場所は，周囲にわらなど燃えやすいものがない雨のかからない乾燥した場所を選定し，シートをかけるようにしましょう。
16. 燃料は満タンにしてください。空にしておくと水滴ができ，燃料系統の故障の原因になります。

重　要

＊ 長期格納時，洗車するときはエンジンを止めてから行なってください。もしエンジンをかけて行なうときはエアクリーナの吸入口から水が入らないよう注意してください。もし水が入ると故障の原因になります。
＊ 灯火類は消灯した状態で洗車してください。もし点灯した灯火類に直接水がかかるとランプのバルブが切れるおそれがあります。
＊ 格納時は，必ず**［切］**の位置でキーを抜いておいてください。
＊ バッテリの取付けの際には，（＋）と（－）をよく確認し，絶対に逆に接続しないでください。逆に接続すると，トラクタの電子機器類が破損する場合があります。

不調と処置

■エンジンの不調と処置

もしエンジンの調子が悪い場合があれば，次の表により診断し，適切な処置をしてください。

現　象	原　因	処　置
始動困難な場合	1. 燃料が流れない。	● 燃料タンクを点検し，沈殿している不純物や水分を除く。 ● 燃料フィルタを点検し，汚れていれば交換する。
	2. 燃料送油系統に，空気や水が混入している。	● ホース・プラグ・袋ナット及び締付けバンドを点検し，ゆるみがあれば締め，損傷があれば新品と交換又は補修しておく。 ● 空気抜きをする。 （**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）
	3. 寒冷時にオイル粘度が高く，エンジン自体の回転が重い	● ラジエータに熱湯をそそぐ。 ● 気温によってオイルの使い分けをする。 （冬期は 10W-30 を使用）
	4. バッテリがあがり気味で，回転力が弱くなって圧縮を越す勢いがない。	● バッテリを充電する。
出力不足の場合	1. 燃料不足	● 燃料を補給する。 ● 燃料系統を調べる。（特に空気混入に注意）
	2. 燃料の流れ不足	● 燃料フィルタの清掃をする。
	3. エアクリーナの目詰まり	● エレメントを清掃する。
突然停止した場合	1. 燃料不足	● 燃料を補給する。 ● 燃料系統を調べる。（特に空気混入に注意）
	2. 燃料が流れない	● 燃料フィルタを点検し，汚れていれば交換する。
排気色が異常に黒い場合	1. 燃料が悪い。	● 良質の燃料に交換する。
	2. エンジンオイルの入り過ぎ	● 正規のオイル量にする。
	3. エアクリーナの目詰まり	● エレメントを清掃する。
水温計がＨ付近を示すとき	1. 冷却水が 125 ℃付近になったため。	● 冷却水の量（不足）及び水もれの点検 ● ファンベルトの張り（ゆるみ）の点検 ● フロントグリル，ラジエータの防虫網にごみの詰まりがないか点検する。
始動時青白煙が消えない。	1. 前の作業が長時間にわたるアイドリング運転で終わっている場合，又は冷機時アイドリング運転の繰返しであった場合，マフラ内部に湿りが残っている。	● 負荷をかけてマフラを十分に加熱する。冷機時アイドリング運転の繰返し，及び，長時間にわたるアイドリング運転は極力避ける。
	2. ノズル不良	● ノズルを点検する。
	3. 燃料不良	● 良質の燃料に交換する。

☆わからない場合は，購入先にご相談ください。

■モンローオート（ドラフト）・AD 倍速・U シフト (F) 仕様の故障と処置

モンロオート（ドラフト）・AD 倍速や U シフト（F）仕様に異常が生じた場合，電子メータに下記のメッセージが表示されます。なお，表示には，故障原因のみの表示と，故障原因と一部の使用を制限した緊急処置的な運転操作を交互に表示する場合とがあります。異常表示の場合は，すぐ購入先に連絡して点検・整備を受けてください。

モンローオート（ドラフト）

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
スイッチボックス異常	MAスイッチボックス信号の異常	購入先に連絡。
リフトアームセンサ異常 油圧取出し使用	リフトアームセンサの異常	高さ規制ダイヤルを［油圧取出］にし，モンロ手動スイッチで作業機を操作する。
ポジションセンサ異常 油圧取出し使用	ポジションセンサの異常	
ストロークセンサ異常 モンロ手動スイッチで	ストロークセンサの異常	モンロスイッチを［切］にし，モンロ手動スイッチで作業機を平行にする。
ローリングセンサ異常 モンロ手動スイッチで	ローリングセンサの異常	
ドラフトセンサ異常 油圧レバーで操作	ドラフトセンサの異常	オートスイッチを［切］にし，油圧レバーで作業機を操作する。
カバーセンサ異常 Eオートで使用可	カバーセンサの異常	オートスイッチを［Eオート］に切り換えて使用する。
アクセルセンサ異常 * オートで使用可	アクセルセンサの異常	オートスイッチを［標準又は敏感］に切り換えて使用する。
エンジン回転センサ異常 * オートで使用可	エンジン回転センサの異常	
オートソレノイド異常	3Pソレノイドの異常	購入先に連絡。 （作業機が昇降できない）
モンロソレノイド異常	モンロソレノイドの異常	モンロスイッチを［切］にして使用する。
耕深調節異常 油圧レバーで操作	耕深調節の異常	オートスイッチを［切］にし，油圧レバーで作業機を操作する。
モンロ角度調節異常 モンロ手動スイッチで	モンロ角度調節の異常	モンロスイッチを［切］にし，モンロ手動スイッチで作業機を平行にする。
STセンサ異常	STセンサの異常	購入先に連絡。（ただし，水平精度は落ちるが耕うん作業はできる）
高さ規制異常 購入先へ	高さ規制の異常	購入先に連絡。

＊Eオート使用時

	電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
Uシフト（前進16段仕様）	変速レバーセンサ異常 購入先へ	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持，すみやかに停車し，購入先に連絡。
	シフトソレノイド１異常 1,5速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。 自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
	シフトソレノイド２異常 2,6速不可	ソレノイド２の異常	
	シフトソレノイド３異常 3,7速不可	ソレノイド３の異常	
	シフトソレノイド４異常 4,8速不可	ソレノイド４の異常	
	副変速ソレノイド異常 1~4速不可	副変速ソレノイドの異常	
	バルブ(GST,PRO)異常 購入先へ	Uシフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

	電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
Uシフト（前進24段仕様）	変速レバーセンサ異常 購入先へ	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持，すみやかに停車し，購入先に連絡。
	シフトソレノイド1異常 1,2,9速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。 自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
	シフトソレノイド2異常 3,4,10速不可	ソレノイド２の異常	
	シフトソレノイド3異常 5,6,11速不可	ソレノイド３の異常	
	シフトソレノイド4異常 7,8,12速不可	ソレノイド４の異常	
	副変速ソレノイド異常 1~8速不可	副変速ソレノイドの異常	
	H/Lソレノイド異常 1,3,5,7速不可	Hi-Loソレノイドの異常	
	バルブ(GST,PRO)異常 購入先へ	Uシフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

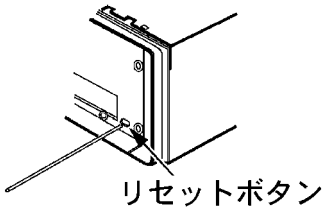
	電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
Uシフト（前進20段仕様）	変速レバーセンサ異常 購入先へ	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持，すみやかに停車し，購入先に連絡。
	シフトソレノイド１異常 1,5速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。 自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
	シフトソレノイド２異常 2,6速不可	ソレノイド２の異常	
	シフトソレノイド３異常 3,7速不可	ソレノイド３の異常	
	シフトソレノイド４異常 4,8速不可	ソレノイド４の異常	
	副変速ソレノイド異常 1~4速不可	副変速ソレノイドの異常	
	ＯＤソレノイド異常 5~8速不可	ODソレノイドの異常	
	シフトソレノイド１異常 1速不可	ソレノイド１の異常	
	シフトソレノイド２異常 2速不可	ソレノイド２の異常	
	シフトソレノイド３異常 3速不可	ソレノイド３の異常	
	シフトソレノイド４異常 4速不可	ソレノイド４の異常	
	バルブ(GST,PRO)異常 購入先へ	Uシフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

	電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
Uシフト（前進30段仕様）	変速レバーセンサ異常 購入先へ	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持，すみやかに停車し，購入先に連絡。
	シフトソレノイド1異常 1,2,9速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。 自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
	シフトソレノイド2異常 3,4,10速不可	ソレノイド２の異常	
	シフトソレノイド3異常 5,6,11速不可	ソレノイド３の異常	
	シフトソレノイド4異常 7,8,12速不可	ソレノイド４の異常	
	副変速ソレノイド異常 1~8速不可	副変速ソレノイドの異常	
	H/Lソレノイド異常 1,3,5,7速不可	Hi-Loソレノイドの異常	
	ODソレノイド異常 9~12速不可	ODソレノイドの異常	
	H/Lソレノイド異常 3,5速不可	Hi-Loソレノイドの異常	
	シフトソレノイド1異常 1速不可	ソレノイド１の異常	
	シフトソレノイド2異常 2速不可	ソレノイド２の異常	
	シフトソレノイド3異常 3,4速不可	ソレノイド３の異常	
	シフトソレノイド4異常 5,6速不可	ソレノイド４の異常	
	バルブ(GST,PRO)異常 購入先へ	Uシフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

	電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
N仕様	PTOソレノイド異常	PTO圧力バルブの異常	購入先に連絡
AD倍速	切れ角センサ異常	切れ角センサの異常	走行モード切換えスイッチを［2WD又は4WD］に切換える。 オートアップスイッチを［切］にする。
	AD倍速･オートアップ不可		
	4WD ソレノイド異常	DTソレノイドの異常	走行モード切換スイッチを［4WD］に切換える。
	2WD･倍速使用不可		
	倍速ソレノイド異常	倍速ソレノイドの異常	走行モード切換スイッチを［2WD又は4WD］に切換える。
	倍速使用不可		
	ADソレノイド(右)異常	ADソレノイド（R）の異常	走行モード切換スイッチを［2WD，4WD又は倍速］に切換える。
	AD(右)使用不可		
	ADソレノイド(左)異常	ADソレノイド（L）の異常	
	AD(左)使用不可		
その他	通信異常	通信回線の異常	表示切換スイッチで表示モードを切換える。購入先に連絡。
	コントロールBOX異常	マイコンボックス信号の異常	購入先に連絡。
	ハーネス(赤白線)異常	センサ電源ラインのショート	

■ AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの不調と処置

次のような症状は，故障ではないことがあります。修理を依頼される前に，もう一度次のことをお調べください。

現　　象	原　　因	処　　置
電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている。	入っていたものと同じ容量のヒューズ（15A）と交換する。 再度切れる場合は，購入先にご相談ください。
CD がすぐ出てしまう	CD を裏表逆に入れている。	CD の印刷面を上にして入れる。
音飛びする ノイズなどが入る	CD が汚れている。	CD をやわらかい布でふく。
	CD に大きい傷やソリがある。	CD を無傷なものに交換する。
電源を入れた直後 音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると，内部のレンズに水滴が付くことがあるため。	電源を入れた状態にして 1 時間乾燥させる。
ボタンを押しても動作しない ディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で，マイコンが誤動作している。	リセットボタンを，細い棒などで約 2 秒間押す。リセットボタンを押したときは，設定したプリセットメモリーなどが全て消えるので，もう一度設定し直す。  1AGAVAAAP148A

◆ エラー表示について

異常が生じたときには，各種のエラーが表示されますので，対処方法にしたがって障害を取除いてください。

表示エラーコード	原　　因	対処方法
ER 2	本機の CD デッキ内の CD が引っかかってイジェクトされないとき	引っかかる要素を取除く。CD がイジェクトされない場合は，機器の故障と思われるので，購入先にご相談ください。
ER 3	本機の CD デッキ内の CD に傷などがあり，演奏できないとき	傷やソリのない CD と交換する。

※上記対処を行なっても復帰しない場合は，本体の電源を切り，購入先にご相談ください。

付表

主要諸元

■トラクタの主要諸元

型式名				KL225	KL245	KL265	KL285
駆動方式				４輪駆動			
機体寸法	全長		mm	2965[3015]		3005[3060]	3140
	全幅		mm	1245		1320	1370
	全高		mm	1955[2020]	1990[2045]	1985[2045]	1950[2120]
	軸距		mm	1550[1600]		1590[1640]	1720
	輪距	前輪	mm	970		1000	1080
		後輪	mm	1010，1130		1050，1165	1070，1370
	最低地上高		mm	335	350	360	345
質量（重量）			kg	1125[1350]	1150[1365]	1200[1405]	1285[1490]
エンジン	機関型式			D1503-M-E3-KL1	D1503-M-E3-KL2	D1703-M-E3-KL1	D1703-M-E3-KL2
	形式			水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル			
	総排気量		L	1.499		1.647	
	出力／回転速度		kw(PS)/rpm	16.2/2600 (22/2600)	17.6/2700 (24/2700)	19.1/2600 (26/2600)	20.6/2700 (28/2700)
	使用燃料			ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量		L	27			36
	始動方式			セルモータ式（グロープラグ式）			
	バッテリ			75D23R			
タイヤ	前輪			6-14-4PR		7-14-4PR	7-16-4PR
	後輪			9.5-22-4PR	9.5-24-4PR	11.2-24-4PR	12.4-24-4PR
車体	クラッチ方式			乾式単板			
	制動装置			一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）			
	かじ取り方式			ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）			
	差動方式			２ピニオンかさ歯車式（デフロック付）			４ピニオンかさ歯車式
	変速方式			コンスタントメッシュ／Ｕシフト			
変速段数（段）	マニュアルシフト仕様			前進 16 段，後進 16 段			
	Ｕシフト仕様			前進 16 段，後進 16 段［前進 24 段，後進 16 段］			前進 24 段，後進 16 段
走行速度（km/h）	前進 16 段仕様	前進		0.21 ～ 14.83	0.19 ～ 14.60	0.20 ～ 14.71	0.19 ～ 14.89
		後進		0.18 ～ 13.29	0.17 ～ 13.08	0.18 ～ 13.18	0.17 ～ 13.34
	前進 24 段仕様	前進		0.17 ～ 14.83	0.16 ～ 14.60	0.17 ～ 14.71	0.16 ～ 14.89
		後進		0.18 ～ 13.29	0.17 ～ 13.08	0.18 ～ 13.18	0.17 ～ 13.34
最小旋回半径（ブレーキ使用時）			m	1.9		2.0	2.1
PTO	回転速度／エンジン回転速度	正転	rpm	564，795 985，1313 /2600	541，763 945，1260 /2700	540，762 944，1258 /2600	561，791 980，1307 /2700
		逆転		985/2600	945/2700	944/2600	980/2700
	軸寸法		mm	JIS 35			
作業機昇降装置	制御方式			ポジションコントロール			
	装着方式			三点リンク　JIS　１形			

［ ］はキャブ仕様

型式名			KL315	KL345	KL385	KL415
駆動方式			４輪駆動			
機体寸法	全長 mm		3180		3445	
	全幅 mm		1420	1460	1495	
	全高 mm		1980[2135]		2320[2200]	
	軸距 mm		1745		1890	
	輪距	前輪 mm	1130		1200	
		後輪 mm	1090，1360（２段）	1110，1330（２段）	1140 ～ 1430（５段）	1140 ～ 1430（５段）
	最低地上高 mm		360		400	
質量（重量） kg			1320[1535]	1330[1545]	1520[1715]	1540[1735]
エンジン	機関型式		D1803-M-E3-KL1	D1803-M-E3-KL2	V2203-M-E3-KL1	V2203-M-E3-KL2
	形式		水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル		水冷４サイクル４気筒立形ディーゼル	
	総排気量 L		1.826		2.197	
	出力／回転速度 kw(PS)/rpm		22.8/2600 (31/2600)	25.0/2700 (34/2700)	27.9/2600 (38/2600)	30.9/2600 (42/2600)
	使用燃料		ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量 L		40			
	始動方式		セルモータ式（グロープラグ式）			
	バッテリ		80D26R			
タイヤ	前輪		8-16-4PR		8-18-4PR	
	後輪		12.4-26-4PR	13.6-24-4PR	12.4-28-4PR	13.6-26-4PR
車体	クラッチ方式		乾式単板			
	制動装置		一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）			
	かじ取り方式		ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）			
	差動方式		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）			
	変速方式		コンスタントメッシュ／Ｕシフト			
変速段数（段）	マニュアルシフト仕様		前進 16 段，後進 16 段		—	
	Ｕシフト仕様		前進 24 段，後進 16 段			
走行速度（km/h）	前進 16 段仕様	前進	0.20 ～ 14.90	0.20 ～ 14.90	—	—
		後進	0.17 ～ 13.41	0.18 ～ 13.36	—	—
	前進 24 段仕様	前進	0.16 ～ 14.90	0.17 ～ 14.90	0.18 ～ 14.41	0.18 ～ 14.38
		後進	0.17 ～ 13.41	0.18 ～ 13.36	0.20 ～ 12.93	0.20 ～ 12.91
最小旋回半径（ブレーキ使用時） m			2.2		2.4	
PTO	回転速度／エンジン回転速度 rpm	正転	540，762 944，1258 /2600	561，791 980，1307 /2700	540，762 944，1258 /2600	
		逆転	944/2600	980/2700	944/2600	
	軸寸法 mm		JIS 35			
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール			
	装着方式		三点リンク　JIS　１形			

［ ］はキャブ仕様

付表

型式名				KL245H	KL265H	KL285H	KL315H	KL345H
駆動方式				４輪駆動				
機体寸法	全長		mm	2965［3015］	3005［3060］	3140	3180	
	全幅		mm	1245	1320	1370	1420	1460
	全高		mm	1990［2045］	1985［2045］	1950［2115］	1980［2140］	
	軸距		mm	1550［1600］	1590［1640］	1720	1745	
	輪距	前輪	mm	950	1000	1080	1130	
		後輪	mm	1010，1130	1050，1165	1070，1370	1090，1360 （２段）	1110，1330 （２段）
	最低地上高		mm	350	360	345	360	
質量（重量）			kg	1150［1370］	1200［1410］	1300［1495］	1350［1540］	1360［1550］
エンジン	機関型式			D1503-M-E3-KL1	D1703-M-E3-KL1	D1703-M-E3-KL2	D1803-M-E3-KL1	D1803-M-E3-KL2
	形式			水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル				
	総排気量		L	1.499	1.647		1.826	
	出力／回転速度		kw(PS)/rpm	17.6/2700 (24/2700)	19.1/2600 (26/2600)	20.6/2700 (28/2700)	22.8/2600 (31/2600)	25.0/2700 (34/2700)
	使用燃料			ディーゼル軽油				
	燃料タンク容量		L	27		36	40	
	始動方式			セルモータ式（グロープラグ式）				
	バッテリ			75D23R		80D26R		
タイヤ	前輪			6-14-4PR	7-14-4PR	7-16-4PR	8-16-4PR	
	後輪			9.5-24-4PR	11.2-24-4PR	12.4-24-4PR	12.4-26-4PR	13.6-24-4PR
車体	クラッチ方式			乾式単板				
	制動装置			一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）				
	かじ取り方式			ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）				
	差動方式			２ピニオンかさ歯車式（デフロック付）		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）		
	変速方式			コンスタントメッシュ／Ｕシフト				
変速段数（段）	Ｕシフト仕様			前進 20 段，後進 20 段 ［前進 30 段，後進 20 段］		前進 30 段，後進 20 段		
走行速度（km/h）	前進 20 段仕様	前進		0.19 ～ 25.16	0.20 ～ 28.04	－	－	－
		後進		0.17 ～ 22.55	0.18 ～ 25.12	－	－	－
	前進 30 段仕様	前進		0.16 ～ 25.16	0.17 ～ 28.04	0.16 ～ 27.99	0.16 ～ 28.10	0.17 ～ 29.21
		後進		0.17 ～ 22.55	0.18 ～ 25.12	0.17 ～ 25.08	0.17 ～ 25.18	0.18 ～ 26.17
最小旋回半径（ブレーキ使用時）			m	1.9	2.0	2.1	2.2	
PTO	回転速度／エンジン回転速度	正転	rpm	541，763 945，1260 /2700	540，762 944，1258 /2600	561，791 980，1307 /2700	540，762 944，1258 /2600	561，791 980，1307 /2700
		逆転		945/2700	944/2600	980/2700	944/2600	980/2700
	軸寸法		mm	JIS 35				
作業機昇降装置	制御方式			ポジションコントロール				
	装着方式			三点リンク　JIS　１形				

［ ］はキャブ仕様

型式名			KL385H	KL415H	KL465H	KL505H	KL555H
駆動方式			４輪駆動				
機体寸法	全長	mm	3445		3535		3550
	全幅	mm	1495		1535		
	全高	mm	2320［2200］		2370［2250］		［2270］
	軸距	mm	1890		1940		
	輪距 前輪	mm	1200		1215		
	輪距 後輪	mm	1140 ～ 1430（５段）				1130 ～ 1530（５段）
	最低地上高	mm	400		440		
質量(重量)		kg	1520［1720］	1540［1740］	1625［1820］		［1870］
エンジン	機関型式		V2203-M-E3-KL1	V2203-M-E3-KL2	V2403-M-E3-KL1	V2403-M-E2-KL2	V2403-M-TE2-KL1
	形式		水冷４サイクル４気筒立形ディーゼル				
	総排気量	L	2.197		2.434		
	出力／回転速度	kw(PS)/rpm	27.9/2600 (38/2600)	30.9/2600 (42/2600)	33.8/2700 (46/2700)	36.8/2700 (50/2700)	40.5/2700 (55/2700)
	使用燃料		ディーゼル軽油				
	燃料タンク容量	L	40		48		
	始動方式		セルモータ式（グロープラグ式）				
	バッテリ		80D26R				
タイヤ	前輪		8-18-4PR		8.3-20-4PR		
	後輪		12.4-28-4PR	13.6-26-4PR	13.6-28-4PR		12.4-32-4PR
車体	クラッチ方式		乾式単板				
	制動装置		一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）				
	かじ取り方式		ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）				
	差動方式		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）				
	変速方式		コンスタントメッシュ／Ｕシフト				
変速段数（段）	Ｕシフト仕様		前進 30 段，後進 20 段				
走行速度(km/h)	前進 30 段		0.18 ～ 31.48	0.18 ～ 31.42	0.19 ～ 32.04	0.19 ～ 32.04	0.19 ～ 32.65
	後進 20 段		0.20 ～ 28.25	0.20 ～ 28.20	0.21 ～ 28.75	0.21 ～ 28.75	0.21 ～ 29.30
最小旋回半径（ブレーキ使用時）		m	2.3		2.4		
PTO	回転速度／エンジン回転速度	正転 rpm	540，762，944，1258 /2600		547，772，956，1274 /2700		545，769，952，1270 /2700
		逆転 rpm	944/2600		956/2700		952/2700
	軸寸法	mm	JIS 35				
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール（MAD：ドラフトコントロール）				
	装着方式		三点リンク　JIS　１形				

［ ］はキャブ仕様

付表

型式名			KL285-PC	KL345-PC	KL345H-PC	KL415H-PC	KL505H-PC
駆動方式			４輪駆動				
機体寸法	全長 mm		3255	3340		3445	3525
	全幅 mm		1580 {1570} ＜1300/1440＞			1630	
	全高 mm		2035 [2255]	2050 [2220]		[2225]	[2280]
	軸距 mm		1670	1740		1890	1920
	輪距	前輪 mm	1085	1170		1200	1215
		クローラ mm	1180{1150} ＜1050/1190＞			1110/1230	
	最低地上高 mm		395	410		420	440
質量(重量) kg			1535[1725]	1595[1785]		[1940]	[2000]
エンジン	機関型式		D1703-M-E3-KL2	D1803-M-E3-KL2		V2203-M-E3-KL2	V2403-M-E2-KL2
	形式		水冷４サイクル３気筒立形 ディーゼル			水冷４サイクル４気筒立形 ディーゼル	
	総排気量 L		1.647	1.826		2.197	2.434
	出力／回転速度 kw(PS)/rpm		20.6/2700 (28/2700)	25.0/2700 (34/2700)		30.9/2600 (42/2600)	36.8/2700 (50/2700)
	使用燃料		ディーゼル軽油				
	燃料タンク容量 L		36	40			48
	始動方式		セルモータ式（グロープラグ式）				
	バッテリ		75D23R	80D26R			
タイヤ	前輪		8-16	8-18			8.3-20
	後輪		クローラタイプ				
車体	クラッチ方式		乾式単板				
	制動装置		一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）				
	かじ取り方式		ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）				
	差動方式		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）				
	変速方式		Ｕシフト				
変速段数 (段)			前進 24 段，後進 16 段				
走行速度 (km/h)	前進 24 段		0.20 ～ 14.70	0.19 ～ 14.74	0.24 ～ 20.75	0.24 ～ 24.32	0.25 ～ 24.50
	後進 16 段		0.18 ～ 11.55	0.16 ～ 9.84	0.16 ～ 12.07	0.22 ～ 18.24	0.23 ～ 18.37
ゴムクローラ諸元			400W x 35L x 90P {420W x 35L x 90P} 〈250W x 35L x 90P〉	400W x 38L x 90P {420W x 38L x 90P} 〈250W x 38L x 90P〉		400W x 41L x 90P	400W x 42L x 90P
接地面積 cm^2			6895{7325} ＜4309＞	7705{8185} ＜4816＞		8440	8688
緩衝方式			揺動式（± 10°）				
遊輪／転輪			２／３				
PTO	回転速度／エンジン回転速度 rpm	正転	561,791,980, 1307/2700		577,814,1009, 1345/2700	546,770,954, 1272/2600	567,800,990, 1321/2700
		逆転	980/2700		1009/2700	954/2600	990/2700
	軸寸法 mm		JIS 35				
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール				
	装着方式		三点リンク　JIS　１形				

[ ]は安全キャブ仕様，{ } は PC1 仕様，＜ ＞は PC3 仕様

1. 接地面積＝接地長（前遊輪と後遊輪の中心間距離）×ゴムクローラ幅とする。
2. 後輪距はゴムクローラ中心間距離とする。
3. 揺動角度は車体に対する揺動角度とする。（車体の左側から見て時計回り方向を＋，反時計回り方向を－）

■走行速度表

◆ KL225，245，265，285，315，345　マニュアルシフト仕様
KL225，245，265　安全フレーム付きUシフト仕様

(km/h)

Uシフト仕様		マニュアルシフト仕様			KL225		KL245		KL265		KL285		KL315		KL345	
主変速レバー	クリープレバー	主変速レバー	副変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	1	低	低	0.21	0.18	0.19	0.17	0.20	0.18	0.19	0.17	0.20	0.17	0.20	0.18
2		2			0.29	0.26	0.27	0.24	0.28	0.25	0.27	0.25	0.28	0.25	0.29	0.26
3		3			0.36	0.32	0.33	0.30	0.35	0.31	0.34	0.30	0.34	0.31	0.35	0.32
4		4			0.48	0.43	0.44	0.40	0.47	0.42	0.45	0.41	0.45	0.41	0.47	0.42
5		1	高		0.66	0.59	0.65	0.58	0.65	0.58	0.66	0.59	0.66	0.59	0.66	0.59
6		2			0.93	0.83	0.92	0.82	0.92	0.82	0.93	0.84	0.94	0.84	0.94	0.84
7		3			1.15	1.03	1.13	1.02	1.14	1.02	1.16	1.04	1.16	1.04	1.16	1.04
8		4			1.53	1.37	1.52	1.36	1.52	1.36	1.54	1.38	1.55	1.39	1.55	1.39
1	高	1	低	高	1.83	1.64	1.70	1.52	1.78	1.59	1.73	1.55	1.74	1.56	1.81	1.62
2		2			2.59	2.32	2.40	2.15	2.51	2.25	2.45	2.19	2.45	2.20	2.55	2.29
3		3			3.20	2.87	2.97	2.66	3.11	2.79	3.03	2.71	3.04	2.72	3.16	2.83
4		4			4.27	3.83	3.96	3.55	4.15	3.71	4.04	3.62	4.05	3.63	4.21	3.78
5		1	高		5.86	5.25	5.78	5.18	5.81	5.21	5.90	5.29	5.91	5.30	5.91	5.30
6		2			8.26	7.40	8.16	7.31	8.20	7.35	8.32	7.46	8.34	7.47	8.33	7.47
7		3			10.24	9.17	10.10	9.06	10.16	9.10	10.31	9.24	10.33	9.26	10.33	9.25
8		4			14.83	13.29	14.60	13.08	14.71	13.18	14.89	13.34	14.90	13.41	14.90	13.36

◆ KL225，245，265，285，315，345　安全キャブ付きＵシフト仕様（パワクロ仕様除く），KL285，315，345　安全フレーム付きＵシフト仕様（パワクロ仕様除く），KL385，415　Ｕシフト仕様

(km/h)

Uシフト仕様		KL225		KL245		KL265		KL285		KL315		KL345		KL385		KL415	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	0.17	0.18	0.16	0.17	0.17	0.18	0.16	0.17	0.16	0.17	0.17	0.18	0.18	0.20	0.18	0.20
2		0.21	0.26	0.19	0.24	0.20	0.25	0.19	0.25	0.20	0.25	0.20	0.26	0.22	0.28	0.22	0.28
3		0.24	0.32	0.23	0.30	0.24	0.31	0.23	0.30	0.23	0.31	0.24	0.32	0.26	0.34	0.26	0.34
4		0.29	0.43	0.27	0.40	0.28	0.42	0.27	0.41	0.28	0.41	0.29	0.42	0.31	0.46	0.31	0.46
5		0.30	0.59	0.28	0.58	0.29	0.58	0.28	0.59	0.29	0.59	0.30	0.59	0.32	0.57	0.32	0.57
6		0.36	0.83	0.33	0.82	0.35	0.82	0.34	0.84	0.34	0.84	0.35	0.84	0.38	0.81	0.38	0.81
7		0.40	1.03	0.37	1.02	0.39	1.02	0.38	1.04	0.38	1.04	0.40	1.04	0.43	1.00	0.43	1.00
8		0.48	1.37	0.44	1.36	0.47	1.36	0.45	1.38	0.45	1.39	0.47	1.39	0.51	1.34	0.51	1.33
9		0.66	—	0.65	—	0.65	—	0.66	—	0.66	—	0.66	—	0.64	—	0.64	—
10		0.93	—	0.92	—	0.92	—	0.93	—	0.94	—	0.94	—	0.90	—	0.90	—
11		1.15	—	1.13	—	1.14	—	1.16	—	1.16	—	1.16	—	1.12	—	1.11	—
12		1.53	—	1.51	—	1.52	—	1.54	—	1.55	—	1.55	—	1.49	—	1.49	—
1	高	1.53	1.64	1.42	1.52	1.49	1.59	1.45	1.55	1.45	1.56	1.51	1.62	1.63	1.75	1.63	1.74
2		1.83	2.32	1.70	2.15	1.78	2.25	1.73	2.19	1.74	2.20	1.81	2.29	1.95	2.46	1.94	2.46
3		2.16	2.87	2.00	2.66	2.10	2.79	2.05	2.71	2.05	2.72	2.13	2.83	2.30	3.05	2.30	3.05
4		2.59	3.83	2.40	3.55	2.51	3.71	2.45	3.62	2.45	3.63	2.55	3.78	2.75	4.07	2.74	4.06
5		2.68	5.25	2.48	5.18	2.60	5.21	2.53	5.29	2.54	5.30	2.64	5.30	2.85	5.11	2.85	5.10
6		3.20	7.40	2.97	7.31	3.11	7.35	3.03	7.46	3.04	7.47	3.16	7.47	3.40	7.20	3.40	7.19
7		3.57	9.17	3.31	9.06	3.47	9.10	3.38	9.24	3.39	9.26	3.52	9.25	3.81	8.92	3.80	8.91
8		4.27	13.29	3.96	13.08	4.15	13.18	4.04	13.34	4.05	13.41	4.21	13.36	4.53	12.93	4.53	12.91
9		5.86	—	5.78	—	5.81	—	5.90	—	5.91	—	5.91	—	5.69	—	5.68	—
10		8.26	—	8.16	—	8.20	—	8.32	—	8.34	—	8.33	—	8.03	—	8.01	—
11		10.24	—	10.10	—	10.16	—	10.31	—	10.33	—	10.33	—	9.94	—	9.93	—
12		14.83	—	14.60	—	14.71	—	14.89	—	14.90	—	14.90	—	14.41	—	14.38	—

◆ KL245H，265H　安全フレーム付きUシフト仕様

(km/h)

Uシフト仕様		KL245H		KL265H	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進
1	低	0.19	0.17	0.20	0.18
2		0.27	0.24	0.28	0.25
3		0.33	0.30	0.35	0.31
4		0.44	0.40	0.47	0.42
5		0.65	0.58	0.65	0.58
6		0.92	0.82	0.92	0.82
7		1.13	1.02	1.14	1.02
8		1.51	1.36	1.52	1.36
1	高	1.70	1.52	1.78	1.59
2		2.40	2.15	2.51	2.25
3		2.97	2.66	3.11	2.79
4		3.96	3.55	4.15	3.71
5		5.78	5.18	5.81	5.21
6		8.16	7.31	8.20	7.35
7		10.10	9.06	10.16	9.10
8		13.47	12.07	13.54	12.13
1	高速走行	10.34	9.27	11.50	10.31
2		14.59	13.07	16.23	14.54
3		18.07	16.19	20.10	18.01
4		25.16	22.55	28.04	25.12

◆ KL245H，265H　安全キャブ付きUシフト仕様，
KL285H，315H，345H，385H，415H，465H，505H，555H　Uシフト仕様（パワクロ仕様除く）

(km/h)

Uシフト仕様		KL245H		KL265H		KL285H		KL315H		KL345H		KL385H		KL415H		KL465H		KL505H		KL555H	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	0.16	0.17	0.17	0.18	0.16	0.17	0.16	0.17	0.17	0.18	0.18	0.20	0.18	0.20	0.19	0.21	0.19	0.21	0.19	0.21
2		0.19	0.24	0.20	0.25	0.19	0.25	0.20	0.25	0.20	0.26	0.22	0.28	0.22	0.28	0.23	0.29	0.23	0.29	0.23	0.29
3		0.23	0.30	0.24	0.31	0.23	0.30	0.23	0.31	0.24	0.32	0.26	0.34	0.26	0.34	0.27	0.36	0.27	0.36	0.27	0.36
4		0.27	0.40	0.28	0.42	0.27	0.41	0.28	0.41	0.29	0.42	0.31	0.46	0.31	0.46	0.32	0.48	0.32	0.48	0.32	0.48
5		0.28	0.58	0.29	0.58	0.28	0.59	0.29	0.59	0.30	0.59	0.32	0.55	0.32	0.55	0.34	0.58	0.34	0.58	0.34	0.57
6		0.33	0.82	0.35	0.82	0.34	0.84	0.34	0.84	0.35	0.84	0.38	0.78	0.38	0.78	0.40	0.82	0.40	0.82	0.40	0.80
7		0.37	1.02	0.39	1.02	0.38	1.04	0.38	1.04	0.40	1.04	0.43	0.97	0.43	0.97	0.45	1.01	0.45	1.01	0.45	1.00
8		0.44	1.36	0.47	1.36	0.45	1.38	0.45	1.39	0.47	1.39	0.51	1.29	0.51	1.29	0.53	1.35	0.53	1.35	0.53	1.33
9		0.65	—	0.65	—	0.66	—	0.66	—	0.66	—	0.62	—	0.62	—	0.65	—	0.65	—	0.64	—
10		0.92	—	0.92	—	0.93	—	0.94	—	0.94	—	0.87	—	0.87	—	0.91	—	0.91	—	0.90	—
11		1.13	—	1.14	—	1.16	—	1.16	—	1.16	—	1.08	—	1.08	—	1.13	—	1.13	—	1.11	—
12		1.51	—	1.52	—	1.54	—	1.55	—	1.55	—	1.44	—	1.43	—	1.50	—	1.50	—	1.48	—
1	高	1.42	1.52	1.49	1.59	1.45	1.55	1.45	1.56	1.51	1.62	1.63	1.75	1.63	1.74	1.71	1.83	1.71	1.83	1.75	1.87
2		1.70	2.15	1.78	2.25	1.73	2.19	1.74	2.20	1.81	2.29	1.95	2.46	1.94	2.46	2.04	2.58	2.04	2.58	2.08	2.64
3		2.00	2.66	2.10	2.79	2.05	2.71	2.05	2.72	2.13	2.83	2.30	3.05	2.30	3.05	2.41	3.19	2.41	3.19	2.46	3.27
4		2.40	3.55	2.51	3.71	2.45	3.62	2.45	3.63	2.55	3.78	2.75	4.07	2.74	4.06	2.87	4.26	2.87	4.26	2.94	4.35
5		2.48	5.18	2.60	5.21	2.53	5.29	2.54	5.30	2.64	5.30	2.85	4.93	2.85	4.92	2.99	5.16	2.99	5.16	3.05	5.19
6		2.97	7.31	3.11	7.35	3.03	7.46	3.04	7.47	3.16	7.47	3.40	6.95	3.40	6.94	3.56	7.28	3.56	7.28	3.64	7.33
7		3.31	9.06	3.47	9.10	3.38	9.24	3.39	9.26	3.52	9.25	3.81	8.62	3.80	8.60	3.98	9.02	3.98	9.02	4.07	9.08
8		3.96	12.07	4.15	12.13	4.04	12.32	4.05	12.34	4.21	12.34	4.53	11.49	4.53	11.47	4.74	12.02	4.74	12.02	4.85	12.10
9		5.78	—	5.81	—	5.90	—	5.91	—	5.91	—	5.49	—	5.49	—	5.75	—	5.75	—	5.79	—
10		8.16	—	8.20	—	8.32	—	8.34	—	8.33	—	7.75	—	7.74	—	8.11	—	8.11	—	8.16	—
11		10.10	—	10.16	—	10.31	—	10.33	—	10.33	—	9.60	—	9.58	—	10.05	—	10.05	—	10.11	—
12		13.47	—	13.54	—	13.74	—	13.77	—	13.77	—	12.80	—	12.78	—	13.39	—	13.39	—	13.48	—
1	高速走行	10.34	9.27	11.50	10.31	11.50	10.31	11.53	10.33	12.00	10.76	12.92	11.59	12.89	11.57	13.17	11.82	13.17	11.82	13.42	12.04
2		14.59	13.07	16.23	14.54	16.22	14.54	16.26	14.57	16.93	15.17	18.21	16.35	18.19	16.32	18.57	16.67	18.57	16.67	18.92	16.98
3		15.11	16.19	16.81	18.01	16.81	18.01	16.85	18.05	17.54	18.79	18.94	20.25	18.90	20.22	19.31	20.65	19.31	20.65	19.67	20.04
4		18.07	22.55	20.10	25.12	20.10	25.08	20.14	25.18	20.97	26.17	22.57	28.25	22.53	28.20	23.01	28.75	23.01	28.75	23.44	29.30
5		20.15	—	22.42	—	22.41	—	22.46	—	23.39	—	25.25	—	25.21	—	25.74	—	25.74	—	26.23	—
6		25.16	—	28.04	—	27.99	—	28.10	—	29.21	—	31.48	—	31.42	—	32.04	—	32.04	—	32.65	—

◆ KL285-PC，345-PC，345H-PC，415H-PC，505H-PC

(km/h)

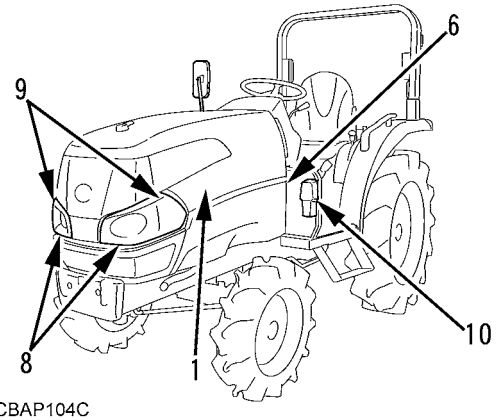
Uシフト仕様		KL285-PC		KL345-PC		KL345H-PC		KL415H-PC		KL505H-PC	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	0.20	0.18	0.19	0.16	0.24	0.16	0.24	0.22	0.25	0.23
2		0.23	0.25	0.23	0.22	0.28	0.23	0.29	0.31	0.30	0.32
3		0.28	0.31	0.27	0.27	0.33	0.29	0.35	0.38	0.36	0.40
4		0.32	0.41	0.32	0.36	0.40	0.38	0.41	0.51	0.43	0.53
5		0.35	0.51	0.33	0.45	0.41	0.56	0.43	0.84	0.44	0.85
6		0.39	0.72	0.40	0.64	0.49	0.79	0.51	1.19	0.53	1.20
7		0.46	0.90	0.44	0.79	0.55	0.97	0.57	1.47	0.59	1.48
8		0.53	1.20	0.53	1.06	0.66	1.30	0.68	1.96	0.71	1.98
9		0.65	—	0.66	—	0.96	—	1.12	—	1.13	—
10		0.92	—	0.92	—	1.35	—	1.58	—	1.59	—
11		1.14	—	1.15	—	1.67	—	1.96	—	1.98	—
12		1.52	—	1.53	—	2.23	—	2.61	—	2.63	—
1	高	1.76	1.58	1.70	1.39	2.11	1.46	2.18	1.96	2.27	2.03
2		2.01	2.23	2.01	1.97	2.51	2.06	2.61	2.76	2.71	2.87
3		2.49	2.76	2.39	2.44	2.98	2.55	3.08	3.42	3.19	3.55
4		2.83	3.68	2.84	3.25	3.54	3.40	3.68	4.56	3.82	4.74
5		3.08	4.58	2.97	4.04	3.69	4.96	3.81	7.49	3.96	7.55
6		3.51	6.46	3.52	5.70	4.39	7.00	4.56	10.56	4.74	10.65
7		4.11	8.00	3.95	7.07	4.92	8.67	5.08	13.08	5.28	13.19
8		4.68	11.55	4.69	9.84	5.85	12.07	6.08	18.24	6.31	18.37
9		5.83	—	5.84	—	8.53	—	9.98	—	10.07	—
10		8.22	—	8.24	—	12.03	—	14.08	—	14.20	—
11		10.18	—	10.21	—	14.90	—	17.44	—	17.59	—
12		14.70	—	14.74	—	20.75	—	24.32	—	24.50	—

■標準付属品

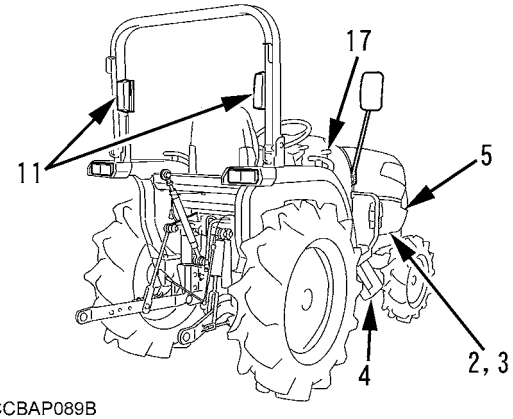
品　　名	数量 / 台	備　考
メインスイッチキーアッシ	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	
メンテナンスブック	1	
取扱説明確認カード	1	
PTO 軸キャップ	1	
ボルト	1	PTO 軸キャップ用
バネ座金	1	
取扱いのポイント	1	
CD プレーヤ取外し金具	1	安全キャブ仕様のみ

主な消耗部品一覧表

[KL225・245・265・285・315・345・安全フレーム仕様]（パワクロ仕様除く）

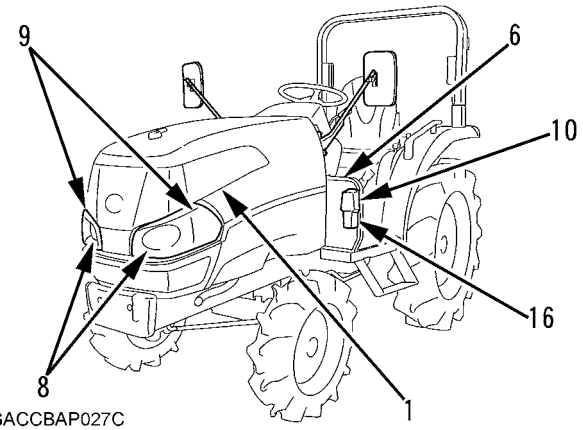


1AGACCBAP104C

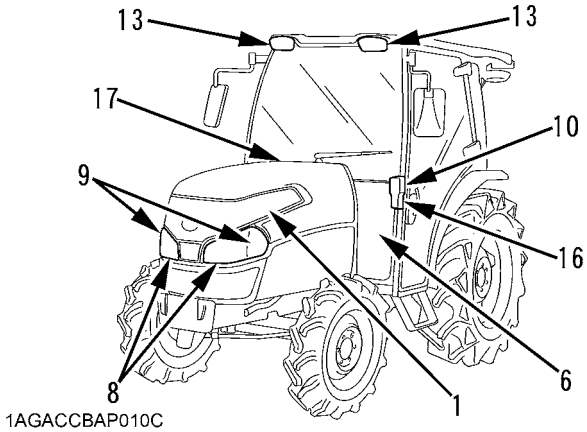


1AGACCBAP089B

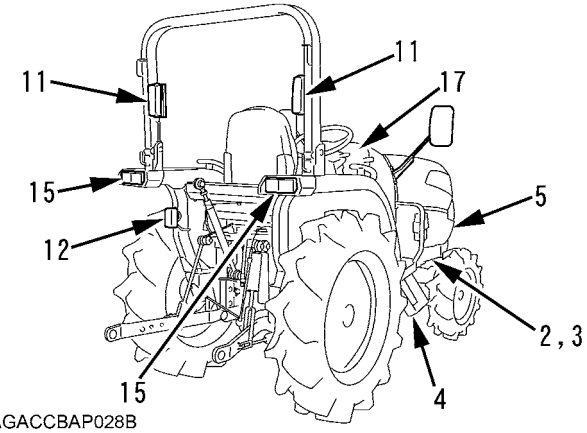
[KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様]
[KL245H・265H・285H・315H・345H・385 (H)・415 (H)・465H・505H・555H・285-PC・345 (H) -PC・415H-PC・505H-PC]



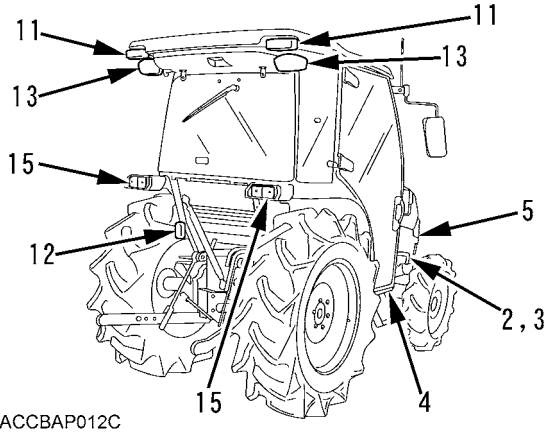
1AGACCBAP027C



1AGACCBAP010C

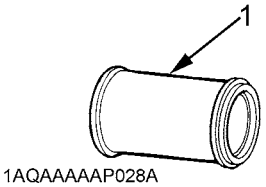


1AGACCBAP028B



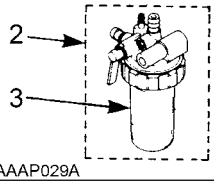
1AGACCBAP012C

フィルタコンプ
(エアクリーナ)



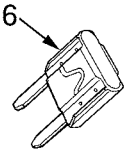
1AQAAAAAP028A

燃料フィルタ



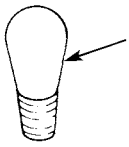
1AQAAAAAP029A

ヒューズ



1AQAAAAAP033A

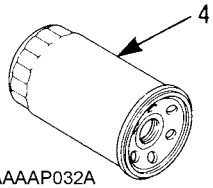
電球



8 ヘッドライト
9 フロントサイド作業灯
10 ウインカ（前）
11 ウインカ（後）
12 バックランプ
13 作業灯（前，後）
14 ルームランプ
15 尾灯，制動灯
16 車幅灯

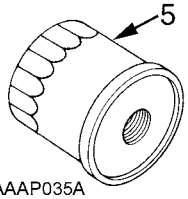
1AQAAAAAP030A

油圧オイルフィルタ
カートリッジ



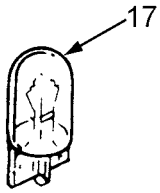
1AQAAAAAP032A

エンジンオイル
フィルタカートリッジ



1AQAAAAAP035A

メータ用ランプ
AD倍速,倍速
4WD,2WD,警告
ブレーキ連結解除,
駐車ブレーキ,
モンローマチック,
オート耕うん,
Eオート,ポンパ,
バックアップ,
オートアップ
アップオフPTO
17



1AQAAAAAP034D

エアコンコントローラ用ランプ 7

図番	品　名	品　番	図番	品　名	品　番
1	フィルタコンプ(エアクリーナ) [KL225・245(H)・265(H)・285(H)・315(H)・345(H)・385(H)・415(H)]	T0270-1632-0	9	バルブ（W21W，12V21W）	3C081-7582-0
			10	デンキュウ 21W	T1370-9911-0
			11	デンキュウ 21/5W	T1370-9912-0
	エレメント（アウタ） [KL465H・505H・555H]	R1401-4227-0	11	デンキュウ 21/5W	T1370-9912-0
			12	デンキュウ 21W	T2255-9912-0
2	フューエルフィルタアッシ	16271-4301-3	13	バルブ（12V35W ハロゲン）	T1275-9106-0
3	フィルタエレメント	16271-4356-0	14	デンキュウ 10W	T0180-7422-0
4	オイルフィルタカートリッジ	T0070-3771-0	15	デンキュウ 21/5W [KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様] [KL245H・265H・285H・315H・345H・385(H)・415(H)・465H・505H・555H・285-PC・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC]	T1370-9912-0
5	オイルフィルタカートリッジ	17321-3243-0			
6	ヒューズ（ミニ 5A）	T1065-3043-0			
	ヒューズ（ミニ 7.5A）	T1065-3048-0			
	ヒューズ（ミニ 10A）	5H050-4162-0	16	デンキュウ 5W [KL225・245・265・285・315・345 安全キャブ仕様] [KL245H・265H・285H・315H・345H・385(H)・415(H)・465H・505H・555H・285-PC・345(H)-PC・415H-PC・505H-PC]	T1370-9914-0
	ヒューズ（ミニ 15A）	5H050-4163-0			
	ヒューズ（ミニ 20A）	5H050-4164-0			
	ヒューズ（ミニ 30A）	5H050-4166-0			
7	バルブ（ヒータコントロール）	T1275-8722-0	17	バルブ（モニタ）	T1060-3027-0
8	バルブ（H4，12V 60/55W）	3C081-7581-0			

パワクロ仕様足回り交換部品一覧表

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
クローラ				
T1540-8467-0	クローラ (ゴム 400*35*90WC)	KL285-PC	PC2 仕様（ハイラグ） 35 リンク	
T1540-8468-0	クローラ (ゴム，カタハシゴ)		PC1 仕様（片ハシゴ） 35 リンク	
T1270-8786-0	クローラ (ゴム，35，250)		PC3 仕様（幅狭クローラ） 35 リンク	
T1060-8786-0	クローラ (ゴム，PCT)	KL345(H)-PC	PC3 仕様（幅狭クローラ） 38 リンク	
T1570-8467-0	クローラ (ゴム 400*38*90WC)		PC2 仕様（ハイラグ） 38 リンク	
T1570-8468-0	クローラ (ゴム，カタハシゴ)		PC1 仕様（片ハシゴ） 38 リンク	
T1820-8467-0	クローラ (ゴム 400*41*90WC)	KL415H-PC	PC2 仕様（ハイラグ） 41 リンク	
T1840-8467-0	クローラ (ゴム 400*42*90WC)	KL505H-PC	PC2 仕様（ハイラグ） 42 リンク	
転輪				
T1060-8402-0	テンリン，アッシ (F，S)	KL285-PC KL345(H)-PC KL415H-PC KL505H-PC	KL285-PC 中・後転輪 KL345(H)・415H-PC・505H-PC 前・中転輪	
T1060-8403-0	テンリン，アッシ (R，ヒダリ)		KL285-PC 前・右転輪 KL345(H)・415H-PC・505H-PC 後・左転輪	
T1060-8503-0	テンリン，アッシ (R，ミギ)		KL285-PC 前・左転輪 KL345(H)-PC・415H-PC・505H-PC 後・右転輪	
遊輪				
T1270-8406-1	アイドラ，アッシ (300，グリースアップ)	KL345(H)-PC	後遊輪	
T1270-8405-1	アイドラ，アッシ (250，グリースアップ)	KL285-PC KL345(H)-PC	KL285-PC…前後遊輪 KL345(H)-PC…前遊輪	
T1410-8406-0	アイドラ，アッシ (310)	KL415H-PC KL505H-PC		
T1390-8406-0	アイドラ，アッシ (250)			
スプロケット				
採用予定	スプロケット，アッシ	KL285-PC KL345(H)-PC		
採用予定	スプロケット，アッシ	KL415H-PC KL505H-PC		
ガイド				
T1540-8458-0	ガイド（クローラ）	KL285-PC		
T1840-8458-0	ガイド（クローラ）	KL345(H)-PC KL415H-PC KL505H-PC		

アタッチメント一覧表

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
補助車輪				
98352-73600	9.5-22 ストレーク取付台	KL225	● 片側にストレーク５枚取付け用 ● 9.5-22 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを ５組／台
98352-74600	9.5-24 ストレーク取付台	KL245(H)	● 片側にストレーク６枚取付け用 ● 9.5-24 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを ６組／台
98352-67600	11.2-24 ストレーク取付台	KL265(H)	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 11.2-24 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを ７組／台
98352-78600	ストレーク取付台 アッシ	KL285(H) KL345(H) （パワクロ 仕様除く）	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 12.4-24 用 ● 13.6-24 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを ７組／台
99822-21002	水田車輪 取付台アッシ	KL315(H)	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 12.4-26 用	G20, G35 のいずれか 反転ストレークアッシ １組／台
98352-59600	GL367 ストレーク取付台	KL385(H) KL415(H) KL465H KL505H （パワクロ 仕様除く）	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 13.6-26 用 ● 13.6-28 用	G20, G35 のいずれか 反転ストレークアッシ ７組／台
98352-76600	P20 反転 ストレークアッシ	KL225 KL245(H) KL265(H) KL285(H) KL345(H) （パワクロ 仕様除く）	シュー幅　20cm ピン式 構成は R, L 各１個	前記の取付台アッシ
99576-26902	P25 反転 ストレークアッシ		シュー幅　25cm プレート式 構成は R, L 各１個	
99516-27902	P30 反転 ストレークアッシ		シュー幅　30cm プレート式 構成は R, L 各１個	
99516-28902	P38 反転 ストレークアッシ		シュー幅　38cm プレート式 構成は R, L 各１個	前記の取付台アッシ
99556-31001	G20 反転 ストレークアッシ	KL385(H) KL415(H) KL465H KL505H （パワクロ 仕様除く）	シュー幅　20cm 左右各７個／セット	
99556-32001	G35 反転 ストレークアッシ		シュー幅　35cm 左右各７個／セット	
三点リンク				
T0030-3910-1	トップリンクアッシ	KL225 KL245(H)	一般作業機用	
T0050-3910-1	トップリンクアッシ	KL265(H)	一般作業機用	
T0070-3910-1	トップリンクアッシ	KL285(H) KL315(H) KL345(H)	一般作業機用	
T1150-3910-1	トップリンクアッシ	KL385(H) KL415(H)	一般作業機用	

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
35080-7110-3	トップリンクアッシ	KL465H KL505H KL555H	一般作業機用	
ウエイト				
T1230-49801	ウエイト （ホジョ，10）	KL225 KL245(H) KL265(H)	10kg 前車軸フレームの前部内側に取付け	01133-51230…4 コ （ボルト）
T1230-49811	ウエイト （ホジョ，20）		20kg 前車軸フレームの前部内側に取付け	01133-51230…4 コ （ボルト）
T0070-49800	ウエイト（ホジョ）	KL285(H) KL315(H) KL345(H)	10kg ×２個 前車軸フレームの前部内側に取付け	01133-51230…4 コ （ボルト）
99261-11002	前部ウエイト（25kg）	全型式	前部フック式ウエイト	・KL225 ～ 345,KL245H ～ 345H…取付台アッシ６，10 必要 ・KL385,415,385H ～ 555H …標準で５個取付け可
99431-17000	ウエイト取付台 アッシ６		25kg ウエイト６枚迄	
99591-17000	ウエイト取付台 アッシ 10		25kg ウエイト 10 枚迄	
99221-12002	前部ウエイトアッシ	KL225 KL245(H) KL265(H) KL285(H) KL315(H) KL345(H)	28kg 前車軸フレームの前部に取付け	
34070-49772	バンパ（15）		15kg，20kg，30kg，40kg 前車軸フレーム前部に取付けているバンパを取外して装着するウエイトです。	30400-44891…2 コ （ボルト）
34070-49782	バンパ（20）			02771-50100…２コ （ナット）
34070-49793	バンパ（30）			34070-49731…２コ （ボルト） 02174-50120…２コ （ナット） 04512-50120…２コ （バネザガネ）
T1030-49801	バンパ（40）			01774-51275…２コ （ボルト） 02174-50120…２コ （ナット） 04512-50120…２コ （バネザガネ）
99831-15001	後輪ウエイトアッシ	KL315(H) KL415(H) （パワクロ仕様除く）	33kg ×６個	
99831-15111	後輪ウエイト		33kg（12.6-26，13.6-26 用） 99831-15001 に必要に応じて追加	
99261-15001	後輪ウエイトアッシ	KL345(H) （パワクロ仕様除く）	27.5kg ×６個	
99261-15113	後輪ウエイト		99261-15003 に必要に応じて追加	
99411-15000	後輪ウエイトアッシ	KL385(H) KL465H KL505H （パワクロ仕様除く）	35kg ×６個	
99881-15000	後輪ウエイトアッシ	KL555H	50kg ×４個	

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
その他				
99563-81002	キャノピ（簡易型）	全型式	ホロ製日よけ。 安全キャブ仕様には装着できません。	
99571-91001	作業灯アッシ		12V27W　1個口 安全キャブ仕様には装着できません。	
96397-15101	洗車ポンプ		後部PTOに取付け スーパージョイント付には取付けできません。	
99563-85001	キャノピアッシ		樹脂製折りたたみ日よけ。 安全キャブ仕様には装着できません。	
99233-75002	ヒッチアッシ	KL225 KL245(H) KL265(H) KL285(H) KL315(H) KL345(H)	けん引作業時に使用	
99583-75001	スイングドローバアッシ	KL385(H) KL415(H) KL465H KL505H KL555H		
99705-67001	燃料供給台Aアッシ	KL385(H) KL415(H) KL465H KL505H KL555H KL415H-PC KL505H-PC	ボンネット右に取付け	フロントローダとの共着はできません

インプルメント一覧表

注 意

＊ トラクタ後部用作業機を装着したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上になるようにバランスウエイトを装着し，使用してください。
＊ 装着可能な最大ウエイトを装着してもかじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上を確保できない作業機は装着しないで下さい。
＊ フロントローダを使用するときは，安定性を高めるためトラクタ後部に作業機や適切なウエイトを装備してください。（詳細は購入先にご相談ください。）

◆ ロータリ・補助ユニット

品 番	品 名	適 応 型 式					
		KL225	KL245(H)	KL265(H)	KL285(H)	KL315(H)	KL345(H)
7C314-02044	RL145K	○	○	○			
7C314-00044	RL145K-B	○	○	○			
7C314-05044	RL145K-C	○	○	○			
7C314-02054	RL145K-V	○	○	○			
7C314-00054	RL145K-VB	○	○	○			
7C314-05054	RL145K-VC	○	○	○			
7C315-02044	RL155K	○	○	○	○		
7C315-00044	RL155K-B	○	○	○	○		
7C315-05044	RL155K-C	○	○	○	○		
7C315-02054	RL155K-V	○	○	○	○		
7C315-00054	RL155K-VB	○	○	○	○		
7C315-05054	RL155K-VC	○	○	○	○		
7C315-02654	RL155FK-V	○	○	○	○		
7C315-00654	RL155FK-VB	○	○	○	○		
7C315-05654	RL155FK-VC	○	○	○	○		
7C316-02044	RL165K	○	○	○	○	○	○
7C316-00044	RL165K-B	○	○	○	○	○	○
7C316-05044	RL165K-C	○	○	○	○	○	○
7C316-02054	RL165K-V	○	○	○	○	○	○
7C316-00054	RL165K-VB	○	○	○	○	○	○
7C316-05054	RL165K-VC	○	○	○	○	○	○
7C316-02654	RL165FK-V	○	○	○	○	○	○
7C316-00654	RL165FK-VB	○	○	○	○	○	○
7C316-05654	RL165FK-VC	○	○	○	○	○	○
7C317-02044	RL175K			○	○	○	○
7C317-00044	RL175K-B			○	○	○	○
7C317-05044	RL175K-C			○	○	○	○

付表

品　番	品　　名	適　応　型　式					
		KL225	KL245(H)	KL265(H)	KL285(H)	KL315(H)	KL345(H)
7C317-02054	RL175K-V			○	○	○	○
7C317-00054	RL175K-VB			○	○	○	○
7C317-05054	RL175K-VC			○	○	○	○
7C365-00014	RL155XK-B	○	○	○	○		
7C365-02024	RL155XK-V	○	○	○	○		
7C365-00024	RL155XK-VB	○	○	○	○		
7C365-02624	RL155XFK-V	○	○	○	○		
7C365-00624	RL155XFK-VB	○	○	○	○		
7C366-02010	RL165XK				○	○	○
7C366-00010	RL165XK-B				○	○	○
7C366-02020	RL165XK-V				○	○	○
7C366-00020	RL165XK-VB				○	○	○
7C366-02620	RL165XFK-V				○	○	○
7C366-00620	RL165XFK-VB				○	○	○
7C367-02010	RL175XK					○	○
7C367-00010	RL175XK-B					○	○
7C367-02020	RL175XK-V					○	○
7C367-00020	RL175XK-VB					○	○
7C383-02244	R135W2K	○	○	○	○		
7C383-00244	R135W2K-B	○	○	○	○		
7C383-02254	R135W2K-V	○	○	○	○		
7C383-00254	R135W2K-VB	○	○	○	○		
7C385-02044	R155K	○	○	○	○		
7C385-00044	R155K-B	○	○	○	○		
7C385-02054	R155K-V	○	○	○	○		
7C385-00054	R155K-VB	○	○	○	○		
7C386-02044	R165K				○	○	○
7C386-00044	R165K-B				○	○	○
7C386-02054	R165K-V				○	○	○
7C386-00054	R165K-VB				○	○	○
7C300-02000	U225Q-10RF 補助ユニット	○	○				
7C300-04000	U265Q-10RF 補助ユニット			○			
7C300-06000	U285Q-10RF 補助ユニット				○	○	○
7C300-07000	WU225Q-10RF 補助ユニット	○	○				
7C300-08000	WU265Q-10RF 補助ユニット			○			
7C300-09000	WU285Q-10RF 補助ユニット				○	○	○

品番	品名	適応型式		
		KL385(H) KL415(H)	KL465H KL505H	KL555H
7E317-02044	RM175K	○	○	○
7E317-00044	RM175K-B	○	○	○
7E317-05044	RM175K-C	○	○	○
7E318-02044	RM185K	○	○	○
7E318-00044	RM185K-B	○	○	○
7E318-05044	RM185K-C	○	○	○
7E319-02044	RM195K	○	○	○
7E319-00044	RM195K-B	○	○	○
7E319-05044	RM195K-C	○	○	○
7E320-02044	RM205K		○	○
7E320-00044	RM205K-B		○	○
7E320-05044	RM205K-C		○	○
7E322-02044	RM225K		○	○
7E322-00044	RM225K-B		○	○
7E322-05044	RM225K-C		○	○
7E300-02000	U385-10RF 補助ユニット	○		
7E300-03000	U466Q-10RF 補助ユニット（※1）		○	
7E300-04000	U465Q-10RF 補助ユニット		○	
7E300-05000	U556Q-10RF 補助ユニット（※1）			○
7E300-06000	U555Q-10RF 補助ユニット			○
7E300-08000	WU385Q-10RF 補助ユニット	○	○	○

品番	品名	適応型式			
		KL285-PC	KL345(H)-PC	KL415H-PC	KL505H-PC
7C317-02044	RL175K	○			
7C317-00044	RL175K-B	○			
7C317-05044	RL175K-C	○			
7C317-02054	RL175K-V	○			
7C317-00054	RL175K-VB	○			
7C317-05054	RL175K-VC	○			
7C318-02044	RL185K	○	○		
7C318-05044	RL185K-C	○	○		
7C319-02044	RL195		○		
7C319-05044	RL195K-C		○		
7E318-02044	RM185K			○	○
7E318-05044	RM185K-C			○	○
7E319-02044	RM195K			○	○
7E319-05044	RM195K-C			○	○

付表

品　番	品　　名	適　応　型　式			
		KL285-PC	KL345(H)-PC	KL415H-PC	KL505H-PC
7E320-02044	RM205K				○
7E320-05044	RM205K-C				○
7E322-02044	RM225K				○
7E322-05044	RM225K-C				○
7C300-04000	U265Q-10RF 補助ユニット	○			
7C300-06000	U285Q-10RF 補助ユニット		○		
7C300-09000	WU285Q-10RF 補助ユニット	○	○		
7E300-01000	U385Q-10RF 補助ユニット			○	
7E300-02000	U386Q-10RF 補助ユニット（※1）			○	
7E300-03000	U466Q-10RF 補助ユニット（※1）				○
7E300-04000	U465Q-10RF 補助ユニット				○
7E300-08000	WU385Q-10RF 補助ユニット			○	○

補　足

＊ RL,RM:サイドドライブロータリ,R:センタドライブロータリ,X:正逆転ロータリ,K:シリーズ記号,
　F：細土用 B：後２輪付，C：４輪キャスタ付，V：V カットカバー付，W2：200mm 延長付
＊ U：特殊 3P 式補助ユニット，WU：W3P 式補助ユニット
※１：トラクタ　ドラフト仕様用補助ユニット

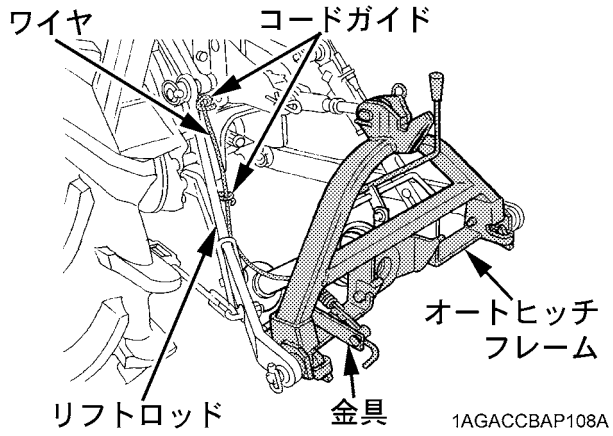
センサリンク取付要領

トラクタの出荷部品に入っているセンサリンクをオートヒッチフレーム及びロータリに取付ける場合は，以下の要領で行なってください。

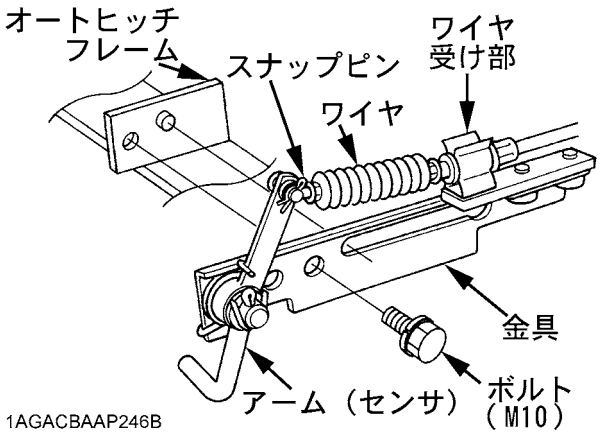
◆ オートヒッチフレーム側

[特殊 3P 仕様]

1. リフトロッドの上下にあるコードガイドにワイヤを通します。
2. 金具をオートヒッチフレームにボルト（M10）で取付けます。
3. 仮付けしてあるスナップピンを外し，ワイヤをアーム（センサ）に取付け，スナップピンでセットします。
4. ワイヤを金具のワイヤ受け部に取付けます。



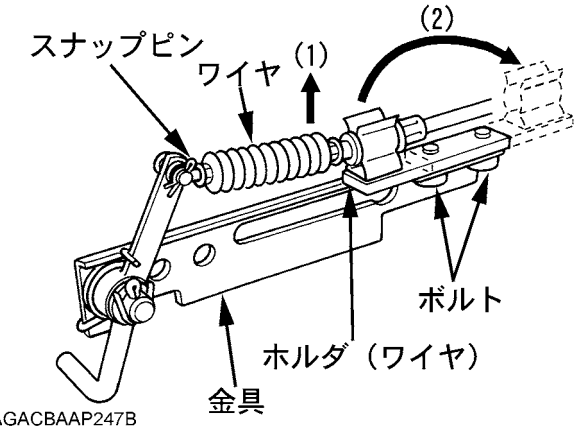
1AGACCBAP108A



1AGACBAAP246B

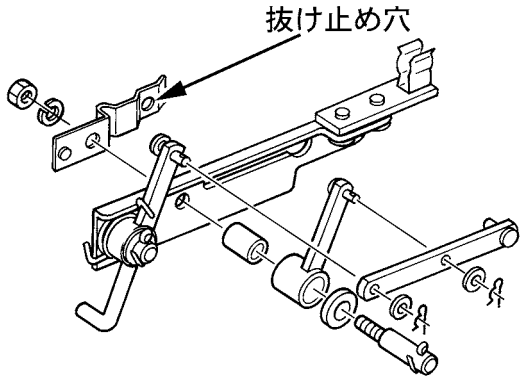
[W3P 仕様]

1. 特殊 3P 仕様の金具を組替えてください。
   (1) スナップピンを外し，金具とホルダ（ワイヤ）からワイヤを取外します。
   (2) ボルトを外しホルダ（ワイヤ）を逆向きに組替えます。



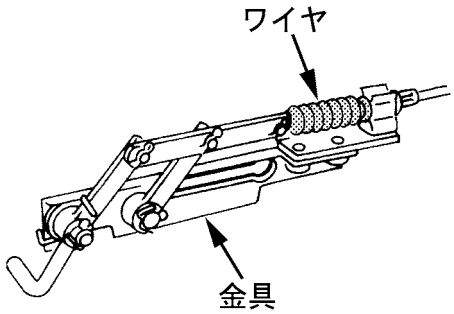
1AGACBAAP247B

2. 付属の部品を下図の様に取付けてください。
   (付属の部品は「W3P」用補助ユニットに入っています。)



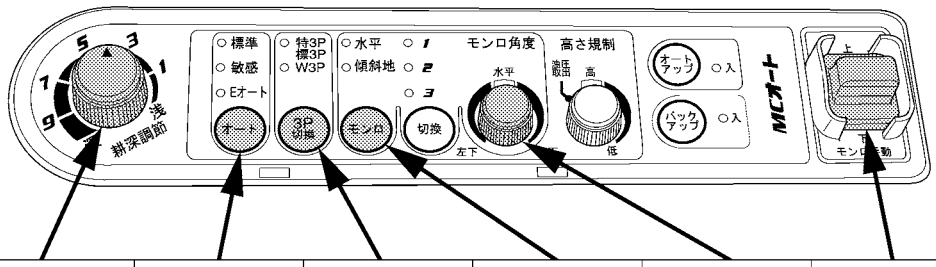
1AHACAEAP034B

3. ワイヤを金具に組付けます。



1AGACBAAP249A

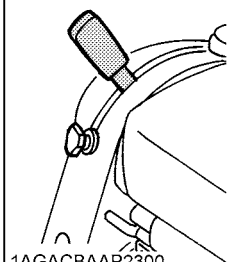
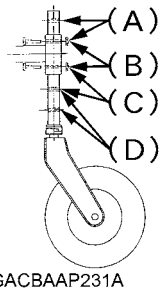
作業ごとの一般的な調整要領

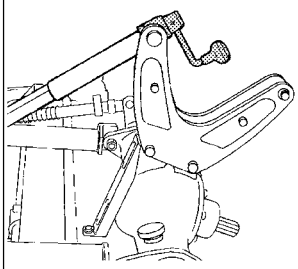
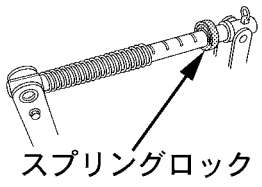
<table>
<tr><td rowspan="2" colspan="2">作業内容</td><td colspan="6">操作調整箇所</td></tr>
<tr><td colspan="6"> 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">作業内容</td><td>耕深調節
ダイヤル</td><td>オート
スイッチ</td><td>３Ｐ切換
スイッチ</td><td>モンロ
スイッチ</td><td>モンロ角度
ダイヤル</td><td>モンロ手動
スイッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="6">モンロー
マチック・
オート
［入］
(MA・MAD仕様)</td><td>浅耕こし
(5～8cm)</td><td rowspan="6">希望耕深になるよう調節</td><td rowspan="3">標　準
又は
敏　感</td><td rowspan="6">特３Ｐ仕様は，特３Ｐ
標３Ｐ

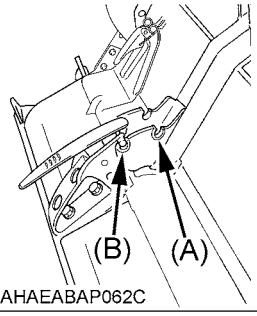
Ｗ３Ｐ仕様は，Ｗ３Ｐ</td><td rowspan="5">水平</td><td rowspan="6">水平</td><td rowspan="5">－</td></tr>
<tr><td>一般耕うん
(8～15cm)</td></tr>
<tr><td>深耕こし
(15cm以上)</td></tr>
<tr><td>代かき
湿　田</td><td>敏　感
又は
標　準</td></tr>
<tr><td>カバーを
上げての
耕うん</td><td>Ｅオート</td></tr>
<tr><td>傾斜地の
耕うん</td><td>標　準
又は
敏　感</td><td>傾斜地</td><td>タイヤ沈下量に応じ調整</td></tr>
<tr><td rowspan="6">モンロー
マチック・
オート
［切］
(ポジション仕様)</td><td>浅耕こし
(5～8cm)</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">切
(全ランプ
消灯)</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">切
(全ランプ
消灯)</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">－</td></tr>
<tr><td>一般耕うん
(8～15cm)</td></tr>
<tr><td>深耕こし
(15cm以上)</td></tr>
<tr><td>代かき</td></tr>
<tr><td>畝たて</td></tr>
<tr><td>傾斜地の
耕うん</td></tr>
</table>

補　足

＊ ワンタッチ耕うんモードスイッチを**［入］**にすると，モンロ水平，オート標準，AD 倍速，オートアップ，バックアップが**［入］**になります。（**［作業のしかた］**の章の**［ワンタッチ耕うんモードスイッチ］**の項を参照）

<table>
<tr><th colspan="5">操 作 調 整 箇 所</th></tr>
<tr>
<td> 
1AGACBAAP2300</td>
<td> 

1AGACBAAP231A</td>
<td> 
1AHAEABAP057C</td>
<td> 

1AHADACAP018D</td>
<td> 

1AHAEABAP062C</td>
</tr>
<tr><td>油圧(ポジション)
レバー</td><td>後２輪上下調節</td><td>後２輪ハンドル</td><td>スプリングロック</td><td>フラップカバー</td></tr>
<tr><td rowspan="5">最下位置</td><td rowspan="5">後２輪を外す</td><td rowspan="5">－</td><td rowspan="5">ロータリカバー２を
下げる
スプリングロックを
接地圧条件に合せて
セット</td><td>(B)の位置</td></tr>
<tr><td>(A)の位置</td></tr>
<tr><td>(B)の位置</td></tr>
<tr><td>任意調整</td></tr>
<tr><td>耕うん深さに応じ
任意調整</td></tr>
<tr><td rowspan="6">最下位置</td><td>(A)又は(B)の位置</td><td rowspan="6">希望耕深になるよう
調整

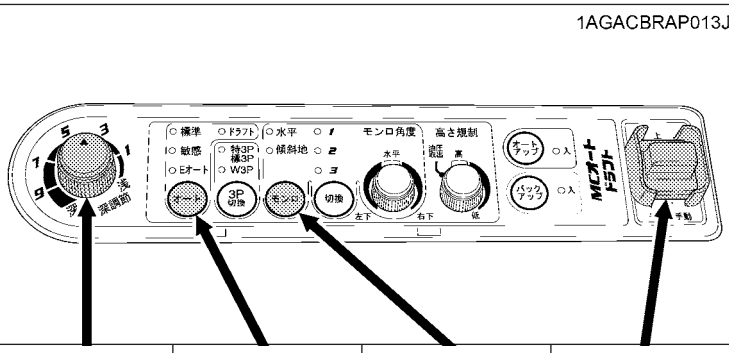
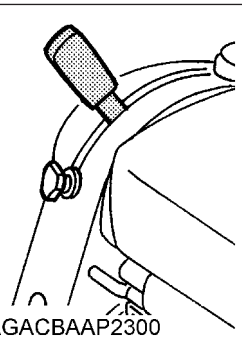
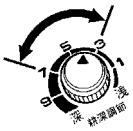
（畝たて時は後２輪
ハンドルで，畝高さ
を調整する）</td><td rowspan="6">ロータリカバー２を
下げる
スプリングロックを
接地圧条件に合せて
セット</td><td>(B)の位置</td></tr>
<tr><td>(B)の位置
(必要に応じて
(B)又は(C)の位置</td><td>(A)の位置</td></tr>
<tr><td>(D)の位置</td><td></td></tr>
<tr><td>(A)の位置</td><td>(B)の位置</td></tr>
<tr><td>後２輪を外す</td><td>フラップカバー
を外す</td></tr>
<tr><td>耕うん深さに応じ
任意調整</td><td>耕うん深さに応じ
任意調整</td></tr>
</table>

補　足

＊ 主な作業ごとの一般的な調整要領を記載しています。土質など作業条件にあわせ適宜調整してください。

＊ 高さ規制・オートアップ・バックアップスイッチなどは，作業に応じて使用してください。

オートドラフトコントロールによる作業要領［MAD 仕様］

作業内容		操作調整箇所				
						
		耕深調節ダイヤル	オートスイッチ	モンロスイッチ	モンロ手動スイッチ	油圧(ポジション)レバー
オートドラフト［入］	浅起し		［ドラフト］用スイッチランプ点灯位置	操作不要	任意の角度に作業機を傾斜させる	
	一般耕うん					
	深起し					
	ミックスコントロール(軟弱他)	任意の位置				作業機の最下位置を油圧(ポジション)レバーで決める
オートドラフト［切］	浅起し	操作不要	［ドラフト］用スイッチランプ消灯位置	［水平，傾斜地］用スイッチランプ消灯位置	任意の角度に作業機を傾斜させる	耕深はトップリンクと作業機のゲージ輪で調節する
	一般耕うん					
	深起し					

補　足

＊ トップリンク取付け位置により，ドラフト感度を調整することができ，トップリンクホルダの上穴を使用するほど感度が敏感となります。

英数字

100時間ごとの点検・整備 121
１年ごとの点検・整備 133
200時間ごとの点検・整備 126
２年ごとの点検・整備 134
300時間ごとの点検・整備 130
3P切換スイッチ［MA・MAD仕様］..... 64
3P切換スイッチ［MAD仕様］..... 74
400時間ごとの点検・整備 131
50時間ごとの点検・整備 116
600時間ごとの点検・整備 133
800時間ごとの点検・整備 133
AM / FMラジオ付きCDプレーヤの取扱い 88
AM / FMラジオ付きCDプレーヤの不調と処置 ..147
CDを聴くには 94
PTO 57
PTO軸カバー，PTO軸キャップ 58
PTO変速レバー 57
Uシフト(F)仕様 26

あ

アクセルレバーとアクセルペダル 31
アタッチメント一覧表 162
あんしんPTOスイッチ［N仕様］..... 58
安全キャブ・安全フレームと
シートベルトについて 14
アンテナ 96

い

一うねおき耕うんのしかた 80
一般的な耕うん要領 80
インプルメント一覧表 165
インプルメントの装着 97
インプルメント用操作ボックスの取付 97

う

ウインカスイッチ 16
ウエイト（オプション） 79
ウォッシャ液の補充 137
運転席周りの調節 13
運転前の点検 5

え

エアクリーナエレメントの交換 133
エアクリーナエレメントの清掃 124
エアコン 85
エアコンコンデンサの詰まり 129
エアコン配管，ホースの点検 133
エアコンベルトの張り 130
エンジンオイルの交換 121
エンジンオイルの量及び汚れ 106
エンジンオイルフィルタカートリッジの交換 ...126
エンジンオイル・ミッションオイル 103
エンジン回転数 38
エンジン始動システムの点検 118
エンジンの始動確認 113
エンジンの始動と停止 6
エンジンの不調と処置 140
エンジンバルブクリアランスの点検 133

お

オートアップスイッチ..... 49
オートスイッチ 73
オートスイッチ［MAD仕様］ 69
オートスイッチ［MA仕様］ 68
オートドラフトコントロールによる作業要領
［MAD仕様］ 172
オートドラフトの取扱い［MAD仕様］..... 72
お問合わせ(AM/FM ラジオ付CD プレーヤ）..... 96
主な消耗部品一覧表 159

か

外気フィルタの清掃 129
外部電源・信号取出端子 19
格納 138
各部の名称［MA・MAD仕様］..... 61
各部の名称［MAD仕様］..... 72
各変速レバーの取扱い 23
寒冷時の暖機運転 11
寒冷時のワイパの使用 82

き

キースイッチ 10
給油（水）一覧表 102
共通部の操作のしかた
（AM/FMラジオ付CDプレーヤ）..... 88
切換スイッチ［MA・MAD仕様］..... 67
切換スイッチ［MAD仕様］..... 75

索引

く

空気の流れ 85
クォータウインド 81
クラッチハウジングの水抜き 118
クラッチペダル 23
クラッチペダルの遊び・点検 110
クラッチペダルの点検・調整 125
グリース 103
グリースの注入 116
クリープレバー 24

け

けん引ヒッチ（別売） 56
けん引フック 57

こ

耕深調節ダイヤル［MA・MAD仕様］ 70
耕深調節ダイヤル［MAD仕様］ 74
小型特殊自動車としての取扱い 3
ゴムクローラの交換手順 115
ゴムクローラの張り調整 114
コンデンサ用防虫網の清掃 113
コントロールパネル 86

さ

サービスと保障 1
サイドカバーの取り外し 105
坂道での運転 39
作業機昇降装置 46
作業機の取扱い 71
作業機落下速度の調整 51
作業機を取付けないときの注意 56
作業ごとの一般的な調整要領 170
作業灯 83
作業灯スイッチ 83
三点リンク 52
三点リンク高さ規制ダイヤル 46
サンバイザ 84

し

シート 13
シートベルトホルダ 13
室内エアフィルタの清掃 128
始動のしかた 6
車幅灯・尾灯 18
主要諸元 148
状況に応じた操作 39

す

水温計 38
推奨オイル・グリース一覧表 103
ステアリングジョイント部の点検 127
スプロケットの交換手順 115
スローブローヒューズの交換 137

せ

旋回のしかた 39
センサリンク取付要領 169
前車軸ケースオイルの交換 130
洗車時の注意 98
前部デフケース前後遊びの調整 133

そ

走行装置の取扱い 20
走行速度表 153
走行モード切換スイッチ 30

た

タイヤ・ウエイト 76
タイヤ取付けボルトの点検 118
タイヤの空気圧 76
タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷 109

ち

チェックチェーン 56
駐車ブレーキ 32
駐車ブレーキの作動点検 110
注油 137
長期格納時の手入れ 138
チルトステアリングハンドル 15

て

定期点検箇所一覧表 100
停止のしかた 10
停車・駐車 21
デフロックの使い方 39
電子メータ 33
電子メータパネルの取扱い 33
電子メータメッセージのリセット法 122
転輪・遊輪のオイルシール点検 132

と

ドア 81
ドア・窓の開閉とロック 81
灯火類の操作 16
道路走行中の注意 41
トーイン調整・タイロッドの点検 128
トップリンク 54
トラクタの給油（水）.....102
トラクタの主要諸元 148
トラクタの方向転換のしかた 80
トラクタの周りを歩いて 105
トラックへの積み・降ろし 42
ドラフトストッパピン 73
取扱い上の注意(AM/FMラジオ付CDプレーヤ)... 96
取扱い操作方法（エアコン）..... 86

な

ならし運転（最初の約50時間） 12

に

日常点検 105
日常点検（パワクロ仕様のみ).....114

ね

燃料計 38
燃料の空気抜きのしかた 136
燃料の補給 113
燃料フィルタエレメントの清掃・交換 132
燃料フィルタの水，沈殿物の点検 108
燃料ホースの交換 135
燃料ホースの点検 120

は

廃棄物の処理について 98
バキュエータバルブの清掃 107
ハザードスイッチ 17
バックアップスイッチ 50
バックミラー 15
バックランプ 18
発進・走行 20
バッテリあがりの処置 12
バッテリ電解液の点検 122
パワーステアリングの取扱い 43
パワーステアリングホースの交換 135
パワーステアリングホースの点検 119
パワクロ仕様足回り交換部品一覧表 161
パワクロ仕様の運転のしかた 44

ひ

ヒータ使用上の注意 87
ヒータ配管，ウォータホースの点検 133
必要に応じた点検・整備 136
ヒューズの交換 136
表示の切換え（液晶表示部）..... 34
標準付属品 158

ふ

ファンベルトの点検・調整 124
風向調整 85
不調と処置 140
ブレーキペダル 22
ブレーキペダルの遊び・点検 110
ブレーキペダルの点検・調整 125
ブレーキランプ 18
フロントカバーの取り外し 105
フロントサイド作業灯 18
フロントワイパ・ウォッシャスイッチ 82

へ

ヘッドライトスイッチ 16

ほ

防虫網の清掃 109
ホーン接点のグリース塗布 137
ホーンボタン 17
ほ場への出入り時の注意 40
ボンネットの開閉 104
ボンネットの開閉及びサイドカバーの外し方 104
ポンパレバー 47

ま

マニュアルシフト仕様 25
満タンお知らせブザーの取扱い 32

み

ミッションオイルの交換 131
ミッションオイルの量及び汚れ 106

め

メインシリンダホースの交換 135
メータ・ランプ類の作動 111

索引

も

モンローオート(ドラフト)･AD倍速･Uシフト(F)仕様の故障と処置 141
モンローオート(ドラフト)･AD倍速･Uシフト(F)仕様の故障と処置 141
モンロー外部操作スイッチ 54
モンローマチックオートの取扱い[MA･MAD仕様]. 61
モンローシリンダホースの交換[MA･MAD仕様] ..135
モンロ角度調節ダイヤル［MA･MAD仕様］ 68
モンロ角度調節ダイヤル［MAD仕様］ 75
モンロ手動スイッチ［MA･MAD仕様］ 71
モンロ手動スイッチ［MAD仕様］ 73
モンロスイッチ［MA･MAD仕様］ 64
モンロスイッチ［MAD仕様］ 74

ゆ

油圧オイルフィルタカートリッジの交換 127
油圧（ポジションコントロール）レバー 46

ら

ラジエータの洗浄 135
ラジエータホースの交換 135
ラジエータホースの点検 126
ラジオを聴くには 92
ランプ類の交換 137

り

リフトロッドの調整 55
リヤウインド 81
リヤワイパ・ウォッシャスイッチ 82
輪距の調整 76
隣接耕うんのしかた 80

る

ルームミラー 84
ルームランプ 82

れ

冷却水の交換 134
冷却水の量 107
冷媒（ガス）量の点検 138

ろ

ロアーリンク取付け穴の選択 53
ローダ作業 45

わ

ワイパ 82
ワイヤハーネス，バッテリ(+)コードの点検・交換 108
ワンタッチ耕うんモードスイッチ[MA･MAD仕様] 62
ワンタッチ耕うんモードスイッチ[MAD仕様]... 75

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，記入されると便利です

購入先名	担当	電話（　　）　　ー

ご購入日	型式名	区分

車台番号（製造番号）	エンジン型式	エンジン番号

万一ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタ機械サービス株式会社

北海道営業技術推進部：電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162	〒981-1221	名取市田高字原182番地の１
東京営業技術推進部：電(048)862-1588	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
新潟営業技術推進部：電(025)285-1263	〒950-0992	新潟市上所上１丁目14番15号
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121	〒924-0038	白山市下柏野町956-１
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111	〒491-0031	一宮市観音町１番地の１
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860	〒661-8567	尼崎市浜１丁目１番１号
岡山営業技術推進部：電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市宍甘275番地
米子営業技術推進部：電(0859)39-3181	〒689-3547	米子市流通町430-12
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647-３
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725	〒811-0213	福岡市東区和白丘１丁目７番３号
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181	〒861-4147	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１
本社営業技術部：電(072)241-8092	〒590-0823	堺市堺区石津北町64番地

株式会社クボタ

機械札幌事務所：電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所：電(048)862-1121	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所：電(06)6470-5970	〒661-8567	尼崎市浜１丁目１番１号
機械福岡事務所：電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１丁目７番３号

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
TEL.06-6648-2111
FAX.06-6648-3862

品番　T1850-1920-1